

徳島中央広域連合西消防署新築工事

発注者：徳島中央広域連合

設計者： 株式会社 阿波設計事務所 四国支店

平成30年1月31日
確認済証図面

意匠			意匠			意匠			意匠		
L-01	図面リスト-1	NON	A-22	屋内階段詳細図-2	1/50	D-08	資機材置場 詳細図	1/40	T-01	都市型訓練施設 平面図・断面図	1/100
L-02	図面リスト-2	NON	A-23	屋外階段詳細図-1	1/50	D-09	横断幕装置 詳細図	1/40	T-02	都市型訓練施設 立面図・面積表	1/100
			A-24	屋外階段詳細図-2	1/50	D-10	オーバースライダー詳細図	1/100	T-03	都市型訓練施設 断面詳細図-1	1/50
TK-01	特記仕様書-1	NON	A-25	1階平面詳細図-1	1/50	D-11	重量シャッター詳細図	1/40	T-04	都市型訓練施設 断面詳細図-2	1/50
TK-02	特記仕様書-2	NON	A-26	1階平面詳細図-2	1/50	D-12	システムキッチン・システム収納詳細図	1/40	T-05	都市型訓練施設 階段詳細図	1/50
TK-03	特記仕様書-3	NON	A-27	1階平面詳細図-3	1/50	D-13	ユニットバス・シャワーユニット詳細図	1/40	T-06	都市型訓練施設 部分詳細図	1/20
TK-04	特記仕様書-4	NON	A-28	1階平面詳細図-4	1/50	D-14	電気ホイスト詳細図	1/10	T-07	都市型訓練施設 防護柵・ガードレール詳細図	図示
TK-05	特記仕様書-5	NON	A-29	2階平面詳細図-1	1/50	D-15	電動式ホースハンガー詳細図	1/50	T-08	都市型訓練施設 バルコニー手摺詳細図	1/20
TK-06	特記仕様書-6	NON	A-30	2階平面詳細図-2	1/50	D-16	トレーニング室 吊縄詳細図	1/25	T-09	都市型訓練施設 コンクリート柱 詳細図	1/40
TK-07	特記仕様書-7	NON	A-31	2階平面詳細図-3	1/50	D-17	車庫前庇詳細図	1/5			
TK-08	特記仕様書-8	NON	A-32	2階平面詳細図-4	1/50	D-18	押出成形セメント板詳細図	1/5	G-01	外構図-1	1/200
TK-09	特記仕様書-9	NON	A-33	1階展開図-1	1/100				G-02	外構図-2	1/200
			A-34	1階展開図-2	1/100	SI-01	1・2階 サインキープラン	1/200	G-03	排水計画図	1/200
A-01	付近見取図・配置図	1/400	A-35	1階展開図-3	1/100	SI-02	サイン詳細図-1	1/20	G-04	外構詳細図-1	1/10
A-02	敷地求積図・敷地求積表	1/500	A-36	1階展開図-4	1/100	SI-03	サイン詳細図-2	1/20	G-05	外構詳細図-2	1/50
A-03	建物求積図・建物求積表-1	1/200	A-37	1階展開図-5	1/100				G-06	外構詳細図-3	1/30
A-04	建物求積図・建物求積表-2	1/200	A-38	2階展開図-1	1/100				G-07	駐輪場詳細図	1/50
A-05	建物求積図・建物求積表-3	1/200	A-39	2階展開図-2	1/100				G-08	東側 自由勾配側溝(横断用)詳細図	1/20
A-06	仕上表-1	NON	A-40	2階展開図-3	1/100				G-09	仮設計画図	1/400
A-07	仕上表-2	NON	A-41	1階天井伏図	1/100						
A-08	1階平面図	1/100	A-42	2階天井伏図	1/100						
A-09	2階平面図	1/100	A-43	建具キープラン	1/200						
A-10	R階平面図	1/100	A-44	建具表-1	1/100						
A-11	立面図-1	1/200	A-45	建具表-2	1/100						
A-12	立面図-2	1/200	A-46	建具表-3	1/100						
A-13	断面図-1	1/100	A-47	建具表-4	1/100						
A-14	断面図-2	1/100									
A-15	断面詳細図-1	1/50	D-01	部分詳細図-1	1/20						
A-16	断面詳細図-2	1/50	D-02	部分詳細図-2	1/20						
A-17	断面詳細図-3	1/50	D-03	部分詳細図-3	1/20						
A-18	断面詳細図-4	1/50	D-04	部分詳細図-4	1/20						
A-19	断面詳細図-5	1/50	D-05	部分詳細図-5	1/20						
A-20	断面詳細図-6	1/50	D-06	部分詳細図-6	1/20						
A-21	屋内階段詳細図-1	1/50	D-07	玄関庇 詳細図	1/50						

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	L / 01	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	図面リスト-1	縮尺	A3 (NON) A2 (NON)	校閲	担当		製図	設計年月日		2017.9

構 造			構 造			電 気			機 械		
S-01	構造特記仕様書	NON	S-101	構造特記仕様書	NON	E-01	特記仕様書1	NON	AC-01	空調換気設備 特記仕様書	NON
S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	NON	S-102	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	NON	E-02	特記仕様書2	NON	AC-02	空調換気設備 凡例、メーカーリスト	NON
S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	NON	S-103	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	NON	E-03	電気設備配置図、附近見取図	1/300	AC-03	空調設備 機器表、系統図	NON
S-04	鉄骨工作標準図(1)	NON	S-104	鉄骨工作標準図(1)	NON	E-04	キュービクル仕様書	NON	AC-04	空調設備 1階平面図	1/100
S-05	鉄骨工作標準図(2)	NON	S-105	鉄骨工作標準図(2)	NON	E-05	幹線設備系統図、引込柱装柱図	NON	AC-05	空調設備 2階平面図	1/100
S-06	土質柱状図(1)	NON	S-106	土質柱状図	NON	E-06	分電盤単線接続図1	NON	AC-06	空調設備 屋上平面図	1/100
S-07	土質柱状図(2)	NON	S-107	伏図	1/100	E-07	分電盤単線接続図2	NON	AC-07	換気設備 機器表	NON
S-08	杭伏図	1/100	S-108	軸組図	1/100	E-08	幹線・動力設備1階平面図	1/100	AC-08	換気設備 1階平面図	1/100
S-09	基礎・ピット伏図	1/100	S-109	部材リスト	1/50	E-09	幹線・動力設備2階平面図	1/100	AC-09	換気設備 2階平面図	1/100
S-10	1階伏図(見上げ図)	1/100	S-110	架構配筋詳細図	1/50	E-10	幹線・動力設備屋上平面図	1/100			
S-11	1階柱壁2階床梁伏図(見上げ図)	1/100	S-111	屋外階段詳細図	1/30	E-11	機器用電源設備1階平面図	1/100	W-01	給排水衛生設備 特記仕様書	NON
S-12	2階柱壁R階床梁伏図(見上げ図)	1/100				E-12	機器用電源設備2階平面図	1/100	W-02	給排水衛生設備 メーカーリスト	NON
S-13	軸組図(1)	1/200				E-13	照明器具仕様書	NON	W-03	給排水衛生設備 凡例、埋設要領図	NON
S-14	軸組図(2)	1/200				E-14	照明設備1階平面図	1/100	W-04	給排水衛生設備 機器表	NON
S-15	杭仕様	1/100				E-15	照明設備2階平面図	1/100	W-05	給排水衛生設備 機器表	NON
S-16	基礎リスト(1)	1/100				E-16	照明設備屋上平面図	1/100	W-06	給排水衛生設備 上水、井水系統図	NON
S-17	基礎リスト(2)	1/100				E-17	コンセント設備1階平面図	1/100	W-07	給排水衛生設備 配置図、料リスト	1/300
S-18	基礎リスト(3)	1/100				E-18	コンセント設備2階平面図	1/100	W-08	給排水衛生設備 1階平面図(上水)	1/100
S-19	RC部材リスト(1)	1/100				E-19	コンセント設備屋上平面図	1/100	W-09	給排水衛生設備 2階平面図(上水)	1/100
S-20	RC部材リスト(2)	1/100				E-20	弱電機器仕様書1	NON	W-10	給排水衛生設備 屋上平面図(上水)	1/100
S-21	RC部材リスト(3)	1/100				E-21	弱電機器仕様書2	NON	W-11	給排水衛生設備 1階平面図(井水)	1/100
S-22	RC部材リスト(4)	1/100				E-22	情報・監視・TV共聴設備1階平面図	1/100	W-12	給排水衛生設備 2階平面図(井水)	1/100
S-23	架構配筋詳細図	1/200				E-23	情報・監視・TV共聴設備2階平面図	1/100	W-13	合併処理浄化槽 参考 フロアシート、構造図	1/50
S-24	雑詳細図(1)	1/30				E-24	情報・監視・TV共聴設備屋上平面図	1/100	W-14	合併処理浄化槽 参考 配筋図	1/50
S-25	雑詳細図(2)	1/30				E-25	通信・放送設備1階平面図	1/100	W-15	合併処理浄化槽 参考 盤図、結線図	NON
S-26	雑詳細図(3)	1/30				E-26	通信・放送設備2階平面図	1/100	W-16	合併処理浄化槽 参考 二次側配線図	1/50
S-27	雑詳細図(4)	1/30				E-27	通信・放送設備屋上平面図	1/100			
S-28	PRC工事特記仕様書	NON				E-28	電気錠制御設備1階平面図	1/100			
S-29	PRC大梁関係図	1/200				E-29	緊急車両出動表示板仕様書	1/30			
S-30	PRC大梁配線図、PRC大梁リスト	1/100				E-30	防災設備(自火報・防災照明)仕様書	NON			
						E-31	防災設備(自火報・防災照明)1階平面図	1/100			
						E-32	防災設備(自火報・防災照明)2階平面図	1/100			
						E-33	自家発電設備仕様書	NON			
						E-34	避雷針設備仕様書	1/200			

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	L / 02	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	図面リスト-2	縮尺	A3 (NON) A2 (NON)	校閲	担当		製図	設計年月日		2017.9

I. 工事概要

1. 工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事
2. 工事場所	徳島県吉野川市山川町三島30-3
3. 敷地面積	4,635.65㎡
4. 工事種目	<p>*工事内容： 新築</p> <p>1.消防庁舎・車庫 構造規模： 建築面積 1,081.87 ㎡ 床面積 1,432.67 ㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建て</p> <p>2.都市型訓練施設 構造規模： 築造面積 95.53 ㎡ 鉄筋コンクリート造 平家建て</p> <p>3.外構・屋外その他</p>
5. 工事区分	建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事一式
6. 工期	<p>工事完成期間は平成 年 月 日とする。</p> <p>*完成年月日=発注者側の工期の完成日 竣工年月日=施工者側の完成日</p>

II. 工事仕様書

- (1)項目は、番号に○印が付いたものを適用する。
- (2)特記事項は、○印が付いたものを適用する。◎は全て適用する。
- (3)特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共工事標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目	特記事項
1章 一般共通事項	
① 適用基準等	<p>◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設(国土交通省)大臣官房官庁官廳部監修の下記による。</p> <p>①公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版(以下「標準」という。)</p> <p>②敷地調査共通仕様書(平成27年版)</p> <p>③建築工事標準詳細図(平成28年版)</p> <p>④公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成28年版)</p> <p>⑤公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成28年版)</p> <p>⑥木造建築工事標準仕様書(平成28年版)</p>
	<p>◎本工事のうち電気工事及び管工事について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。</p>
	<p>◎設計図書の優先順位は、次の順とする。</p> <p>(1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの</p> <p>(2) 補足説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面</p> <p>(5) 公共建築工事標準仕様書 平成28年版 等</p>
	<p>◎施工条件は次による。</p> <p>・工事については、施設管理者と協議の上決定すること。</p> <p>・その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。</p> <p>・同時期に同一敷地内で別途工事を予定しているため、別途工事業者と十分に打合せを行い工事を進めること。</p>
	<p>◎本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程(平成9年 建設省告示第1536号、一部改正 平成15.3.10 国交省告示第187号)」に基づき指定された(低振動型・低騒音型)建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型式等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</p>
	<p>◎本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1 国総発第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型式等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</p>
	<p>◎本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)のコピーを使用工種別の施工計画書に添付し提出すること。</p>

章 項目	特記事項
② 工事関係図書	<p>◎交通整理員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に275日間配置すること。</p> <p>・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が(義務付けられている)・(義務付けられていない)。</p> <p>・警備員は、延275人を見込んでいます。</p> <p>・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。</p> <p>・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。</p> <p>・受注者は、発注者が行う交通誘導警備業務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> <p>・受注者は、「交通誘導員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。</p>
③ 安全衛生管理	<p>◎施工に先立ち監督員の指示に従い 実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し監督員に提出すること。</p> <p>◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。</p> <p>◎施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。</p> <p>◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。</p> <p>◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。</p> <p>◎工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。</p> <p>◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法(建設工事公害災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設省建設発第1号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建設発第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること。</p> <p>◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。</p> <p>◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試験を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。</p> <p>◎受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から抑す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。</p> <p>◎受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から抑す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。</p> <p>◎受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。</p> <p>◎受注者は、移動式クレーンを使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、当面は、経過措置期間とするが、この期間においても接触事故防止機能付きの車両を使用するよう努めるものとする。</p> <p>◎休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。</p> <p>◎受注者は、工事で車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、機謙、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確保するとともに工事現場における高聲防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。</p>

章 項目	特記事項
④ 工事現場管理	<p>◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。</p> <p>・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。</p> <p>・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。</p> <p>◎発生材の処理等は、次により適正に行う。</p> <p>(1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。</p> <p>(2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員(契約書に規定する監督員をいい、雇用の規定による場合は監督職員と読み替える。以下同じ。)に報告し指示を仰ぐこと。</p> <p>(3) 撤去物の種類、規模、構造、撤去方法、養生方法、発生材の処分場を記載する。</p> <p>・産業廃棄物の種類ごとに下記を指定する。</p> <p>処分許可業者の会社名、所在地</p> <p>処分地の所在地</p> <p>運搬距離</p> <p>処理単価(税抜き)</p> <p>上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書の提出を求め、減額変更を行うことがある。</p> <p>なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者(以下、「優良産業処分業者」という。)に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産業処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産業処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。</p> <p>また、コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。木材については、50kmの範囲内にある木材再生資源化施設への搬出を原則とする。</p> <p>(4) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調査、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調査(様式3)を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。</p> <p>受注者は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律(建設リサイクル法)施行令第2条で規定される工事(対象建設工事)のうち、当初請負金額が500万円以上の工事において、コンクリート(2次製品含む)、土砂、碎石又は加熱アスファルト混合物、木材を工事現場に搬入する場合には、再生資源・利用計画を建設リサイクルデータ統合システム(以後CREIDASと表記)により作成し(様式1又は様式1-2)、監督員に電子データにより提出しなければならない。</p> <p>◎受注者は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律(建設リサイクル法)施行令第2条で規定される工事(対象建設工事)のうち、当初請負金額が500万円以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、再生資源利用促進計画をCREIDASにより作成し(様式2又は様式2-2)、監督員に電子データにより提出しなければならない。</p> <p>受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかにCREIDASにより作成した提出用ファイル(実施書)を、監督員に電子データにより提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完了後1年間保存すること。</p> <p>CREIDASについては、受注者自身が国土交通省リサイクルホームページよりダウンロードした上で利用することとするが、受注者のネットワーク環境の導入状況等によりダウンロードが困難な場合は、請負契約締結後、監督員と協議の上でCREIDASインストールファイルを取締したCD-Rを必要に応じて受注者に貸し出すものとする。</p> <p>CREIDASの入力においては、資材の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力しなければならない(バージョン材を使用する生コンクリート及び購入土を除く)。</p> <p>◎工事に影響のある範囲内の重要備品等 (有・無)</p> <p>備品等名称： 保管場所： 注意事項：</p> <p>◎建設リサイクル法通知済証の提示</p> <p>受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事(特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの)においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を提示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」提示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出することとする。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。</p>

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 01	工事種別 建築	管理建築士 一級建築士 校閲	程野 祐介 大臣登録 第338983号 担当	設計No. — 設計年月日 2017.9
	図面名称 特記仕様書-1	縮尺 NON		株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	製図	

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																																																													
1章 一般共通事項	<p>⑤ 材料・製品等</p> <p>◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。 (3) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>なお、「評価名簿による」と記載されているものは、国土交通省大臣官房官庁官務部監修「建築材料等評価名簿(最新版)」記載品を指すものとする。</p> <p>◎受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等(以下「建材等」という)の発注の際には、発注前に、「生コンクリート使用承諾書」、「材料使用承諾書」、「木材使用承諾書」を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」(電子データ)、「建設資材使用実績報告書」(電子データ)を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎県産木材の使用</p> <p>(1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。</p> <p>(2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。</p> <p>① 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 ② ①以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>(3) 受注者は、受注金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員へ提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード)、繊維・板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>◎公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。</p> <p>◎県内産資材の使用</p> <p>(1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、W/T対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。</p> <p>(2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員へ提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員へ提出しなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県内産資材(次のいずれかに該当するもの)</p> <p>① 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 ② 徳島県内の工場で加工、製造された製品 注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。 注2 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。 注3 公共建築工事標準仕様書その関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。</p> </div> <p>◎県内産再生砕石の原則使用</p> <p>受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づく許可を有する施設(同法第15条の2の5第1項に基づく変更の許可において同じ))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。</p> <p>◎本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p>	<p>⑦ 施工</p> <p>◎工事現場監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は担当課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。</p> <p>◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。</p> <p>◎他工事と取り合い区分</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">管工事</th> </tr> <tr> <th>建築工事</th> <th>電気工事</th> <th>給排水衛生工事</th> <th>空調工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁、壁、床スリール入れ</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>同上穴埋補修</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スリール開口補強(鉄筋)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上(リンレン等)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床、天井点検口</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器天井開口墨出</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>同上切込み及び開口補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦樋(GLまで)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>籠、便器等の箱入れ</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>同上補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給排水ガラリ取り付け</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>空調機器等の基礎工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎技能士の適用</p> <p>◎技能士の適用については、次の技能検定作業(以下、「作業」という。)のうち各工事に適用する作業を指定するものとする。</p> <p>技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員へ提出すること。</p> <p>技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。</p> <p>なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。</p> <p>○印 … 適用作業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>とび</td> <td>◎ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>鉄筋施工</td> <td>◎ 鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>◎ コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>型枠施工</td> <td>◎ 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>鉄工</td> <td>◎ 構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">防水</td> <td rowspan="10">防水施工</td> <td>◎ アスファルト防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ 合成ゴムシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ 塩化ビニルシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ セメント系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ 改質アスファルトシートー工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>タイル張り</td> <td>◎ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>建築大工</td> <td>◎ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及びとい</td> <td>建築板金</td> <td>◎ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>かわらぶき</td> <td>・ かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>建築板金</td> <td>◎ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官</td> <td>左官</td> <td>◎ 左官作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">建具</td> <td rowspan="4">建具製作</td> <td>◎ 木製建具手加工作業</td> </tr> <tr> <td>◎ 木製建具機械加工作業</td> </tr> <tr> <td>◎ アルミ製室内建具製作作業</td> </tr> <tr> <td>◎ ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サッシ施工</td> <td>◎ ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>◎ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装</td> <td>塗装</td> <td>◎ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">内装</td> <td rowspan="5">内装仕上げ施工</td> <td>◎ プラスチック系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ カーペット系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ 鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>◎ 表具作業 ◎ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>◎ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>植栽</td> <td>造園</td> <td>◎ 造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>冷凍空調和機器施工</td> <td>◎ 冷凍空調和機器施工作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること</p> <p>◎工事しゅん工前に全ての設計変更箇所について、監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること</p>	項目	管工事				建築工事	電気工事	給排水衛生工事	空調工事	梁、壁、床スリール入れ		○	○	○	同上穴埋補修		○	○	○	スリール開口補強(鉄筋)	○				同上(リンレン等)	○				床、天井点検口	○				設備機器天井開口墨出		○	○	○	同上切込み及び開口補強	○				衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○		縦樋(GLまで)	○				籠、便器等の箱入れ		○	○	○	同上補強	○				給排水ガラリ取り付け				○	空調機器等の基礎工事	○				工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設	とび	◎ とび作業	鉄筋	鉄筋施工	◎ 鉄筋組立て作業	コンクリート	コンクリート圧送施工	◎ コンクリート圧送工事作業	型枠	型枠施工	◎ 型枠工事作業	鉄骨	鉄工	◎ 構造物鉄工作業	防水	防水施工	◎ アスファルト防水工事作業	◎ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業	・ 合成ゴムシート防水工事作業	◎ 塩化ビニルシート防水工事作業	・ セメント系防水工事作業	◎ シーリング防水工事作業	・ 改質アスファルトシートー工法防水工事作業	・ FRP防水工事作業	◎ タイル張り作業	タイル	タイル張り	◎ タイル張り作業	木	建築大工	◎ 大工工事作業	屋根及びとい	建築板金	◎ 内外装板金作業	かわらぶき	・ かわらぶき作業	金属	建築板金	◎ 内外装板金作業	左官	左官	◎ 左官作業	建具	建具製作	◎ 木製建具手加工作業	◎ 木製建具機械加工作業	◎ アルミ製室内建具製作作業	◎ ビル用サッシ施工作業		サッシ施工	◎ ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	◎ ガラス工事作業	塗装	塗装	◎ 建築塗装作業	内装	内装仕上げ施工	◎ プラスチック系床仕上げ工事作業	◎ カーペット系床仕上げ工事作業	◎ 鋼製下地工事作業	◎ ボード仕上げ工事作業	◎ 表具作業 ◎ 壁装作業	配管	配管	◎ 建築配管作業	植栽	造園	◎ 造園工事作業	機械設備	冷凍空調和機器施工	◎ 冷凍空調和機器施工作業	<p>⑩ 工事検査及び技術検査</p> <p>◎設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工事が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査を受け、承諾を受け次の工程に進むこと。</p> <p>◎試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承諾を得ること。</p> <p>◎次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が必要と認める場合はこの限りでない。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>当初請負対象額</th> <th>一般入札工事</th> <th>低入札工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3千万円未満</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>3千万円以上5千万円未満</td> <td>-</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>5千万円以上1億円未満</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>1億円以上</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。 一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。</p> <p>◎中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。</p> <p>◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。</p> <p>◎基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間検査を実施する。</p> <p>◎電子納品：(対象 ・ 対象外)</p> <p>◎提出書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 竣工図(製本各3部、電子データ2部)(A4 ・ A3 ・ A2 ・ 原図版) 工事写真(写真帳1部(電子用 ・ 工事用 ・ 竣工用)、電子データ1部) 使用材料一覧表(1部、うち電子データ1部) 保安に関する資料 <p>◎竣工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。 竣工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-Rに保存する。</p> <p>◎工事写真はしゅん工、着工前、資材、施工状況の順に整理する。 しゅん工については、工事目的物の状態が、また、資材、施工状況等については、不可視不文の出来形が写真で的確に確認できること。</p> <p>◎工事写真の撮影は、建設大臣官房官庁官務部監修「宮繕工事写真撮影要領」によること。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>カラー、手紙版又はサービサイズ</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>カラー、手紙版又はサービサイズ</td> </tr> <tr> <td>竣工</td> <td>カラー、手紙版又はサービサイズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎工事完成撮影は、専門家に(する) ・ よらない)ものとする。</p> <p>◎受注者は、建築工事を施工する場合、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」という。)すること。</p> <p>◎対象物</p> <p>工事目的物及び検査済材料(支給材料を含む)について付保すること。</p> <p>◎付保除外工事</p> <p>次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。</p> <p>(1) 杭及び基礎工事 (2) コンクリート躯体工事 (3) 屋外付帯工事 (4) その他実状を判断の上、必要がないと認めた場合(外壁補修工事等)</p> <p>◎付保する時期及び金額</p> <p>鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、受注金額相当額を付保する。</p> <p>また、模様替え工事等については、工事着手時に受注金額相当額を付保する。</p> <p>◎保険終期</p> <p>工事完成期日に14日を加えた期日とする。 なお、工期延伸した場合には、保険の期間も延長すること。</p> <p>◎その他</p> <p>(1) 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。 (2) 付保する時期以降に出来高払いを行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払いの書類に添付すること。</p>	当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事	3千万円未満	-	1回	3千万円以上5千万円未満	-	2回	5千万円以上1億円未満	1回	2回	1億円以上	2回	3回	区分	サイズ	着工前	カラー、手紙版又はサービサイズ	工事中	カラー、手紙版又はサービサイズ	竣工	カラー、手紙版又はサービサイズ
項目	管工事																																																																																																																																																																																	
	建築工事	電気工事	給排水衛生工事	空調工事																																																																																																																																																																														
梁、壁、床スリール入れ		○	○	○																																																																																																																																																																														
同上穴埋補修		○	○	○																																																																																																																																																																														
スリール開口補強(鉄筋)	○																																																																																																																																																																																	
同上(リンレン等)	○																																																																																																																																																																																	
床、天井点検口	○																																																																																																																																																																																	
設備機器天井開口墨出		○	○	○																																																																																																																																																																														
同上切込み及び開口補強	○																																																																																																																																																																																	
衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○																																																																																																																																																																															
縦樋(GLまで)	○																																																																																																																																																																																	
籠、便器等の箱入れ		○	○	○																																																																																																																																																																														
同上補強	○																																																																																																																																																																																	
給排水ガラリ取り付け				○																																																																																																																																																																														
空調機器等の基礎工事	○																																																																																																																																																																																	
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																																																																																
仮設	とび	◎ とび作業																																																																																																																																																																																
鉄筋	鉄筋施工	◎ 鉄筋組立て作業																																																																																																																																																																																
コンクリート	コンクリート圧送施工	◎ コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																																																
型枠	型枠施工	◎ 型枠工事作業																																																																																																																																																																																
鉄骨	鉄工	◎ 構造物鉄工作業																																																																																																																																																																																
防水	防水施工	◎ アスファルト防水工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																																																																																
		・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																																																																																
		・ 合成ゴムシート防水工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ 塩化ビニルシート防水工事作業																																																																																																																																																																																
		・ セメント系防水工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ シーリング防水工事作業																																																																																																																																																																																
		・ 改質アスファルトシートー工法防水工事作業																																																																																																																																																																																
		・ FRP防水工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ タイル張り作業																																																																																																																																																																																
タイル	タイル張り	◎ タイル張り作業																																																																																																																																																																																
木	建築大工	◎ 大工工事作業																																																																																																																																																																																
屋根及びとい	建築板金	◎ 内外装板金作業																																																																																																																																																																																
	かわらぶき	・ かわらぶき作業																																																																																																																																																																																
金属	建築板金	◎ 内外装板金作業																																																																																																																																																																																
左官	左官	◎ 左官作業																																																																																																																																																																																
建具	建具製作	◎ 木製建具手加工作業																																																																																																																																																																																
		◎ 木製建具機械加工作業																																																																																																																																																																																
		◎ アルミ製室内建具製作作業																																																																																																																																																																																
		◎ ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																																																
	サッシ施工	◎ ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																																																
	ガラス施工	◎ ガラス工事作業																																																																																																																																																																																
塗装	塗装	◎ 建築塗装作業																																																																																																																																																																																
内装	内装仕上げ施工	◎ プラスチック系床仕上げ工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ カーペット系床仕上げ工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ 鋼製下地工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ ボード仕上げ工事作業																																																																																																																																																																																
		◎ 表具作業 ◎ 壁装作業																																																																																																																																																																																
配管	配管	◎ 建築配管作業																																																																																																																																																																																
植栽	造園	◎ 造園工事作業																																																																																																																																																																																
機械設備	冷凍空調和機器施工	◎ 冷凍空調和機器施工作業																																																																																																																																																																																
当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事																																																																																																																																																																																
3千万円未満	-	1回																																																																																																																																																																																
3千万円以上5千万円未満	-	2回																																																																																																																																																																																
5千万円以上1億円未満	1回	2回																																																																																																																																																																																
1億円以上	2回	3回																																																																																																																																																																																
区分	サイズ																																																																																																																																																																																	
着工前	カラー、手紙版又はサービサイズ																																																																																																																																																																																	
工事中	カラー、手紙版又はサービサイズ																																																																																																																																																																																	
竣工	カラー、手紙版又はサービサイズ																																																																																																																																																																																	
⑥ 化学物質を発生する建築材料等		⑧ 設計変更箇所確認		⑪ 完成図書																																																																																																																																																																														
特記事項				⑫ 火災保険																																																																																																																																																																														

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 02	工事種別 建築	管理建築士 程野 祐介	設計No. -
	図面名称 特記仕様書-2	縮尺 NON	株式会社 阿波設計事務所 四国支店	一級建築士 大田 登録 第338983号	設計年月日 2017.9
			校閱	担当 製図	
			株式会社 阿波設計事務所 徳島県知事登録 第41036号		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
1章 一般共通事項	⑬ 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>●建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。 学校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼン 学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン 採取器具は受注者にて用意すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> </tr> <tr> <td>ホール、大会議室、受付室、事務室、防火相談室、署長室、出勤準備室、仮眠室（3箇所）、トレーニング室、食堂、休憩室・待機室</td> <td>13箇所</td> </tr> </table> <p>測定は、次のいずれかにより行う。 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準(平成13年 国土交通省告示第1347号)第56-3(3)「ロ 測定の方法」において定められた方法 ・パンプ型採取機器を用いる方法 パンプ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。 (1) 30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分換気する。 (2) 5時間閉鎖 (1)の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は解放したままとする。 (3) 測定 イ (2)の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。 なお、8時間測定の場合は午後2時～3時が測定時間の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※(1)、(2)、(3)において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 (4) 測定結果の提出 測定後、測定結果を監督員に提出すること。</p>	測定対象室	測定箇所数	ホール、大会議室、受付室、事務室、防火相談室、署長室、出勤準備室、仮眠室（3箇所）、トレーニング室、食堂、休憩室・待機室	13箇所						
	測定対象室	測定箇所数										
	ホール、大会議室、受付室、事務室、防火相談室、署長室、出勤準備室、仮眠室（3箇所）、トレーニング室、食堂、休憩室・待機室	13箇所										
⑭ 工事実績情報の登録	<p>●受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については、工事実績情報システム(コリンズ)に基づき、工事実績情報として、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたのちに、次に示す期間内に登録期間に登録しなければならない。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日等は含まない。 (1) 工事受注時 契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時 契約変更締結後10日以内 (3) 工事完成時 工事完成後10日以内 なお、登録内容の変更は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。 ●登録後は速やかに、登録期間が発行する「登録内容確認書」を監督員に提出する なお、変更時と工事完成時の間が10日間に満たない場合は、変更登録を省略することができる。</p>	④ 監督員事務所										
⑮ 瑕疵補修	<p>●徳島県公共工事標準請負契約約款第41条第2項に基づく瑕疵の補修又は損害賠償の請求期間は(1年・2年)とする。 ただし、その瑕疵が受注者の故意又は重大な過失により生じた場合には、当該請求を行うことができる期間は10年とする。</p>	⑤ 工事用水・電力等										
⑯ 地鎮祭	●地鎮祭に伴う費用は、受注者にて負担する。	6. イメージアップ工事										
⑰ 地鎮祭		7. 仮設道路整備復旧等										
⑱ 地鎮祭		8. 工事車両駐車場 資材置場 現場事務所用地等										
⑲ 地鎮祭		9. 仮設トイレの洋式化										

2章 仮設工事	① 敷地の状況確認	●着工に先立ち、敷地境界、既存構造物及び地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。					
	② ベンチマーク	●設計GLの設定は、配置図による。ただし、監督員の指示により決定する。					
	③ 足場等	<p>●仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用を努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ●労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く)の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ●労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に管轄課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ●受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ●外部足場(種類：枠組本足場、仕様：2枚布、D=90cm、シート仕様：養生シート) ・壁つなぎ間隔(水平方向)：8m以下、鉛直方向：9m以下 ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。</p>	④ 監督員事務所	⑤ 工事用水・電力等	⑥ 建設発生汚泥の処理		
① 敷地の状況確認	●周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止に必要な処置をすること。 ●敷地内に埋設が予想される設備配管等について十分調査し、支障がないようにすること。 ●根切り底は、地盤をかき乱さないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取り付けた機械掘りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同程度の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承諾を受ける。 ●工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。 ●使用土は(A種・B種・C種・D種)とし、機器により締め固める。 スラグ骨材：阿波スラグ 会社名：中央広域環境施設組合 中央広域環境センター 所在地：徳島県阿波市吉野町西条字藤原70番地1 Tel: 088-637-7127 機材目安：配合率は、10%～20%程度とする。 運搬距離：15kmを見込んでいる。 単価：材料無償 搬入土：砂質土 会社名：朝大塚クリーンリネス 所在地：徳島県阿波市阿波町北正広176-2 Tel: 0883-35-4466 運搬距離：6kmを見込んでいる。 単価：材料無償	① 根切り					
② 排水							
③ 埋め戻し及び盛土							
④ 山留め							

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 03	工事種別 建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介	設計No. -
	図面名称 特記仕様書-3	縮尺 NON	校閲		一級建築士 大臣登録 第338983号	設計年月日 2017.9
					校閲	
					担当	
					製図	

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																										
4章 地盤工事	① 一般事項	④ 支持力及び支持地盤の確認	<p>◎支持層の確認は、掘削した土砂を確認し、監督員の承認を受けること。</p> <p>◎仮底杭は、(財)日本建築センターの評価工法とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>設計支持力</th> <th>支持力の算定方法又は確認方法</th> </tr> <tr> <td>打ち込み工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定埋込杭工法</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>セメントミルク工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>場所打ちコンクリート杭</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎受注者は、杭の施工に当たり、杭先端が設計図書に示された支持層に達したことを掘削(回転)抵抗値、掘削土の状況などにより、杭全数について1本1本適切に確認しなければならない。また、確認のための資料を整備及び保管し、監督員の請求があった場合は速やかに提示するとともに、工事しゅん工検査請求書提出時までに監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎杭の施工に当たり、支持層への到達、現場接合及び先端処理については、全本数について監督員等の立会を受けなければならない。また、円滑に立会が行えるよう、杭のスケジュール管理表(任意様式)を作成し、事前に監督員へ提出して確認をうけなければならない。</p> <p>なお、立会で確認した資料等については、工事現場において読み取り可能な状態で写真撮影し、立会写真とともに監督員へ提出しなければならない。</p>	工 法	設計支持力	支持力の算定方法又は確認方法	打ち込み工法			特定埋込杭工法	図示	図示	セメントミルク工法			場所打ちコンクリート杭			③ 普通コンクリート	<p>◎セメントの種類は、(普通ポルトランドセメント)・混合セメントA種・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種)とする。</p> <p>◎骨材は、粒径6.3(b)による。</p> <p>◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる・できない)。</p> <p>◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。</p> <p>◎コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m³以下とし、試験方法は粒径6.5.4による。</p> <p>◎試験率は(行う・行わない)。</p> <p>◎所要空気量は4.5%±1.5%とする。</p> <p>◎受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。</p> <p>(1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制</p> <p>アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m³に含まれるアルカリ総量をNa₂O換算で3.0kg以下にする。</p> <p>(2) 抑制効果のある混合セメント等の使用</p> <p>JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント[B種またはC種]あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント[B種またはC種]もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。</p> <p>(3) 安全と認められる骨材の使用</p> <p>骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。</p> <p>試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」, JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。</p> <p>◎混和材は(使用する・使用しない)。</p> <p>◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、 粒径9.7.3(目地寸法)(α)(D)による。</p>																																																											
	工 法			設計支持力	支持力の算定方法又は確認方法																																																																										
打ち込み工法																																																																															
特定埋込杭工法	図示	図示																																																																													
セメントミルク工法																																																																															
場所打ちコンクリート杭																																																																															
② 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地盤等	<p>◎排水、粘土等は産業廃棄物に該当するため、関係法令に基づき適正に処理すること。</p> <p>◎試験杭の位置及び本数は図示による。仕様は本杭と同じとする。</p> <p>◎材料は、市場品とする。</p> <p>◎砂利及び砂地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さが300mmを越える場合は、300mmごとに締固めを行う。 ・砂利は、(切込砂利・切込砕石・再生クラッシュラン・クラッシュラン)とする。 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>使用部位</th> <th>厚 さ</th> <th>粒 度 範 囲</th> </tr> <tr> <td>切込砂利</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>切込砕石</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン</td> <td>基礎下、スラブ下、土間下、外構</td> <td>図示</td> <td>RC-40</td> </tr> </table> <p>・締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。</p> <p>◎締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承認を得ること。</p> <p>◎捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm, 設計基準強度18N/mm²)とし、厚さは mmとする。</p> <p>◎床下防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上、重ね合せ及び基礎梁際のみ込みは250mm, 断熱材のある場合のみ込みは400mm以上とする。</p> <p>◎防湿層の位置は、土間スラブの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。</p>	種 別	使用部位	厚 さ	粒 度 範 囲	切込砂利				切込砕石				クラッシュラン				再生クラッシュラン	基礎下、スラブ下、土間下、外構	図示	RC-40	① 材料	<table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A SD345 SD390</td> <td>D10~D16 D19~D29 D29~D39</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接金鋼及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状： 寸法： 径：</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎材料試験は行わない。</p> <p>ただし、規格証明書を提出し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎鉄筋の継手は(重ね継手・ガス圧接継手・特殊継手)とする。</p> <p>◎鉄筋の継手の位置は図示による。</p> <p>◎結束線の端部は内側に折り曲げる。</p> <p>◎柱、梁の主筋は、ガス圧接継手とする。</p> <p>◎耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは()mmとする。</p> <p>◎先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。</p> <p>◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承認を得ること。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。</p> <p>◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</p> <p>◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</p> <p>◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、 粒径表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。</p> <p>◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。</p> <p>◎杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭先端からとする。</p> <p>◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、 粒径参考図【1節-基礎及び基礎梁の配筋】～【7節-梁貫通孔その他配筋】による。</p> <p>◎形の種別は構造図による。</p> <p>◎補強形式 鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。</p> <p>◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎圧接技量資格者は、工事に相応したJIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者とする。</p> <p>◎検査は、外観検査及び(引張試験 ◎超音波探傷試験)による。</p> <p>◎切取り部分の継手は、(圧接・重ね継手)とする。</p> <p>◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督員の検査を受ける。</p>	規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345 SD390	D10~D16 D19~D29 D29~D39	-	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	-	-	JIS G 3551	溶接金鋼及び鉄筋格子	網目の形状： 寸法： 径：		④ 製造工場の指定	⑤ 型枠	<table border="1"> <tr> <th>型枠の種類</th> <th>仕上げ種別</th> <th>塗装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>県産木製型枠</td> <td>A 種</td> <td>あり</td> <td></td> <td>12</td> <td>打放し仕上</td> </tr> <tr> <td>6.8.3 (b)(1)</td> <td>A 種</td> <td>あり</td> <td></td> <td>12</td> <td>打放し仕上</td> </tr> <tr> <td>6.8.3 (b)(2)</td> <td>B 種</td> <td>なし</td> <td></td> <td>12</td> <td>吹付仕上</td> </tr> <tr> <td>6.8.3 (b)(2)</td> <td>C 種</td> <td>なし</td> <td></td> <td>12</td> <td>モルタル、タイル仕上</td> </tr> <tr> <td>6.8.3 (b)(2)</td> <td>普通型枠</td> <td>なし</td> <td></td> <td>12</td> <td>他</td> </tr> </table> <p>◎スリーブの材種()</p> <p>◎打ち放し仕上げの打ち増し厚さは 20 mmとする。</p> <p>◎誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。</p> <p>◎無筋コンクリートは、次の場合に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○捨コンクリート ○補強筋を必要としないコンクリート <p>◎設計基準強度(18)N/mm² , スランプ(15)cm</p> <p>◎適用箇所：</p>	型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所	県産木製型枠	A 種	あり		12	打放し仕上	6.8.3 (b)(1)	A 種	あり		12	打放し仕上	6.8.3 (b)(2)	B 種	なし		12	吹付仕上	6.8.3 (b)(2)	C 種	なし		12	モルタル、タイル仕上	6.8.3 (b)(2)	普通型枠	なし		12	他	⑥ 無筋コンクリート
種 別	使用部位	厚 さ	粒 度 範 囲																																																																												
切込砂利																																																																															
切込砕石																																																																															
クラッシュラン																																																																															
再生クラッシュラン	基礎下、スラブ下、土間下、外構	図示	RC-40																																																																												
規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)																																																																												
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345 SD390	D10~D16 D19~D29 D29~D39																																																																												
-	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	-	-																																																																												
JIS G 3551	溶接金鋼及び鉄筋格子	網目の形状： 寸法： 径：																																																																													
型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所																																																																										
県産木製型枠	A 種	あり		12	打放し仕上																																																																										
6.8.3 (b)(1)	A 種	あり		12	打放し仕上																																																																										
6.8.3 (b)(2)	B 種	なし		12	吹付仕上																																																																										
6.8.3 (b)(2)	C 種	なし		12	モルタル、タイル仕上																																																																										
6.8.3 (b)(2)	普通型枠	なし		12	他																																																																										
③ 既製コンクリート杭地盤	<p>◎杭の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>杭の種類</th> <th>PHC杭</th> <th>SC杭</th> <th>PRC杭</th> <th>-</th> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>遠心力高強度・プレストレストコンクリート杭</td> <td>外殻鋼管付・コンクリート杭</td> <td>プレストレスト鉄筋コンクリート杭</td> <td>建築基準法に基づくその他の杭</td> </tr> <tr> <td>規 格 等</td> <td>JIS A 5373の規格品</td> <td>JIS A 5372</td> <td>JIS A 5373</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>区 分 等</td> <td>B1 種</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>長さ(m)</td> <td>6.0m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断面寸法(mm)</td> <td>600φ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期設計支持力(七/本)</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継手箇所及び工法</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>先端形状</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎専門工事業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出する。</p> <p>◎工 法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち込み工法 : プレボリング掘削長さGL- m, オーガー径 mm ○特定埋込杭工法 : 建築基準法による。 ・セメントミルク工法 : プレボリング掘削長さGL- m, オーガー径 mm <p>◎杭の設計支持力(図示)kN/本</p> <p>◎打ち込み工法の推定支持力の計算方法は、()とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭の水平方向の位置ずれの精度は、()mm以下とする。なお、ずれが()mmを超えた場合は、監督員の指示を受ける。 <p>◎特定埋込杭工法における支持地盤の位置及び種類は図示とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭の水平方向の位置ずれの精度は、(100)mm以下とする。 <p>◎セメントミルク工法におけるアースオーガーの支持地盤への掘削長さ()m, 杭の支持地盤への根入・深さ()m</p> <p>◎セメントミルク工法における支持地盤の位置及び種類は図示とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭の水平方向の位置ずれの精度は、()mm以下とする。なお、ずれが()mmを超えた場合は、監督員の指示を受ける。 <p>◎専門工事業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。</p> <p>◎杭の現場継手の形状は、JIS A 5525による。</p> <p>◎継手の施工に当たっては、上下杭の軸線を同一線上に合わせる。</p> <p>◎杭の現場継手の溶接は、原則として半自動又は自動のアーク溶接とする。</p> <p>◎溶接は粒径4.3.6(C)(1), (2), 及び(3)の技術者が行う。</p> <p>◎溶接施工は粒径4.3.6(d)による。</p> <p>◎溶接部の確認は、 粒径7.6.10に準じ行うこととし、確認結果の記録を監督職員に提出し、不合格溶接がある場合は粒径7.6.12により補修を行う。</p> <p>◎溶接後は溶接部を急冷しないように、適切な時間をかけて打ち込みを再開する。</p> <p>◎杭頭処理は、鋼製バンド等を使用し、10cm程度は手はつりとする。</p> <p>◎杭頭の処理は粒径4.3.7による。</p> <p>◎杭頭の補強材は杭の継手に準じて溶接されるものとする。</p> <p>◎使用機械は、オーガーの駆動電動機の電流値の変化が自動記録できるものを装備する。</p> <p>◎支持層の確認は、掘削した土砂を確認し、監督員の承認を受けること。</p>	杭の種類	PHC杭	SC杭	PRC杭	-	種 類	遠心力高強度・プレストレストコンクリート杭	外殻鋼管付・コンクリート杭	プレストレスト鉄筋コンクリート杭	建築基準法に基づくその他の杭	規 格 等	JIS A 5373の規格品	JIS A 5372	JIS A 5373	-	区 分 等	B1 種	-	-	-	長さ(m)	6.0m				断面寸法(mm)	600φ				長期設計支持力(七/本)	図示				継手箇所及び工法	図示				先端形状	図示				② 材料試験	③ 加工及び組立て	④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	⑤ 帯筋	⑥ 梁貫通孔補強	⑦ ガス圧接	⑧ 配筋検査	① 一般事項	② 材料																								
杭の種類	PHC杭	SC杭	PRC杭	-																																																																											
種 類	遠心力高強度・プレストレストコンクリート杭	外殻鋼管付・コンクリート杭	プレストレスト鉄筋コンクリート杭	建築基準法に基づくその他の杭																																																																											
規 格 等	JIS A 5373の規格品	JIS A 5372	JIS A 5373	-																																																																											
区 分 等	B1 種	-	-	-																																																																											
長さ(m)	6.0m																																																																														
断面寸法(mm)	600φ																																																																														
長期設計支持力(七/本)	図示																																																																														
継手箇所及び工法	図示																																																																														
先端形状	図示																																																																														
5章 鉄筋工事		① 材料	<table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A SD345 SD390</td> <td>D10~D16 D19~D29 D29~D39</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接金鋼及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状： 寸法： 径：</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎材料試験は行わない。</p> <p>ただし、規格証明書を提出し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎鉄筋の継手は(重ね継手・ガス圧接継手・特殊継手)とする。</p> <p>◎鉄筋の継手の位置は図示による。</p> <p>◎結束線の端部は内側に折り曲げる。</p> <p>◎柱、梁の主筋は、ガス圧接継手とする。</p> <p>◎耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは()mmとする。</p> <p>◎先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。</p> <p>◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承認を得ること。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。</p> <p>◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</p> <p>◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</p> <p>◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、 粒径表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。</p> <p>◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。</p> <p>◎杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭先端からとする。</p> <p>◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、 粒径参考図【1節-基礎及び基礎梁の配筋】～【7節-梁貫通孔その他配筋】による。</p> <p>◎形の種別は構造図による。</p> <p>◎補強形式 鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。</p> <p>◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎圧接技量資格者は、工事に相応したJIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者とする。</p> <p>◎検査は、外観検査及び(引張試験 ◎超音波探傷試験)による。</p> <p>◎切取り部分の継手は、(圧接・重ね継手)とする。</p> <p>◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督員の検査を受ける。</p>	規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345 SD390	D10~D16 D19~D29 D29~D39	-	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	-	-	JIS G 3551	溶接金鋼及び鉄筋格子	網目の形状： 寸法： 径：		② 材料試験	③ 加工及び組立て	④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	⑤ 帯筋	⑥ 梁貫通孔補強	⑦ ガス圧接	⑧ 配筋検査	① 一般事項	② 材料																																																			
規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)																																																																												
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345 SD390	D10~D16 D19~D29 D29~D39																																																																												
-	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	-	-																																																																												
JIS G 3551	溶接金鋼及び鉄筋格子	網目の形状： 寸法： 径：																																																																													
6章 コンクリート工事		① 一般事項	<p>◎設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 F_c(N/mm²)</th> <th>調管理理強度 F_n(N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>強度試験の有無</th> <th>種別</th> <th>気乾単位容積重量(七/ m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18</td> <td></td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td>2.3七/m³</td> <td>捨てコンクリート</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18</td> <td></td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>21</td> <td></td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>防水押さえコブット</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>27</td> <td>30,33</td> <td>15</td> <td>有</td> <td></td> <td>"</td> <td>基礎、基礎梁、床</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>27</td> <td>30,33</td> <td>18</td> <td>有</td> <td></td> <td>"</td> <td>上部躯体</td> </tr> </table> <p>◎構造体コンクリートの調管理理強度は、設計基準強度(F_c)に構造体強度補正值(S)を加えた値とする。なお、構造体強度補正值(S)は、 粒径表6.3.2 によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材料28日までの予想平均気温に応じて定める。</p> <p>◎コンクリートの強度試験</p> <p>コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4節強度確認 ・公共試験機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。 <p>◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、 粒径表6.2.3 による。</p> <p>◎合板せき板を用いる打放し上げの種類は(A・B・C)種とする。</p> <p>◎コンクリートの仕上りの平たんさは 粒径表6.2.5 による。</p>	コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	調管理理強度 F _n (N/mm ²)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積重量(七/ m ³)	適用箇所	普通	18		18			2.3七/m ³	捨てコンクリート	普通	18		18			"	土間コンクリート	普通	21		18			"	防水押さえコブット	普通	27	30,33	15	有		"	基礎、基礎梁、床	普通	27	30,33	18	有		"	上部躯体	② 一般事項	② 材料	① 一般事項	② 材料																								
コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	調管理理強度 F _n (N/mm ²)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積重量(七/ m ³)	適用箇所																																																																								
普通	18		18			2.3七/m ³	捨てコンクリート																																																																								
普通	18		18			"	土間コンクリート																																																																								
普通	21		18			"	防水押さえコブット																																																																								
普通	27	30,33	15	有		"	基礎、基礎梁、床																																																																								
普通	27	30,33	18	有		"	上部躯体																																																																								
7章 鉄骨工事		① 一般事項	<p>◎製作工場は、国土交通大臣の認定による(R)グレード工場とし、その証明となる資料を監督職員に提出する。</p> <p>◎鉄骨製作工場には施工管理技術者を(置く・置かなくともよい)</p> <p>◎工事現場には、鉄骨製作工場名等を記載した板(30×35×45cm)XH.4.9.30 住指発第347号を掲示すること。</p> <p>◎鋼材は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>規格番号・規格名称等</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td></td> <td>ブレース</td> </tr> <tr> <td>SN400A</td> <td></td> <td>小梁</td> </tr> <tr> <td>SN400B・SN490B</td> <td></td> <td>内ダイアフラム、大梁</td> </tr> <tr> <td>SN490C</td> <td></td> <td>通しダイアフラム</td> </tr> <tr> <td>BCR295</td> <td></td> <td>柱</td> </tr> </table> <p>*詳細は構造図による</p> <p>◎高力ボルトは、(JIS形高力ボルト2種 トルシア形高力ボルト2種・溶融亜鉛めっき高力ボルト)とする。径、適用箇所は図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号等</th> <th>規格名称等</th> <th>セットの種類</th> </tr> <tr> <td>建築基準法に基づき指定又は認定</td> <td>トルシア形高力ボルト</td> <td>2種(S10T)</td> </tr> <tr> <td>JIS B 1186</td> <td>JIS形高力ボルト</td> <td>2種(F10T)</td> </tr> <tr> <td>建築基準法に基づき指定又は認定</td> <td>溶融亜鉛めっき高力ボルト</td> <td>1種</td> </tr> </table> <p>◎普通ボルト及びナットの材質はJIS B 1180及びJIS B 1181とする。径は、適用箇所は図示による。</p> <p>◎構造用アンカーボルトの材質は(SS400) SD490)とする。</p> <p>◎溶接材料は、母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したもので、製作工場の通常使用のものとする。</p> <p>◎ターンバックル 鋼の種類(割棒式) バイブ式) ボルトの種類(羽子板ボルト)・両ねじボルト・アイボルト) ねじの呼び及びターンバックルの呼び長さは、(M6~M33)×()mmとする。</p> <p>◎デッキプレート 形状及び寸法は図示による。</p> <p>◎柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セメントは、JIS R 5210による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 ・混和材は、セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。 ・砂、配合比等は、製造所の仕様による。 ・無収縮モルタルの品質及び試験方法は、 粒径表7.2.6による。 	種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所	SS400		ブレース	SN400A		小梁	SN400B・SN490B		内ダイアフラム、大梁	SN490C		通しダイアフラム	BCR295		柱	規格番号等	規格名称等	セットの種類	建築基準法に基づき指定又は認定	トルシア形高力ボルト	2種(S10T)	JIS B 1186	JIS形高力ボルト	2種(F10T)	建築基準法に基づき指定又は認定	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種	② 材料	① 一般事項	② 材料																																											
種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所																																																																													
SS400		ブレース																																																																													
SN400A		小梁																																																																													
SN400B・SN490B		内ダイアフラム、大梁																																																																													
SN490C		通しダイアフラム																																																																													
BCR295		柱																																																																													
規格番号等	規格名称等	セットの種類																																																																													
建築基準法に基づき指定又は認定	トルシア形高力ボルト	2種(S10T)																																																																													
JIS B 1186	JIS形高力ボルト	2種(F10T)																																																																													
建築基準法に基づき指定又は認定	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種																																																																													

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 04	工事種別 建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. —
	図面名称 特記仕様書-4	縮尺 NON			校閲	担当	製図

章 項目	特記事項								
7章 鉄骨工事 ③ 材料試験	<p>◎JIS規格品は、材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎トルシア形高力ボルトは、製品に対する製造管理方法及び品質管理試験の結果を、監督員に提出し承諾を受けること。</p> <p>◎板厚方向の引張試験を(行う)・(行わない)。</p>								
④ 工作一般	<p>◎高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緑錆距離、ボルト間隔、ゲージ等は図示による。</p> <p>◎床書き現寸図は作成(する)・(しない)。</p> <p>◎鉄骨の製作精度は、改修標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる。 H12建告第1464号第二号(1)(X2)のただし書きによる補強は、「突き合わせ継手の食い違いのいずれの検査・補強マニュアル」による。</p> <p>◎仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎仮組を(実施する)・(実施しない)。</p> <p>◎すべり係数試験は(行う)・(行わない)。</p> <p>◎ショットプラスト又はグリットプラストにより摩擦面の表面粗度を50μmRz以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。 (1) 表面粗度測定機による測定 (2) プラスト機器の性能表による確認 (3) スプラインプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認 上記の方法により確認できない場合は、すべり係数試験(サンプル試験)を行い、すべり係数値0.45以上を確認すること。</p> <p>◎高力ボルトを工事現場に搬入後、JIS形高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を(行う)・(行わない)。</p> <p>◎確認試験の数量は、呼びごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。</p> <p>◎トルシア形高力ボルトは、軸力の確認試験を(行う)・(行わない)。</p> <p>◎締付け施工法の確認は、JASS6 6.3(締付け施工法の確認)に準じる。</p> <p>◎普通ボルトの戻止めは(二重ナット)・ナットの溶接・ゆるみ防止用特殊ナット)による。 ただし、母屋・鋼鉄類の取付用ボルトは、戻止めを省略する。</p>								
⑤ 高力ボルト接合	<p>◎溶接作業は、工場作業を原則とする。 ただし、やむを得ない場合は監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎溶接技能者に対して、技量付加試験を(行う)・(行わない)。</p> <p>◎開先の形状は構造図による。</p> <p>◎溶接部の余歪り高さは、JASS6 付則6(鉄骨精度検査基準)付表3(溶接)による。</p> <p>◎スカラップの形状は、図示による。</p> <p>◎エンドタブの切除は(行う)・(行わない)。行う場合は図示による。</p> <p>◎見隠れとなるエンドタブで疲労応力を受ける部分、又は配筋上支障となる部分は、5~10mmを預て切除する。</p> <p>◎完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を(行う)・(行わない)。 試験を行う場合の平均出核品質限界(AOQL)は(2.5%)・(4%)とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験の種類</th> <th>試験箇所</th> <th>試験数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波探傷試験</td> <td></td> <td></td> <td>第6水準</td> </tr> </tbody> </table>	試験の種類	試験箇所	試験数	備考	超音波探傷試験			第6水準
試験の種類	試験箇所	試験数	備考						
超音波探傷試験			第6水準						
⑥ 普通ボルト接合	◎素地ごしらえは、標準仕様表18.2.2(A・B・C)種とする。 *A種及びB種は製作工場で行うものとする。								
⑦ 溶接接合	◎塗料種別 鉄面 標準仕様書 表18.3.1の(A・B・C)種 亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.2の(A・B・C)種								
⑧ 錆止め塗装	◎塗装種別 鉄面 標準仕様書 表18.3.3の(A・B)種 (工場1回、現場1回) 亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.4の(A・B・C)種 (現場1回)								
⑨ 工事現場施工	◎耐火被覆材の接する面の塗装を(行う)・(行わない)。 行う場合の塗料の種類は(A・B)種とする。 <p>◎鉄骨建方の精度は、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書-6鉄骨工事付則-6鉄骨精度検査基準」による。 ただし以下のものは図面による。 ・特に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分。 ・軽微な構造物あるいは構造物の部分。</p> <p>◎建方用アンカーボルトを(使用する)・(使用しない)。</p> <p>◎構造用アンカーボルトを(使用する)・(使用しない)。</p> <p>◎構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法は図示による。</p> <p>◎アンカーボルトの保持及び埋込み工法は(A・B・C)種とする。</p> <p>◎柱底均しモルタル工法は(A・B)種とし、厚さは図示による。 A種の場合の無収縮モルタルは、製造所の仕様による。</p>								

章 項目	特記事項																																																																																																																																													
7章 鉄骨工事 ⑩ 軽量形鋼構造	◎普通ボルトには、二重ナットなどにより戻止めを行う。ただし、鋼縁、母屋縁は除く。 また、ボルト締め後のネジ山は、3山以上突出するようにする。																																																																																																																																													
⑪ 溶融亜鉛めっき工法	◎形鋼、鋼板類の亜鉛めっきは、標準仕様表14.2.2による。 ◎摩擦面の処理は、(プラスチック処理)・(リン酸塩処理)とする。 ◎プラスチック処理とする場合は、5.高力ボルト接合同様の方法で表面粗度50μmRz以上の確認を行う。 ◎リン酸塩処理とする場合は、すべり耐力等を確認するものとし、確認方法は(すべり試験)とする。 すべり試験の要領は、溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会の「めっき高力ボルト接合設計施工指針」による。																																																																																																																																													
8章 ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ① 押出成形セメント板	◎押出成形セメント板は、JIS A 5441による規格品とする。	種類 (外壁用、 間仕切用)	厚さ (mm)	巾き幅 (mm)	表面形状	ロックウール 充填の有無	パネルの 取付け工法	使用箇所	備考	外壁用	60	600	デザインパネル	無	B種	*図示																																																																																																																														
種類 (外壁用、 間仕切用)	厚さ (mm)	巾き幅 (mm)	表面形状	ロックウール 充填の有無	パネルの 取付け工法	使用箇所	備考																																																																																																																																							
外壁用	60	600	デザインパネル	無	B種	*図示																																																																																																																																								
9章 防水工事 ① 一般事項	◎防水下地の乾燥については、高周波水分計による地下水分の測定(8%以下)を行い、使用材料のメーカーの工法と確認し、工事を進めること。																																																																																																																																													
② アスファルト防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層の内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水 密着工法</td> <td>A-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根保護防水 密着断熱工法</td> <td>AI-1</td> <td rowspan="2">*図示</td> <td rowspan="2">断熱材：(材質)JIS A 9511によるA種押出法 4"厚のウレタン発泡材の保護紙3種(スキャンあり) (厚さ)・50mm 絶縁用シート：フラットヤンククロス70g/㎡ 保護コンクリート：こて仕上げ 水T80mm以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水 絶縁工法</td> <td>B-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水 絶縁断熱工法</td> <td>BI-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BI-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋根露出防水 絶縁工法</td> <td>D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根露出防水 絶縁断熱工法</td> <td>DI-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内防水 密着工法</td> <td>E-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎アスファルトは、JIS K 2207 の規格品3種とする。</p> <p>◎錆部押え金物は既成アルミニウム製とし、形状寸法は(L-30×15×2.0mm程度)とする。</p> <p>◎防水下地の立ち上がりコンクリートの仕上げは(打放しB種)とする。</p> <p>◎保護層の伸縮調整目地は成形伸縮目地とし、成形緩衝材はルーフィング類製造所の指定する製品とする。</p> <p>◎立上り部の保護は、(乾式工法)・(れんが押え)・(コンクリート押え)とする。</p> <p>◎屋上排水溝は図示する。</p> <p>◎合成高分子系ルーフィングシートは、JIS A 6008の規格品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-F1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> <td>歩行・野歩行用</td> <td>4.0+1.5. 1.5 mm</td> <td>図示</td> <td>アルミ箔付きクロスシート</td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-F1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-F2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-M1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-M2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-C1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎仕上げ塗料() 使用量()</p> <p>◎機械式固定工法の場合は、引抜き試験の結果に基づき、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速V0=(36) m/s 地表面粗度区分 I・II・(III)・IV)</p> <p>◎固定金具 材質(特殊塩ビ被覆鋼板) 形状寸法(製造所の仕様による) *住ベシート防止補助サンロイド DNI工法 同等品以上</p>	工法	種別	施工箇所	保護層の内容	備考	屋根保護防水 密着工法	A-1				A-2				A-3				屋根保護防水 密着断熱工法	AI-1	*図示	断熱材：(材質)JIS A 9511によるA種押出法 4"厚のウレタン発泡材の保護紙3種(スキャンあり) (厚さ)・50mm 絶縁用シート：フラットヤンククロス70g/㎡ 保護コンクリート：こて仕上げ 水T80mm以上		AI-2		屋根保護防水 絶縁工法	B-1				B-2				B-3				屋根保護防水 絶縁断熱工法	BI-1				BI-2				BI-3				屋根露出防水 絶縁工法	D-1				D-2				D-3				D-4				屋根露出防水 絶縁断熱工法	DI-1				DI-2				屋内防水 密着工法	E-1				E-2				種別	種類	厚さ	施工箇所	備考	S-F1		mm			S-F2		mm			S-M1		mm			S-M2	歩行・野歩行用	4.0+1.5. 1.5 mm	図示	アルミ箔付きクロスシート	S-M3		mm			SI-F1		mm			SI-F2		mm			SI-M1		mm			SI-M2		mm			S-C1		mm		
工法	種別	施工箇所	保護層の内容	備考																																																																																																																																										
屋根保護防水 密着工法	A-1																																																																																																																																													
	A-2																																																																																																																																													
	A-3																																																																																																																																													
屋根保護防水 密着断熱工法	AI-1	*図示	断熱材：(材質)JIS A 9511によるA種押出法 4"厚のウレタン発泡材の保護紙3種(スキャンあり) (厚さ)・50mm 絶縁用シート：フラットヤンククロス70g/㎡ 保護コンクリート：こて仕上げ 水T80mm以上																																																																																																																																											
	AI-2																																																																																																																																													
屋根保護防水 絶縁工法	B-1																																																																																																																																													
	B-2																																																																																																																																													
	B-3																																																																																																																																													
屋根保護防水 絶縁断熱工法	BI-1																																																																																																																																													
	BI-2																																																																																																																																													
	BI-3																																																																																																																																													
屋根露出防水 絶縁工法	D-1																																																																																																																																													
	D-2																																																																																																																																													
	D-3																																																																																																																																													
	D-4																																																																																																																																													
屋根露出防水 絶縁断熱工法	DI-1																																																																																																																																													
	DI-2																																																																																																																																													
屋内防水 密着工法	E-1																																																																																																																																													
	E-2																																																																																																																																													
種別	種類	厚さ	施工箇所	備考																																																																																																																																										
S-F1		mm																																																																																																																																												
S-F2		mm																																																																																																																																												
S-M1		mm																																																																																																																																												
S-M2	歩行・野歩行用	4.0+1.5. 1.5 mm	図示	アルミ箔付きクロスシート																																																																																																																																										
S-M3		mm																																																																																																																																												
SI-F1		mm																																																																																																																																												
SI-F2		mm																																																																																																																																												
SI-M1		mm																																																																																																																																												
SI-M2		mm																																																																																																																																												
S-C1		mm																																																																																																																																												

章 項目	特記事項																																																																																																										
9章 防水工事 ④ 塗膜防水	◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。	種別	施工箇所	備考	X-1			X-2	*図示	保護層無し	Y-1			Y-2			種別	施工箇所	種別	施工箇所	C-UI	床下ビット部分	CS-21	屋上(都市型訓練施設)	シーリング材の種類		目地寸法		接着性試験 (引張、高圧)	備考	記号	主成分及び硬化 機構による区分	幅	深さ	PU-2	ポリウレタン系	外部(図示)	20 10	下記による	打継、目地	PU-2	ポリウレタン系	外部(図示)	20 10	下記による	誘発目地	MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	6 3	下記による	天井目地	MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	20 10	下記による	金物取り合い	MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	50 10	下記による	金物取り合い	MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	15 10	下記による	建具廻り	PU-1	ポリウレタン系	内部(図示)	20 10	下記による	誘発目地(内部)	SR-1	シリコン系	内部(図示)	5 5	下記による	防カビ																									
種別	施工箇所	備考																																																																																																									
X-1																																																																																																											
X-2	*図示	保護層無し																																																																																																									
Y-1																																																																																																											
Y-2																																																																																																											
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																								
C-UI	床下ビット部分	CS-21	屋上(都市型訓練施設)																																																																																																								
シーリング材の種類		目地寸法		接着性試験 (引張、高圧)	備考																																																																																																						
記号	主成分及び硬化 機構による区分	幅	深さ																																																																																																								
PU-2	ポリウレタン系	外部(図示)	20 10	下記による	打継、目地																																																																																																						
PU-2	ポリウレタン系	外部(図示)	20 10	下記による	誘発目地																																																																																																						
MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	6 3	下記による	天井目地																																																																																																						
MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	20 10	下記による	金物取り合い																																																																																																						
MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	50 10	下記による	金物取り合い																																																																																																						
MS-2	変成シリコン系	外部(図示)	15 10	下記による	建具廻り																																																																																																						
PU-1	ポリウレタン系	内部(図示)	20 10	下記による	誘発目地(内部)																																																																																																						
SR-1	シリコン系	内部(図示)	5 5	下記による	防カビ																																																																																																						
⑦ 漏水試験																																																																																																											
⑧ 防水保証																																																																																																											
10章 石工事 ① 一般事項	◎石材の割付けは、図示により、割付図を作成し監督員の承諾を得ること。																																																																																																										
② 花こう岩類の石張り	◎粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げは図示による。	種類	品質	産地名	形状・寸法	表面仕上げ の種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所	御影石	2等品	中国	600×600 725	*図示		*図示	品質	産地名	仕上り 寸法・形状	表面仕上げ の種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所							種石の種類	大きさ	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	金物種類 形状・寸法	施工箇所									種類	品質	産地・ 名称	厚さ	仕上げ の種類	石表面 処理	金物等 の種類	目地幅	伸縮調整 目地位置	施工箇所											石材の 厚さ	石表面 処理	裏打ち 処理	下地 ごしらえ	目地幅	シーリング 目地寸法	伸縮調整 目地位置	受金物の材質 ・形状・寸法									石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地 位置・寸法	受金物の材質 ・形状・寸法								方式	石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地 位置・寸法							
種類	品質	産地名	形状・寸法	表面仕上げ の種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所																																																																																																					
御影石	2等品	中国	600×600 725	*図示		*図示																																																																																																					
品質	産地名	仕上り 寸法・形状	表面仕上げ の種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所																																																																																																						
種石の種類	大きさ	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	金物種類 形状・寸法	施工箇所																																																																																																				
種類	品質	産地・ 名称	厚さ	仕上げ の種類	石表面 処理	金物等 の種類	目地幅	伸縮調整 目地位置	施工箇所																																																																																																		
石材の 厚さ	石表面 処理	裏打ち 処理	下地 ごしらえ	目地幅	シーリング 目地寸法	伸縮調整 目地位置	受金物の材質 ・形状・寸法																																																																																																				
石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地 位置・寸法	受金物の材質 ・形状・寸法																																																																																																					
方式	石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地 位置・寸法																																																																																																					
③ 合成高分子系ルーフィングシート防水																																																																																																											
④ 内壁空積工法																																																																																																											
⑤ 乾式工法																																																																																																											

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 05	工事種別 建築	管理建築士 一級建築士 程野 祐介 第338983号	設計No. —
	図面名称 特記仕様書-5	縮尺 NON	校閲 NON	校閲 NON	設計年月日 2017.9
	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号			校閲 担当 製図	

章	項目	特記事項																																																																																																				
11章 タイル工事	① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	<p>◎伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は、図示の箇所及び標仕により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。</p> <p>◎下地のひび割れ誘発目地の位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。</p> <p>◎屋内のタイル張りにおいては、入隅部、建具枠回り及び設備器具との取合い部に伸縮調整目地を設ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施ゆ 無ゆ</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外装床</td> <td>100×100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎壁タイル張り工法()</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>◎タイルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎既製調合モルタルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>◎保水材の混入量は、実績等の資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施ゆ 無ゆ</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>型枠先付種別</th> <th>タイルの種類</th> <th>せき板の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>役物の使用場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施ゆ 無ゆ</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う ・ 行わない)。</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド・系防霉剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p>	施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考			I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無			外装床	100×100	0	0	0	0		0			施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考			I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無													型枠先付種別	タイルの種類	せき板の種類	施工箇所	役物の使用場所						施工場所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考			I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無												
	施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																												
		I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無																																																																																															
外装床	100×100	0	0	0	0		0																																																																																															
施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																													
		I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無																																																																																															
型枠先付種別	タイルの種類	せき板の種類	施工箇所	役物の使用場所																																																																																																		
施工場所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																													
		I類 II類 III類	施ゆ 無ゆ	有 無	標準 特注	適用	有 無																																																																																															
3. 接着剤による陶磁器質タイル張り																																																																																																						
4. 陶磁器質タイル型枠先付																																																																																																						
5. 有機質接着剤																																																																																																						

章	項目	特記事項																																													
12章 木工事	① 一般事項	<p>◎工事現場搬入時の含水率は(A)・(B)種とする。</p> <p>◎木材の品質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材は、「製材の日本農林規格」による。 ・丸太は、「素材の日本農林規格」による皮はぎ材とする。 ・保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち、K2からK4までの保存処理(JIS K 1570)(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし、クレスノート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年法律第112号)に適合したものとする。)、これと同等の薬剤を用いた K2からK4までの薬剤の浸透度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。)が施されているもの又は認証木材建材(AQマーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする。 ・樹種及び等級 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>材料の等級</th> <th>形状</th> <th>表面の仕上げ</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">下地材</td> <td>床組</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>A種</td> <td>---</td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">造作材</td> <td>開口・窓木</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>A種</td> <td>A・C・D</td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和室造作</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>A種</td> <td>A・C・D</td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法	材料の等級	形状	表面の仕上げ	含水率	備考	下地材	床組	杉	図示	A種	---	15%以下						---							---			造作材	開口・窓木	杉	図示	A種	A・C・D	15%以下		和室造作	杉	図示	A種	A・C・D	15%以下	
施工箇所	樹種	寸法	材料の等級	形状	表面の仕上げ	含水率	備考																																								
下地材	床組	杉	図示	A種	---	15%以下																																									

造作材	開口・窓木	杉	図示	A種	A・C・D	15%以下																																									
	和室造作	杉	図示	A種	A・C・D	15%以下																																									

章	項目	特記事項																																																																																																																														
12章 木工事	② 製材	<p>◎「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>腐食材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>腐食材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>腐食材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>腐食材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (A種・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の造作用集材材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材の等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>船設置</td> <td>ナラ</td> <td>図示</td> <td>1級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎普通合板 ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の普通合板を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>9.0</td> <td>ラワン</td> <td>1類</td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎構造用合板 ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の構造用合板を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>12.0</td> <td>杉</td> <td>1類</td> <td>C-D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎パーティクルボード ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のパーティクルボードを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>20.0</td> <td></td> <td></td> <td>M</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎構造用パネル ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の構造用パネルを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎下地材及び造作材 の釘は、JIS A 5508の規格品とする。</p> <p>◎木ねじはJIS B 1112(十字穴付き木ねじ)又はJIS B 1135の規格品とする。</p> <p>◎かすがい、座金、箱金物、短ざく金物等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として、日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。</p>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用								施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用								施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用								施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	腐食材等の適用				() 造作材の場合 (A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない			施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材の等級	備考	船設置	ナラ	図示	1級		施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考	図示	9.0	ラワン	1類	2等					施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考	図示	12.0	杉	1類	C-D					施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	備考	図示	20.0			M			施工箇所	厚さ(mm)	等級	備考				
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用																																																																																																																									
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	腐食材等の適用																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	腐食材等の適用																																																																																																																									
			() 造作材の場合 (A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材の等級	備考																																																																																																																												
船設置	ナラ	図示	1級																																																																																																																													
施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考																																																																																																																								
図示	9.0	ラワン	1類	2等																																																																																																																												
施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考																																																																																																																								
図示	12.0	杉	1類	C-D																																																																																																																												
施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	備考																																																																																																																										
図示	20.0			M																																																																																																																												
施工箇所	厚さ(mm)	等級	備考																																																																																																																													
③ 造作用集材材																																																																																																																																
④ 床張り用合板等																																																																																																																																
⑤ 諸金物																																																																																																																																

章	項目	特記事項												
13章 屋根及びびとい工事	⑥ 防霉・防蟻処理	<p>◎防霉処理に用いる木材保存剤は人体への安全性及び環境について配慮した表面処理用木材保存剤((社)・日本木材保存協会の認定薬剤等とする。)とし、2回塗りとする。</p> <p>◎防蟻処理は、(社)日本木材保存協会及び(社)日本しろあり対策協会の認定品とし、2回塗り又は吹き付け・とし、次の表の箇所及び部分に行うものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防蟻処理の施工箇所及び施工部分の名称</th> <th>塗り面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台、火打土台、大引き、1階根太受け、大引き・根太受け床束等</td> <td>全 面</td> </tr> <tr> <td>大壁造りの土台上端より、1m以内の部分にある柱、欄柱、筋違、窓台等</td> <td>全 面</td> </tr> <tr> <td>真壁造りの土台上端より、30cm以内の部分にある柱、欄柱、筋違等</td> <td>全 面</td> </tr> <tr> <td>土台上端より、1m以内の部分にあるモルタル塗ラテラス張り下地板</td> <td>全 面</td> </tr> <tr> <td>1階窓台等</td> <td>全 面</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎木材の防霉・防蟻処理は工場において(加圧処理法 ・ 拡散処理法 ・ 浸漬処理法)により行い、十分乾燥した後に現場へ搬入すること。</p> <p>ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。</p> <p>また、工場で処理した木材を使用する場合は、次によること。</p> <p>①各種製材の「日本農林規格」の保存処理 のK2からK4までの区分 によるものを使用する。</p> <p>②JIS A 9108(土台用加圧式防霉処理木材)によるものを使用する。</p> <p>③人体への安全性及び環境への影響について配慮され、かつ、JIS K 1570(木防腐剤)又は日本木材保存協会規格による加圧注入用木材防霉剤を用いて、JIS A 9002(木材の加圧式 保存処理方法)による加圧式保存処理を行ったものを使用する。</p> <p>④防霉・防蟻に有効な薬剤が混入された接着剤を使用する場合等は、特記による。</p> <p>⑤認証木材建材(AQマーク表示品)として認証された保存処理材を使用する。</p> <p>◎木材保存(防霉・防蟻処理)剤は監督員の承認するものとする。</p> <p>◎継手、仕口、取付け方法等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。</p> <p>◎ホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防霉剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p>	防蟻処理の施工箇所及び施工部分の名称	塗り面	土台、火打土台、大引き、1階根太受け、大引き・根太受け床束等	全 面	大壁造りの土台上端より、1m以内の部分にある柱、欄柱、筋違、窓台等	全 面	真壁造りの土台上端より、30cm以内の部分にある柱、欄柱、筋違等	全 面	土台上端より、1m以内の部分にあるモルタル塗ラテラス張り下地板	全 面	1階窓台等	全 面
	防蟻処理の施工箇所及び施工部分の名称	塗り面												
土台、火打土台、大引き、1階根太受け、大引き・根太受け床束等	全 面													
大壁造りの土台上端より、1m以内の部分にある柱、欄柱、筋違、窓台等	全 面													
真壁造りの土台上端より、30cm以内の部分にある柱、欄柱、筋違等	全 面													
土台上端より、1m以内の部分にあるモルタル塗ラテラス張り下地板	全 面													
1階窓台等	全 面													
⑦ 工法														
⑧ 接着剤														

章	項目	特記事項																																
13章 屋根及びびとい工事	① 一般事項	<p>◎屋根葺き材、緊結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等</p> <p>基準風速 $V_0 = (36) m/s$</p> <p>地表面粗度区分 (I ・ II ・ III ・ IV)</p> <p>積雪区分 建設省告示第1455号 別表()</p> <p>◎屋根葺き形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横葺 ○ 瓦葺葺(芯木なし) パネルーフ ・ 平葺(一文字葺き ・ ひし形葺き) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類(JIS規格名称)</th> <th>JIS規格番号</th> <th>鋼板の厚さ(mm)</th> <th>めっき付着量</th> <th>塗膜の耐久性の種類</th> <th>下葺材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庇(風除室前)</td> <td>建設省告示第1455号別表に示す鋼板</td> <td>JIS G 3322</td> <td>0.45</td> <td>AZ150</td> <td>フッ素樹脂</td> <td>改質アスファルトルーフィング</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎指定のない付属材料は、屋根葺工法に応じた専門工事業者の仕様による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎折板は、JIS A 6514(金属製折板屋根構成材)による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>鋼板の厚さ(mm)</th> <th>塗装面</th> <th>形式</th> <th>山高(mm)</th> <th>山ピッチ</th> <th>耐力</th> <th>軒先面戸の適用</th> <th>裏打ち材の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庇(準前)</td> <td>0.8</td> <td>素地</td> <td>重ね形</td> <td>150</td> <td>250</td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類(JIS規格名称)	JIS規格番号	鋼板の厚さ(mm)	めっき付着量	塗膜の耐久性の種類	下葺材料	庇(風除室前)	建設省告示第1455号別表に示す鋼板	JIS G 3322	0.45	AZ150	フッ素樹脂	改質アスファルトルーフィング	施工箇所	鋼板の厚さ(mm)	塗装面	形式	山高(mm)	山ピッチ	耐力	軒先面戸の適用	裏打ち材の有無	庇(準前)	0.8	素地	重ね形	150	250		有	無
	施工箇所	種類(JIS規格名称)	JIS規格番号	鋼板の厚さ(mm)	めっき付着量	塗膜の耐久性の種類	下葺材料																											
庇(風除室前)	建設省告示第1455号別表に示す鋼板	JIS G 3322	0.45	AZ150	フッ素樹脂	改質アスファルトルーフィング																												
施工箇所	鋼板の厚さ(mm)	塗装面	形式	山高(mm)	山ピッチ	耐力	軒先面戸の適用	裏打ち材の有無																										
庇(準前)	0.8	素地	重ね形	150	250		有	無																										
② 長尺金属板葺き																																		
③ 折板葺																																		

章	項目	特記事項
13章 木工事	④ とい	<p>◎標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。また、タイトフレーム、ければ納めは屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎縦とい(カラーVP) 径(100)</p> <p>◎横とい(カラーVP) 径(75)</p> <p>◎軒とい 材種(ガルバリウム鋼板t0.4)</p> <p>◎防露の施工箇所は図示により、図示のもの以外は標仕13.5.3(d) による。ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のロックウール又はグラスウール保温筒を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <p>◎鋼管製といの防露巻きは、図示による。それ以外の場合は、標仕13.5.5により行う。</p> <p>◎硬質塩化ビニル雨どいの[本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。</p> <p>◎ルーフトレインの種類(陸屋根用(縦型・横型))</p> <p>◎ルーフトレインの製造所： 評価名簿による。</p> <p>◎ルーフトレイン及びびといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。</p> <p>◎さがり止めは図面により、図示のもの以外は標仕13.5.3(a)(X4)又は13.5.3(e)(2)による。</p>

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 06	工事種別 建築	管理建築士 一級建築士 程野 祐介 第338983号	設計No. —
	図面名称 特記仕様書-6	縮尺 NON	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	校閲 担当 製図	設計年月日 2017.9

14章 金属工事	① 一般事項	<p>◎製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験を(行)・行わない)。 設計用引張強度は、()kNとする。</p> <p>◎ステンレス</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面仕上げの種類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>SUS 304</td><td>HL</td><td>全般</td></tr> <tr><td>SUS 304</td><td>サンドブラスト処理仕上げ</td><td>箱文字サイン</td></tr> </table> <p>◎アルミニウム及びアルミニウム合金</p> <table border="1"> <tr><th>表面処理の種類</th><th>被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色合等</th><th>表面処理の試験方法</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>B-1</td><td>B：二次電解着色・無着色</td><td></td><td>図示</td></tr> <tr><td>B-2</td><td>B：二次電解着色・<i>アノカ-</i></td><td></td><td>図示</td></tr> </table> <p>◎鉄鋼の亜鉛めっき</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>表面処理方法</th><th>めっきの種類</th><th>記号又は等級</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>A種</td><td>溶融亜鉛めっき</td><td>2種</td><td>HDZ55</td><td>外部</td></tr> <tr><td>F種</td><td>電気亜鉛めっき</td><td>-</td><td>3級</td><td>内部</td></tr> </table> <p>◎亜鉛めっきの試験は(行)・(行わない)。 試験方法()</p> <p>◎溶接及びろう付けによる接合は、各表面仕上げの種類別の皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、標準仕14.2.3による。</p> <p>◎鉄の溶接は、7章「鉄骨工事」に準ずる。</p> <p>◎野縁などの種類：屋内19形、屋外25形とし、標準仕 表14.4.1による。</p> <p>◎耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティ-天井等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0=(36) \text{ m/s}$ 地表面粗度区分 (I・II・(III)・IV) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表()</p> <p>◎スタッド、ランナーの種類は、標準仕様書14.5.3(表14.5.1)による。</p> <table border="1"> <tr><th>材種</th><th>表面仕上げ</th><th>直径</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr> <tr><td>ステンレス製</td><td>研磨無し</td><td>図示</td><td>タラップ</td><td></td></tr> <tr><td>樹脂製</td><td></td><td>図示</td><td>手摺(屋内階段)</td><td></td></tr> <tr><td>スチール製</td><td>SOP塗装</td><td>図示</td><td>手摺(屋内階段)</td><td></td></tr> <tr><td>スチール製</td><td>溶融亜鉛めっき(HDZ55)</td><td>図示</td><td>手摺(屋外階段)</td><td></td></tr> </table> <p>◎手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。</p> <table border="1"> <tr><th>材種</th><th>寸法</th><th>形式</th><th>外枠</th><th>内枠</th></tr> <tr><td>アルミ製</td><td>600×600</td><td>一般形</td><td>屋内用</td><td>目地</td></tr> <tr><td>アルミ製</td><td>450×450</td><td>一般形</td><td>屋内用</td><td>目地</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <table border="1"> <tr><th>材種</th><th>寸法</th><th>形式</th><th>備考</th></tr> <tr><td>SUS 304</td><td>600×600</td><td>密閉形</td><td>屋内用 ホルト固定・防水・防臭型</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	種類	表面仕上げの種類	施工箇所	SUS 304	HL	全般	SUS 304	サンドブラスト処理仕上げ	箱文字サイン	表面処理の種類	被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色合等	表面処理の試験方法	施工箇所	B-1	B：二次電解着色・無着色		図示	B-2	B：二次電解着色・ <i>アノカ-</i>		図示	種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施工箇所	A種	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	外部	F種	電気亜鉛めっき	-	3級	内部	材種	表面仕上げ	直径	取付箇所	備考	ステンレス製	研磨無し	図示	タラップ		樹脂製		図示	手摺(屋内階段)		スチール製	SOP塗装	図示	手摺(屋内階段)		スチール製	溶融亜鉛めっき(HDZ55)	図示	手摺(屋外階段)		材種	寸法	形式	外枠	内枠	アルミ製	600×600	一般形	屋内用	目地	アルミ製	450×450	一般形	屋内用	目地	材種	寸法	形式	備考	SUS 304	600×600	密閉形	屋内用 ホルト固定・防水・防臭型	15章 左官工事	⑤ 仕上げ塗材仕上げ	<p>◎仕上げ塗材は、JIS A 6909(建築用仕上げ塗材)による。なお、下塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>上塗材</th><th>仕上げの形状</th><th>耐候性</th><th>工法</th><th>防火認定</th><th>下地仕上</th><th>下地調整</th></tr> <tr><td>複層仕上</td><td>CE</td><td>水系アクリル</td><td>ゆず肌</td><td>耐候形3種</td><td>ローラー</td><td>不燃</td><td>RC(B種)</td><td>C-1</td></tr> <tr><td>防水形複層塗材</td><td>E</td><td>水系アクリル</td><td>ゆず肌</td><td></td><td>ローラー</td><td></td><td>RC(B種)</td><td>C-1</td></tr> </table> <p>◎建物内部に使用するコリア樹脂等(コリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、(「☆☆☆☆」・「☆☆☆」)とする。</p> <p>◎下地処理として内壁ALCパネルの目地部の形状は、()とする。</p> <p>◎所要量等の確認は、(標準仕 表15.5.4、単位面積当たりの使用量)による。</p> <p>◎ロックウールは、JIS A 9504により建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。ロックウールのホルムアルデヒド放散量は、(「☆☆☆☆」・「☆☆☆」)とする。</p> <p>◎接着剤のホルムアルデヒド放散量は、「☆☆☆☆」とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、「☆☆☆☆」の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>◎吹付厚さ (図示)</p> <p>◎吹付完了後、施工者の施工管理担当者は、厚さ及びかさ比重の検査を行い、合格後、防火材料の認定マークを1面2か所以上貼り付けること。</p>	種類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐候性	工法	防火認定	下地仕上	下地調整	複層仕上	CE	水系アクリル	ゆず肌	耐候形3種	ローラー	不燃	RC(B種)	C-1	防水形複層塗材	E	水系アクリル	ゆず肌		ローラー		RC(B種)	C-1	16章 左官工事	⑦ 建具用金物	<p>◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、 標準仕 表16.8.1 による。</p> <p>◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>◎樹脂製建具に使用する丁番は標準仕 表16.8.3による。</p> <p>◎握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。</p> <p>◎マスターキーは、製作する(3 組)。</p> <table border="1"> <tr><th>設置場所</th><th>壁面および目</th></tr> <tr><td>駆動方式</td><td>電気式</td></tr> <tr><td>センサー</td><td>無目センサー(感知範囲をドアより30cmにて設定できること)、フットスイッチ</td></tr> <tr><td>ドア開閉装置の種類</td><td></td></tr> <tr><td>ドア開閉方式</td><td>片引き、引き分け</td></tr> </table> <p>◎身障者仕様： - ◎製作所： 評価名簿による。</p> <table border="1"> <tr><th>設置場所</th><th>図示</th></tr> <tr><td>適用戸の総質量(kg)</td><td>標準仕様書による</td></tr> <tr><td>手動開き力(N)</td><td></td></tr> <tr><td>手動閉じ力(N)</td><td></td></tr> <tr><td>閉じ速度の調整</td><td></td></tr> <tr><td>制動距離</td><td></td></tr> <tr><td>開閉繰り返し</td><td></td></tr> <tr><td>耐衝撃性</td><td></td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <table border="1"> <tr><th>設置場所</th><th>図示</th></tr> <tr><td>強度</td><td>・50・80・120</td></tr> <tr><td>シャッターの種類</td><td>◎一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター</td></tr> <tr><td>開閉機能</td><td>◎ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式</td></tr> <tr><td>安全装置</td><td>急降下停止装置、障害物感知装置</td></tr> <tr><td>シャッターケース仕様</td><td>シャッターケース付き(鋼板製)</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <table border="1"> <tr><th>設置場所</th><th>図示</th></tr> <tr><td>強度</td><td>・50・65・85</td></tr> <tr><td>開閉装置</td><td>・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式</td></tr> <tr><td>安全装置</td><td></td></tr> <tr><td>スラット仕様</td><td></td></tr> <tr><td>シャッターケース仕様</td><td></td></tr> <tr><td>ガイドレール仕様</td><td></td></tr> <tr><td>中柱の補強</td><td></td></tr> <tr><td>座板</td><td></td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎耐風圧性能は、JIS A 4715により、その区分は()とする。</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>図示</th></tr> <tr><td>セクション材料</td><td>・スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</td></tr> <tr><td>開閉機能</td><td>・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</td></tr> <tr><td>収納形式による種類</td><td>◎スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</td></tr> <tr><td>ガイドレールの材質・厚さ</td><td>・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎板ガラス</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>品 種</th><th>厚 さ</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>フロートガラス</td><td>JIS規格品</td><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>型板ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>4</td><td></td></tr> <tr><td>透明強化ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>網入り型板ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>6.8</td><td></td></tr> <tr><td>複層ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>FL5+A6+FL5</td><td></td></tr> <tr><td>複層ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>FL5+A6+PW6.8</td><td></td></tr> <tr><td>耐熱ガラス</td><td>JIS規格品</td><td>8</td><td></td></tr> </table> <p>◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと。</p> <p>◎ガラス留め材の種類</p> <table border="1"> <tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th><th>ガラス溝の大きさ</th></tr> <tr><td>鋼 製</td><td>SR-1</td><td>標準仕 表16.14.1 による</td></tr> <tr><td>アルミニウム製</td><td>SR-1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>ステンレス製</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>木 製</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。</p>	設置場所	壁面および目	駆動方式	電気式	センサー	無目センサー(感知範囲をドアより30cmにて設定できること)、フットスイッチ	ドア開閉装置の種類		ドア開閉方式	片引き、引き分け	設置場所	図示	適用戸の総質量(kg)	標準仕様書による	手動開き力(N)		手動閉じ力(N)		閉じ速度の調整		制動距離		開閉繰り返し		耐衝撃性		設置場所	図示	強度	・50・80・120	シャッターの種類	◎一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター	開閉機能	◎ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	安全装置	急降下停止装置、障害物感知装置	シャッターケース仕様	シャッターケース付き(鋼板製)	設置場所	図示	強度	・50・65・85	開閉装置	・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式	安全装置		スラット仕様		シャッターケース仕様		ガイドレール仕様		中柱の補強		座板		使用箇所	図示	セクション材料	・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	開閉機能	・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	収納形式による種類	◎スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	ガイドレールの材質・厚さ	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	種類	品 種	厚 さ	備 考	フロートガラス	JIS規格品	5		型板ガラス	JIS規格品	4		透明強化ガラス	JIS規格品	5		網入り型板ガラス	JIS規格品	6.8		複層ガラス	JIS規格品	FL5+A6+FL5		複層ガラス	JIS規格品	FL5+A6+PW6.8		耐熱ガラス	JIS規格品	8		建具の種類	材 種	ガラス溝の大きさ	鋼 製	SR-1	標準仕 表16.14.1 による	アルミニウム製	SR-1	〃	ステンレス製			木 製			16章 建具工事	⑧ 自動ドア開閉装置	<p>◎自動ドア開閉装置</p>	16章 建具工事	⑨ 自閉式上吊り引戸装置	<p>◎自閉式上吊り引戸装置</p>	16章 建具工事	⑩ 重量シャッター	<p>◎重量シャッター</p>	16章 建具工事	11. 軽量シャッター	<p>◎軽量シャッター</p>	16章 建具工事	⑫ オーバーヘッドドア	<p>◎オーバーヘッドドア</p>	16章 建具工事	⑬ ガラス	<p>◎ガラス</p>
	種類	表面仕上げの種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																							
	SUS 304	HL	全般																																																																																																																																																																																																																																																							
SUS 304	サンドブラスト処理仕上げ	箱文字サイン																																																																																																																																																																																																																																																								
表面処理の種類	被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色合等	表面処理の試験方法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																							
B-1	B：二次電解着色・無着色		図示																																																																																																																																																																																																																																																							
B-2	B：二次電解着色・ <i>アノカ-</i>		図示																																																																																																																																																																																																																																																							
種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																						
A種	溶融亜鉛めっき	2種	HDZ55	外部																																																																																																																																																																																																																																																						
F種	電気亜鉛めっき	-	3級	内部																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	表面仕上げ	直径	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
ステンレス製	研磨無し	図示	タラップ																																																																																																																																																																																																																																																							
樹脂製		図示	手摺(屋内階段)																																																																																																																																																																																																																																																							
スチール製	SOP塗装	図示	手摺(屋内階段)																																																																																																																																																																																																																																																							
スチール製	溶融亜鉛めっき(HDZ55)	図示	手摺(屋外階段)																																																																																																																																																																																																																																																							
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																																						
アルミ製	600×600	一般形	屋内用	目地																																																																																																																																																																																																																																																						
アルミ製	450×450	一般形	屋内用	目地																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																							
SUS 304	600×600	密閉形	屋内用 ホルト固定・防水・防臭型																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐候性	工法	防火認定	下地仕上	下地調整																																																																																																																																																																																																																																																		
複層仕上	CE	水系アクリル	ゆず肌	耐候形3種	ローラー	不燃	RC(B種)	C-1																																																																																																																																																																																																																																																		
防水形複層塗材	E	水系アクリル	ゆず肌		ローラー		RC(B種)	C-1																																																																																																																																																																																																																																																		
設置場所	壁面および目																																																																																																																																																																																																																																																									
駆動方式	電気式																																																																																																																																																																																																																																																									
センサー	無目センサー(感知範囲をドアより30cmにて設定できること)、フットスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																									
ドア開閉装置の種類																																																																																																																																																																																																																																																										
ドア開閉方式	片引き、引き分け																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	図示																																																																																																																																																																																																																																																									
適用戸の総質量(kg)	標準仕様書による																																																																																																																																																																																																																																																									
手動開き力(N)																																																																																																																																																																																																																																																										
手動閉じ力(N)																																																																																																																																																																																																																																																										
閉じ速度の調整																																																																																																																																																																																																																																																										
制動距離																																																																																																																																																																																																																																																										
開閉繰り返し																																																																																																																																																																																																																																																										
耐衝撃性																																																																																																																																																																																																																																																										
設置場所	図示																																																																																																																																																																																																																																																									
強度	・50・80・120																																																																																																																																																																																																																																																									
シャッターの種類	◎一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター																																																																																																																																																																																																																																																									
開閉機能	◎ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式																																																																																																																																																																																																																																																									
安全装置	急降下停止装置、障害物感知装置																																																																																																																																																																																																																																																									
シャッターケース仕様	シャッターケース付き(鋼板製)																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	図示																																																																																																																																																																																																																																																									
強度	・50・65・85																																																																																																																																																																																																																																																									
開閉装置	・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式																																																																																																																																																																																																																																																									
安全装置																																																																																																																																																																																																																																																										
スラット仕様																																																																																																																																																																																																																																																										
シャッターケース仕様																																																																																																																																																																																																																																																										
ガイドレール仕様																																																																																																																																																																																																																																																										
中柱の補強																																																																																																																																																																																																																																																										
座板																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	図示																																																																																																																																																																																																																																																									
セクション材料	・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ																																																																																																																																																																																																																																																									
開閉機能	・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式																																																																																																																																																																																																																																																									
収納形式による種類	◎スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形																																																																																																																																																																																																																																																									
ガイドレールの材質・厚さ	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	品 種	厚 さ	備 考																																																																																																																																																																																																																																																							
フロートガラス	JIS規格品	5																																																																																																																																																																																																																																																								
型板ガラス	JIS規格品	4																																																																																																																																																																																																																																																								
透明強化ガラス	JIS規格品	5																																																																																																																																																																																																																																																								
網入り型板ガラス	JIS規格品	6.8																																																																																																																																																																																																																																																								
複層ガラス	JIS規格品	FL5+A6+FL5																																																																																																																																																																																																																																																								
複層ガラス	JIS規格品	FL5+A6+PW6.8																																																																																																																																																																																																																																																								
耐熱ガラス	JIS規格品	8																																																																																																																																																																																																																																																								
建具の種類	材 種	ガラス溝の大きさ																																																																																																																																																																																																																																																								
鋼 製	SR-1	標準仕 表16.14.1 による																																																																																																																																																																																																																																																								
アルミニウム製	SR-1	〃																																																																																																																																																																																																																																																								
ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																										
木 製																																																																																																																																																																																																																																																										
② 表面処理	<p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	③ 鋼製建具	<p>◎鋼製建具</p> <table border="1"> <tr><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th><th>面内変形追随性</th><th>使用箇所</th><th>表面処理</th></tr> <tr><td>S-5</td><td>A-3</td><td>W-1</td><td>T-2</td><td></td><td></td><td>図示</td><td>SOP</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	表面処理	S-5	A-3	W-1	T-2			図示	SOP	④ 鋼製軽量建具	<p>◎鋼製軽量建具</p> <table border="1"> <tr><th>気密性</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th><th>面内変形追随性</th><th>使用箇所</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>A-3</td><td>T-2</td><td></td><td></td><td>図示</td><td>焼付塗装</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	気密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	備 考	A-3	T-2			図示	焼付塗装	5. ステンレス製建具	<p>◎ステンレス製建具</p> <table border="1"> <tr><th>表面の仕上げ</th><th>曲げ加工の方法</th></tr> <tr><td>鋼板等：</td><td>くつずり： 普通曲げ ・ 角出し曲げ</td></tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	表面の仕上げ	曲げ加工の方法	鋼板等：	くつずり： 普通曲げ ・ 角出し曲げ	⑥ 木製建具	<p>◎木製建具</p> <p>◎建具材の含水率の種類は、(A ・ B ・ C)種とする。</p> <p>◎見込み寸法は、(図示)mmとする。</p> <p>◎フラッシュ戸の表面材の合板の品質について、ホルムアルデヒドの発散量は、「☆☆☆☆」とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、「☆☆☆☆」のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 その他は、標準仕16.7.2 (b)(1)(ii)(iii)による。</p> <p>◎表面板の厚さは、(図示)mmとする。</p> <p>◎かまち戸のかまち及び鏡板の材質は、()とする。</p> <p>◎ふすまの上張りは、(鳥の子 ・ 鶯鳥の子 ・ ビニル紙)とする。</p> <p>◎ふすまの縁の仕上げは、(塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(ウレタンクリアー塗装))とする。</p> <p>◎枠及びくつずりの材料(図示)とする。</p> <p>◎建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた塗作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、「☆☆☆☆」とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、「☆☆☆☆」でん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>																																																																																																																																																																																																																	
耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																			
S-5	A-3	W-1	T-2			図示	SOP																																																																																																																																																																																																																																																			
気密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																					
A-3	T-2			図示	焼付塗装																																																																																																																																																																																																																																																					
表面の仕上げ	曲げ加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼板等：	くつずり： 普通曲げ ・ 角出し曲げ																																																																																																																																																																																																																																																									
③ 溶接、ろう付け等	<p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	③ 鋼製建具	<p>◎鋼製建具</p>	④ 鋼製軽量建具	<p>◎鋼製軽量建具</p>	5. ステンレス製建具	<p>◎ステンレス製建具</p>	⑥ 木製建具	<p>◎木製建具</p>																																																																																																																																																																																																																																																	

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 07	工事種別 建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. -
	図面名称 特記仕様書-7	縮尺 NON			校閲	担当	製図

章	項目	特記事項
18章 塗装工事	① 一般事項	◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。 ◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。 ◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂, メラミン樹脂, フェノール樹脂, レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド・系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。 ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の塗料を・使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。
	② 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	
	③ クリヤーラッカー塗り(CL)	
	④ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	
	⑤ 耐候性塗料(DP)	
	⑥ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	
	⑦ 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EP)	
	⑧ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	
	⑨ 特殊塗装	◎コンクリート打放し面への耐候性塗料クリア塗り 参考メーカー: KM美化企画

区分	種別		素地	さび止め塗料		さび止め工程の種類	備考
鉄鋼面	A種	B種	C種	A種	A種	A種	

区分	種別	素地	備考
木部	B種	B種	

区分	種別	素地	備考
ケイカル面	B種	B種	

区分	工程種別	素地	上塗りの等級	備考
押出成形セメント版	A種	B種	2級	

区分	工程種別	素地	さび止め塗料	備考
木部	B種	B種		

区分	種別		素地	備考
PB面	屋外	屋内	A種	
	B種	B種		
ケイカル面	B種	B種	A種	

区分	種別	素地	備考
木部	B種	B種	

章	項目	特記事項
19章 内装工事	① ビニル床シート張, ビニル床タイル張及びゴム床タイル張	
	② カーペット敷き	
	③ 合成樹脂塗床	
	4. フローリング張り	
	⑤ 畳敷き	

材質	材種		色柄	厚さ	幅木			接着剤	施工箇所	備考
ビニル床シート	種類	記号	無地	2.0	材質	厚さ	高さ	糖仕表19.2.1	図示	
ビニル床タイル 500×500	CT		柄あり	2.0				糖仕表19.2.1	図示	帯電防止

◎ビニル幅木: 材質(軟質・硬質), 高さ(60・75・100), 厚さ()

種類	種別	品質	帯電性	厚さ	工法	防火性能	下敷	品質検査
タイルカーペット	第一種	ループパイル	1.0kW以下	6.0	全面接着	有り	PVC	

材質	仕上げの種類	備考
弾性ウレタン樹脂系塗り床	平滑仕上げ	
エポキシ樹脂系塗り床	防滑仕上げ	
防塵塗装塗り床	ウレタン樹脂系	

◎エポキシ樹脂系塗り床: 屋内駐車場専用防滑性エポキシ樹脂系塗り床
ABC商会「パーキングカート水性」同等品以上

◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂, メラミン樹脂, フェノール樹脂, レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド・系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の塗料を・使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

◎ホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆のフローリングを使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

種別	樹種	厚さ	寸法	模様	工法	釘・接着剤の種類	表面仕上げ・塗装

◎種別 (A・B・C・D)種
◎畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。

章	項目	特記事項
	⑥ セッコウボードその他ボード及び合板張り	
	⑦ 壁紙張り	
	⑧ 断熱・防露	
	⑨ 接着剤	

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考
セッコウボード JIS A 6901の規格品	壁・天井	突付(ベベル)	9.5 12.5	QM NM	ステンレス	LGS	
化粧セッコウボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	QM	ステンレス	LGS	
シーリングセッコウボード JIS A 6901の規格品	壁	突付(ベベル)	12.5	NM	ステンレス	LGS	
吸音用穴あきセッコウボード JIS A 6301の規格品							
強化セッコウボード JIS A 6901の規格品							

◎パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆のパーティクルボード及びMDFを使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	-	9.0	NM		LGS	フラット
ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品							
グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品							
ロックウール保温材 JIS A 9504の規格品							
木毛セメント版 JIS A 5404の規格品							
けい酸カルシウム版 JIS A 5430の規格品	壁 天井	突付	6.0	NM	ステンレス	LGS	
化粧けい酸カルシウム版 JIS A 5430の規格品	壁 天井	突付	6.0	NM	ステンレス	LGS	
火山性ガラス質複層板(VSボード) JIS A 5440の規格品							
普通合板 農林省告示第233号							
天然木化粧合板 農林省告示第233号							
特殊加工化粧板 農林省告示第233号							
難燃合板 農林省告示第1869号							
その他							

◎合板, パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の合板, パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

施工箇所	種類	防火性能の級別	素地	備考
図示	ビニル	不燃	B種	

◎ホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の壁紙を・使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

種類	種別	厚さ	工法	補修材	備考
押出法ポリイソシアネートフォーム	3種b	t30	現場敷込		
グラスウール	24kg/m3	t50	現場敷込		

◎ロックウール, グラスウール, ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

◎断熱材現場発泡工法

種類	厚さ	施工箇所	備考
硬質ウレタン吹付け	t30	図示による	A種1

◎製造所: 評価名簿による。

◎壁紙施工用でん粉系接着剤, ユリア樹脂等(ユリア樹脂, メラミン樹脂, フェノール樹脂, レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は, F☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの発散量が, F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	① フリーアクセスフロア	
	② 移動間仕切	
	③ トイレブース	
	④ 視覚障害者用床タイル	
	⑤ 階段滑り止め	
	⑥ 案内板・掲示板	
	⑦ 鏡(姿見)	
	⑧ 表示	
	9. ブラインド	
	10. カーテン及びカーテンレール	
	⑪ ブラインドボックス及びカーテンボックス	

施工箇所	構法	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
図示による	パネル構法	500×500	150	1G	3000N	ビニル床タイル	

※三洋工業(株)「サンアクセス300T」同等品

◎製造所: 評価名簿による。

◎タイルカーペットは, 帯電防止性能のある防災品とし, フリーアクセスフロアメーカー標準品を使用すること。厚(6)mm

◎施工にあたっては, 施工前にフリーアクセスパネル及びタイルカーペットの割付施工図を提出し, 承認後に製作施工を行うこと。

操作方式の種類	表面材の材質	表面仕上げ	遮音性	使用箇所	圧接装置	備考
手動式	GB-R12.5	ビニルクロス	有り	図示	有り	

※小松ウォール工業(株)「スライディングウォール80GF」同等品

表面材の種類	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
高圧メラミン(下地が・材・ト)	SUS幅木	Rエッジ		アルミ

※小松ウォール工業(株)「サニティTB-TPタイプ」同等品

◎製作所: 評価名簿による。

◎トイレブースのパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。
ただし, 正当な理由により確保が困難である場合等, ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆のトイレブースのパネルを使用できない場合は, 監督員と協議するものとし, 監督員の承諾を得るものとする。

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ
屋内	図示	磁器質タイル	300×300
屋外			

◎ブロックパターンはJIS T 9251による。

◎材種(SUS), 形状(タイヤレス式, オールステンレス), 寸法(35)

◎取付け方法は(埋込み工法・接着工法)とする。

◎詳細は部分詳細図による。

◎防湿性を有するもので, 厚さ5mmとする。

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ	備考
室内札	図示	図示	図示		
ピクトグラフ	図示	図示	図示		
衝突防止表示					
斤舎案内板					

◎案内用図記号はJIS Z 8210による。
◎詳細は共通詳細図による。

形式	構造	型
材質	構造	型
開閉方式		
スラット幅		

施工取付箇所	きれ地の種別, 品質, 特殊加工等(製造所)	ひだの種類	形式	引分装置	備考

◎カーテンレールは次による。
材種(), 形状(), 寸法()

◎補強鉄線の径

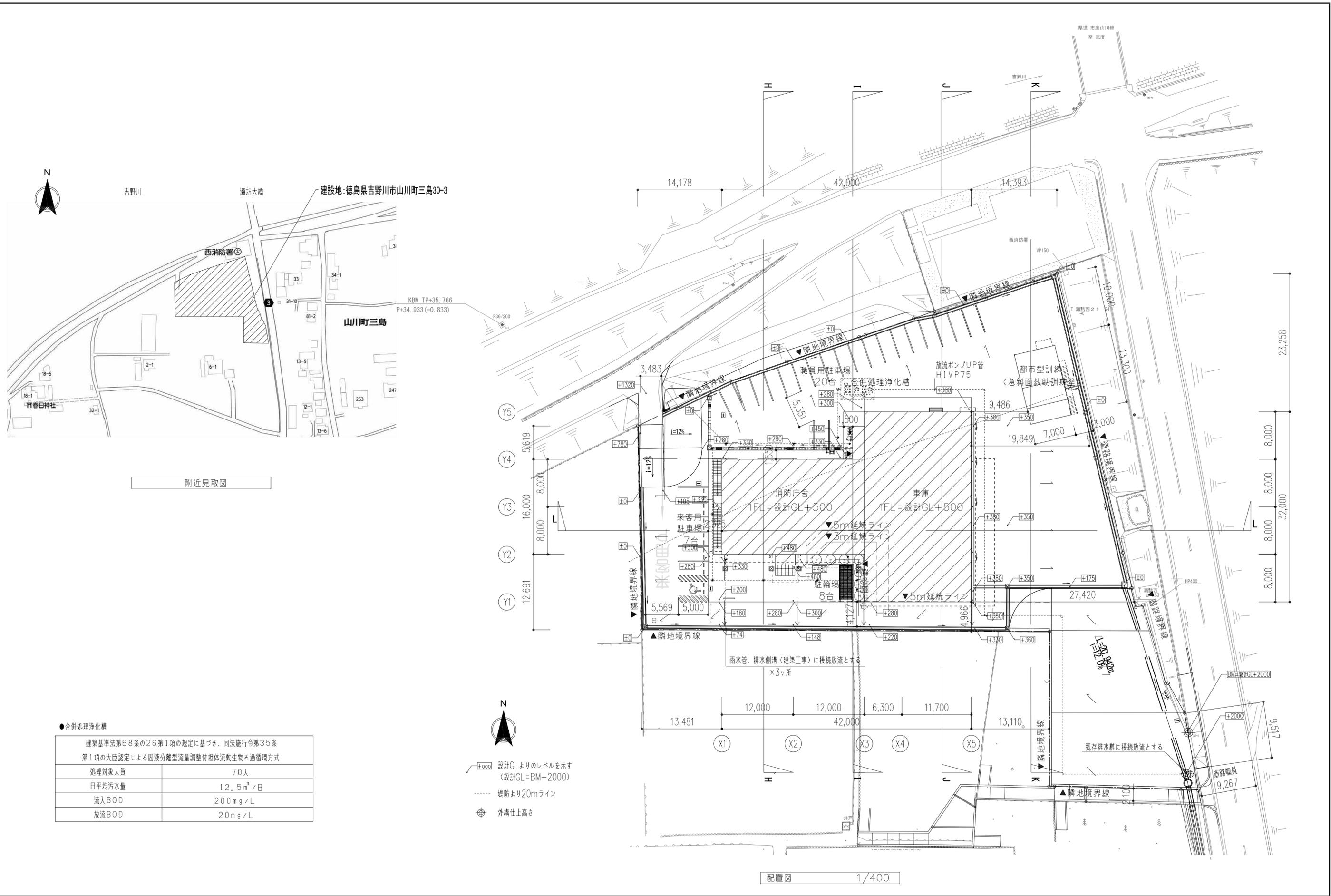
◎溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ○ 図示
材質・集材材(仕上):
○アルミニウム製
表面処理 ・ C-1 ○ C-2(・アンバー・ブロンズ・ブラック系○ステンカラー)
皮膜等の種類 ※標準仕様書14.2.1による
・鋼製(仕上):
・木製

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 08	工事種別 建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 第338983号	設計No. -
	図面名称 特記仕様書-8	縮尺 NON			校閲	担当	製図

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																		
20章 ユニット及その他の工事 ⑫ 流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システムキッチン</td> <td>3600</td> <td>650</td> <td>2500</td> <td>設置場所：厨房</td> </tr> <tr> <td>ミニキッチン</td> <td>1200</td> <td>500</td> <td>1900</td> <td>設置場所：給湯室</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎詳細は部分詳細図による。</p>	材種	寸法			備 考	W	D	H	システムキッチン	3600	650	2500	設置場所：厨房	ミニキッチン	1200	500	1900	設置場所：給湯室	22章 舗装工事 ① 路床	◎盛土材料(B種) ◎六価クロム溶出試験を(行う ・ <u>行わない</u>)。行った場合、土壤環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固材材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12.3.31 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。 ◎ジオテキスタイルを(使用する ・ <u>使用しない</u>)。 ◎路床土の支持力比(CBR)試験は(行う)(<u>乱した土</u>)(<u>乱さない土</u>) ・ 行わない) ◎路床締め度試験は(行う) ・ 行わない)。目標CBRは(6)以上とする。 *修正CBR試験で確認すること。 ◎砂の粒度試験は(行う) (<u>行わない</u>)。	23章 植栽工事 ① 一般事項	◎土壌の水素イオン濃度指数(pH)の試験は(行う ・ <u>行わない</u>)。 ◎土壌の電気伝導度(EC)等の試験は(行う ・ <u>行わない</u>) ◎植栽基盤整備工法は(A ・ B ・ C ・ ①)種とする。 ◎土壌改良材は(<u>適用する</u>) ・ 適用しない)。 材料 (バーク堆肥) 使用量 (50l/m ²) ◎有効土層の面積及び厚さは図示による。 ◎排水設備は(暗渠 ・ 開渠 ・ 排水層 ・ 縦穴排水) を設ける。 ◎樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものは図示による。 ◎植え込み用土は(現場発生土 ・ <u>客土</u>)とする。 客土は(土壌改良材バーク堆肥 50kg/m ²)とする。 ◎支柱丸太及び添え木丸太は、加圧式防腐処理丸太(ACQ処理)とする。 ◎支柱の形式は(添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形) とする。 ◎幹巻き用材料は、(幹巻き用テープ ・ わら及びこも) とする。 ◎新植樹木の枯補償期間は、引渡の日から(1 年) とする。 ◎移植樹木の枯損処置期間は、引渡の日から(1 年) とする。
材種	寸法			備 考																			
	W	D	H																				
システムキッチン	3600	650	2500	設置場所：厨房																			
ミニキッチン	1200	500	1900	設置場所：給湯室																			
13. フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・ 図示 ◎詳細は外構詳細図による。	② 路盤	◎路盤材料(RC-40)、車道部の厚さは(図示)mm ◎締固め試験は(行う) ・ 行わない)。	② 植 樹	◎芝張り、吹付けは種及び地被類 ◎芝張りの種類は(コウライ芝 ・ 野芝)とし、工法は(目地張り ・ ベタ張)とする。 客土は()とする。 ◎吹付けは種 ・吹付け面の土性及び硬度の測定は(行う ・ 行わない)。 ・種子の種類は()とする。 ・被覆養生は(行う ・ 行わない)。 ・養生剤の散布量は0.8~1.0L/m ² とし、全面散布する。 ◎枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。																		
⑭ 洗面カウンター	材種 ・ マラミン樹脂化粧板張り(心材：集成材) ◎ 人工大理石 奥行 ・ 約450 ◎約600 ◎詳細は部分詳細図による。	③ アスファルト舗装	◎再生加熱アスファルト混合物を(<u>使用する</u>) ・ しない)。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>表層、基層の別</th> <th>種 類</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加熱アスファルト混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト混合物</td> <td>表層</td> <td>密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	表層、基層の別	種 類	備 考	加熱アスファルト混合物				再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度アスファルト混合物(13)		4. 芝張り、吹付けは種及び地被類	◎芝張り ・芝の種類は(コウライ芝 ・ 野芝)とし、工法は(目地張り ・ ベタ張)とする。 客土は()とする。 ◎吹付けは種 ・吹付け面の土性及び硬度の測定は(行う ・ 行わない)。 ・種子の種類は()とする。 ・被覆養生は(行う ・ 行わない)。 ・養生剤の散布量は0.8~1.0L/m ² とし、全面散布する。 ◎枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。						
種 別	表層、基層の別	種 類	備 考																				
加熱アスファルト混合物																							
再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度アスファルト混合物(13)																					
15. 既製家具	◎合板、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の合板、MDF及びパーティクルボードを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。	④ コンクリート舗装	◎設計基準強度(24 N/mm ²)、スランプ(8)、粗骨材の最大寸法(20) ◎表面の仕上げ(平坦仕上げ) <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト</td> <td>図示</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)	アスファルト	図示	50	5. 屋上緑化	◎屋上緑化システム ・土壌層の厚さは図示による。 ・保水・排水層は(軽量骨材(層の厚さ：) ・ 板状成型品)とする。 ・植込み用土は、(改良土 ・ 人工軽量土)とする。 ・樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎屋上緑化軽量システム ・樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 ◎支柱の設置及び形式は図示による。 ◎かん水装置は(設置し、工事区分は図示による ・ 設置しない) ◎新植樹木の枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。 ◎枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。												
舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)																					
アスファルト	図示	50																					

21章 排水工事 ① 排水管	◎排水管材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>VP</td> <td>75、100、150</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材種	管の種類	呼び径	備考	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	75、100、150										⑤ 透水性アスファルト舗装	◎厚さ(図示) ◎開粒度アスファルト混合物の抽出試験は(行う ・ <u>行わない</u>)。 ◎舗装の平坦性は、著しい不陸がないものとする。	5. 屋上緑化	◎屋上緑化システム ・土壌層の厚さは図示による。 ・保水・排水層は(軽量骨材(層の厚さ：) ・ 板状成型品)とする。 ・植込み用土は、(改良土 ・ 人工軽量土)とする。 ・樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎屋上緑化軽量システム ・樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 ◎支柱の設置及び形式は図示による。 ◎かん水装置は(設置し、工事区分は図示による ・ 設置しない) ◎新植樹木の枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。 ◎枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。																
材種	管の種類	呼び径	備考																																		
硬質ポリ塩化ビニル管	VP	75、100、150																																			
② 削塊、排水斜等	◎削塊の形状：図示 ◎排水マスの種類：現場打ち ふたの種類：スチール製グレーチング ◎グレーチング <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メカニシツ</th> <th>亜鉛めっき付着量</th> <th>上面形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スチール製</td> <td>機断用</td> <td>T-25</td> <td>細目</td> <td></td> <td>平形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スチール製</td> <td>歩み用</td> <td>T-25</td> <td>普通目</td> <td></td> <td>平形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・製造所：評価名簿による ◎鋼鉄製マンホールふた <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製マンホールふた</td> <td>密閉式</td> <td>T-25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製化粧マンホールふた</td> <td>密閉式</td> <td>T-6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・製造所：評価名簿による ◎砂の粒度試験は、(行う) (<u>行わない</u>)	材質	用途	適用荷重	メカニシツ	亜鉛めっき付着量	上面形状	備考	スチール製	機断用	T-25	細目		平形		スチール製	歩み用	T-25	普通目		平形		名称	種類	適用荷重	備考	鋼製マンホールふた	密閉式	T-25		鋼製化粧マンホールふた	密閉式	T-6		⑥ 排水の処理	◎路面標示位置、間隔は図示による。 ◎材料：種類(1種)、色(白)、塗布幅(150)、塗布厚さ(1.5) ◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。	◎排水層の厚さは図示による。 ◎排水層は(軽量骨材(層の厚さ：) ・ 板状成型品)とする。 ◎植込み用土は、(改良土 ・ 人工軽量土)とする。 ◎樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎屋上緑化軽量システム ・樹木、芝及び地被類の樹種、寸法、株立数、刈込みものは図示による。 ◎工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 ◎支柱の設置及び形式は図示による。 ◎かん水装置は(設置し、工事区分は図示による ・ 設置しない) ◎新植樹木の枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。 ◎枯補償期間は、引渡の日から(年)とする。
材質	用途	適用荷重	メカニシツ	亜鉛めっき付着量	上面形状	備考																															
スチール製	機断用	T-25	細目		平形																																
スチール製	歩み用	T-25	普通目		平形																																
名称	種類	適用荷重	備考																																		
鋼製マンホールふた	密閉式	T-25																																			
鋼製化粧マンホールふた	密閉式	T-6																																			
③ 街きよ、緑石、削溝	◎地業材料： RC-40 厚さ： 図示 ◎砂利地業の厚さは、()mmとする。 ◎コンクリート設計基準強度等： 18 N/mm ² 、スランプ= 15 cm ◎街きよ、緑石及び削溝 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑石</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>U型削溝</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状	寸法	備考	緑石	図示	図示		U型削溝	図示	図示		⑦ その他	◎使用土について スラグ骨材：阿波スラグ 会 社 名：中央広域環境施設組合 中央広域環境センター 所 在 地：徳島県阿波市吉野町西条字藤原70番地1 Tel：088-637-7127 攪拌目安：配合率は、10%~20% 程度とする。 運搬距離：15 kmを見込んでいる。 単価：材料無償 搬入土：砂質土 会 社 名：衛大塚クリーンリネス 所 在 地：徳島県阿波市阿波町北正広176-2 Tel：0883-35-4466 運搬距離：6 kmを見込んでいる。 単価：材料無償	◎路面標示位置、間隔は図示による。 ◎材料：種類(1種)、色(白)、塗布幅(150)、塗布厚さ(1.5) ◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。 ◎使用土について スラグ骨材：阿波スラグ 会 社 名：中央広域環境施設組合 中央広域環境センター 所 在 地：徳島県阿波市吉野町西条字藤原70番地1 Tel：088-637-7127 攪拌目安：配合率は、10%~20% 程度とする。 運搬距離：15 kmを見込んでいる。 単価：材料無償 搬入土：砂質土 会 社 名：衛大塚クリーンリネス 所 在 地：徳島県阿波市阿波町北正広176-2 Tel：0883-35-4466 運搬距離：6 kmを見込んでいる。 単価：材料無償																					
名称	形状	寸法	備考																																		
緑石	図示	図示																																			
U型削溝	図示	図示																																			
④ その他	◎地業材料の種類： RC-40 厚さ： 図示 ◎コンクリート：設計基準強度(18 N/mm ²)、スランプ(15) ◎埋め戻し材料：(A ・ <u>B</u> ・ C ・ D)種とする。 ◎排水工事の仕様は、図示以外は、建築工事標準詳細図による。																																				

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. TK / 09	工事種別 建築	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. —
	図面名称 特記仕様書-9	縮尺 NON		校閲	担当 製図	設計年月日 2017.9
				株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号		



附近見取図

●合併処理浄化槽

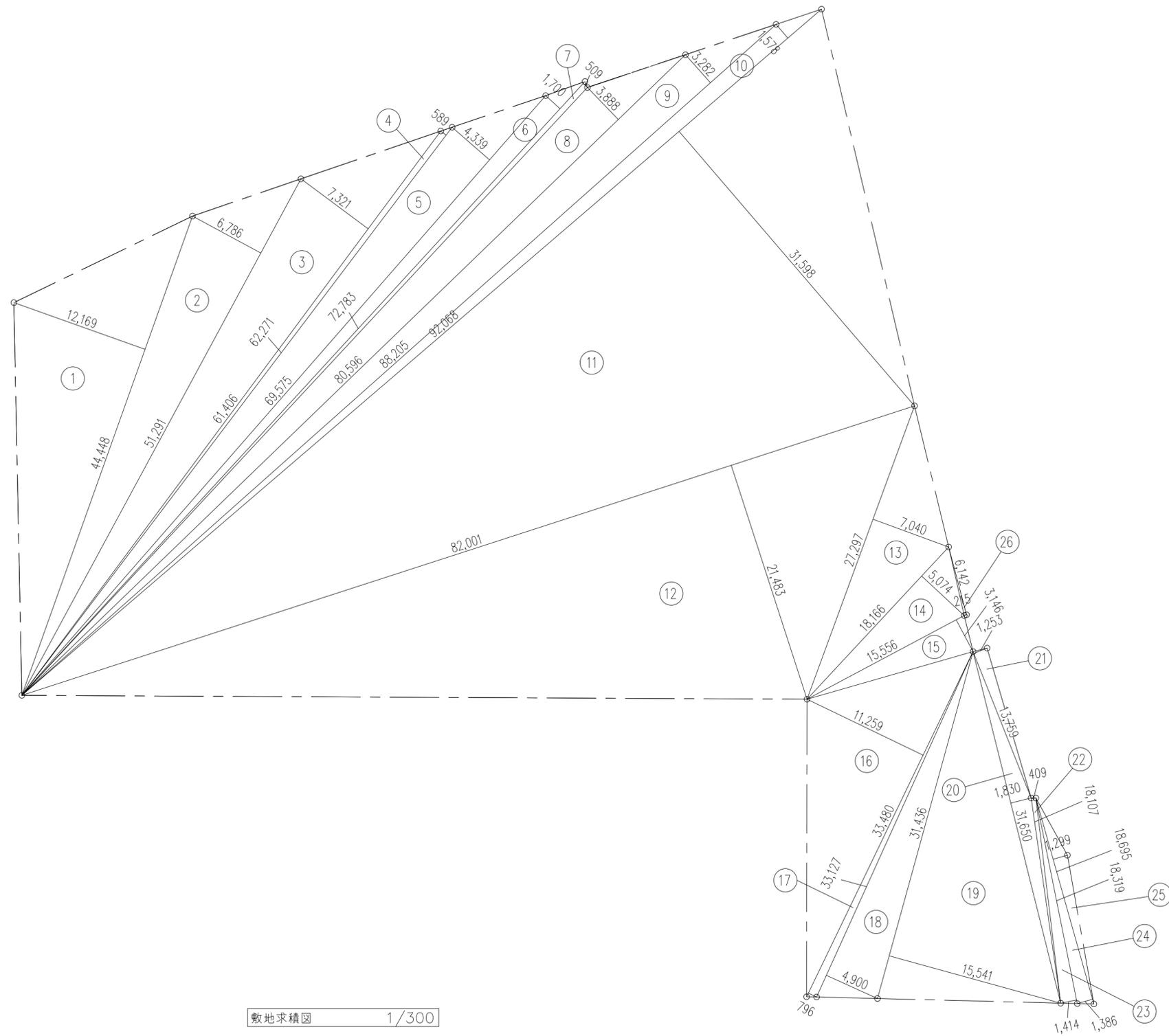
建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式

処理対象人員	70人
日平均汚水量	12.5m ³ /日
流入BOD	200mg/L
放流BOD	20mg/L

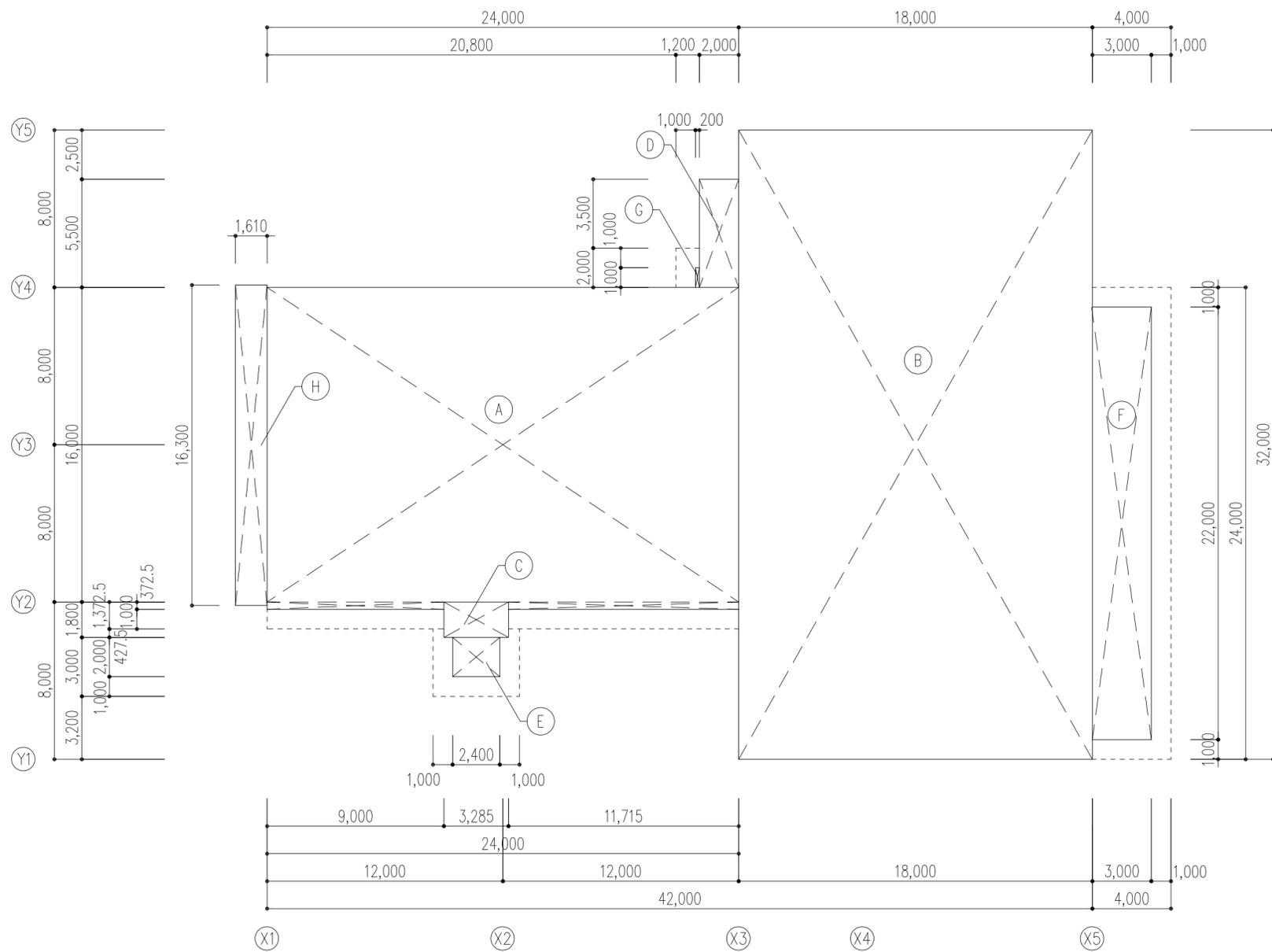
- ▲隣地境界線
- ▽隣地境界線
- 設計GLよりのレベルを示す (設計GL=BM-2000)
- 堤防より20mライン
- ⊕ 外構仕上高さ

配置図 1/400

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 1	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	付近見取図・配置図	縮尺	A3 (1/600) A2 (1/400)	校閱	一級建築士 大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



敷地求積表				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	44,448	12,169	540.8877	270.4439
2	51,291	6,786	348.0607	174.0304
3	61,406	7,321	376.3433	188.1717
4	62,271	0,589	36.6776	18.3388
5	69,575	4,339	301.8859	150.9430
6	72,783	1,700	123.7311	61.8656
7	72,783	0,509	37.0465	18.5233
8	80,596	3,888	313.3572	156.6786
9	88,205	3,282	289.4888	144.7444
10	92,068	1,578	145.2833	72.6417
11	92,068	31,598	2909.1647	1454.5823
12	82,001	21,483	1761.6275	880.8137
13	27,297	7,040	192.1709	96.0854
14	18,166	5,074	92.1743	46.0871
15	15,556	3,146	48.9392	24.4696
16	33,480	11,259	376.9513	188.4757
17	33,480	0,796	26.6501	13.3250
18	33,127	4,900	162.3223	81.1612
19	31,436	15,541	488.5469	244.2734
20	31,650	1,830	57.9195	28.9598
21	13,759	1,253	17.2400	8.6200
22	18,107	0,409	7.4058	3.7029
23	18,319	1,414	25.9031	12.9515
24	18,695	1,386	25.9113	12.9556
25	18,695	1,299	24.2848	12.1424
26	6,142	0,215	1.3205	0.6603
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
合 計				4365.6473
敷地面積				4365.65m ²



建築面積求積図 1/200

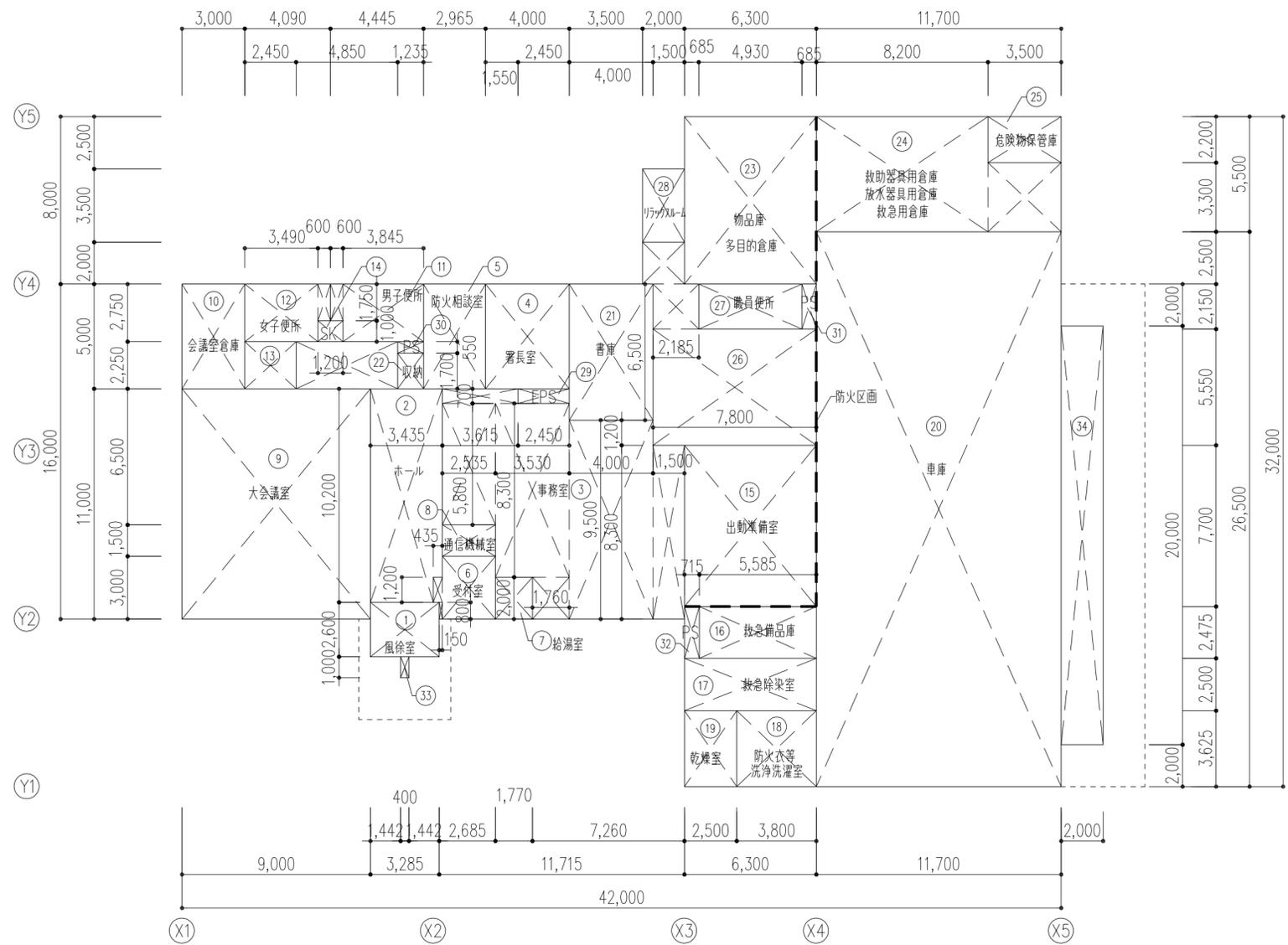
建築面積求積表		
記号	計算式	計
Ⓐ	$(16.000 \times 24.000) + (0.3725 \times 9.000) + (0.3725 \times 11.715)$	391.716
Ⓑ	32.000×18.000	576.000
Ⓒ	1.800×3.285	5.913
Ⓓ	5.500×2.000	11.000
Ⓔ	2.000×2.400	4.800
Ⓕ	22.000×3.000	66.000
Ⓖ	1.000×0.200	0.200
Ⓗ	16.300×1.610	26.243
合計		1,081.872m ²
改め計		1,081.87m ²

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 建物求積図・求積表-1

図面No. A / 03	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/300) A2 (1/200)	


株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. —
校閲	担当	製図
		設計年月日 2017.9

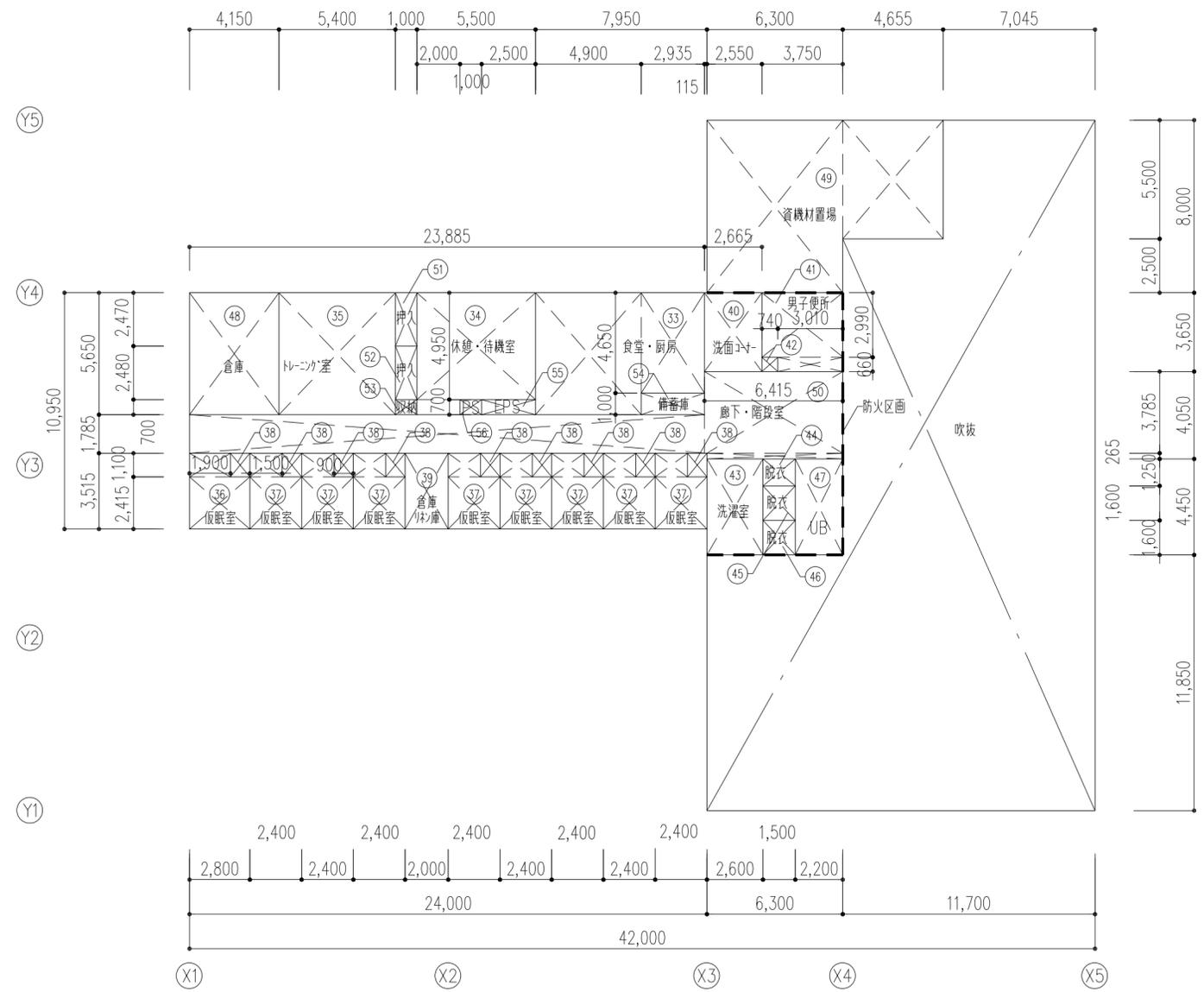


1階床面積積積図 1/200

--- : 防火区画ラインを示す

室名	計算式	計
① 風除室	2.600×3.285	8.541
② ホール	(10.200×3.435) + (4.850×2.250) - (1.200×0.435)	45.428
③ 事務室	(0.700×3.615) + (5.800×2.535) + (8.300×3.530) + (9.500×4.000) + (8.300×1.500) + (2.000×1.760)	100.503
④ 署長室	5.000×4.000	20.000
⑤ 防火相談室	5.000×2.965	14.825
⑥ 受付室	(3.000×2.535) + (1.200×0.435) + (0.800×0.150)	8.247
⑦ 給湯室	2.000×1.770	3.540
⑧ 通信機械室	1.500×2.535	3.803
⑨ 大会議室	11.000×9.000	99.000
⑩ 会議室倉庫	5.000×3.000	15.000
⑪ 男子便所	(2.750×3.845) + (1.750×0.600)	11.624
⑫ 女子便所	(2.750×3.490) + (1.750×0.600)	10.648
⑬ 多機能便所	2.250×2.450	5.513
⑭ SK	1.000×1.200	1.200
⑮ 出動準備室	7.700×6.300	48.510
⑯ 救急備品庫	2.475×5.585	13.823
⑰ 救急除染室	2.500×6.300	15.750
⑱ 防火衣等洗浄洗濯室	3.625×3.800	13.775
⑲ 乾燥室	3.625×2.500	9.063
⑳ 車庫	26.500×11.700	310.050
㉑ 書庫	6.500×4.000	26.000
㉒ 収納	1.700×1.235	2.100
㉓ 物品庫・多目的倉庫	8.000×6.300	50.400
㉔ 救急器具用倉庫他	(5.500×8.200) + (3.300×3.500)	56.650
㉕ 危険物保管庫	2.200×3.500	7.700
㉖ 階段・廊下	(5.550×7.800) + (2.150×2.185) + (2.000×2.000)	51.988
㉗ 職員便所	2.150×4.930	10.600
㉘ リラックスルーム	3.500×2.000	7.000
㉙ EPS	0.700×2.450	1.715
㉚ PS	0.550×1.235	0.679
㉛ PS	2.150×0.685	1.473
㉜ PS	2.475×0.715	1.770
㉝ 風除室前 庇	1.000×0.400	0.400
㉞ 車庫前 庇	20.000×2.000	40.000
合計		1017.318
改め合計		1017.32m2

計算式	計
⑯ + ⑰ + ⑱ + ⑲ + ⑳ + ㉔ + ㉕ + ㉚ + ㉜	504.58m2
準耐火建築物 (令112-1)	



室名	計算式	計
㉓ 食堂・厨房	$(5.650 \times 4.900) + (4.650 \times 2.935)$	41.333
㉔ 休憩・待機室	$(4.950 \times 5.500) + (0.700 \times 2.000)$	28.625
㉕ トレーニング室	5.650×5.400	30.510
㉖ 仮眠室	$(2.415 \times 2.800) + (1.100 \times 1.900)$	8.852
㉗ 仮眠室	$(2.415 \times 2.400) + (1.100 \times 1.500)$ = 7.446 × 8室	59.568
㉘ 収納	$1.100 \times 0.900 = 0.99 \times 9$ 室	8.910
㉙ 倉庫・リネン庫	3.515×2.000	7.030
㉚ 洗面コーナー	3.650×2.665	9.727
㉛ 男子便所	$(2.990 \times 3.750) + (0.660 \times 3.010)$	13.199
㉜ 掃除用具入れ	0.660×0.740	0.488
㉝ 洗濯室	4.450×2.600	11.570
㉞ 脱衣室	1.250×1.500	1.875
㉟ 脱衣室	1.600×1.500	2.400
㊱ 脱衣室	1.600×1.500	2.400
㊲ UB	4.450×2.200	9.790
㊳ 倉庫	5.650×4.150	23.448
㊴ 資機材置場	$(8.000 \times 6.300) + (5.500 \times 4.655)$	76.003
㊵ 廊下	$(1.785 \times 23.885) + (3.785 \times 6.415)$ + (0.265×6.300)	68.585
㊶ 押入	2.470×1.000	2.470
㊷ 押入	2.480×1.000	2.480
㊸ 収納	0.700×1.000	0.700
㊹ 備蓄庫	1.000×2.935	2.935
㊺ EPS	0.700×2.500	1.750
㊻ PS	0.700×1.000	0.700
合計		415.348
改め合計		415.35m ²

1階床面積	1017.32
2階床面積	415.35
合計	1432.67m ²

外部仕上表		部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
本 体 建 物	外壁	RC打放しの上、防水形複層塗材E（ゆず肌）		庇	（天端）コンクリート押下地の上、塗膜防水（X-2）、誘発目地@4000 （庇見付・裏）コンクリート打ち放し（A種）+特殊美装 （庫前）鉄部溶融垂鉛メッキ仕上げ（HDZ55）、屋根折板t0.6（山高150）ガルバリウム鋼板素地	都 市 型 調 維 施 設	外壁	コンクリート打放し（B種）+特殊美装（防滑・防汚）	
	腰壁	コンクリート化粧打放し（県産杉板型枠）、特殊美装		種	縦種100φ（塩ビ製カラー）、ルーフトレイン（鋼鉄製） 養生管SGPφ125（H=1,500）溶融垂鉛メッキ		内壁	コンクリート打放し仕上げ（B種）	
	幅木	上部外壁同材		屋外階段	溶融垂鉛メッキ仕上げ（HDZ55）		床	（屋上：平場部）コンクリート打放し（B種）+けい酸塩系防水材 （屋上：傾斜部）コンクリート打放し（B種）+特殊美装、特殊化粧型枠（アキレス株式会社 SK-356同等品） （内部）コンクリート直均し仕上げ（B種）	
	屋根	室外屋根：塩ビシート防水（SM-2）t4.0+1.5（重歩行用） 車庫上：塩ビシート防水（SM-2）t1.5（非歩行用）					屋外階段	溶融垂鉛メッキ仕上げ（HDZ55）	
	屋上目隠し	ルーバー：アルミ製押出し成形品 壁：押出し成形セメント板t60 横張り（リブ模様）、DP塗装							

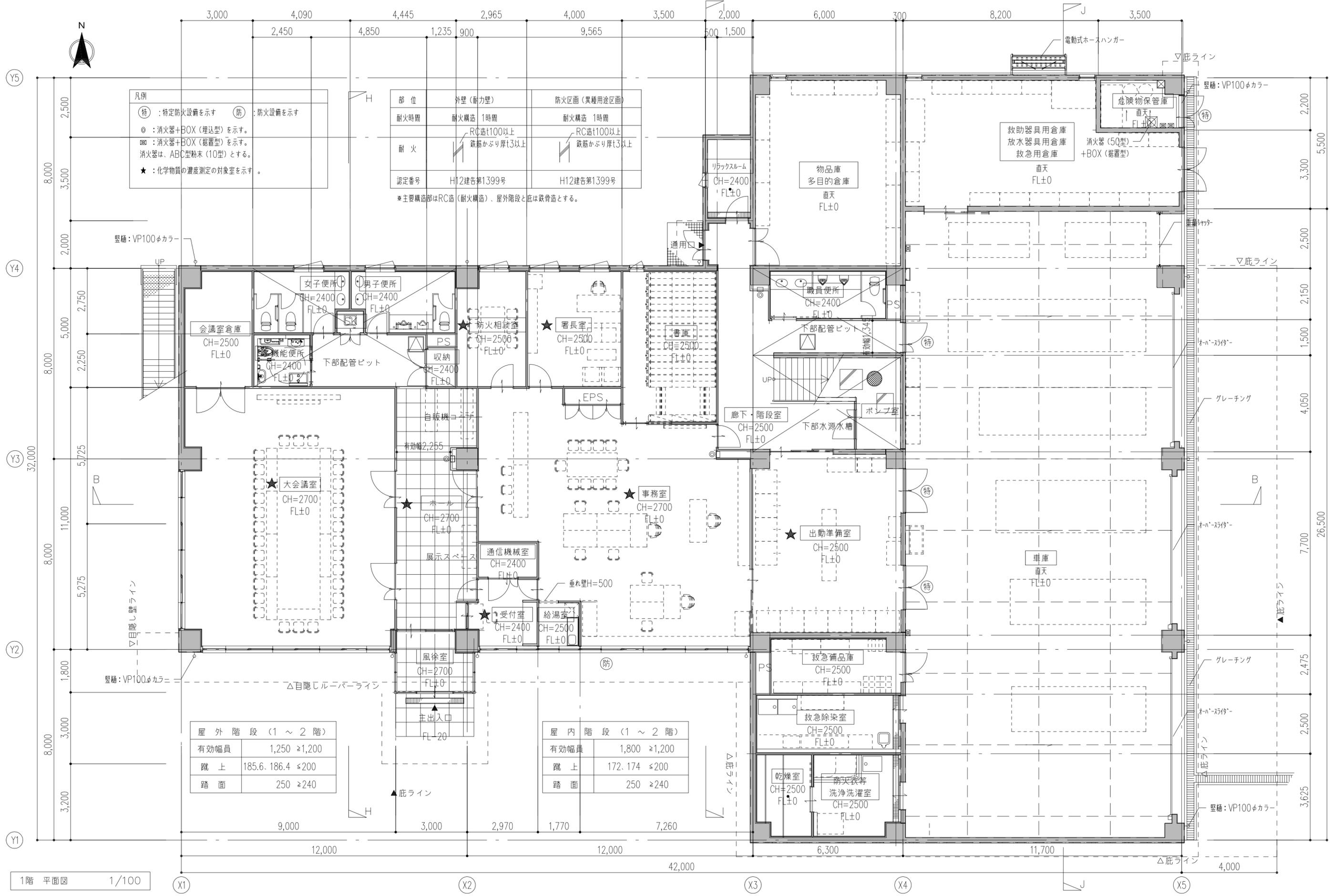
1階内部仕上表																	
区域	室名	天井高	仕上高	床				幅木		腰壁		壁		天井			備考
				スラブ高	床仕上厚	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	塗装	
一般共用エリア	風除室	2700	±0 -50	50	張付モルタル塗	御影石J.B仕上げ600×600 特殊美装	SUS HL	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+DR9 (フラット)	-	塩ビ	
	ホール	2700	±0 -50	50	張付モルタル塗	御影石J.B仕上げ600×600 特殊美装	SUS HL	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+DR9 (フラット)	-	塩ビ	室名サイン、消火器BOX、ピクチャーレール、床下点検口
一般開放エリア	大会議室	2700	±0 -10	10	コンクリート直均し	タイルカーペットt6.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+DR9 (フラット)	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX、スクリーンBOX
	会議室倉庫	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	防火相談室	2500	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+DR9 (フラット)	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX
	男子便所	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	-	GB-S12.5 (GL工法) + 化粧FK6.0 GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、トイレブース、洗面カウンター、ライニング 化粧鏡、汚垂タイル
	女子便所	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	-	GB-S12.5 (GL工法) + 化粧FK6.0 GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、トイレブース、洗面カウンター、ライニング、化粧鏡
	多機能便所	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	LGS (65型)	GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、トイレブース、化粧鏡、ライニング ペーパーシート
	SK	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	LGS (65型)	GB-S12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、ライニング、用具掛け3か所
管理・事務エリア	事務室	2700	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX、消火器BOX
	審長室	2500	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+DR9 (フラット)	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX、ピクチャーレール
	受付室	2400	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	通信機械室	2400	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	LGS (65型)	GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	給湯室	2500	±0 -150	150	OAフロアH=150	専用ビニル床タイルt4.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、ミニキッチン（コンロ無）
消防活動エリア	出動準備室	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0（防滑性）	ビニル幅木	75	コック+打放し（B種）	下地調整の上、複層塗材CE	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	救急備品庫	2500	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	エポキシ系塗床（防滑性）	床同材	100	コック+打放し（B種） LGS (65型)	下地調整の上、複層塗材CE GB-R12.5+FK6.0+複層塗材CE	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	NAD	塩ビ	室名サイン
	救急除染室	2500	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	エポキシ系塗床（防滑性）	床同材	100	コック+打放し（B種） LGS (65型)	下地調整の上、複層塗材CE GB-S12.5+FK6.0+複層塗材CE	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	NAD	塩ビ	室名サイン、ライニング、グレーチング
	防火衣等洗浄洗濯室	2500	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	エポキシ系塗床（防滑性）	床同材	100	コック+打放し（B種） LGS (65型)	下地調整の上、複層塗材CE GB-S12.5+FK6.0+複層塗材CE	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	NAD	塩ビ	室名サイン、グレーチング
	乾燥室	2500	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	ウレタン系塗床	床同材	100	-	GB-R12.5 (GL工法) + FK6.0+複層塗材CE GB-S12.5+FK6.0+複層塗材CE	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	NAD	塩ビ	室名サイン、SUS製物干しパイプφ32×2か所
	車庫	直天	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	エポキシ系塗床（防滑性） 目地切り@3000mm	床同材	100	コック+打放し（B種）	下地調整の上、複層塗材CE	←	←	-	コンクリート打放し（A種）	-	-	タラップ、消火器BOX2か所
倉庫・書庫エリア	書庫	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	-	GB-R12.5 (GL工法) + ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	収納（ホール）	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	LGS (65型)	GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	物品庫・多目的倉庫	直天	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	コック+打放し（A種）	-	←	←	-	コンクリート打放し（A種）	-	-	室名サイン
	救助器具用倉庫 放水器具用倉庫 救急用倉庫	直天	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	エポキシ系塗床（防滑性）	床同材	100	コック+打放し（A種）	-	←	←	-	コンクリート打放し（A種）	-	-	室名サイン
	危険物保管庫	直天	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	防塵塗装	床同材	100	コック+打放し（A種）	-	←	←	-	コンクリート打放し（A種）	-	-	室名サイン、消火器BOX
職員共用エリア	職員便所	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	-	GB-S12.5 (GL工法) + 化粧FK6.0 GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、トイレブース、洗面カウンター、ライニング 化粧鏡、汚垂タイル
	廊下	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	LGS (65型)	GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	床下点検口、消火器BOX
	階段室	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	コック+打放し（B種） LGS (65型)	下地調整の上、複層塗材CE GB-S12.5+FK6.0+複層塗材CE	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	手摺、ノンスリップ
	ポンプ室	直天	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	防塵塗装	床同材	100	コック+打放し（B種） LGS (65型)	ガサ加付GWφt50 (32kg/m3) GB-R12.5素地	←	←	コック	ガサ加付GWφt50 (32kg/m3)	-	-	室名サイン
職員専用エリア	リラックスルーム	2400	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	ウレタン系塗床	床同材	100	コック+打放し（B種）	下地調整の上、複層塗材CE	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、グレーチング
	EPS・PS	直天	±0 -10	10	コンクリート直均し	←	←	-	コック+打放し（B種） LGS (65型)	GB-R12.5素地	←	←	-	コンクリート打放し（B種）	-	-	室名サイン

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 06	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	仕上表-1	縮尺	A3 (NON) A2 (NON)	校閱	担当		製図	設計年月日	2017.9	

2階内部仕上表																	
区域	室名	天井高	仕上高	床			幅木		壁		壁		天井			備考	
				スラブ高	床仕上厚	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		塗装
職員専用エリア	食堂	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX
	厨房	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	システムキッチン、造作カウンター、造作家具 アルミ製ブラインドBOX
	備蓄庫	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	雑巾摺 20×15	-	LGS(65型)	GB-R12.5+シナ合板t5.5素地	←	←	LGS	GB-R12.5+シナ合板t5.5素地	-	塩ビ	室名サイン
	休憩室・待機室	2400	150 -10	150	パーティクルボードt20 +乾式置床	スタイロ畳 t55 一部雑甲板張りt12	畳寄せ	30	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-R9.5+ビニルクロス	-	塩ビ	アルミ製ブラインドBOX
	押入	2400	150 -10	150	パーティクルボードt20 +乾式置床	ラワン合板t9.0	雑巾摺 20×15	-	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+シナ合板t5.5素地 GB-R12.5+シナ合板t5.5素地	←	←	LGS	GB-R12.5+シナ合板t5.5素地	-	塩ビ	中棚
	トレーニング室	2800	±0 -10	10	コンクリート直均し	高弾性衝撃吸収シートt6.5	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、アルミ製ブラインドBOX、装鏡
	仮眠室	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	収納(仮眠室)	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	LGS(65型)	GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	
	倉庫	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	洗面コーナー	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-S12.5(GL工法)+化粧FK6.0 GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	洗面カウンター、ライニング
	収納(洗面コーナー)	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	用具掛け3か所
	男子便所	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-S12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-S12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、トイレブース、洗面カウンター、ライニング、化粧鏡
	洗濯室	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-S12.5(GL工法)+化粧FK6.0 GB-S12.5+化粧FK6.0	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン、ライニング、造作棚
	脱衣室	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床シートt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-S12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-S12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	FK6.0 目透しシール仕上	EP	塩ビ	室名サイン
ユニットバス シャワーユニット	-	±0 -10	10	コンクリート直均し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ユニットバス1316、ユニットシャワー0813
倉庫・書庫 エリア	倉庫・リネン庫	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン
	収納(廊下)	2400	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	LGS(65型)	GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	室名サイン、中棚
	資機材置場	直天	±0 -10	10	コンクリート全コテ押え	防塵塗装	床同材	100	カラー打放し(B種)	下地調整の上、複層塗材CE	←	←	-	ガラス片GW3+H50(32kg/m3)	-	-	手摺、ホイスト
職員共用 エリア	廊下	2500	±0 -10	10	コンクリート直均し	ビニル床タイルt2.0	ビニル幅木	75	- LGS(65型)	GB-R12.5(GL工法)+ビニルクロス GB-R12.5+ビニルクロス張	←	←	LGS	GB-D9.5	-	塩ビ	消火器BOX2か所
	EPS・PS	直天	±0 -10	10	コンクリート直均し	←	GB-R12.5素地	-	LGS(65型)	GB-R12.5素地	←	←	-	コンクリート打放し(B種)	-	-	室名サイン

【 凡 例 】	【 不燃材料 ・ 準不燃材料 ・ 難燃材料 ・ 防火構造 】	【 塗装仕上凡例 】	【 特 記 】				
石膏ボードt9.5 GB-R9.5	QM-9828	ビニルクロス	NM-0326	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	※ hは高さ、Wは幅、tは厚さ、Dは奥行の仕上寸法を示す。	※ 消防用設備等は消防法第17号第1項の技術的基準に適合するよう設置すること。
石膏ボードt12.5 GB-R12.5	NM-8619			EP-G	つやあり合成樹脂エマルジョンペイント塗り	※ 内装材、接着剤、家具、建具材は全て ノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。	※ カーテン・じゅうたん等を使用する場合は防火物品を使用すること。
化粧石膏ボードt9.5 GB-D9.5	QM-0524	複層塗材CE塗 (JIS A 6909)	NM-8573	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。	※ 給水管・配電管その他の管の貫通する部分及び当該貫通する部分からそれぞれ両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で遮ること。
シーリング石膏ボードt12.5 GB-S12.5	NM-9639	EP塗 (JIS K 5663)	NM-8585	SOP	合成樹脂ペイント塗り	※ 廻り縁は全て突き付けとし、底目地タイプとする。	※ 天井ふところが1500mm以上になる箇所は水平補強・斜め補強を行うこと。
ロックワール化粧吸音板t9.0 DR9.0	NM-8599	EP-G塗 (JIS K 5660)	NM-8585	CL	クリアラッカー塗り	※ 下り天井の見切・出隅コーナー材は特記なき場合は塩ビ製とする。	※ 家具類は全て耐震止め付けとする。
化粧ケイカル板t6 化粧FK6	NM-3073	NAD塗 (JIS K 5670)	NM-8585	DP	耐候性塗料塗り(3組)	※ ビニル幅木は、長尺タイプとし、ビニル床シート貼りは特記なき限り溶接工法とする。	
ケイカル板t6 FK6	NM-2773			CE	ポリマーセメント系複層仕上塗材	※ ステンレスは原則としてSUS304とする。	
						※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。	
						※ 特記なき場合は、鉄骨表し部分はSOP塗装とする。	
						※ 造作物で特記がないものはすべてEP-G塗装とする。	
						※ 壁のグラスウールはt50、24kg/m3とする。	

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. A / 07	工事種別 建築	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. -
	図面名称 仕上表-2	縮尺 A3 (NON) A2 (NON)	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	校閲	担当 製図	設計年月日 2017.9



凡例

(特)	: 特定防火設備を示す	(防)	: 防火設備を示す
◎	: 消火器+BOX (埋込型) を示す。		
⊠	: 消火器+BOX (据置型) を示す。		
消火器は、ABC型粉末(10型)とする。			
★	: 化学物質の濃度測定の対象室を示す。		

部位	外壁(耐力壁)	防火区画(異種用途区画)
耐火時間	耐火構造 1時間	耐火構造 1時間
耐火	RC造t100以上 鉄筋かぶり厚t3以上	RC造t100以上 鉄筋かぶり厚t3以上
認定番号	H12建告第1399号	H12建告第1399号

*主要構造部はRC造(耐火構造)、屋外階段と庇は鉄骨造とする。

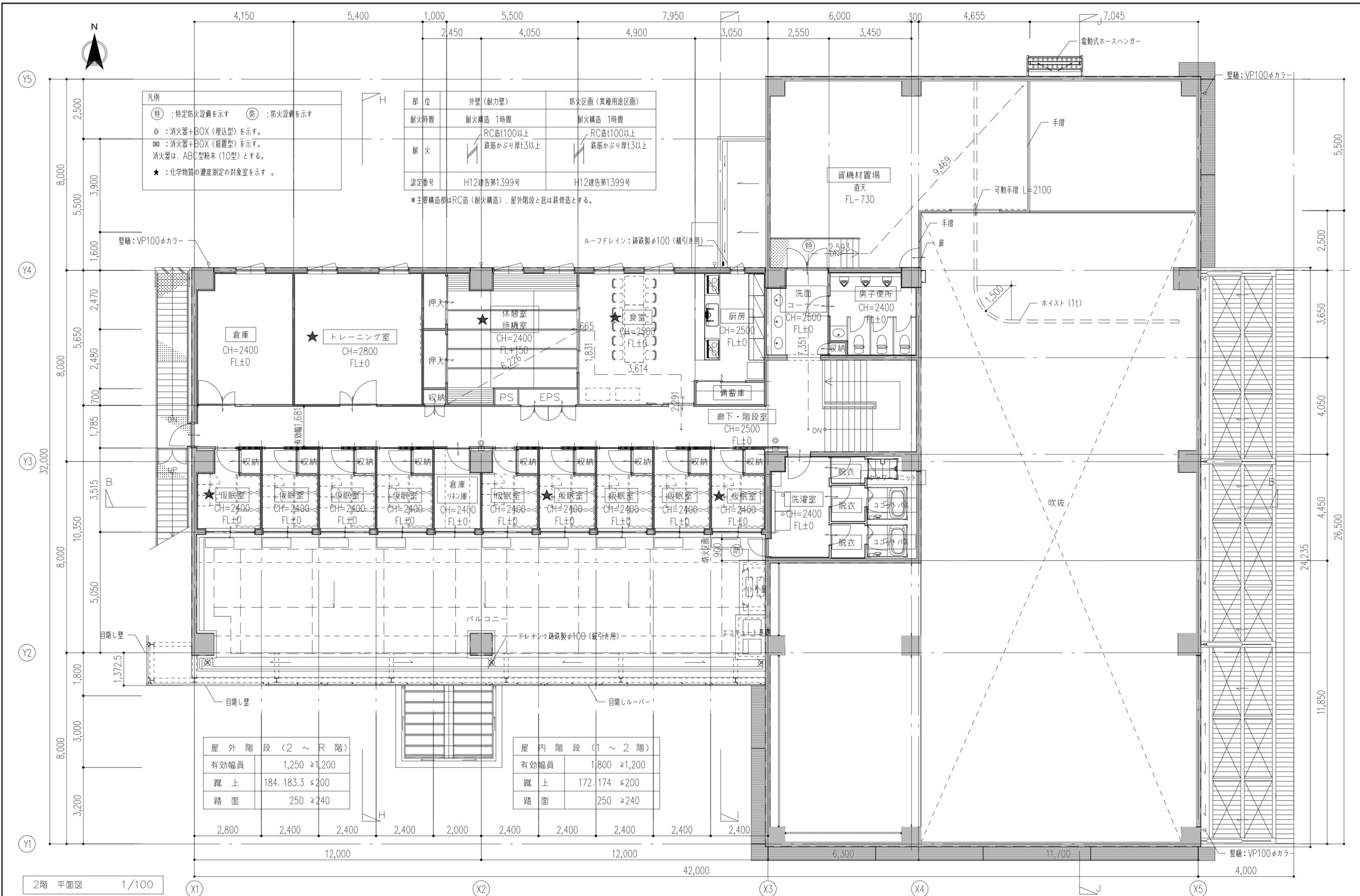
屋外階段 (1 ~ 2 階)

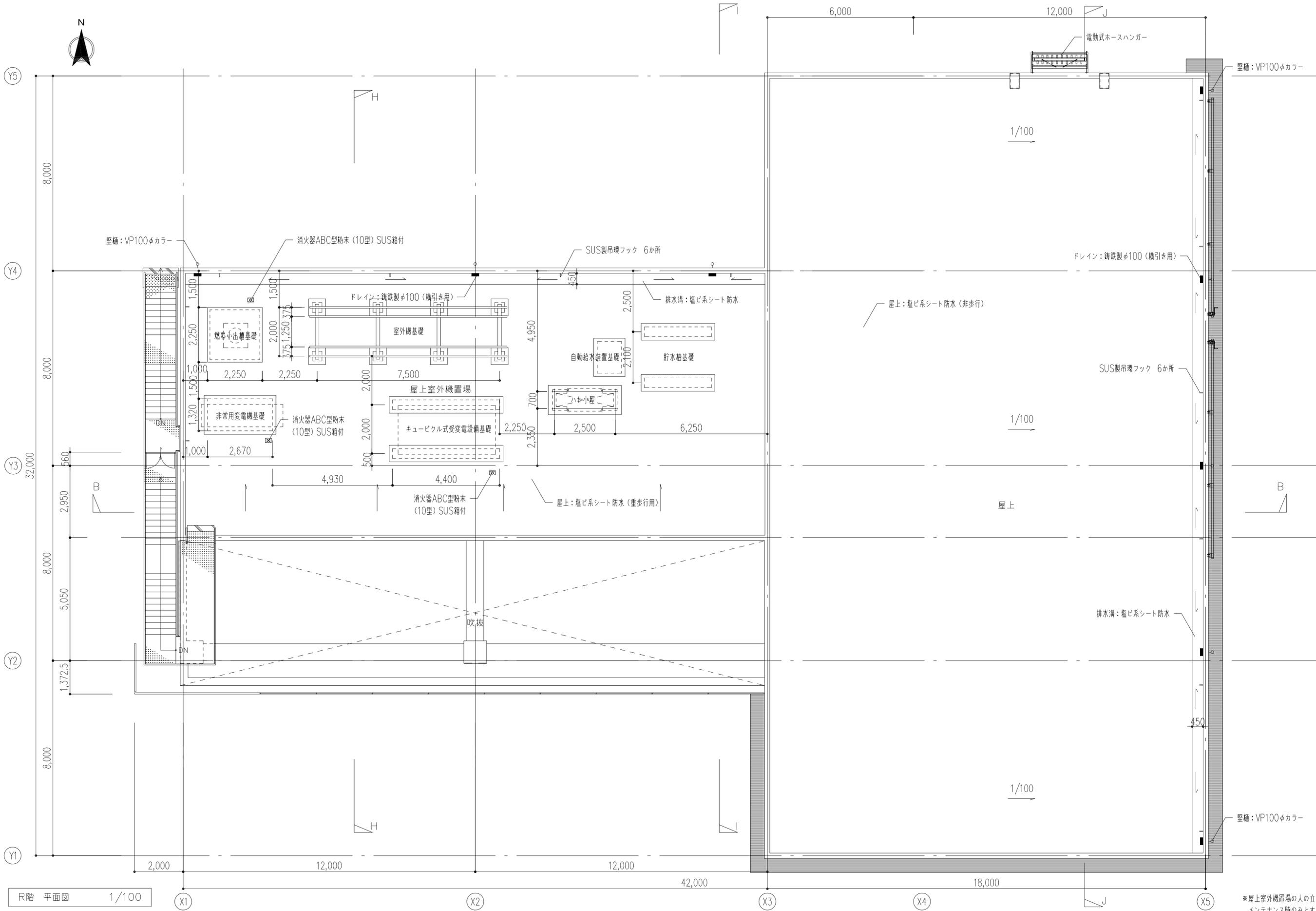
有効幅員	1,250 ≧ 1,200
蹴上	185.6、186.4 ≦ 200
路面	250 ≧ 240

屋内階段 (1 ~ 2 階)

有効幅員	1,800 ≧ 1,200
蹴上	172、174 ≦ 200
路面	250 ≧ 240

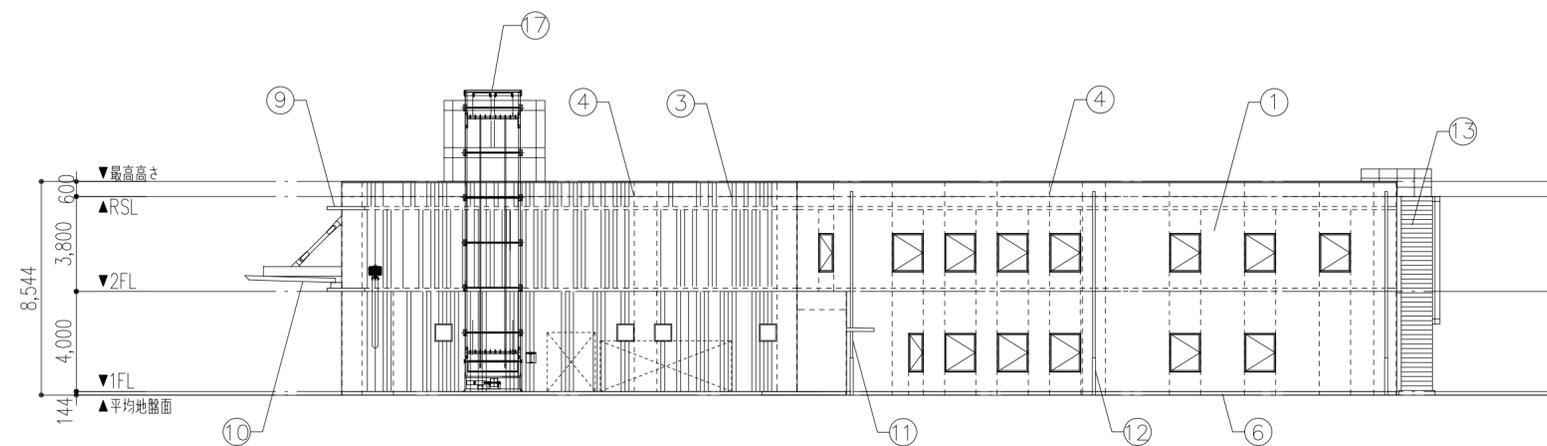
1階 平面図 1/100



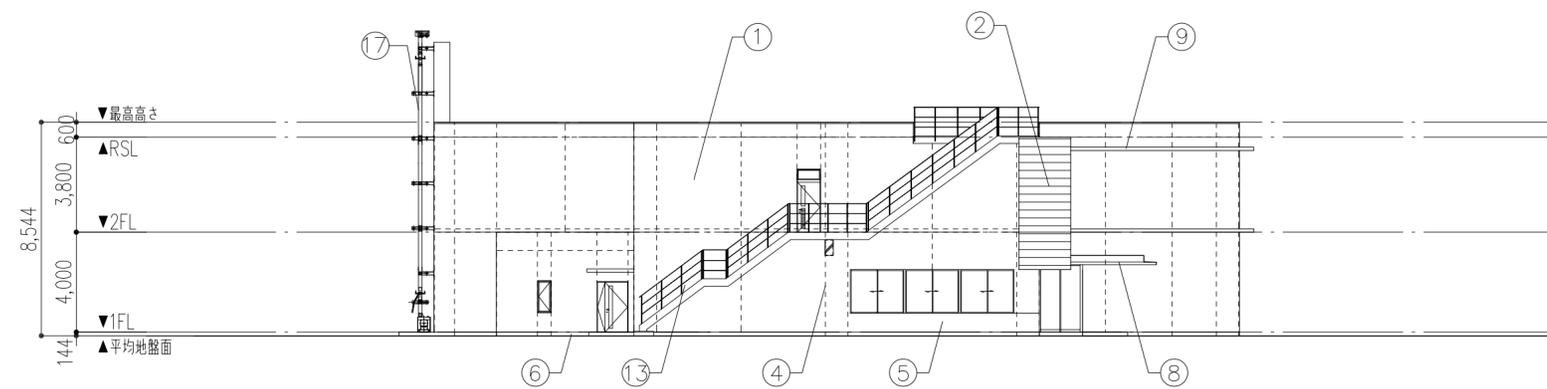


*屋上室外機置場の人の立ち入りは、メンテナンス時のみとする。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 10	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	R階平面図	縮尺	A3(1/150) A2(1/100)	校閲	大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



北側 立面図 1/200



西側 立面図 1/200

外部仕上表		
記号	部 位	仕 上
①	外壁	RC打放しの上、防水形複層塗材E (ゆず肌)
②	外壁	押し出し成形セメント板t60 横張り (リブ模様)、DP塗
③	外壁	化粧目地: W20×D25
④	外壁	誘発目地: W20×D20
⑤	腰壁	コンクリート化粧打放し (県産杉板型枠)、特殊美装
⑥	幅木	上部外壁同材
⑦	屋上目隠し	ルーバー: アルミ押し出し成形品
⑧	キャノピー屋根	ガルバリウム鋼板
⑨	庇	(天端) コンクリート押え下地の上、塗膜防水 (X-2) (庇見付) コンクリート打ち放し補修+特殊美装
⑩	庇	(車庫前) 屋根折板t0.6 (山高150) ガルバリウム鋼板素地
⑪	雨樋	縦樋100φ (塩ビ製カラー)、ルーフトレイン (鋳鉄製)
⑫	雨樋	養生管SGPφ125 (H=1,500) 溶融亜鉛メッキ
⑬	屋外階段	溶融亜鉛メッキ仕上げ (HDZ55)
⑭	ロゴサイン	SUS箱文字
⑮	館名表示	SUS箱文字
⑯	横断幕	ステンレス製
⑰	ホースハンガー	溶融亜鉛メッキ仕上げ (HDZ55)

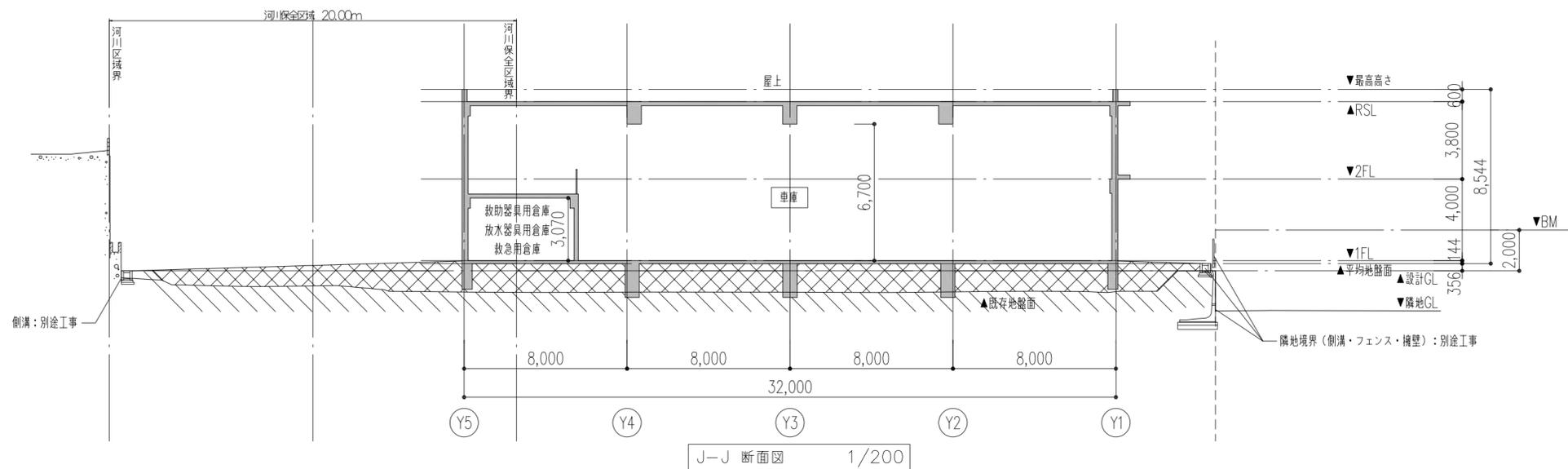
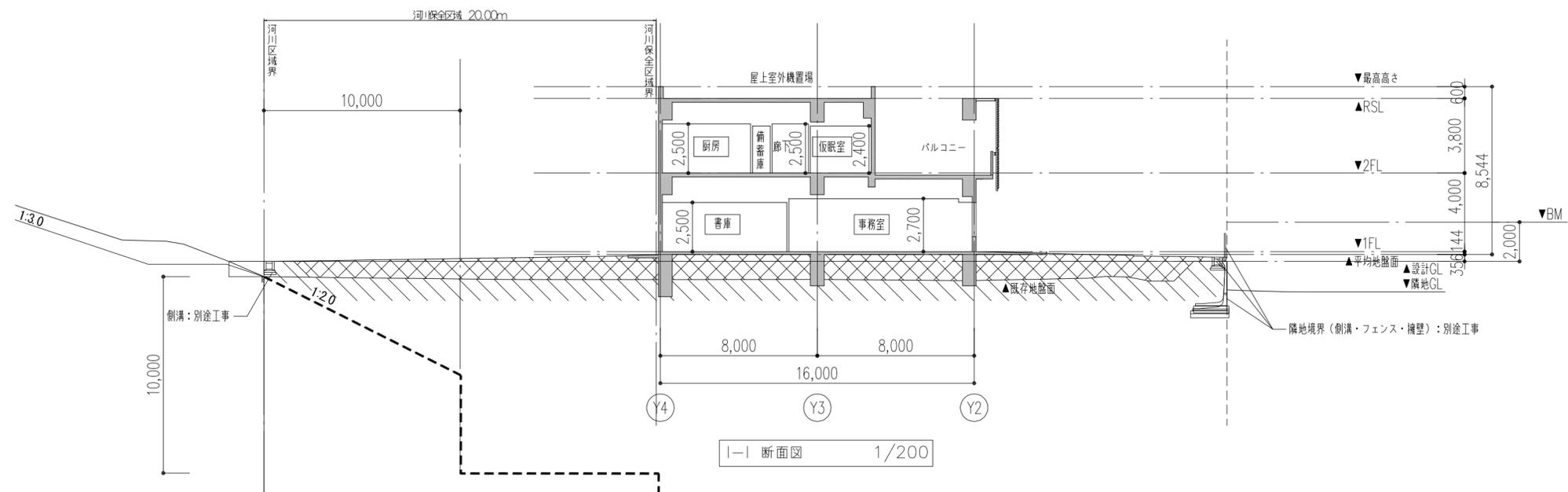
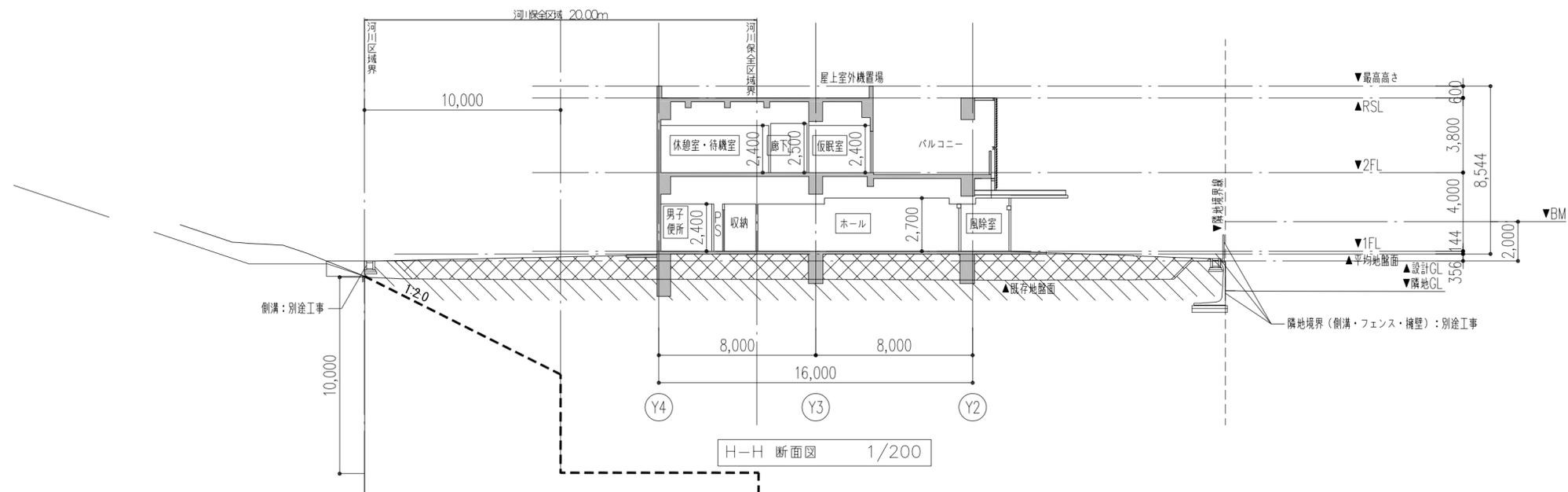
特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 立面図-2

図面No. A / 12	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/300) A2 (1/200)	


株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士 校 関	程野 祐介 大臣登録 第338983号	製 図
	担 当	

設計No. -
設計年月日 2017.9



: 盛土範囲を示す。
 *使用土は特記仕様書-3の指定材料とする。

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 断面図-1

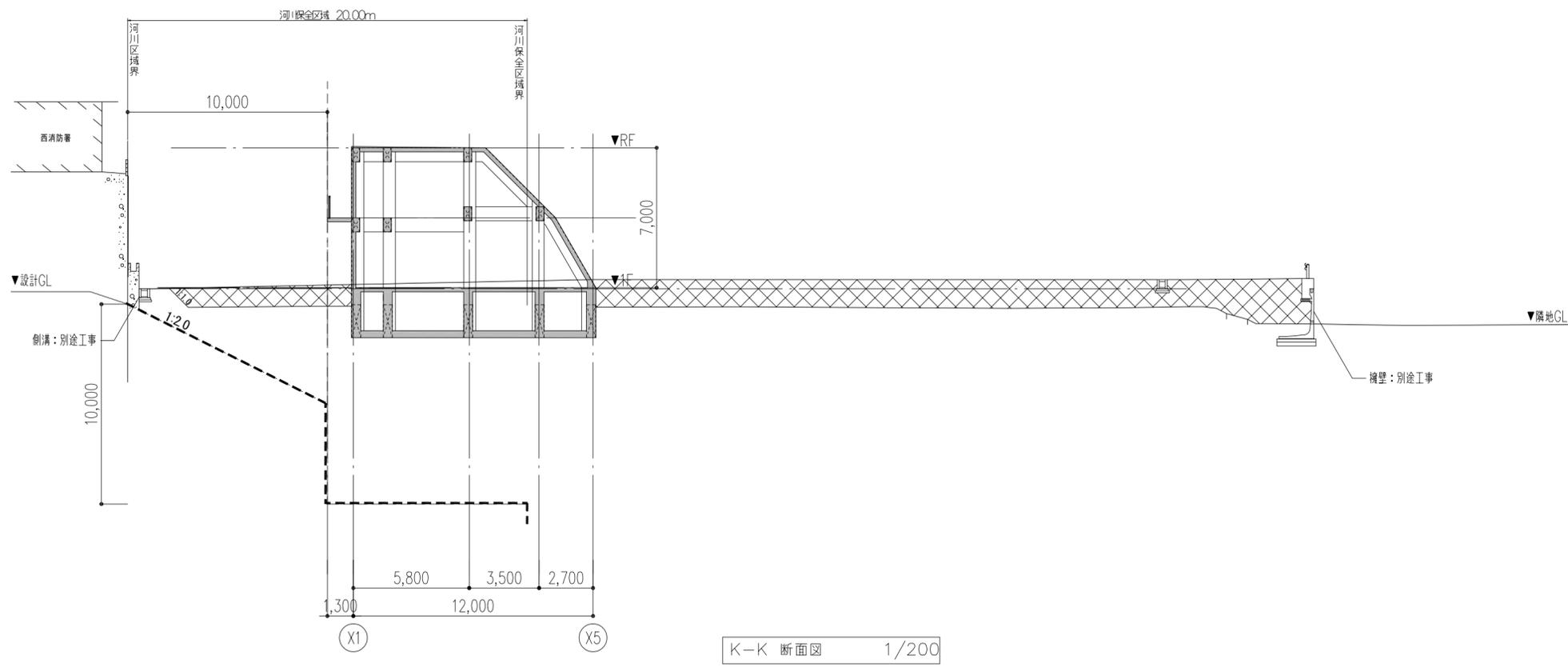
図面No. A / 13	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/300) A2 (1/200)	

図面No. A / 13	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/300) A2 (1/200)	

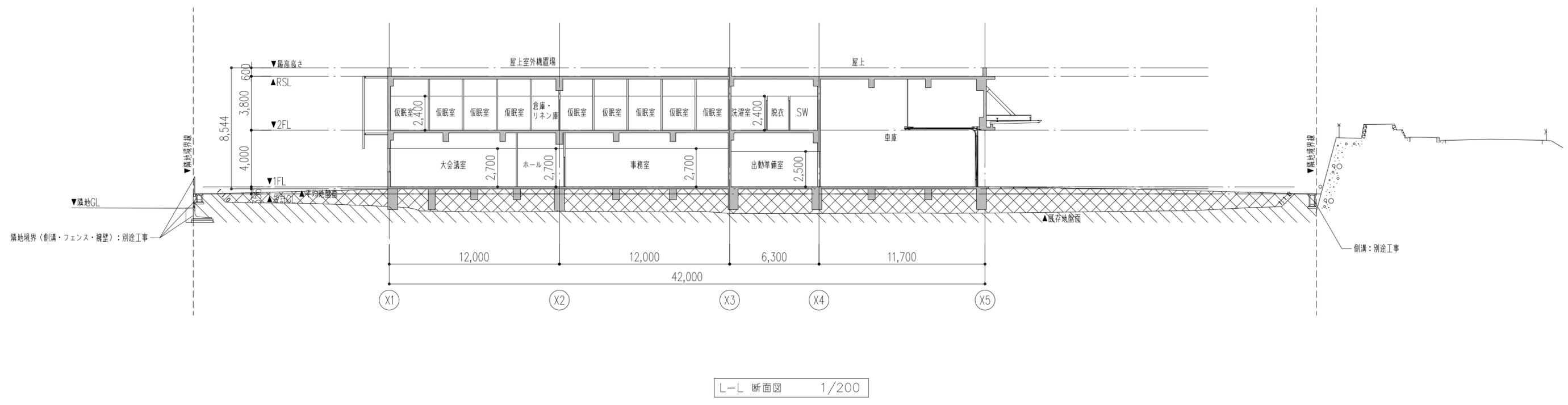
株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計年月日 2017.9
校閲	担当	製図

設計No. -
設計年月日 2017.9



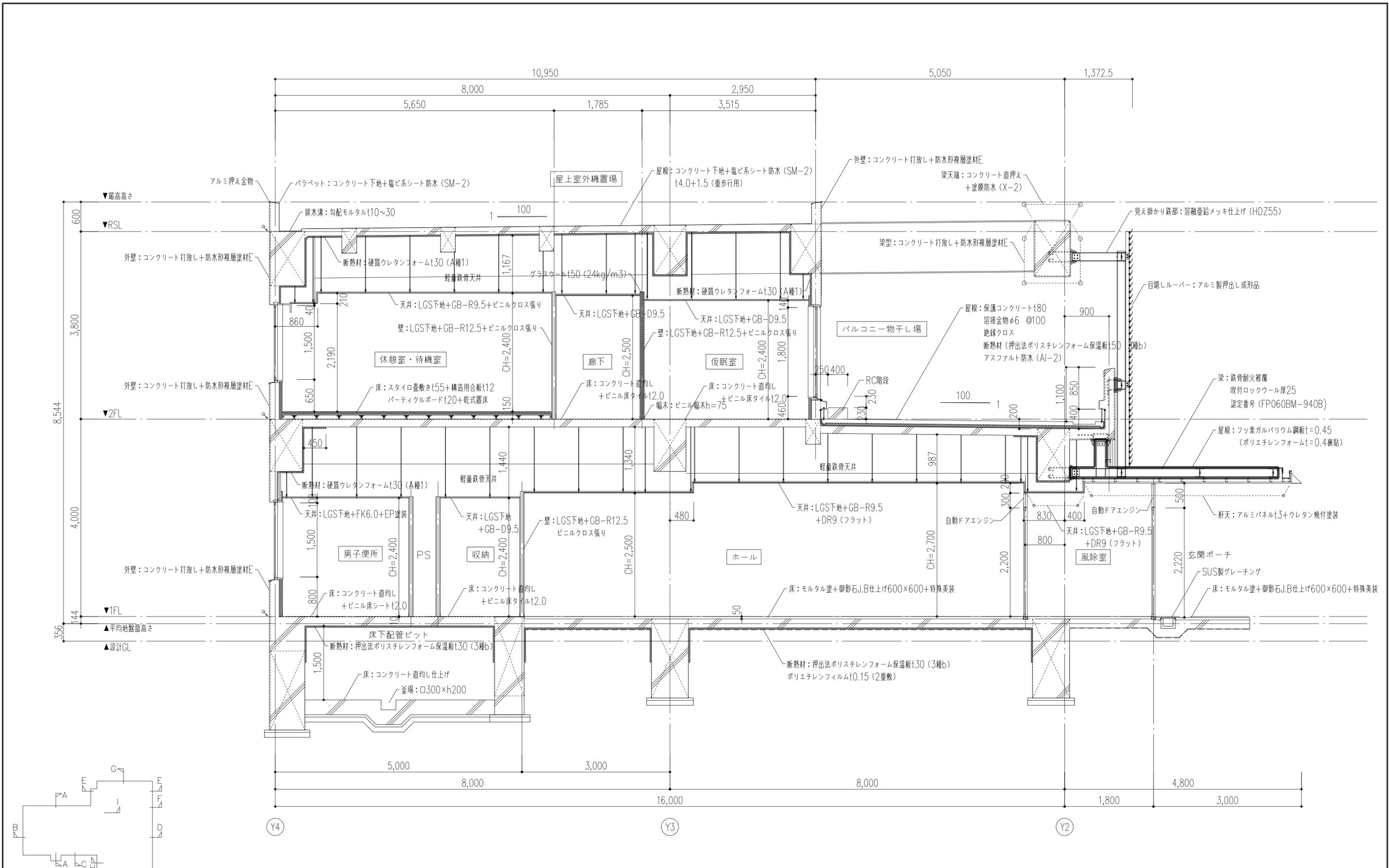
K-K 断面図 1/200



L-L 断面図 1/200

 : 盛土範囲を示す。
 *使用土は特記仕様書-3の指定材料とする。

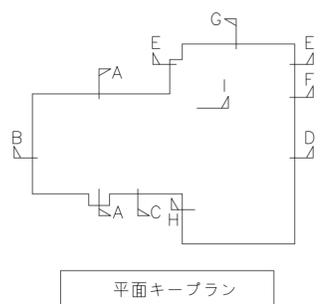
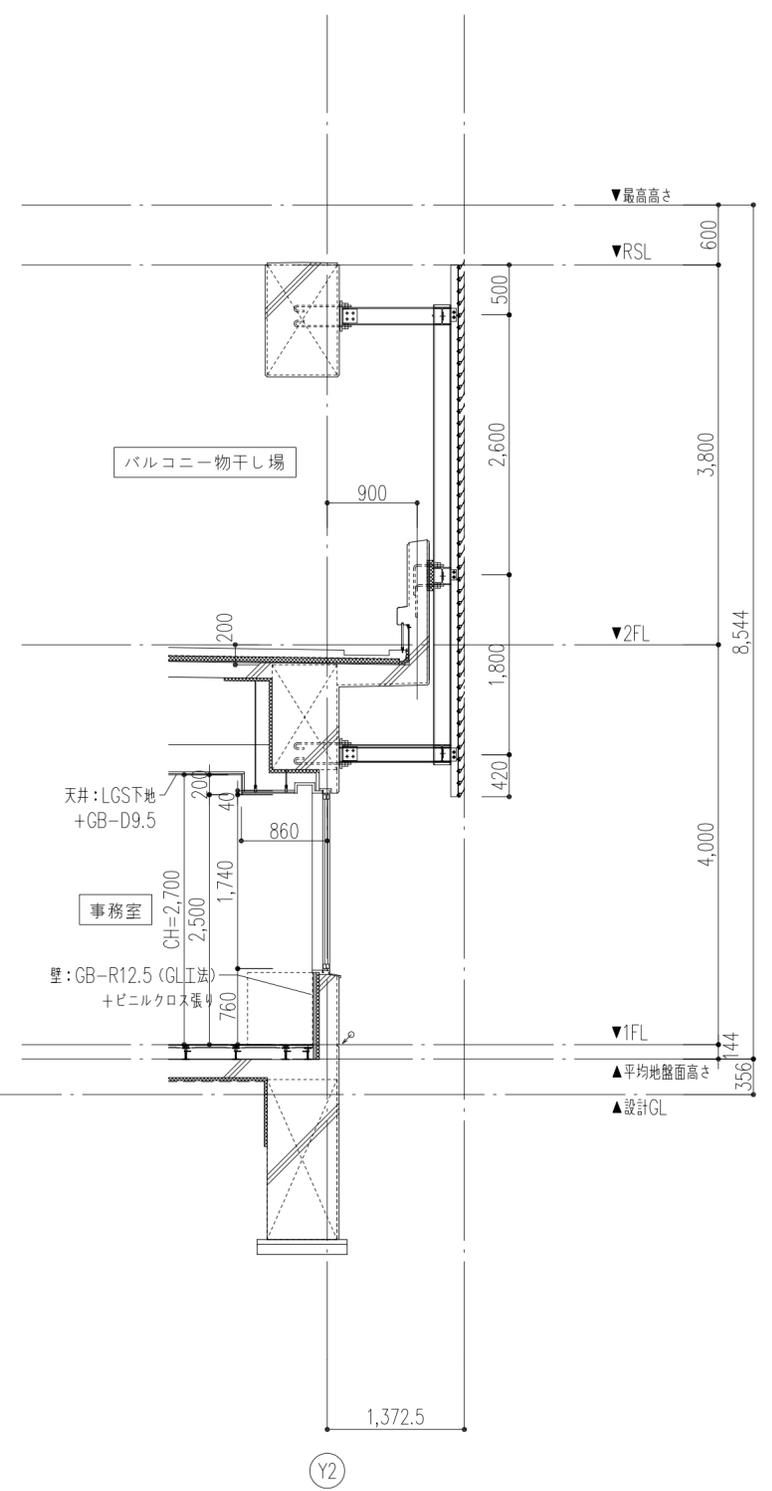
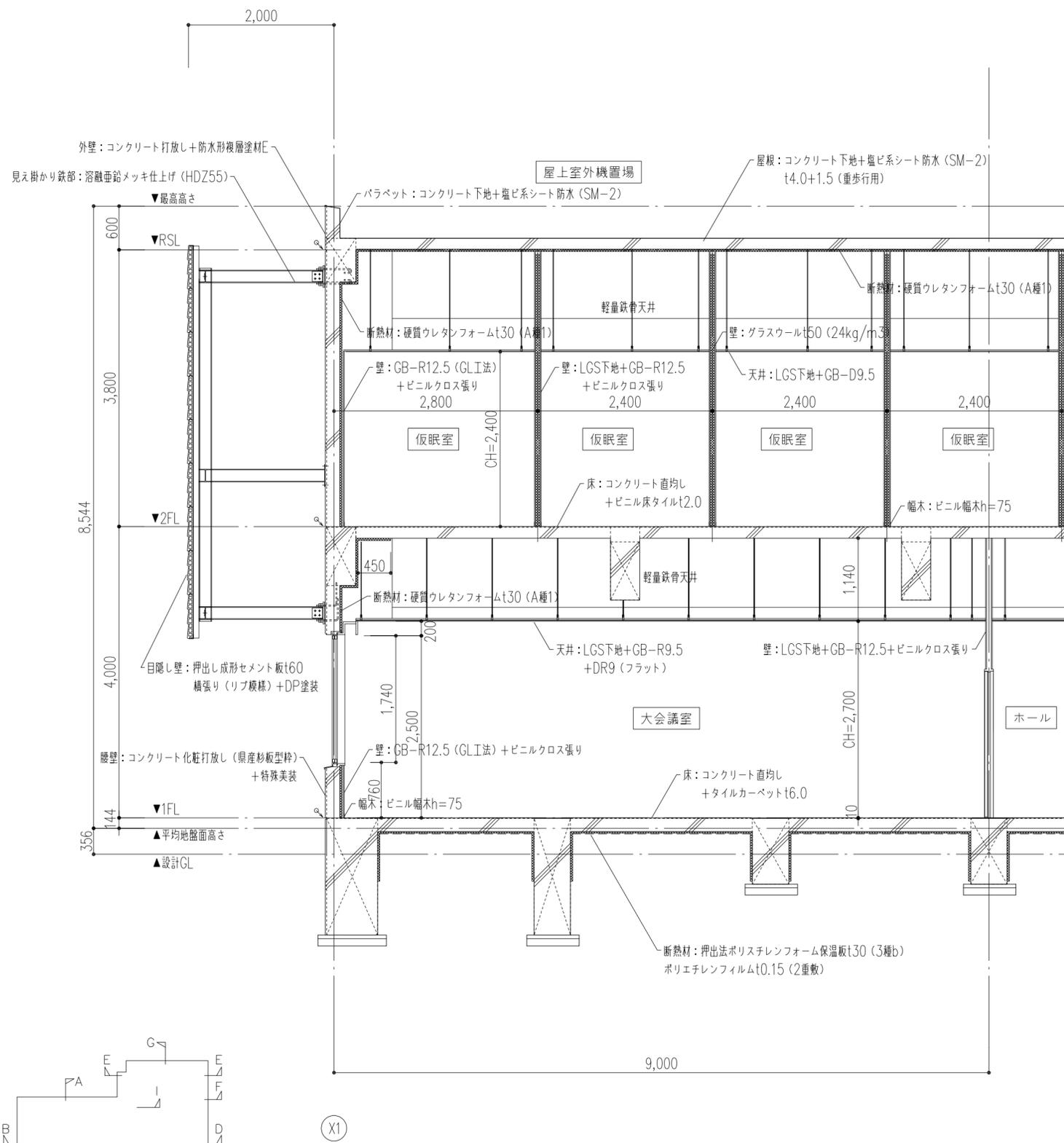
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 14	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	断面図-2	縮尺	A3 (1/300) A2 (1/200)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



断面詳細図-A 1/50

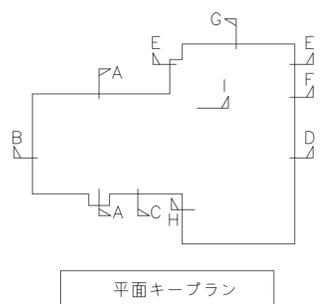
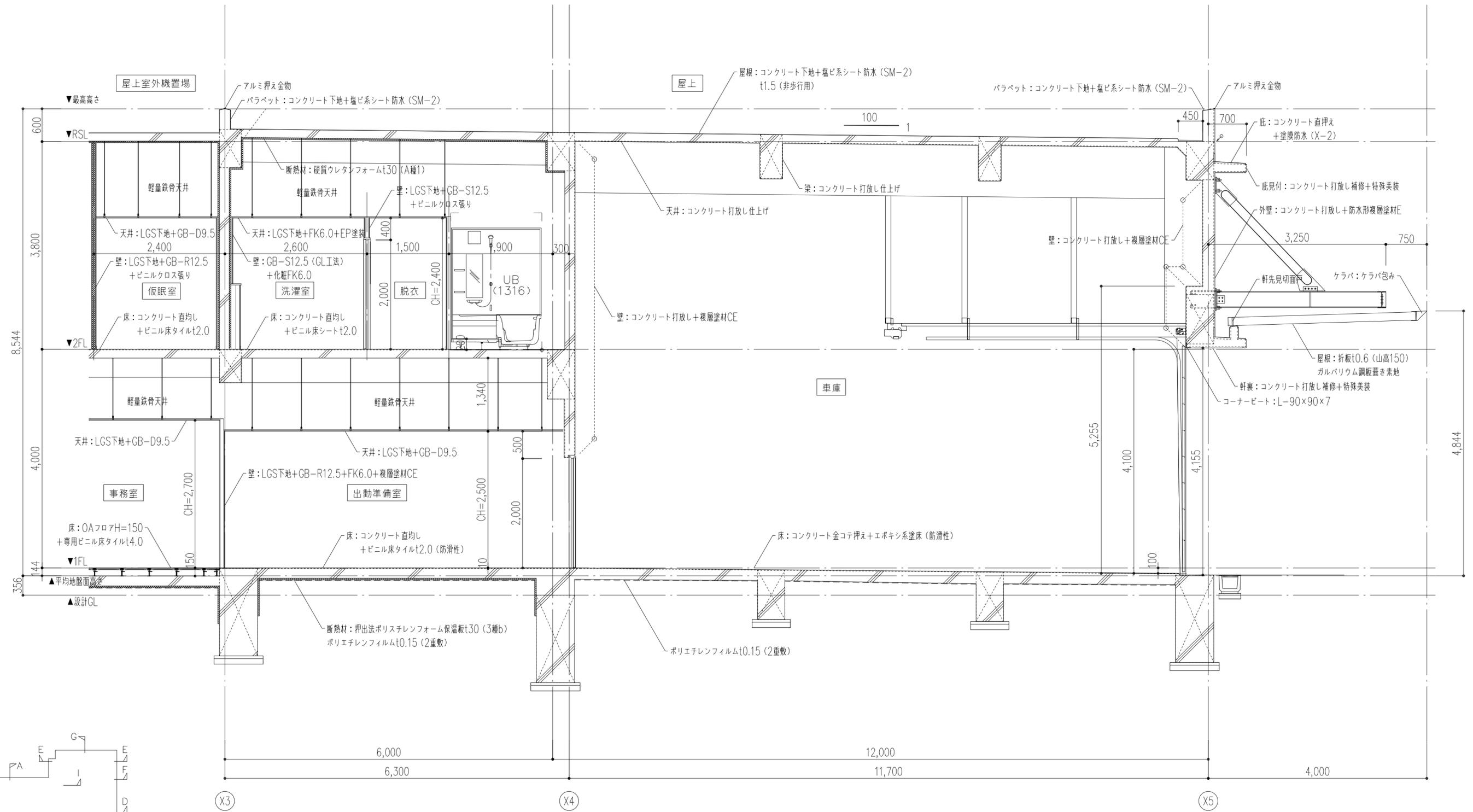
←○：水平打継ぎ目地を示す。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 15	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	断面詳細図-1	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



←○：水平打線目地を示す。

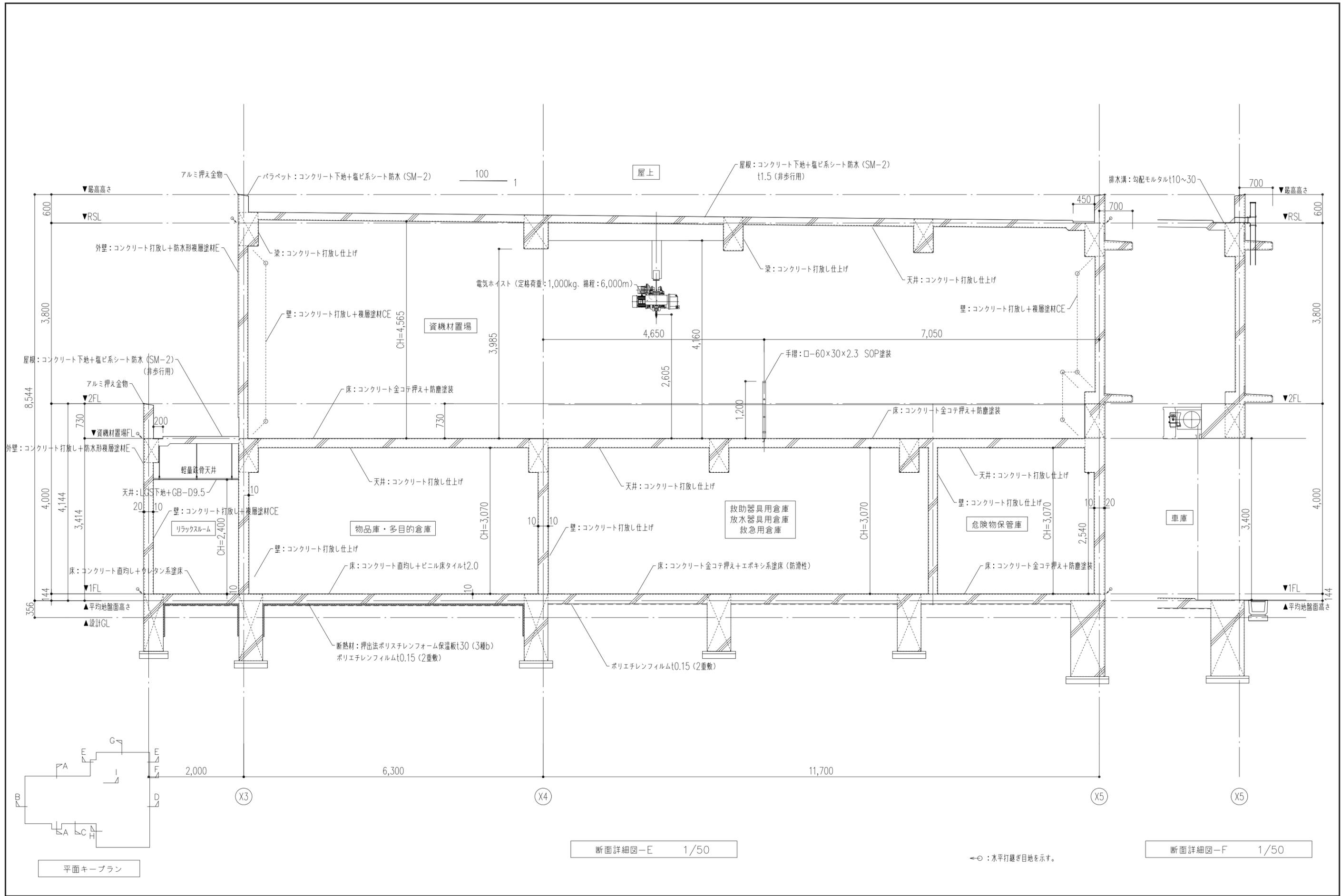
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 16	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	断面詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



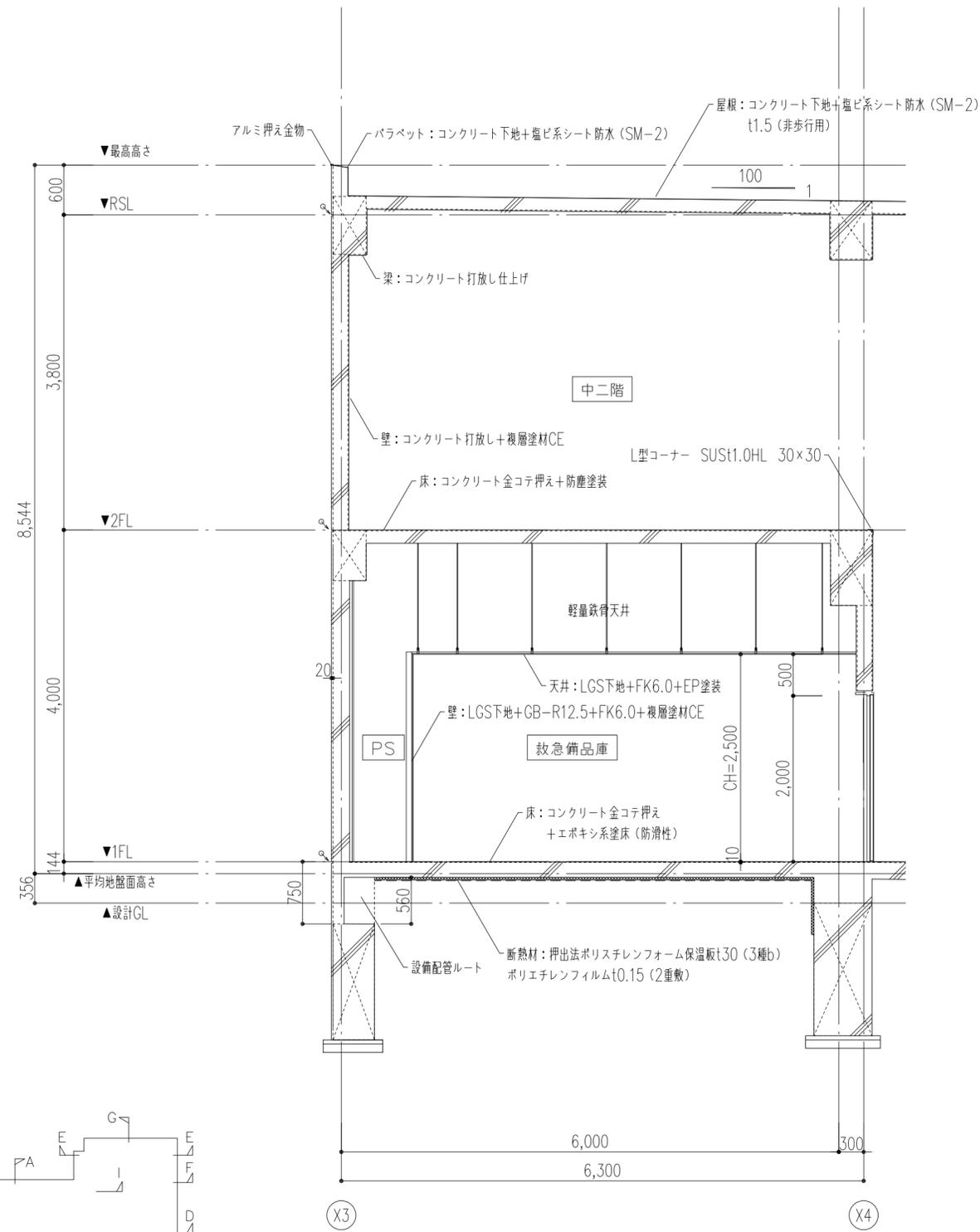
断面詳細図-D 1/50

◀○▶ : 水平打継ぎ目地を示す。
 *外部に面する鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ (HDZ55) とする。

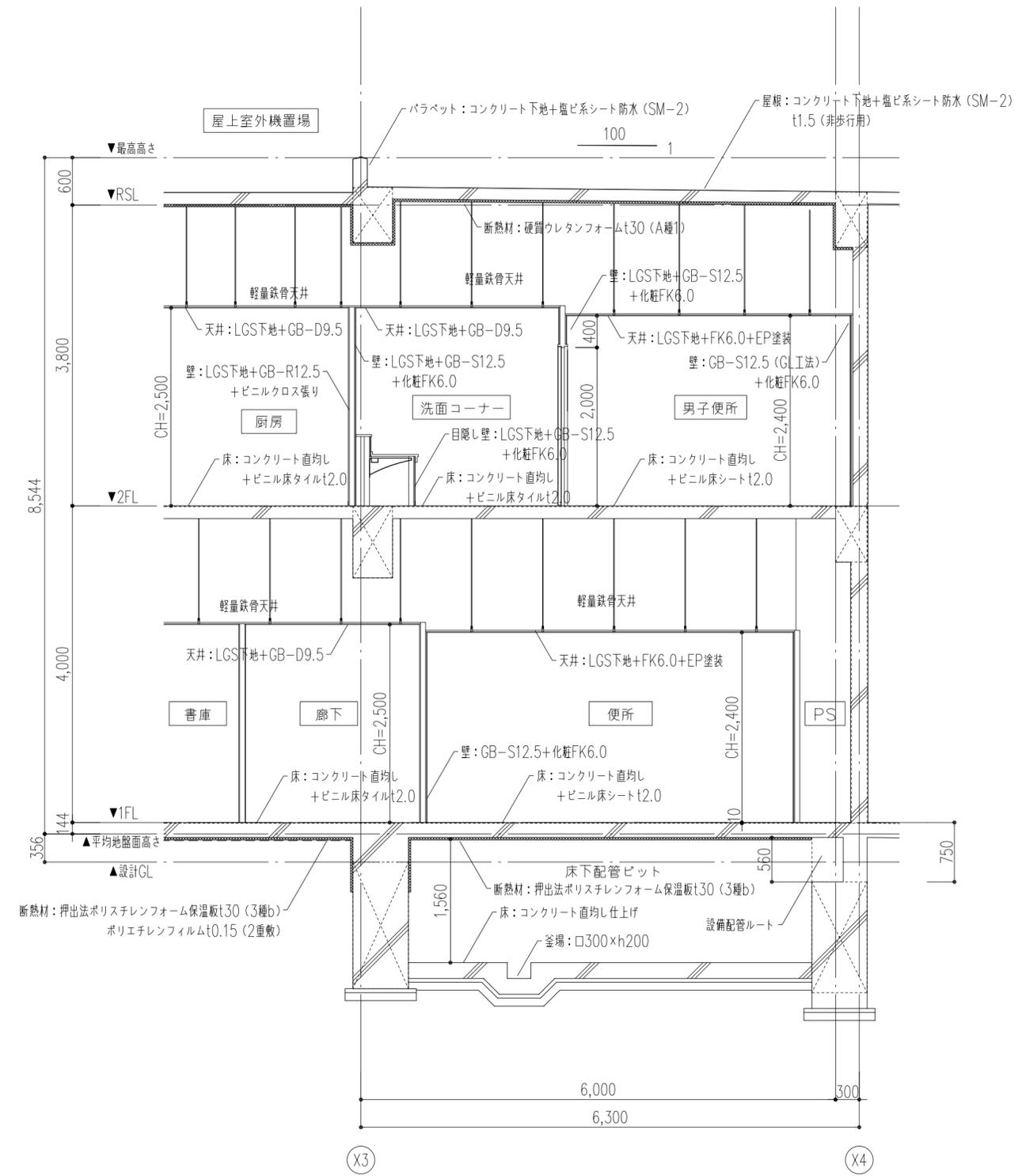
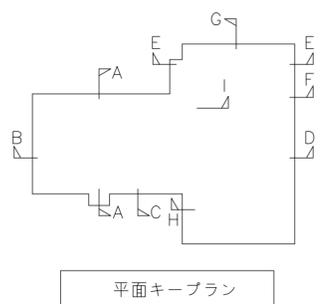
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 17	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	断面詳細図-3	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閱	担当		製図	設計年月日	2017.9	



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 18	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	断面詳細図-4	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



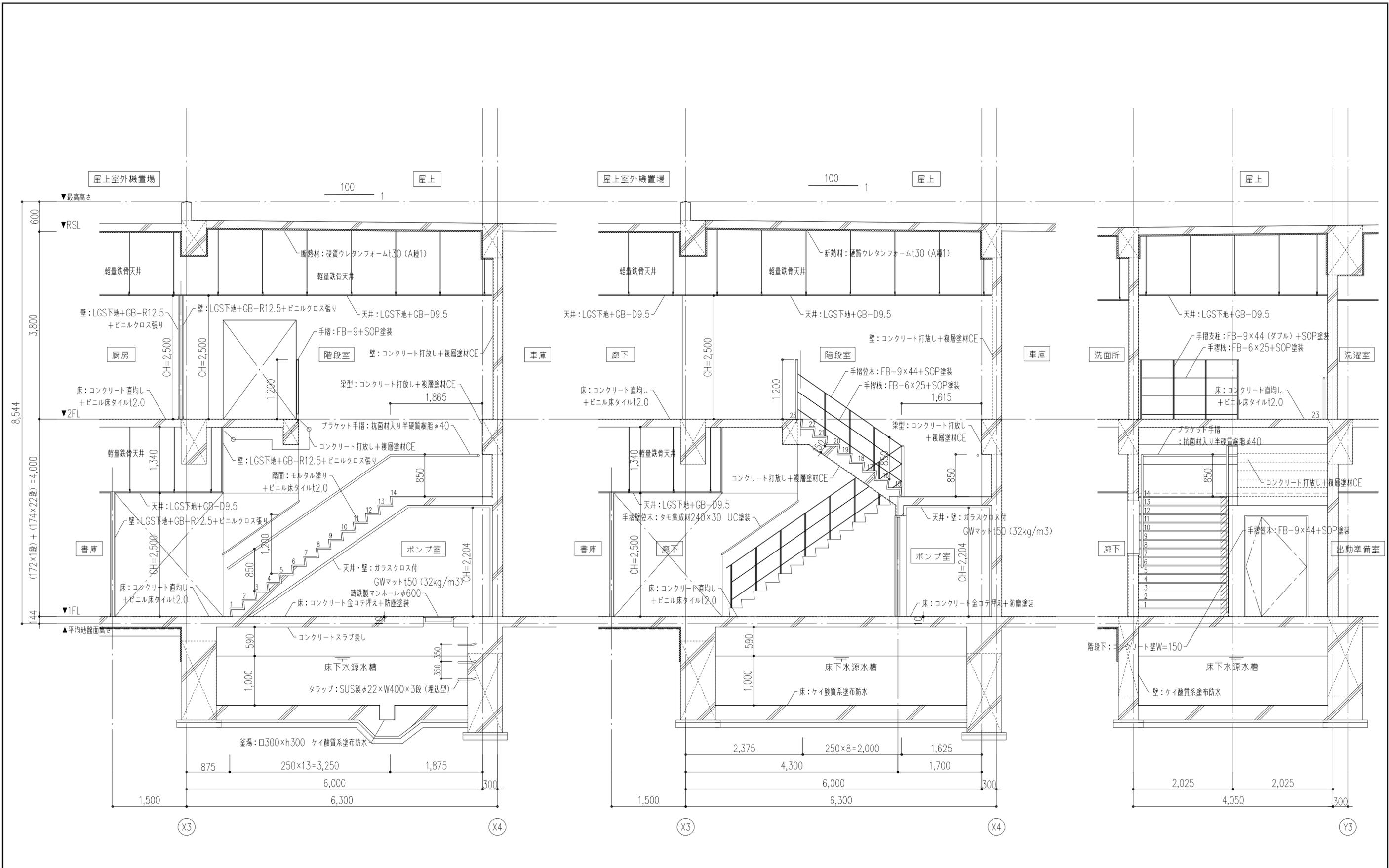
断面詳細図-H 1/50



断面詳細図-I 1/50

◀○▶ : 水平打継ぎ目地を示す。
 *外部に面する鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ (HDZ55) とする。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 20	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	断面詳細図-6	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閱	担当		製図	設計年月日	2017.9	

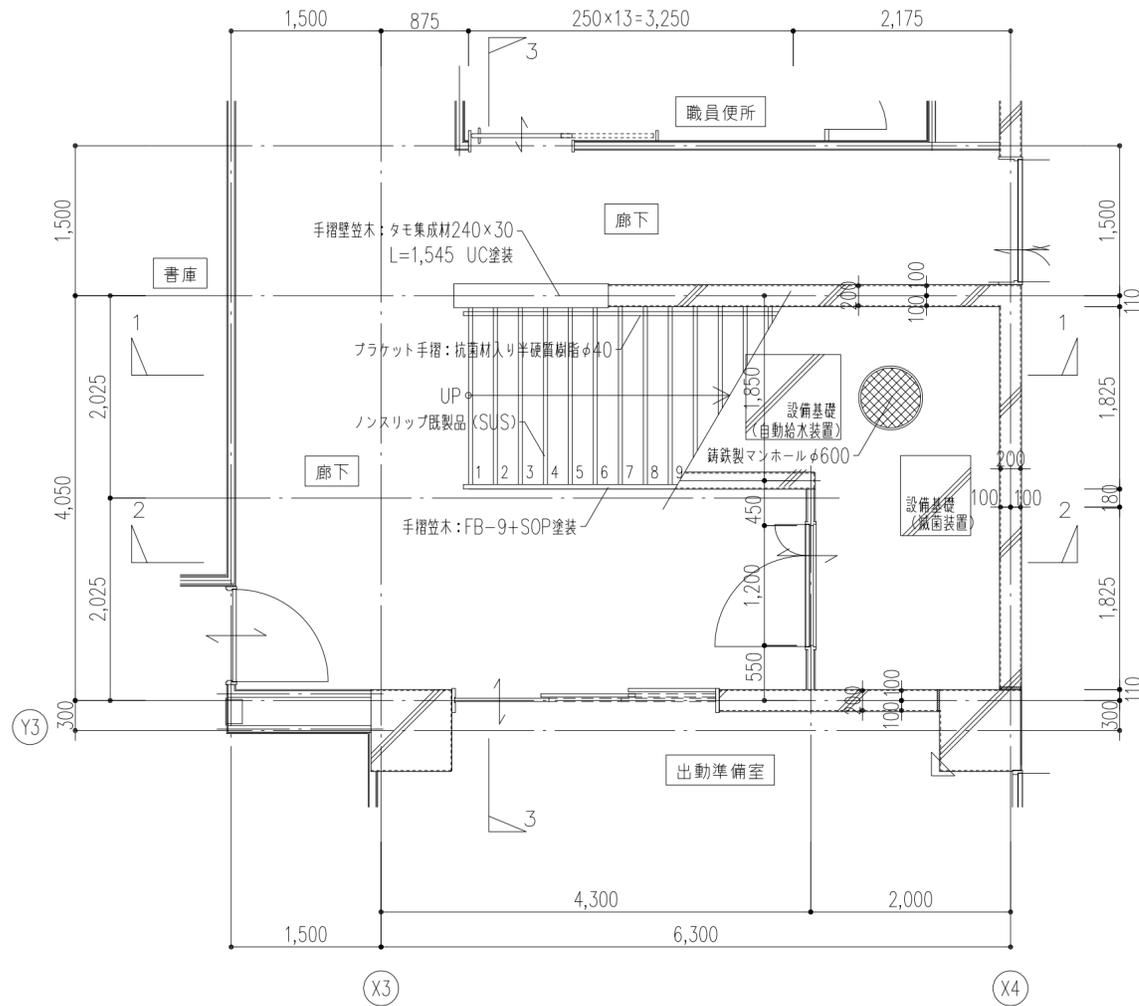


階段断面詳細図-1 1/50

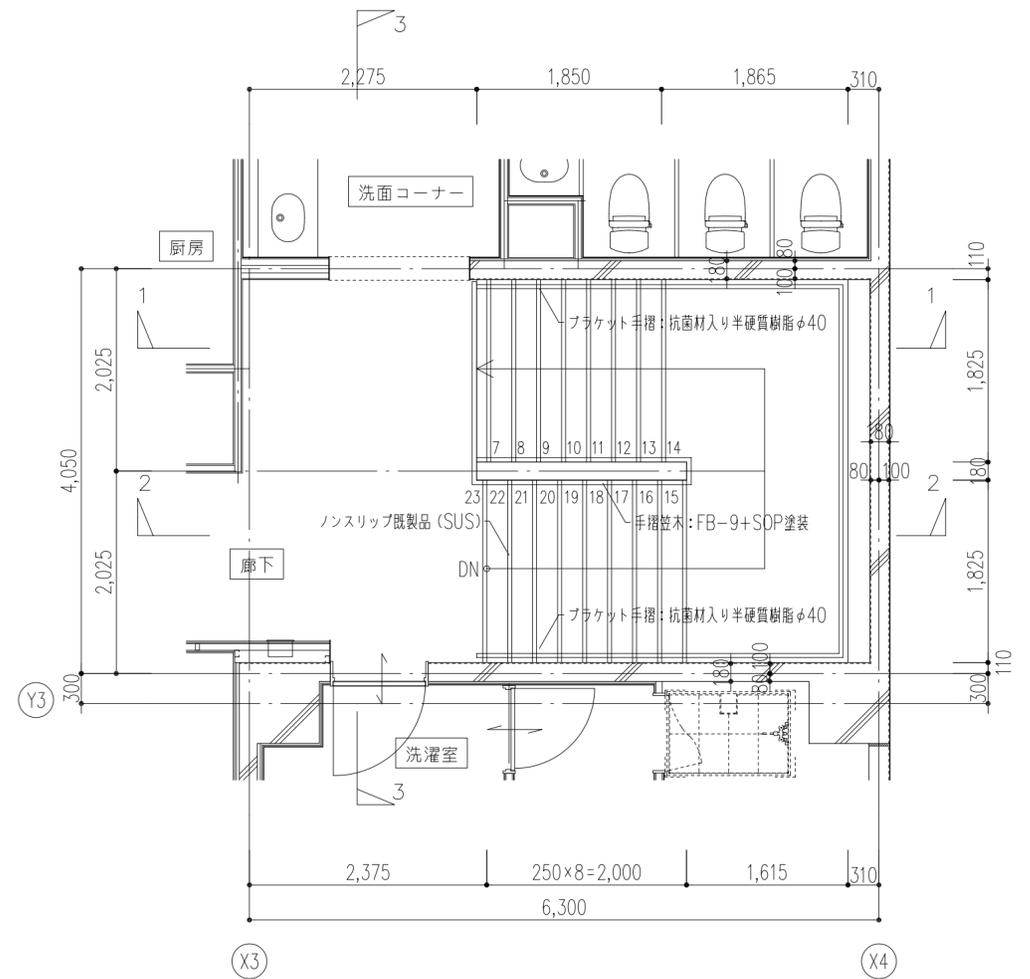
階段断面詳細図-2 1/50

階段断面詳細図-3 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 21	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	屋内階段詳細図-1	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



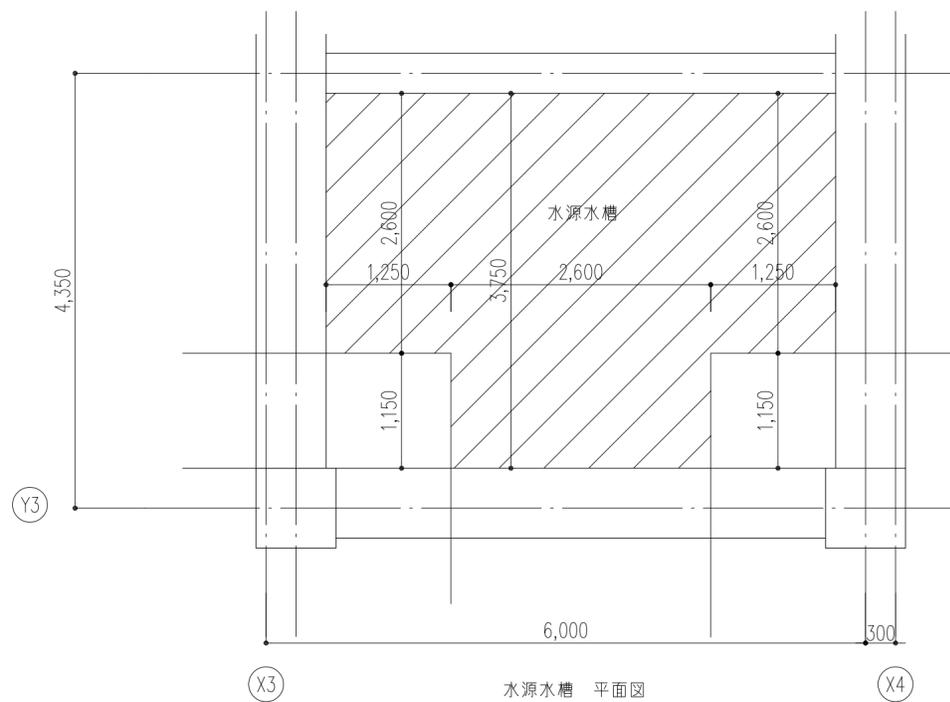
1階 階段平面詳細図 1/50



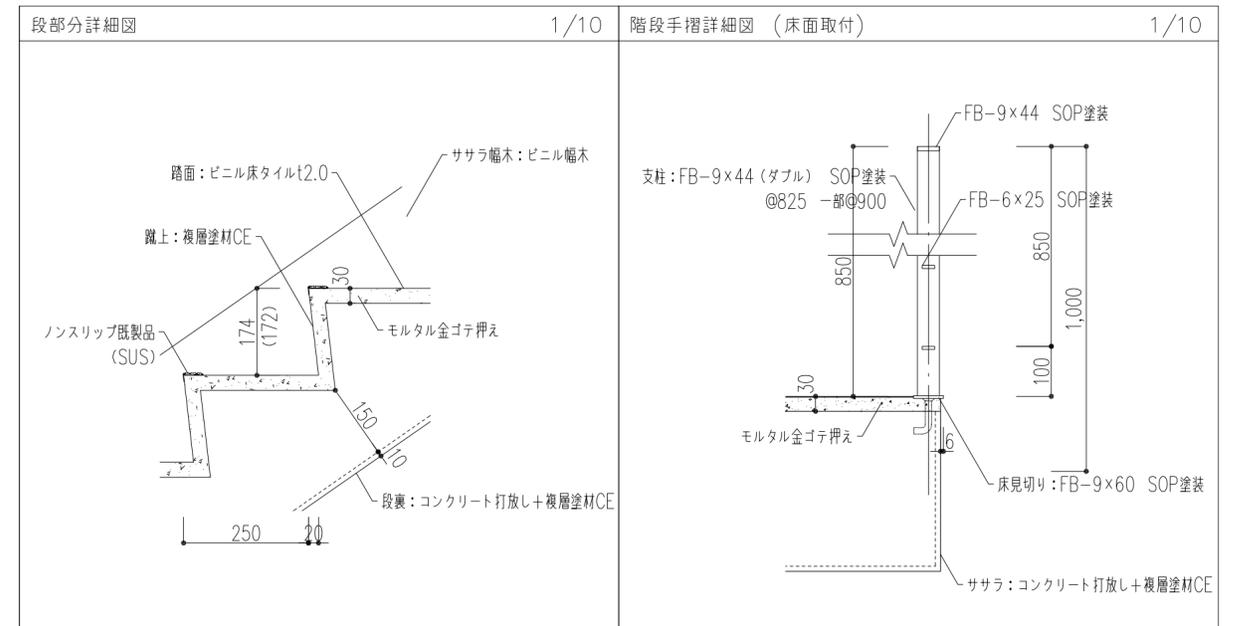
2階 階段平面詳細図 1/50

●水源水槽 容積計算式
 $2.600 \times 1.250 = 3.250$
 $3.750 \times 2.600 = 9.750$
 $2.600 \times 1.250 = 3.250$

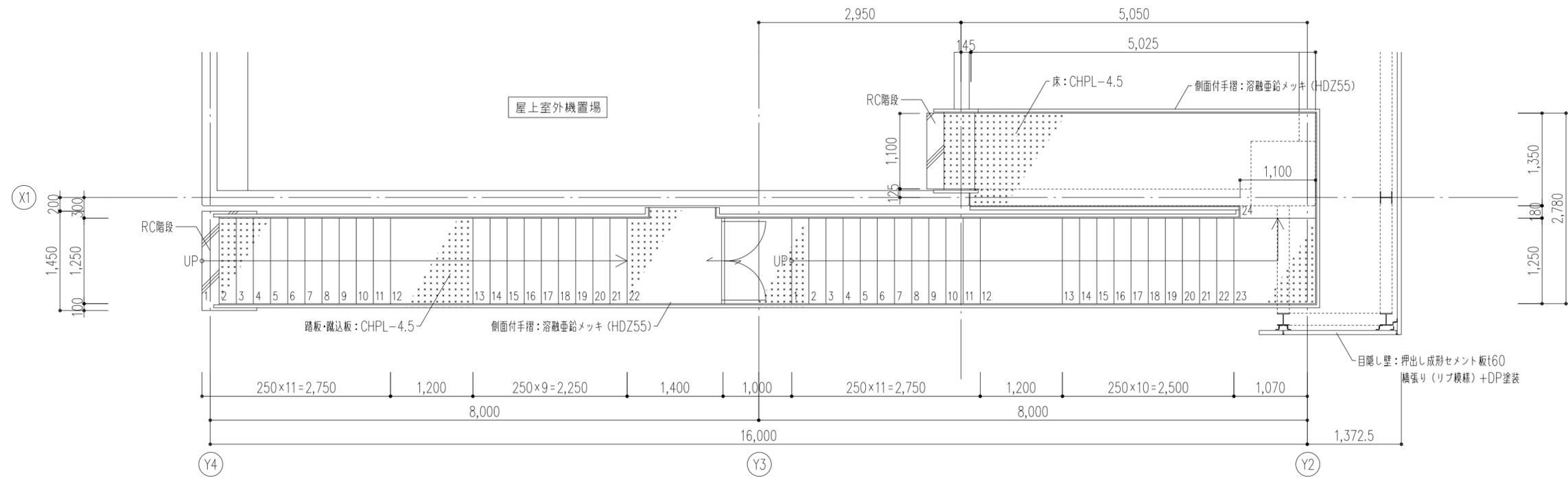
 16.250m^2
 $16.250 \times 1.000 = 16.250$
 16.250m^3



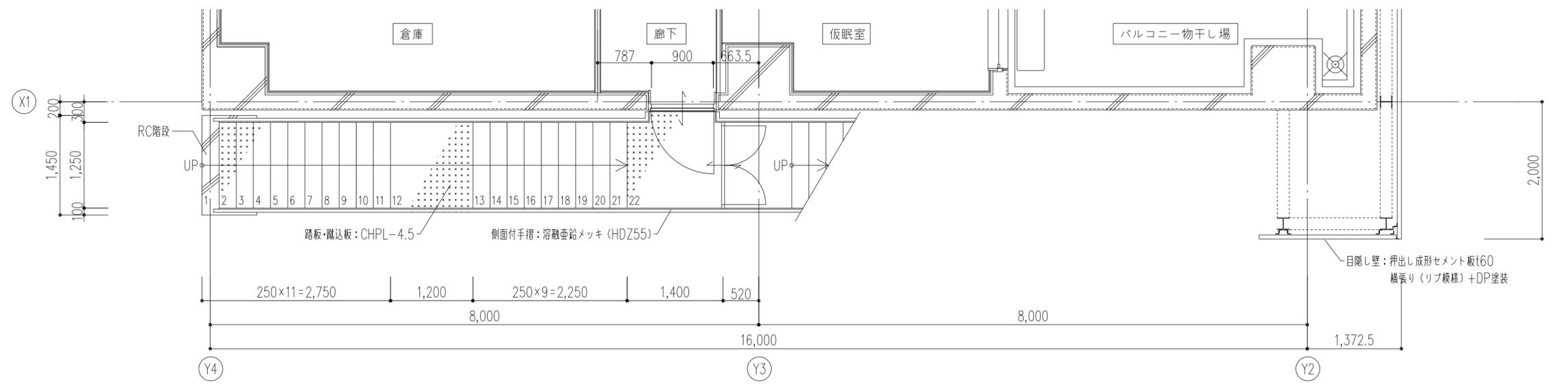
水源水槽 平面図



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 22	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	屋内階段詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



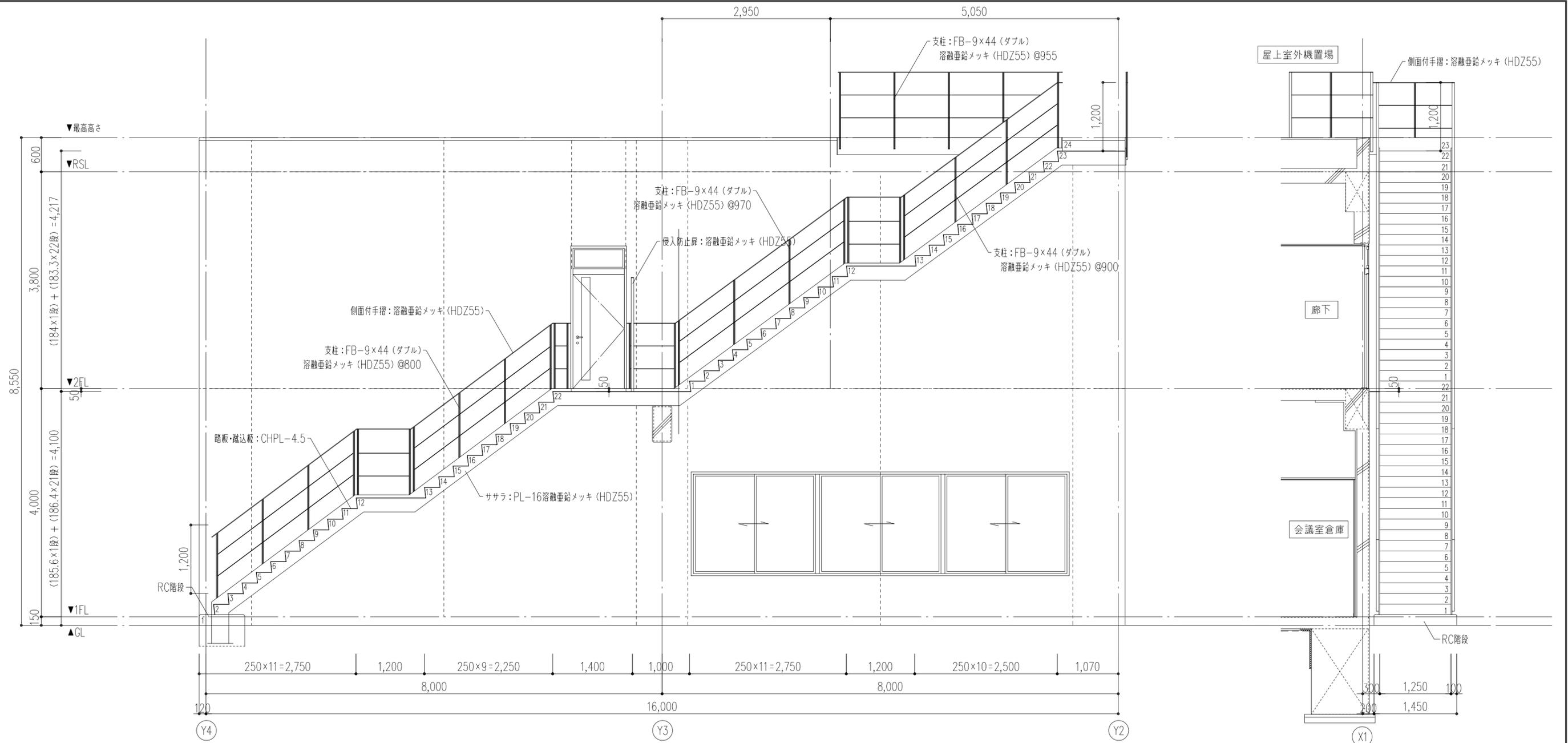
2階 平面詳細図 1/50



1階 平面詳細図 1/50

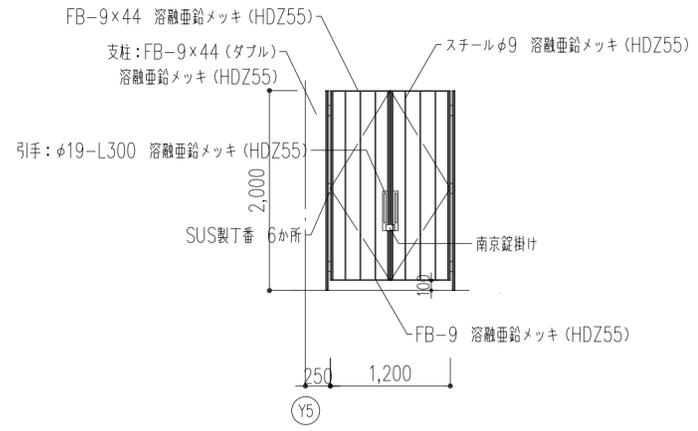
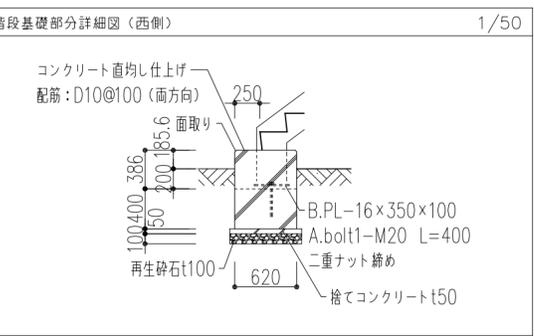
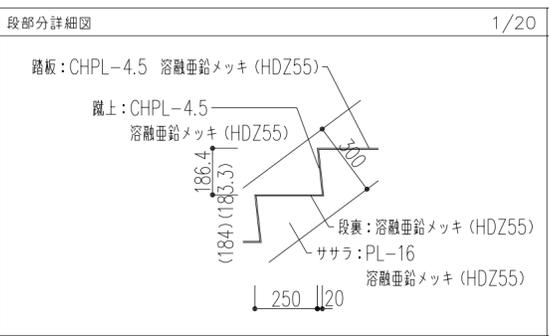
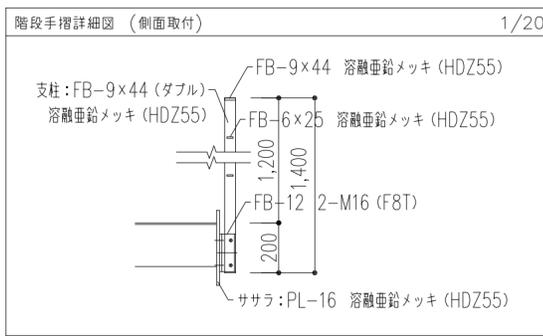


特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 23	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	屋外階段詳細図-1	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



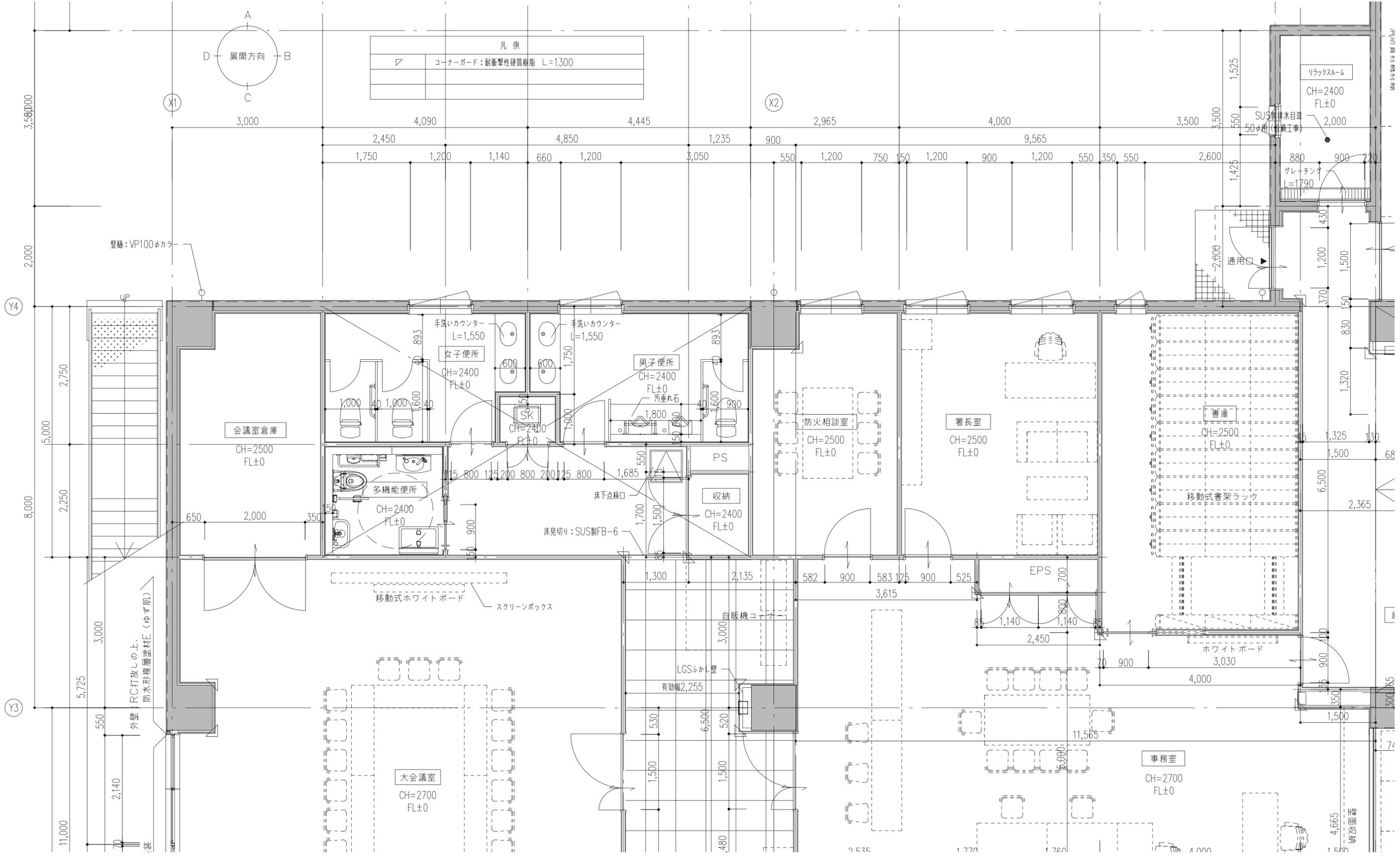
断面詳細図 1/50

立面図 1/50



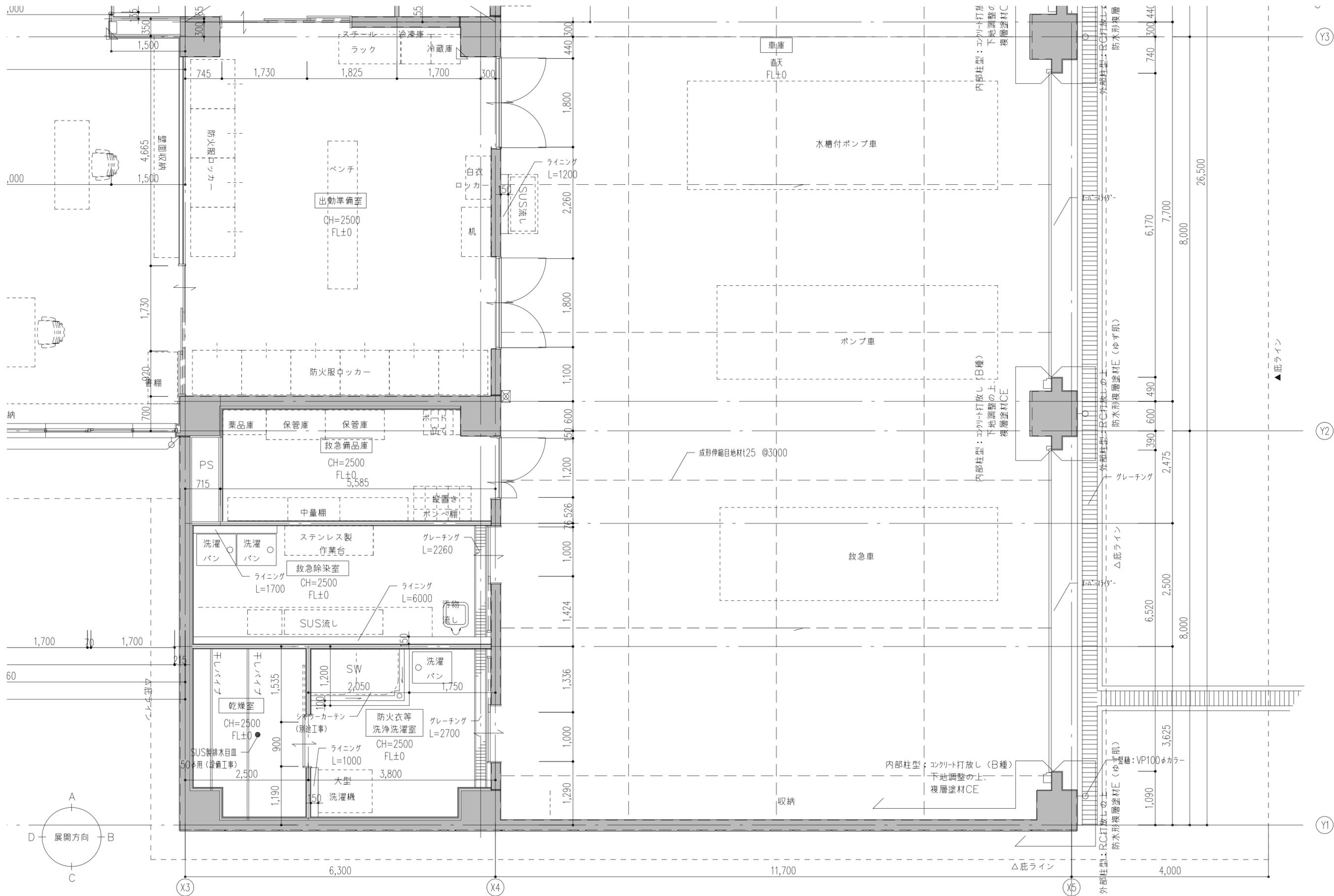
階段侵入防止扉 立面図 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 24	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	屋外階段詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



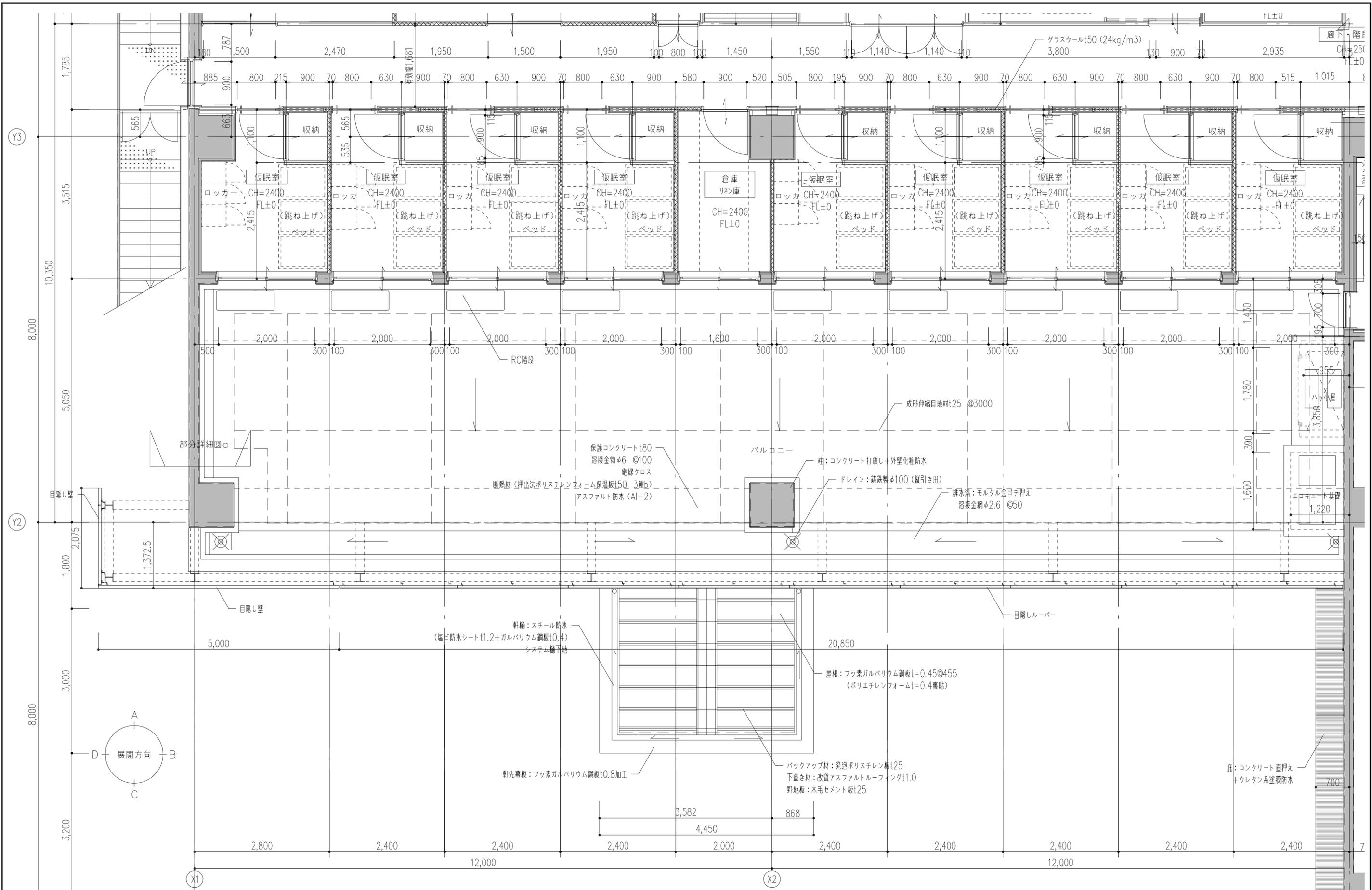
1階 平面詳細図-2 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 26	工事種別	建築	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号 校閲 担当 製図 設計No. - 設計年月日 2017.9
	図面名称	1F平面図詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号		



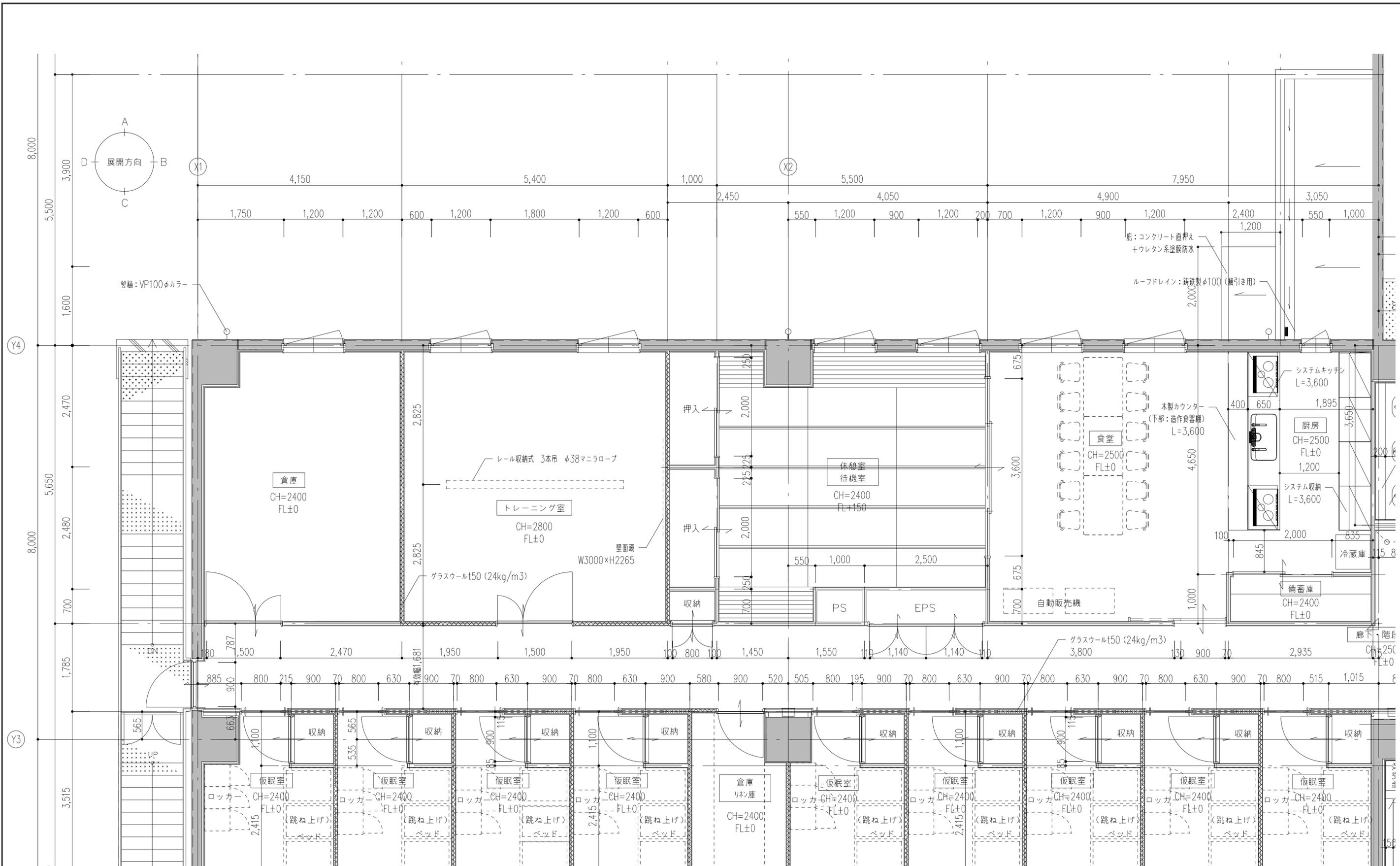
1階 平面詳細図-4 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 28	工事種別	建築	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号 校閲 担当 製図	設計No. — 設計年月日 2017.9
	図面名称	1F平面図詳細図-4	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号			



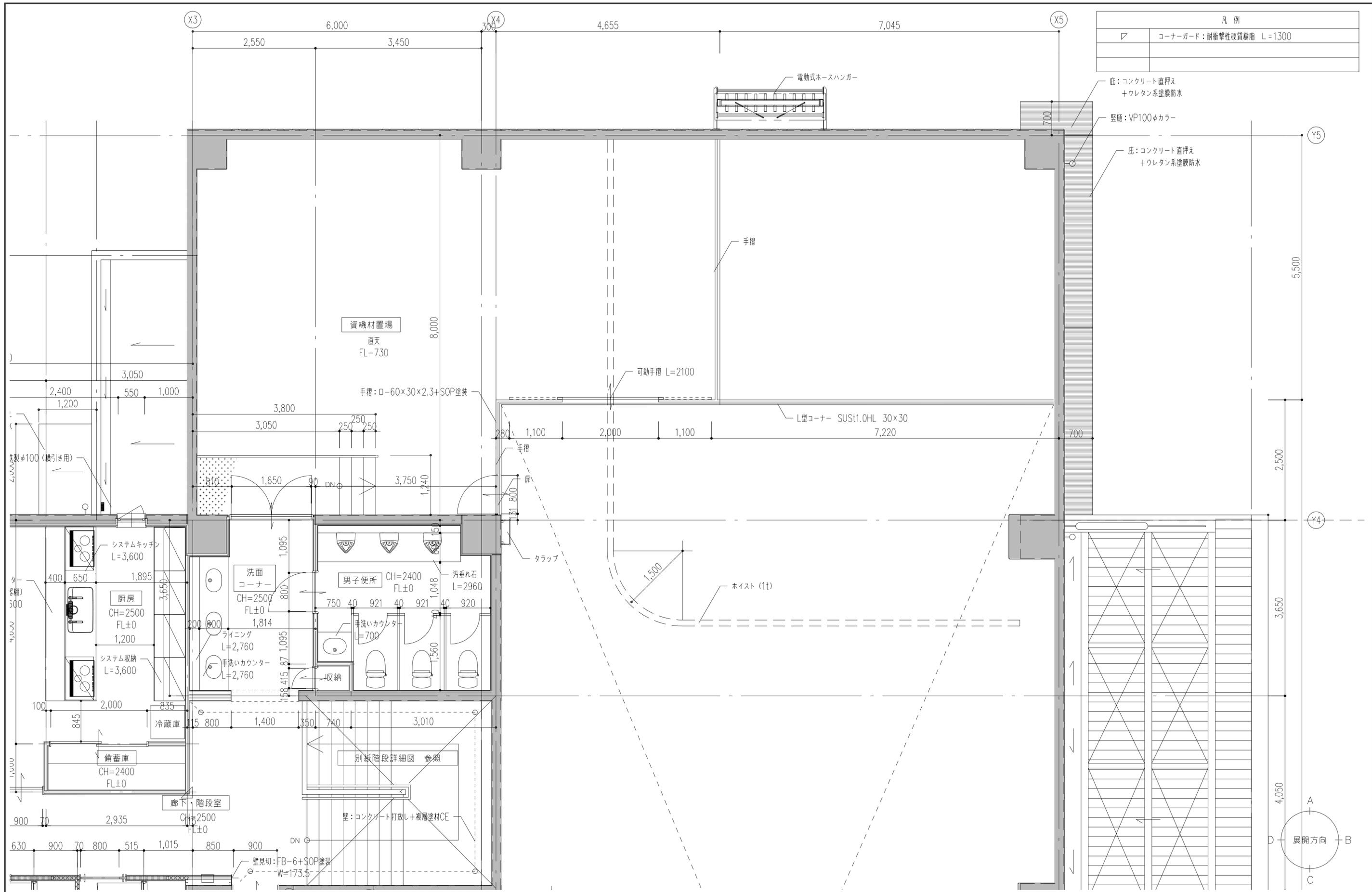
2階 平面詳細図-1 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 29	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	2F平面詳細図-1	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	大員 登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



2階 平面詳細図-2 1/50

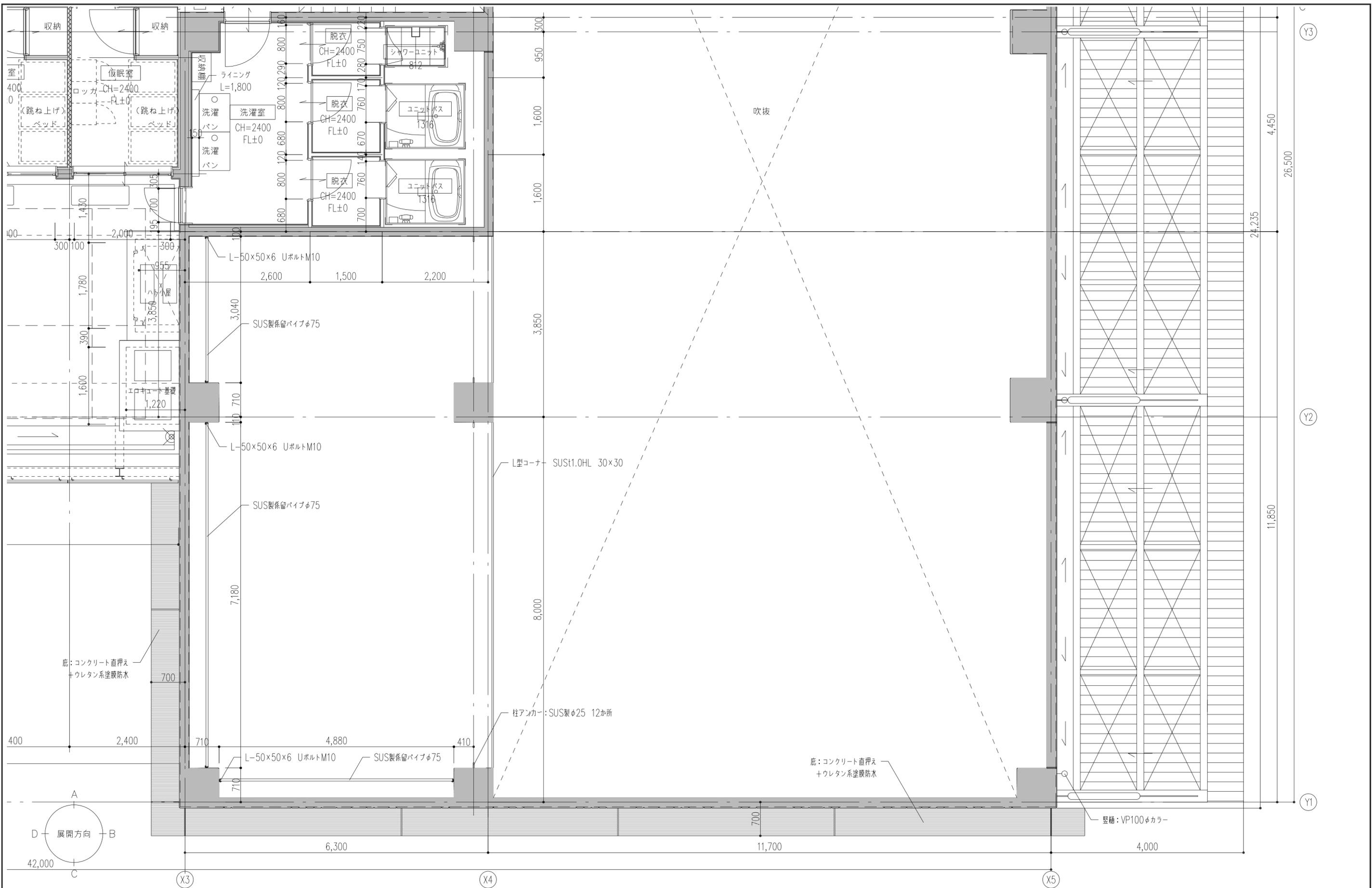
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 30	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	2F平面詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



凡例	
▽	コーナーガード: 耐衝撃性硬質樹脂 L=1300

2階 平面詳細図-3 1/50

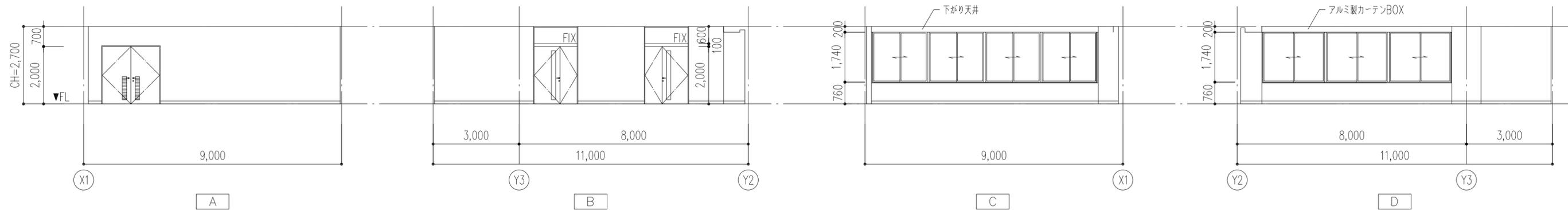
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 31	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	2F平面詳細図-3	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9



2階 平面詳細図-4 1/50

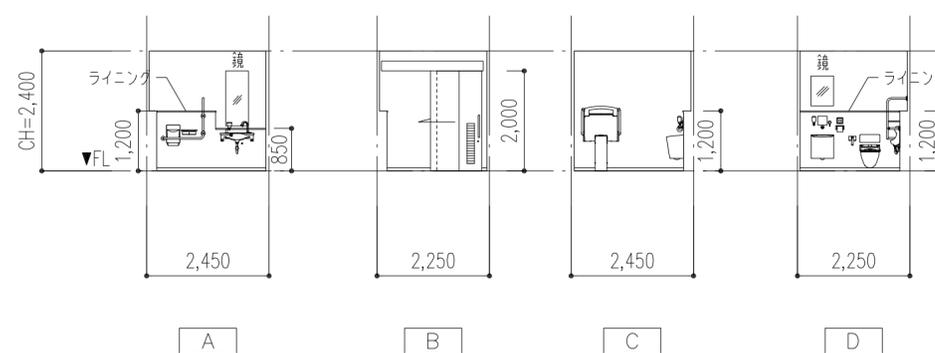
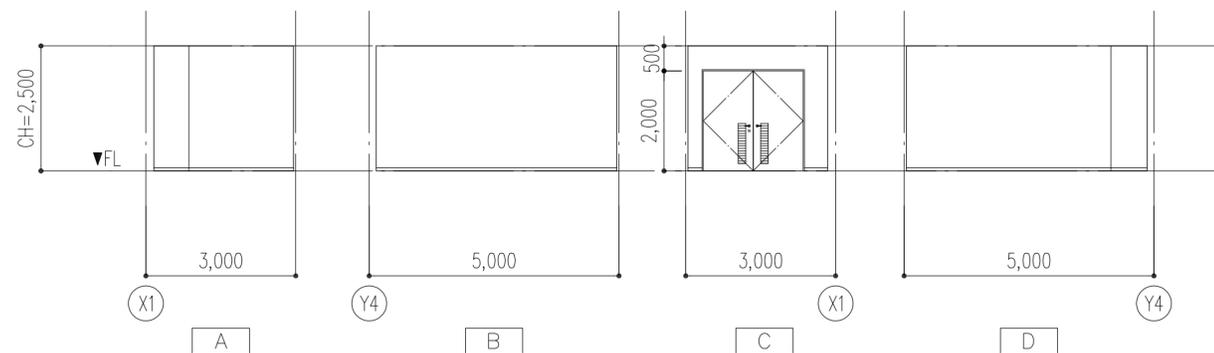
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 32	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	2F平面詳細図-4	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	大臣登録 第338983号		担当	製図	設計年月日	2017.9

大会議室



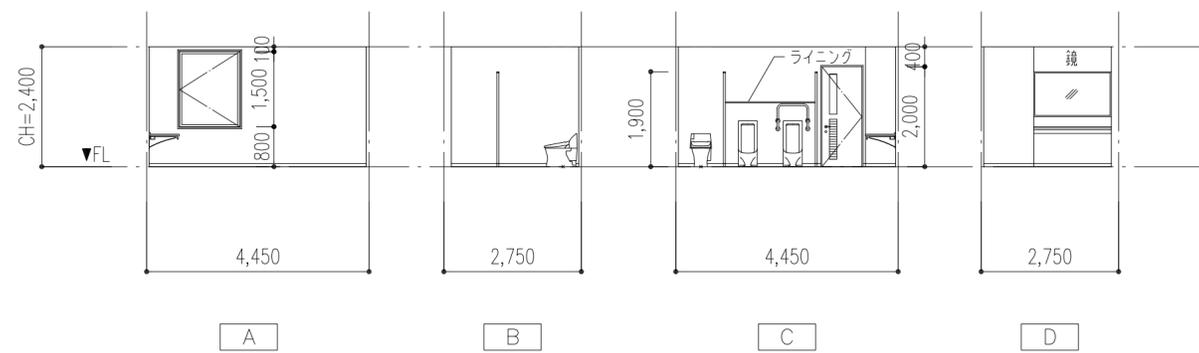
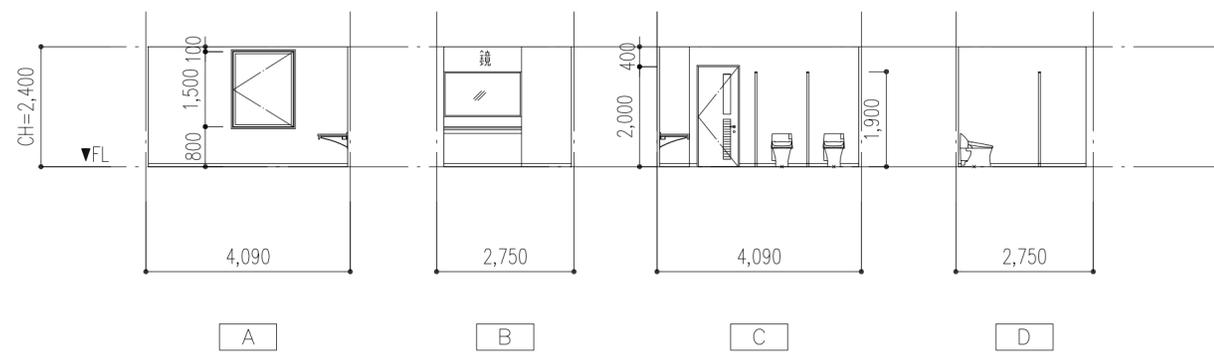
会議室倉庫

多機能便所



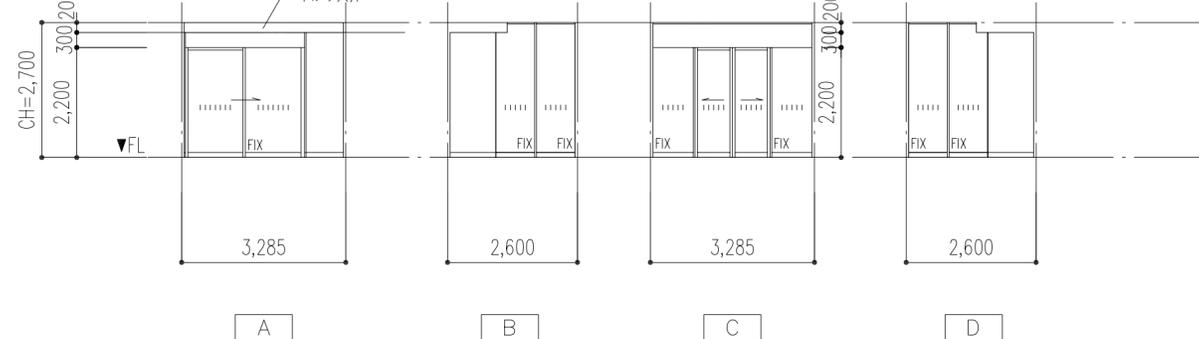
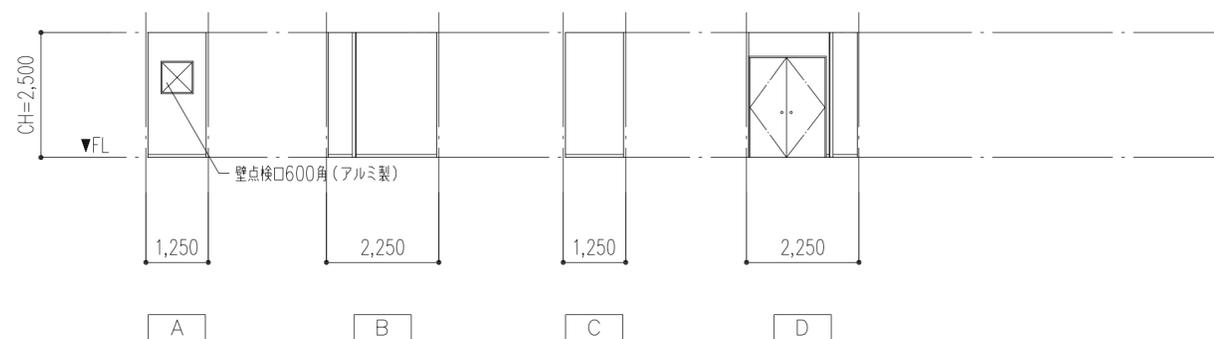
女子便所

男子便所



収納

風除室



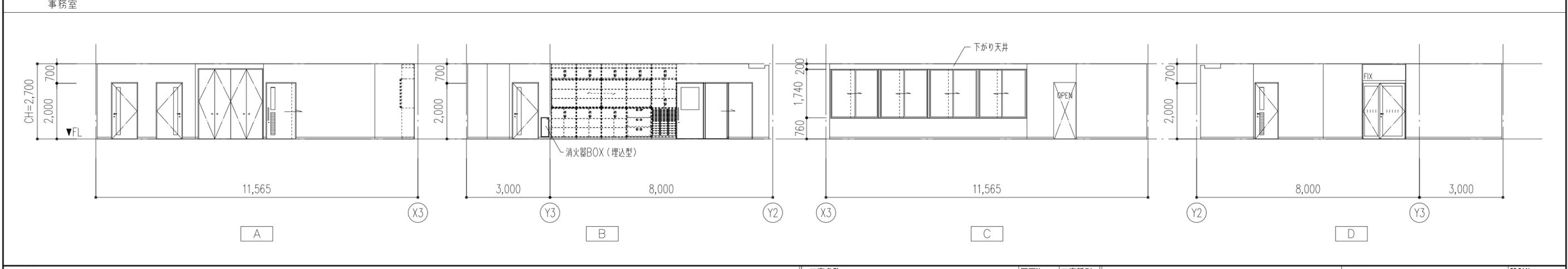
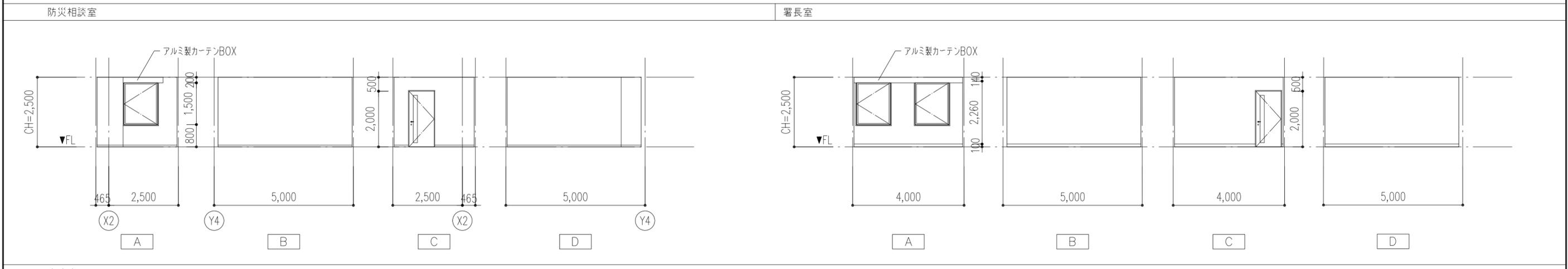
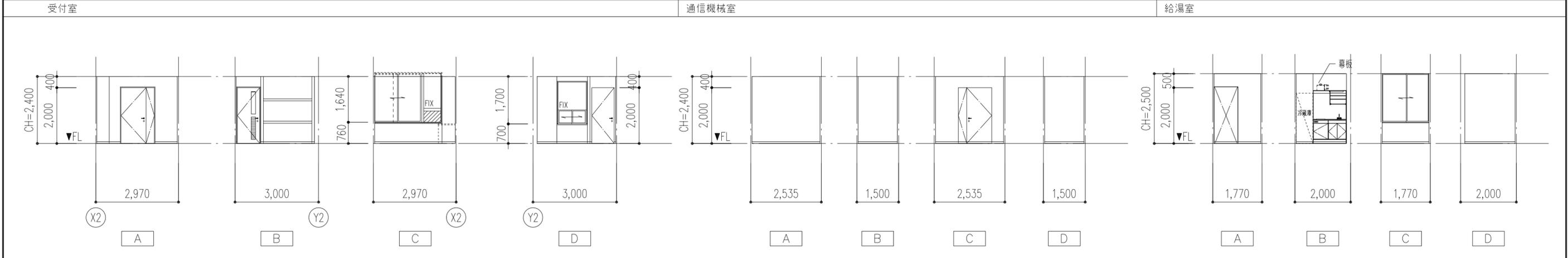
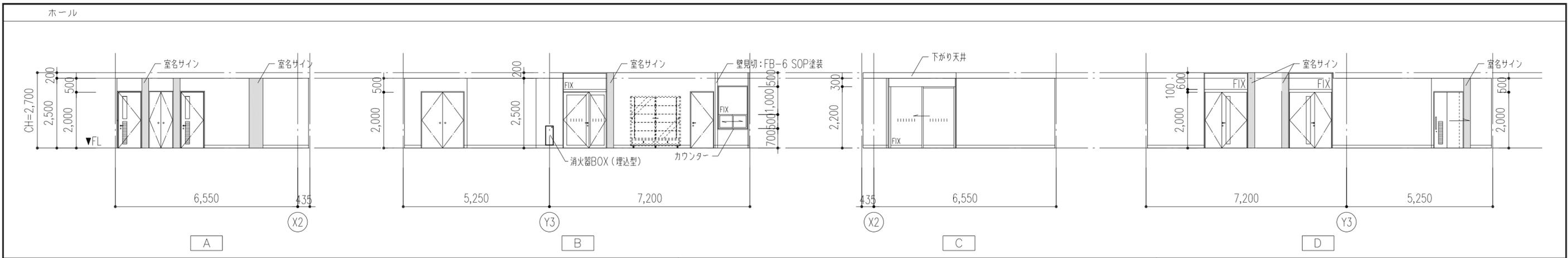
特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 1階展開図-1

図面No. A / 33	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/150) A2 (1/100)	

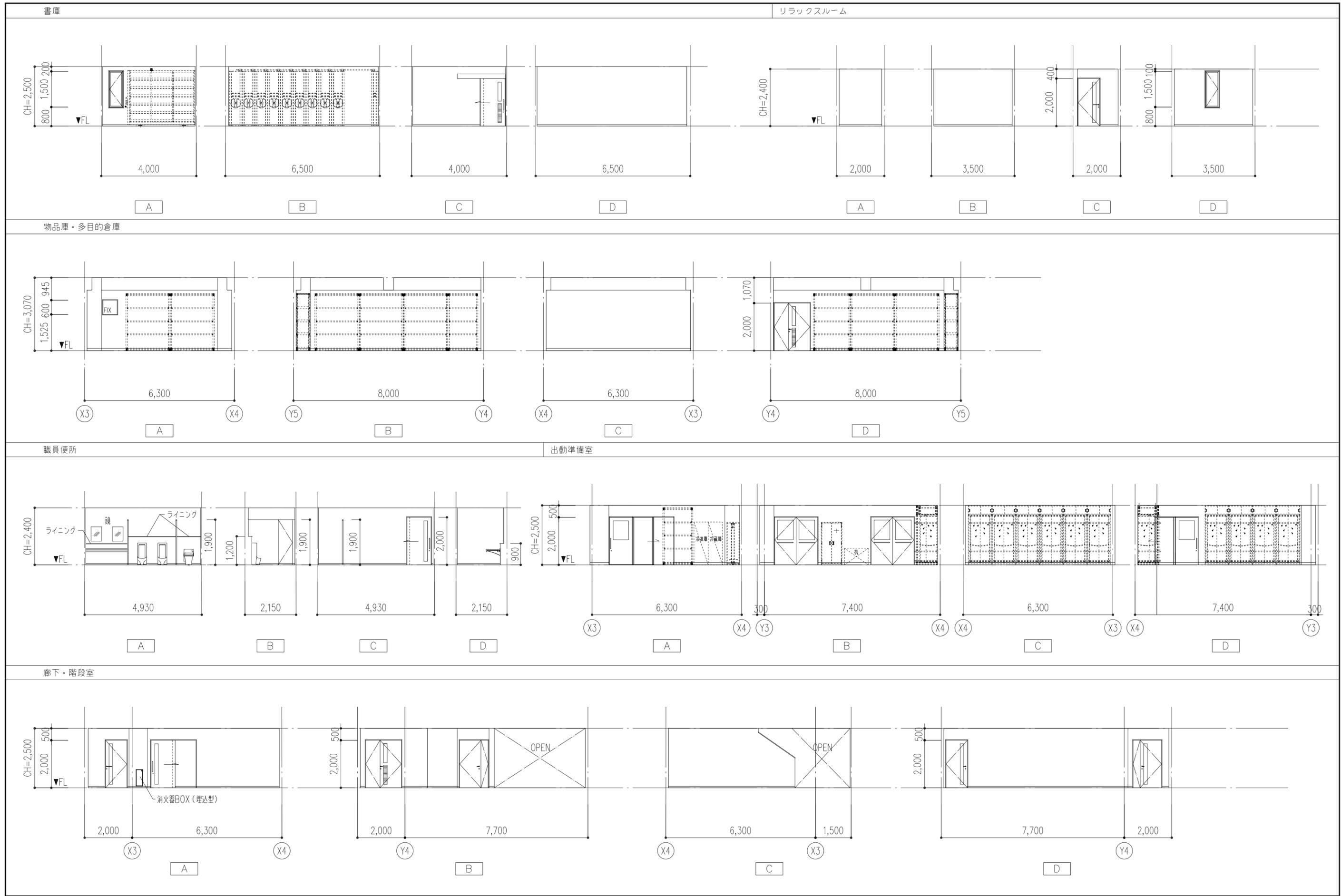
株式会社 阿波設計事務所 四国支店
一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	校閲	担当	製図
----------------	------------------------	----	----	----

設計No. -	設計年月日 2017.9
------------	-----------------



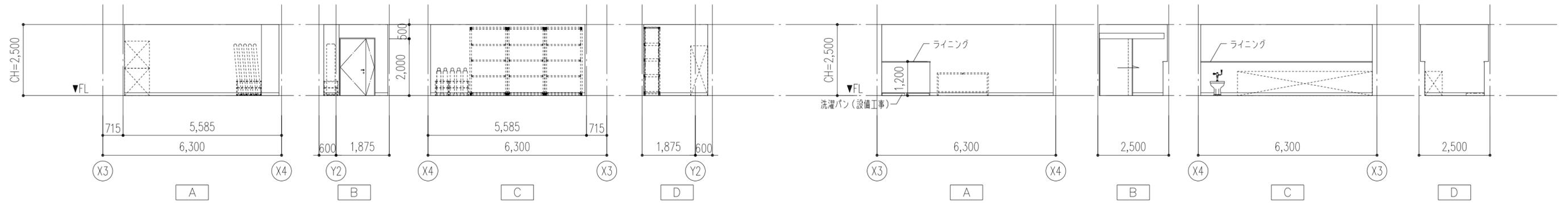
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	工事種別	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	1階展開図-2	縮尺	建築		一級建築士	大臣登録 第338983号	設計年月日	
						校閲	担当	製図	



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 35	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	1階展開図-3	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校閱	担当		製図	設計年月日	2017.9	

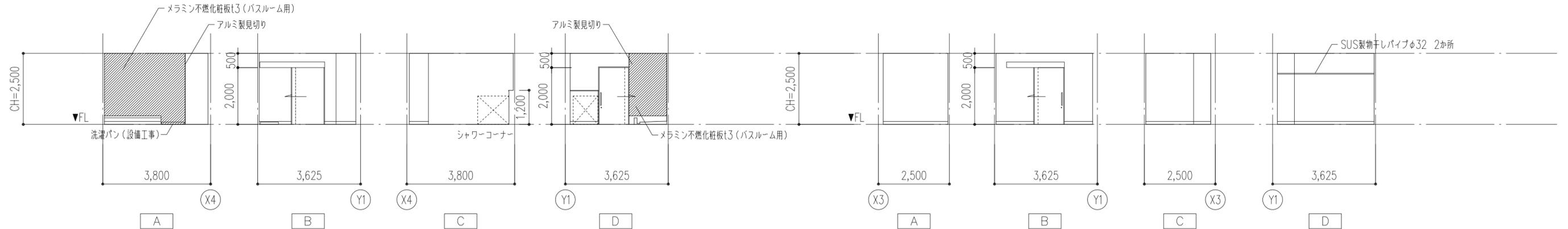
救急備品庫

救急除染室

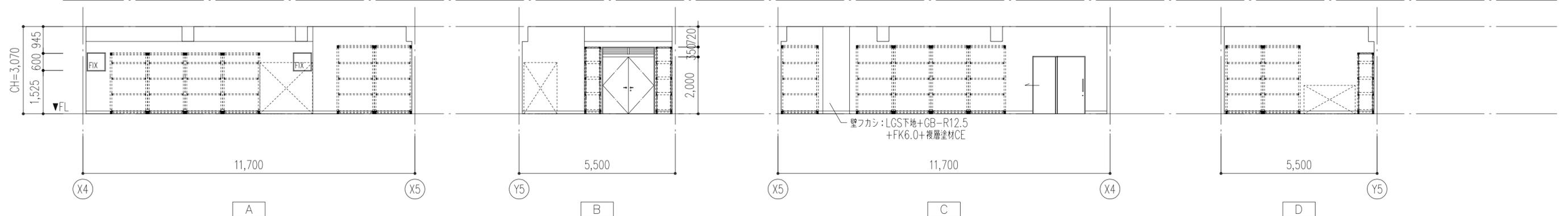


防火衣等洗浄洗濯室

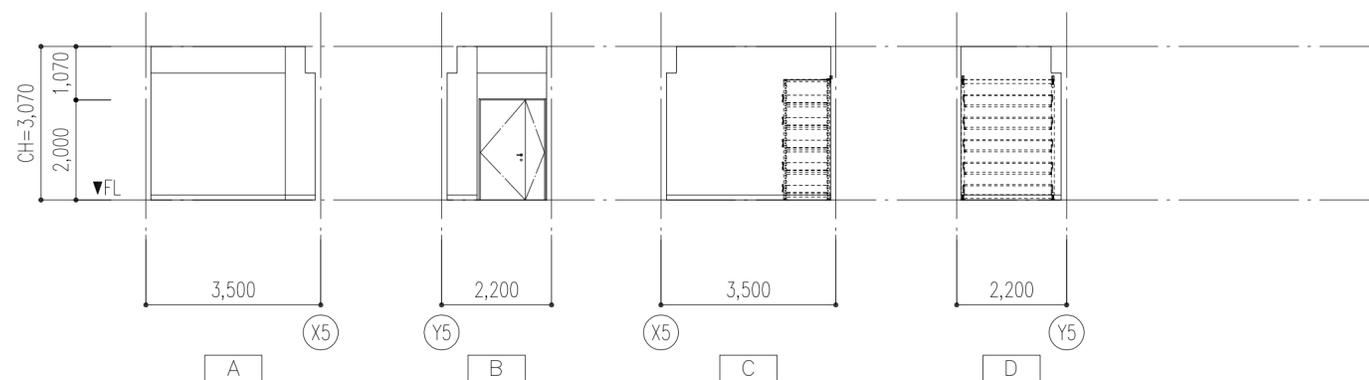
乾燥室



救助器具用倉庫・放水器具用倉庫・救急用倉庫

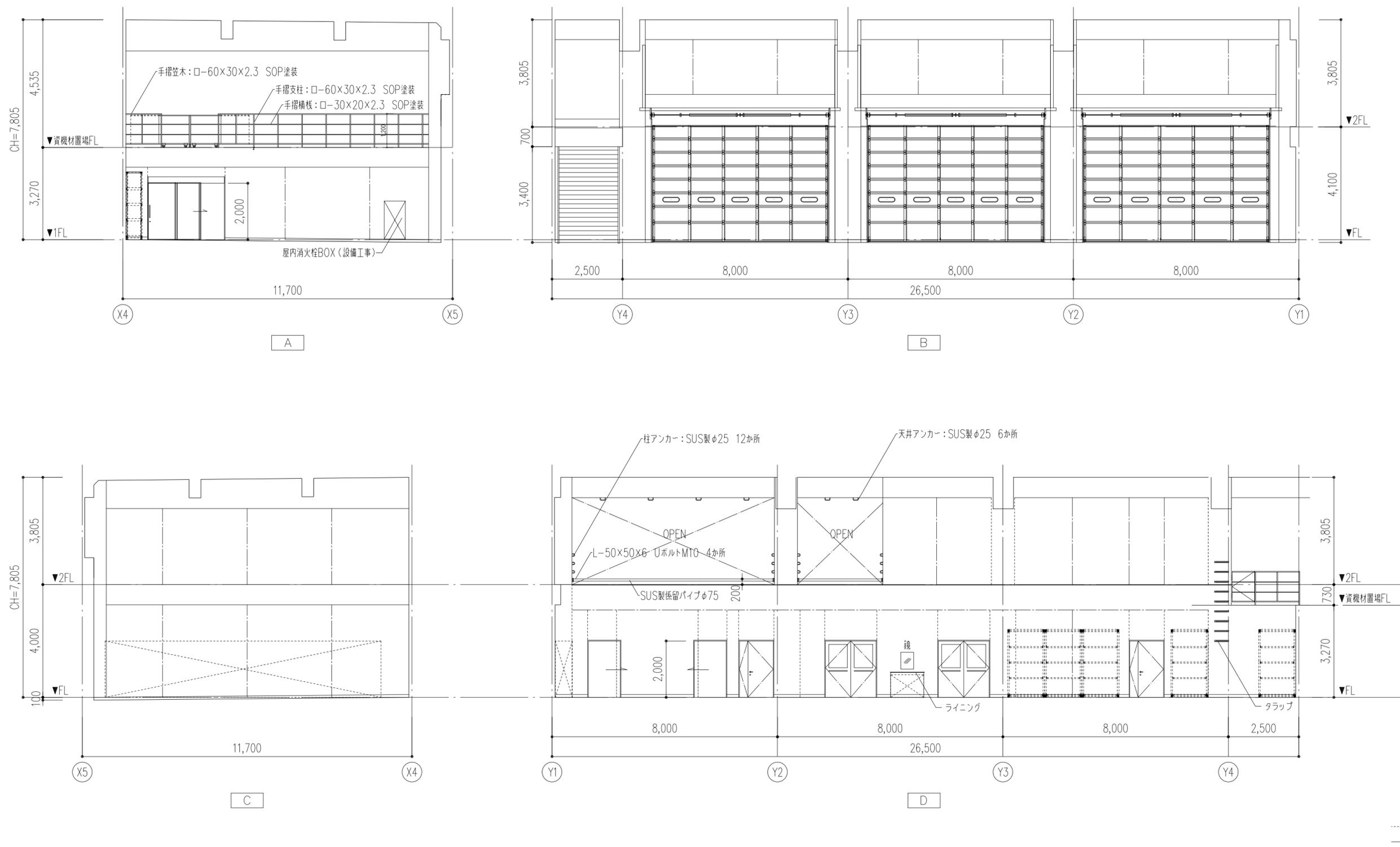


危険物保管庫



特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. A / 36	工事種別 建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介	設計No. -
	図面名称 1階展開図-4	縮尺 A3 (1/150) A2 (1/100)	校閱		一級建築士 大臣登録 第338983号	設計年月日 2017.9

担当	製図
----	----

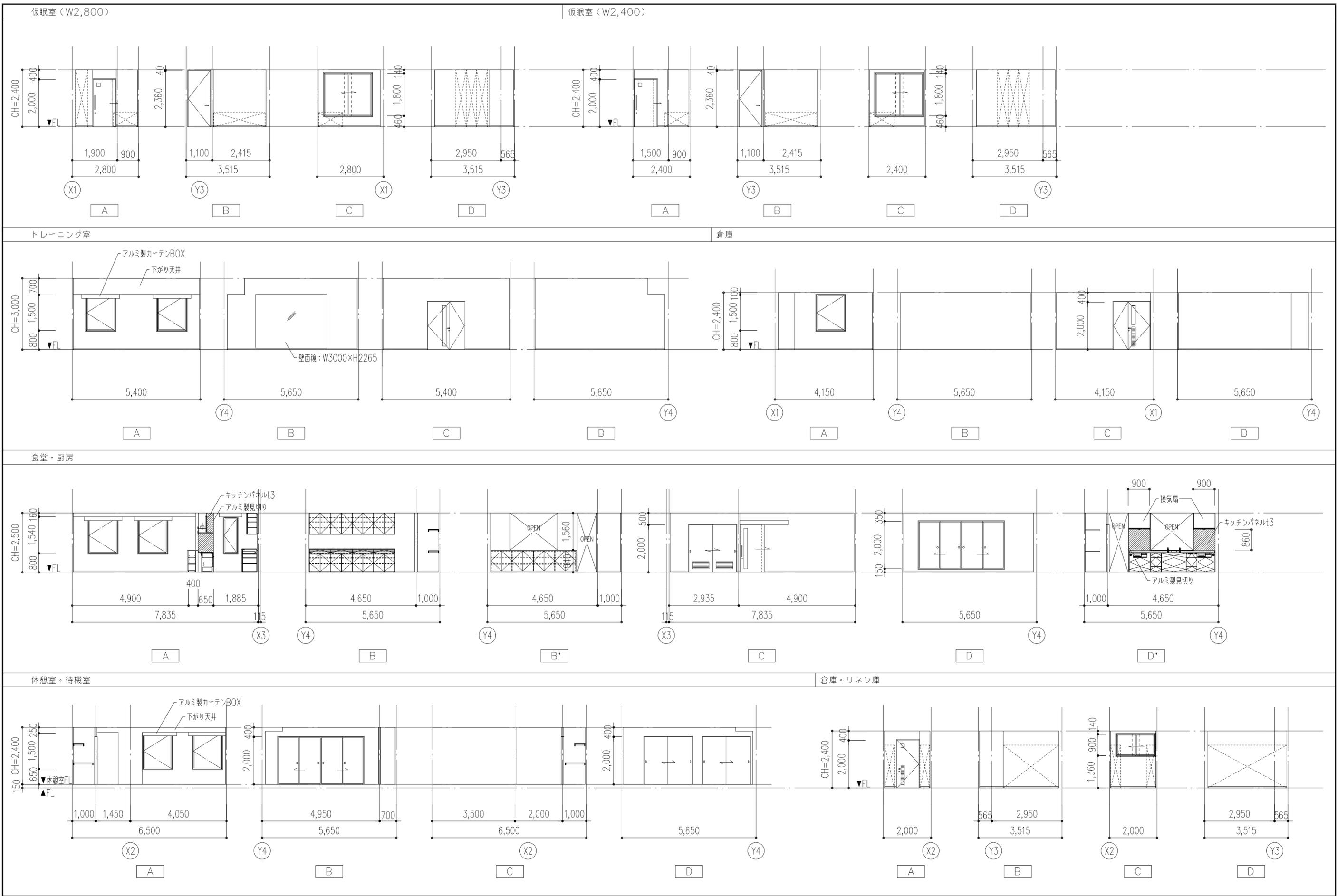


特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 1階展開図-5

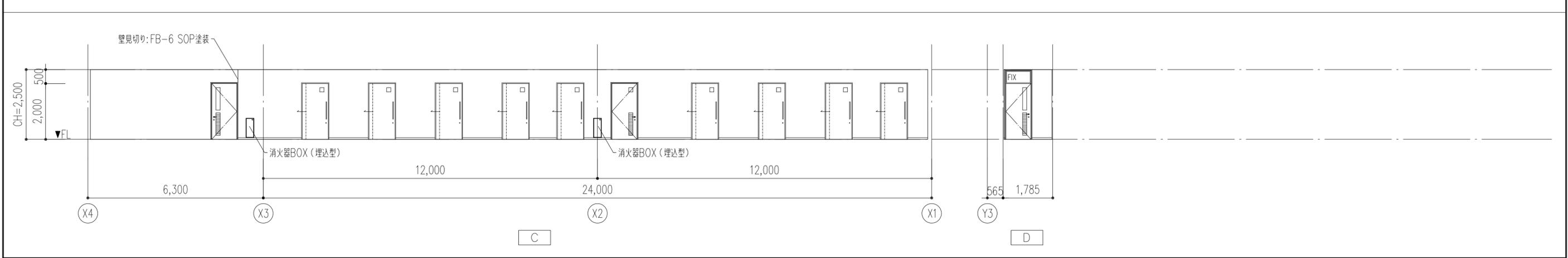
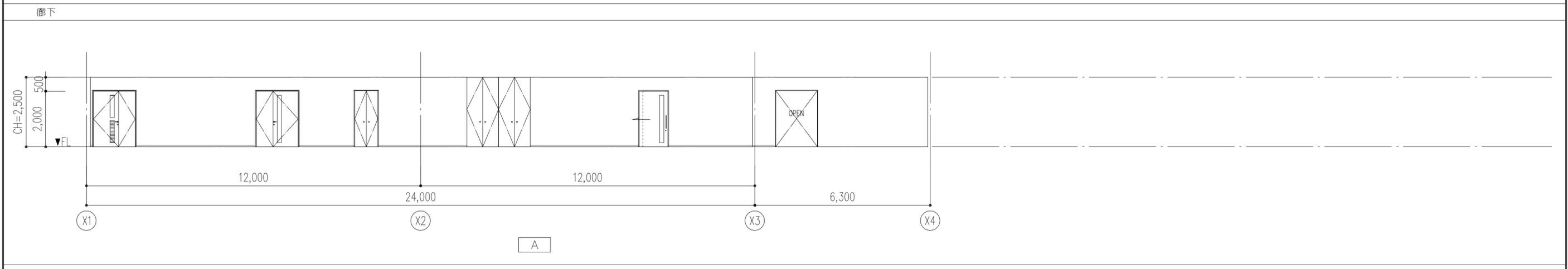
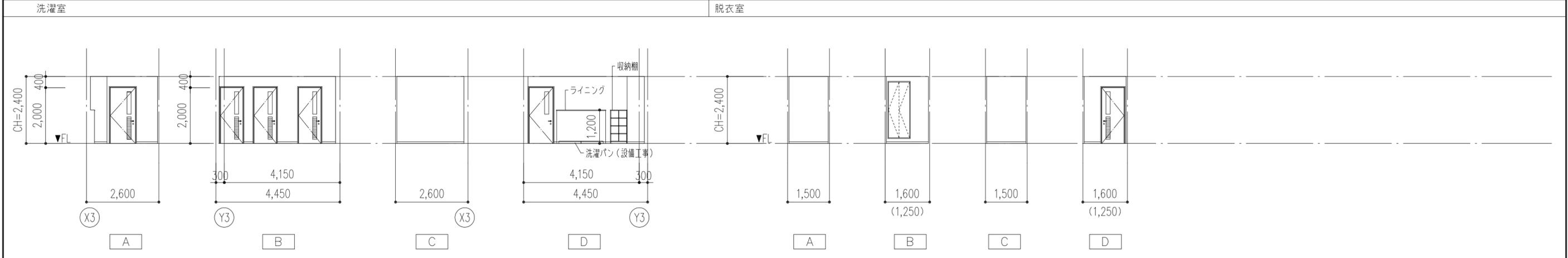
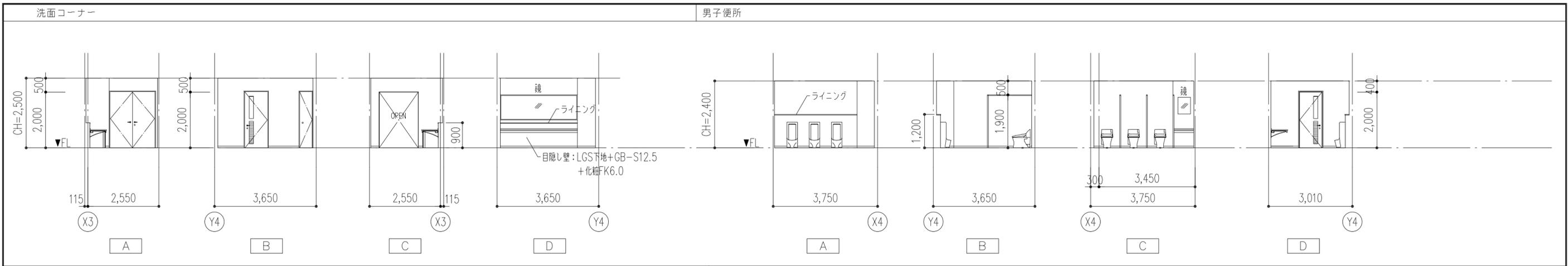
図面No. A / 37	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/150) A2 (1/100)	

株式会社 阿波設計事務所 四国支店
一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

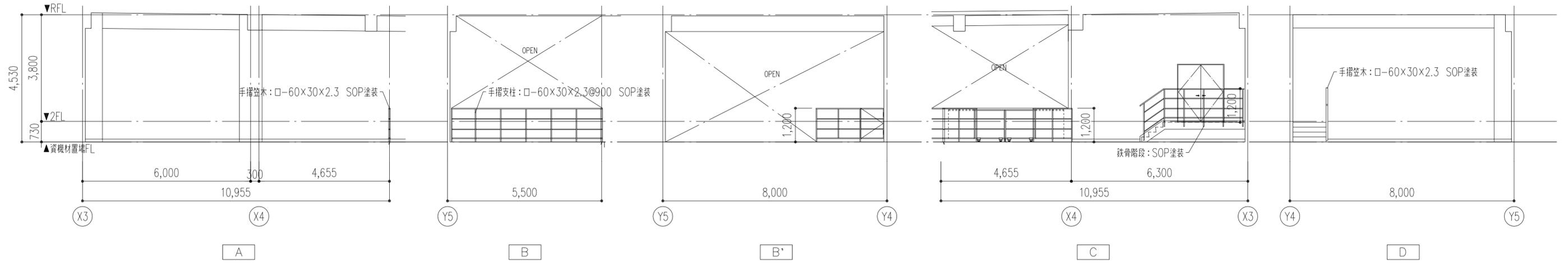
管理建築士 一級建築士 校閲	程野 祐介 大臣登録 第338983号 担当	設計No. —
	製図	設計年月日 2017.9



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 38	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	2階展開図-1	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	一級建築士	大臣登録 第338983号		校閲	担当	製図	設計年月日



特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 39	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	2階展開図-2	縮尺	A3(1/150) A2(1/100)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



特記事項	

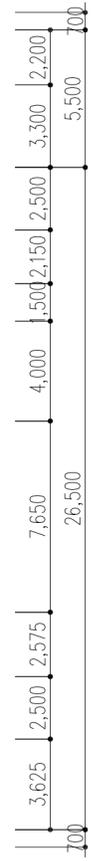
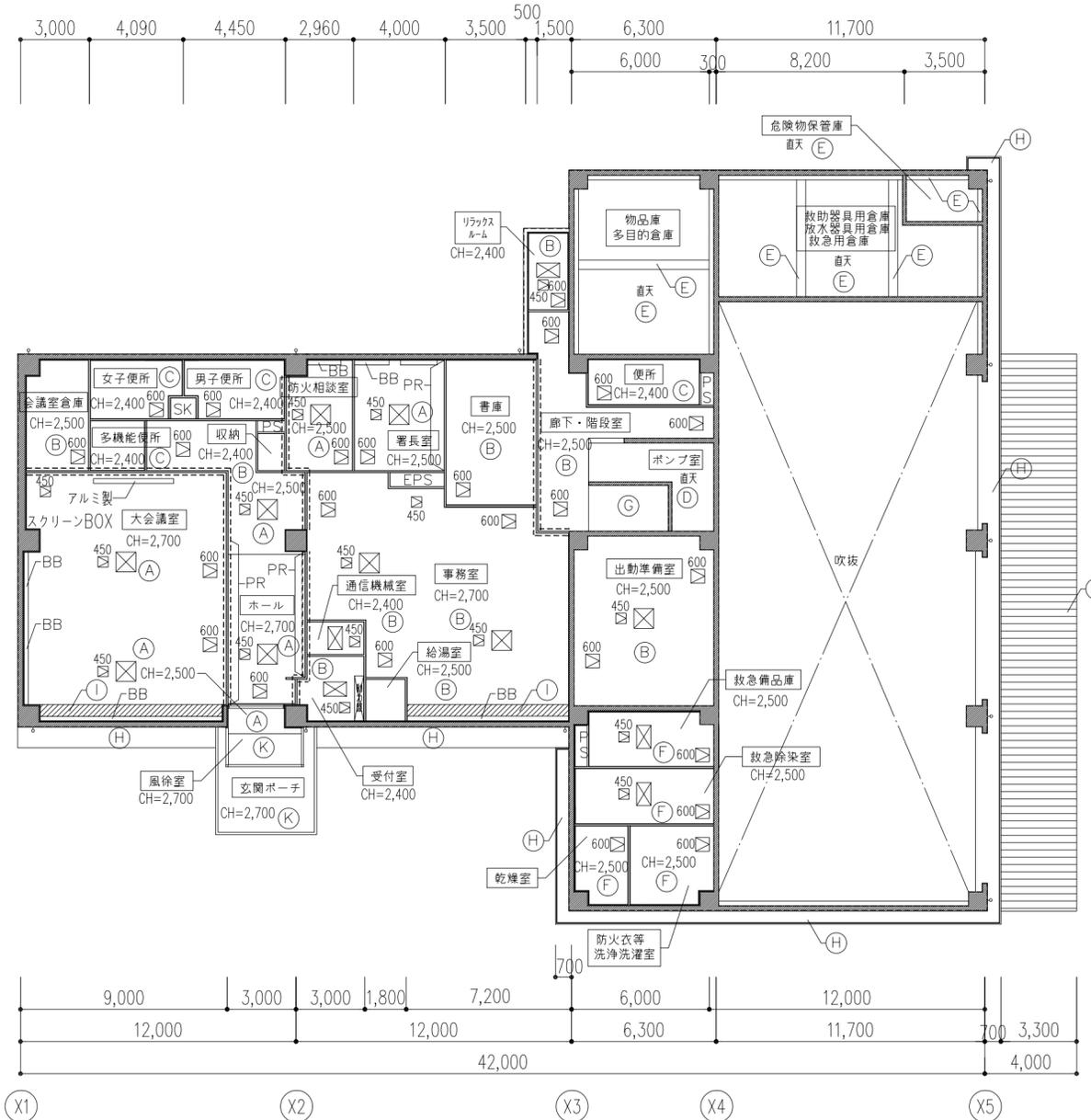
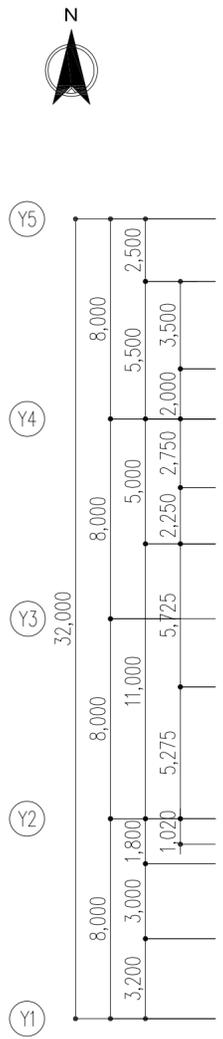
工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事
図面名称	2階展開図-3

図面No.	A / 40
縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)


株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士	程野 祐介
一級建築士	大臣登録 第338983号
校閲	
担当	
製図	

設計No.	—
設計年月日	2017.9



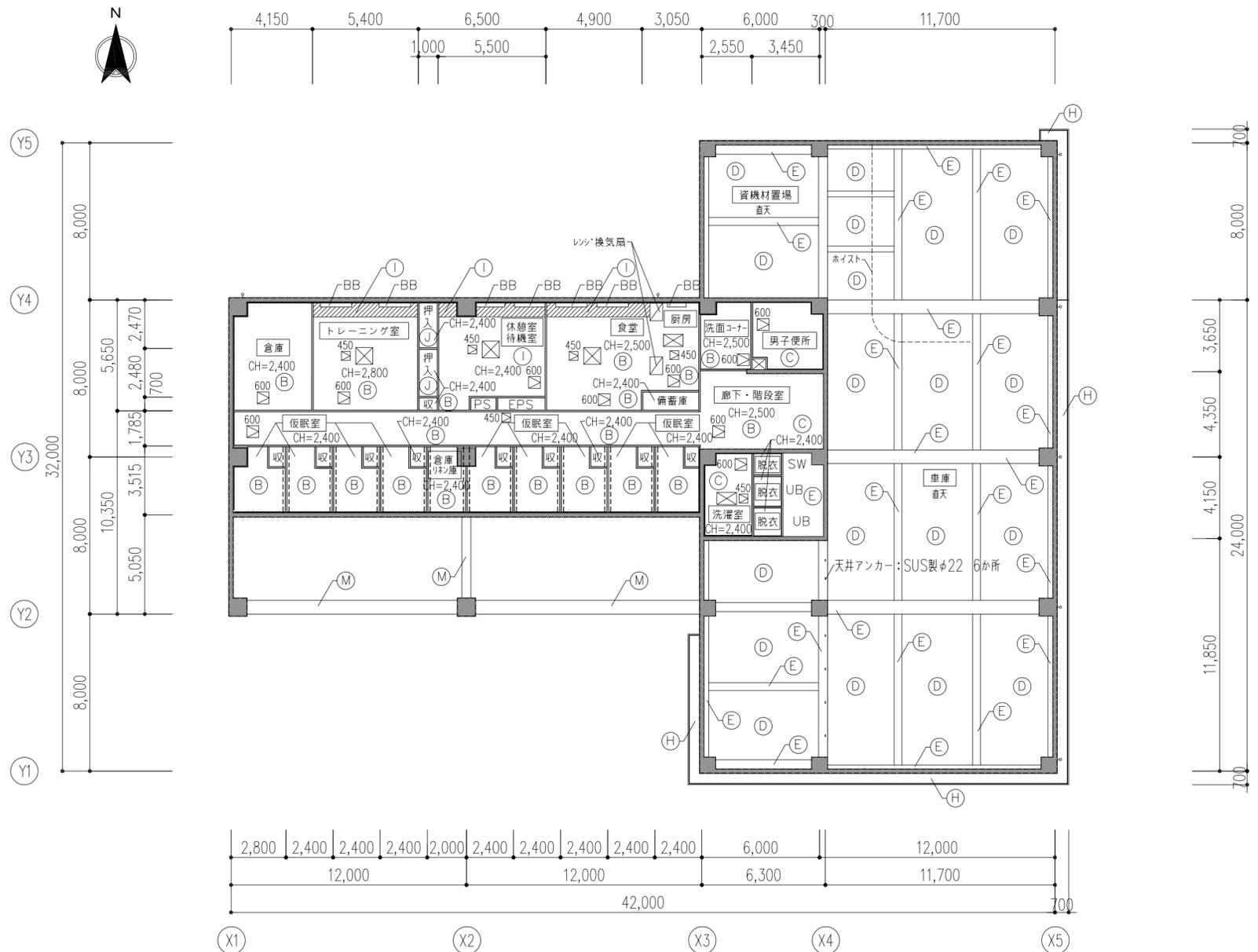
1階 天井伏図 1/200

天井仕上表	
(A)	LGST下地+GB-R9.5+DR9.0 (フラット)
(B)	LGST下地+GB-D9.5
(C)	LGST下地+FK6.0+EP塗装 (目透しシール仕上げ)
(D)	ガラスクロス付GWマットt50 (32kg/m ³)
(E)	コンクリート打放し (A種)
(F)	LGST下地+FK6.0+NAD塗装 (目透しシール仕上げ)
(G)	コンクリート打放し+複層塗材CE
(H)	コンクリート打放し (A種)+特殊美装
(I)	LGST下地+GB-R9.5+ビニルクロス張り
(J)	LGST下地+GB-R9.5+シナ合板t5.5素地
(K)	アルミパネルt3+ウレタン焼付塗装
(L)	折板t0.6 (山高150) ガルバリウム鋼板素地
(M)	コンクリート打放し+防水形複層塗材E

PR: ピクチャーレール
 BB: アルミ製ブラインドボックス
 ---: LGST下地+GB-Rがスラブ下まで達する箇所を示す。
 ▨: 下がり天井
 450: 天井点検口 450角 16か所
 600: 天井点検口 600角 24か所
 ⊠: 天井開口補強 860×860 9か所
 ⊡: 天井開口補強 1000×620 5か所

天井下地開口補強リスト	
サイズ	設置室
150×1235	事務室 20か所 防火相談室 4か所 大会議室 16か所 署長室 6か所
400×400	ホール 1か所 通用口 1か所 出動準備室 1か所
375×375	事務室 1か所 書庫 1か所 出動準備室 1か所
310×310	女子便所 1か所 男子便所 1か所 職員便所 1か所 救急除染室 1か所
300×300	救急除染室 1か所
400×300	乾燥室 1か所
260×260	洗浄洗濯室 1か所
250×250	大会議室 8か所 洗浄洗濯室 1か所
230×230	会議室倉庫 1か所 多機能便所 1か所 リラク্সルーム 1か所 救急備品庫 1か所
200×200	防火相談室 2か所 署長室 2か所 リラク্সルーム 1か所
170×170	受付室 1か所 通信機械室 1か所 給湯室 1か所
150×150	救急備品庫 1か所

* 天井点検口・開口補強・外壁開口・外壁貫通の位置については設備工事と打合せし、決定すること。

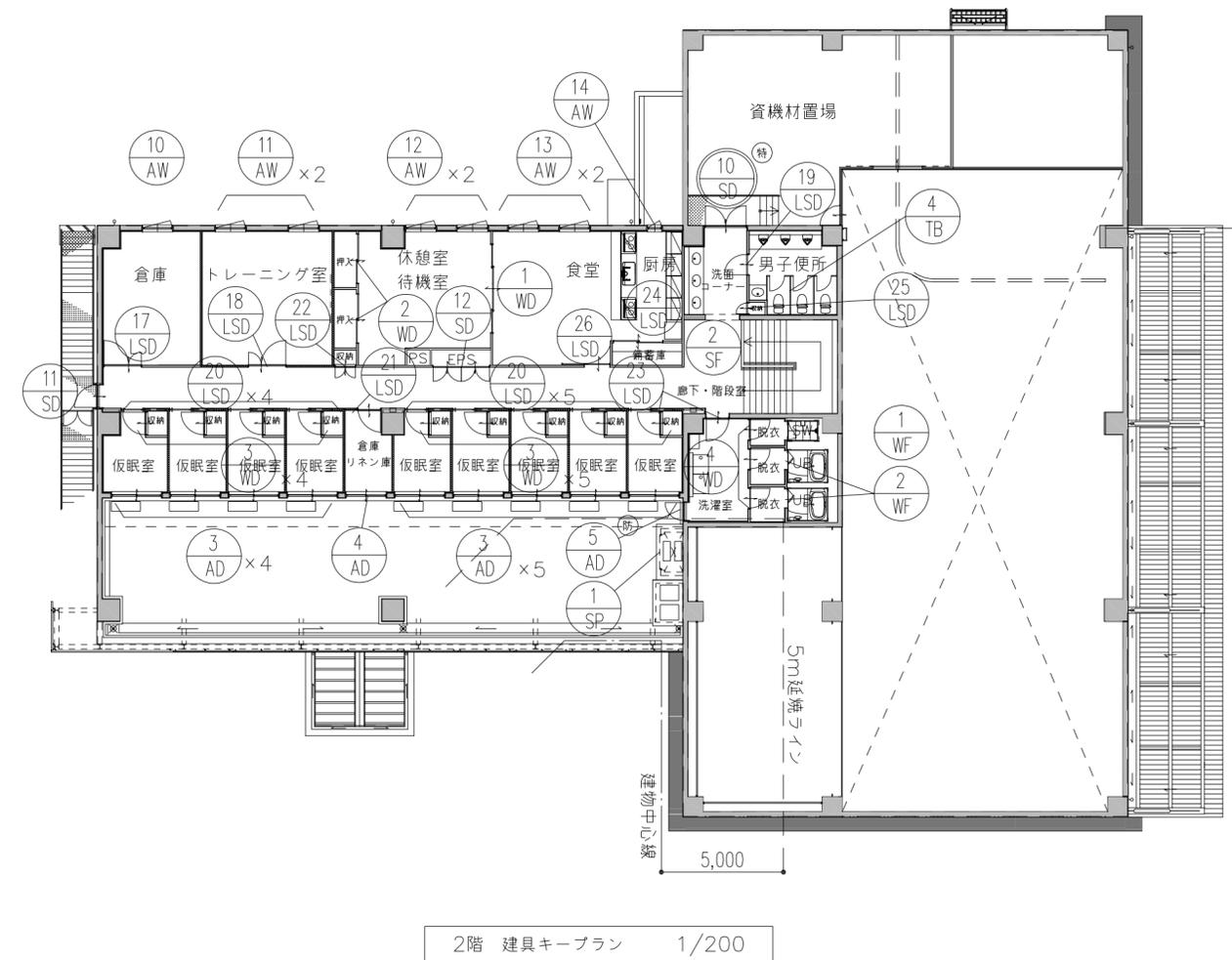
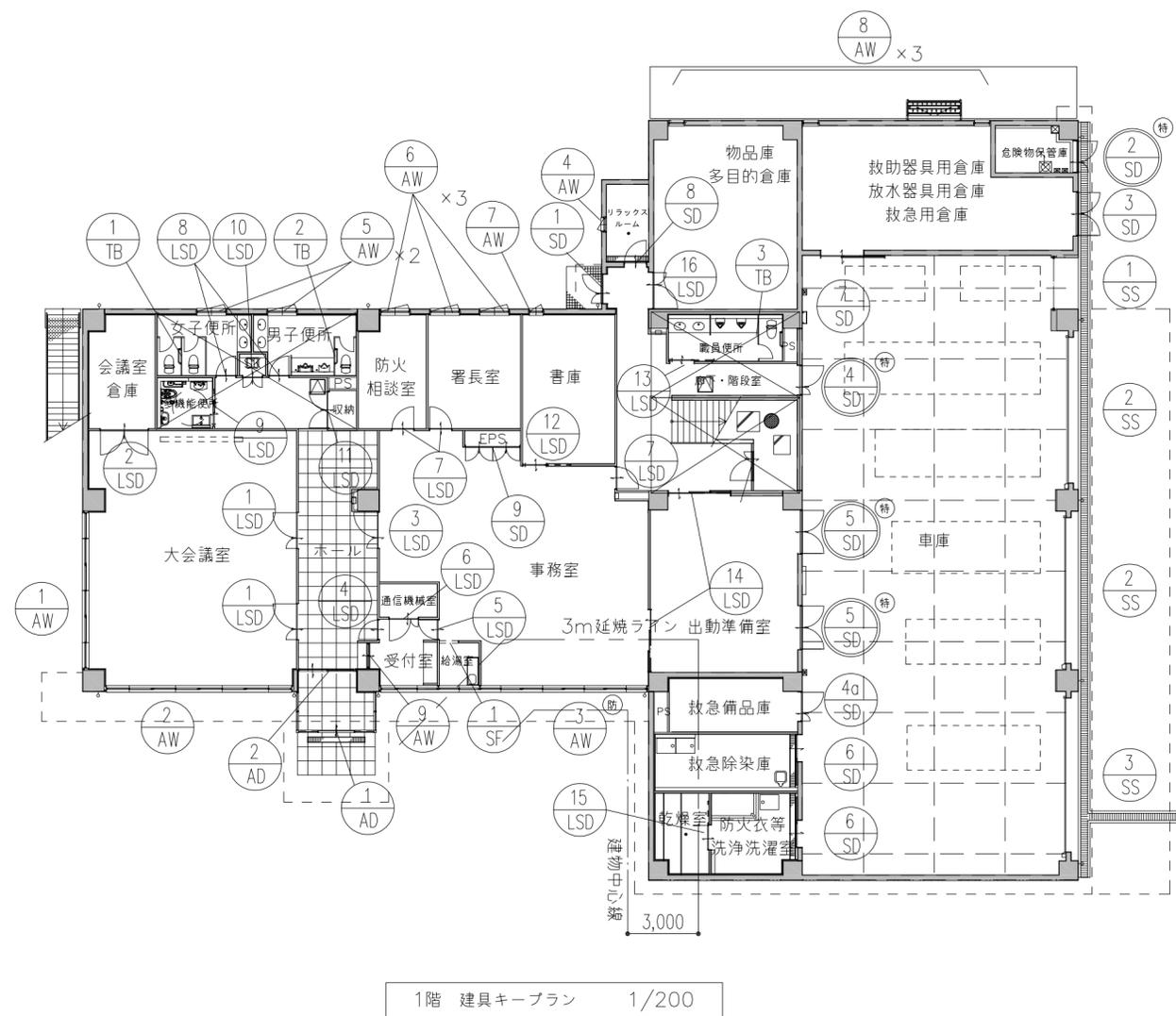
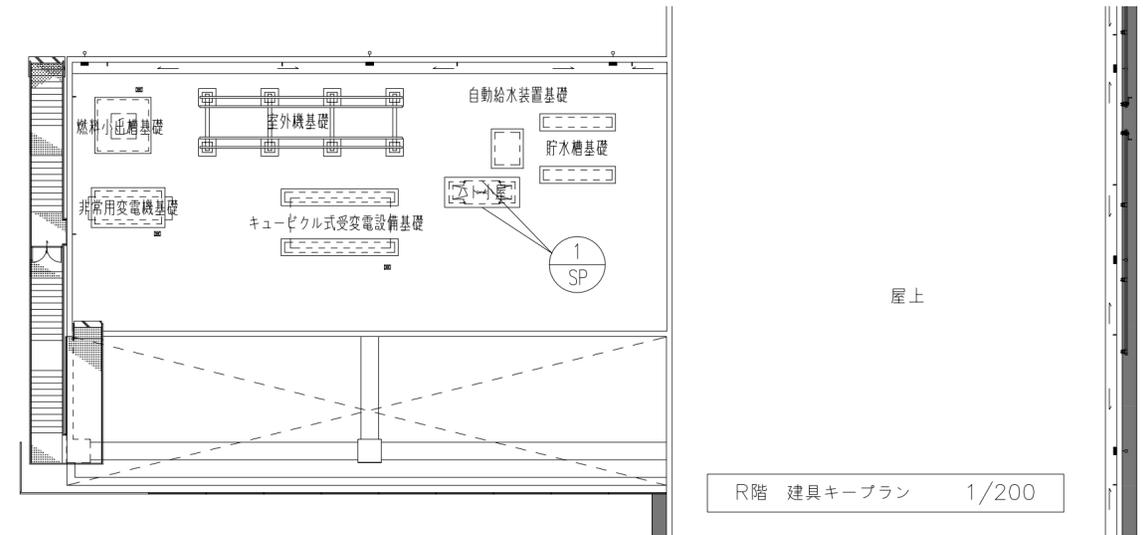


2階 天井伏図 1/200

天井仕上表	
(A)	LGSD下地+GB-R9.5+DR9.0 (フラット)
(B)	LGSD下地+GB-D9.5
(C)	LGSD下地+FK6.0+EP塗装 (目透しシール仕上げ)
(D)	ガラスクロス付GWマットt50 (32kg/m ³)
(E)	コンクリート打放し (A種)
(F)	LGSD下地+FK6.0+NAD塗装 (目透しシール仕上げ)
(G)	コンクリート打放し+複層塗材CE
(H)	コンクリート打放し (A種)+特殊美装
(I)	LGSD下地+GB-R9.5+ビニルクロス張り
(J)	LGSD下地+GB-R9.5+シナ合板t5.5素地
(K)	アルミパネルt3+ウレタン焼付塗装
(L)	折板t0.6 (山高150) ガルバリウム鋼板素地
(M)	コンクリート打放し+防水形複層塗材E
PR: ピクチャーレール	
BB: アルミ製ブラインドボックス	
---: LGSD下地+GB-Rがスラブ下まで達する箇所を示す。	
[斜線]: 下がり天井	
[450]	: 天井点検口450角 6か所
[600]	: 天井点検口600角 10か所
[X]	: 天井開口補強 860×860 3か所
[Y]	: 天井開口補強 1000×620 2か所

天井下地開口補強リスト	
サイズ	設置室
400×400	トレーニング室 1か所 食堂 1か所
375×375	トレーニング室 1か所
310×310	倉庫 1か所 休憩室・待機室1か所 食堂 1か所 男子便所 1か所
260×260	洗面コーナー 1か所
230×230	洗濯室 1か所
170×170	宿泊室 9か所
150×150	宿泊室 10か所

* 天井点検口・開口補強・外壁開口・外壁貫通の位置については設備工事と打合せし、決定すること。



- 凡例
- Ⓜ: 特定防火設備を示す
 - Ⓜ: 防火設備を示す
 - : 建物間中心位置を示す
 - - -: 3m延焼ラインを示す
 - - -: 5m延焼ラインを示す

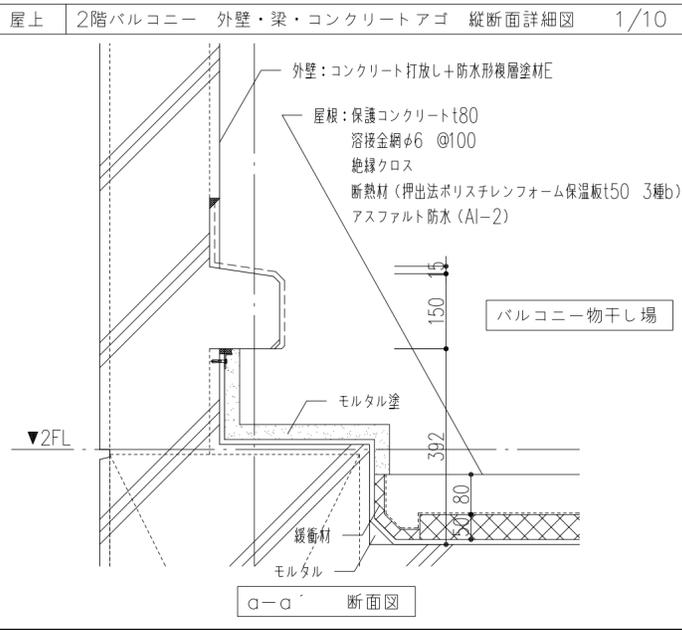
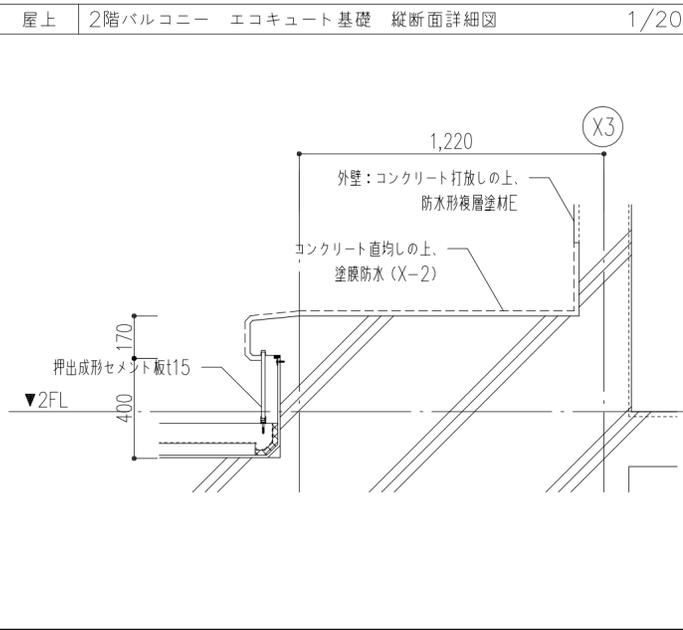
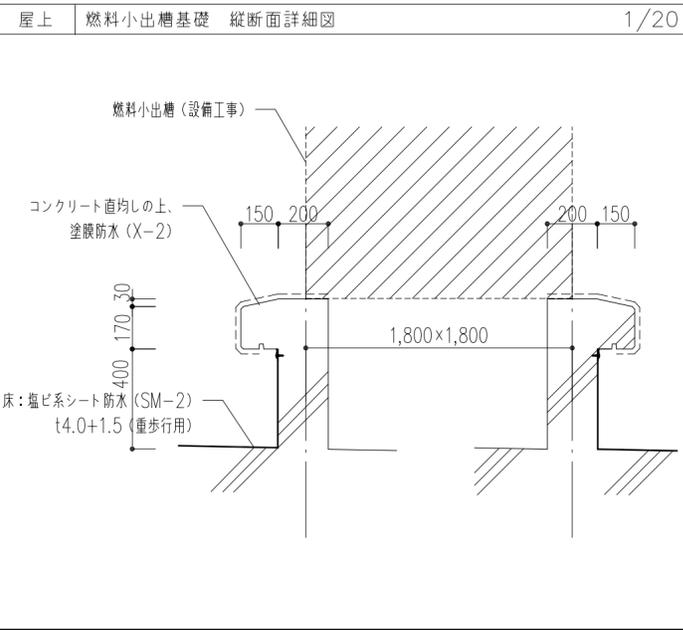
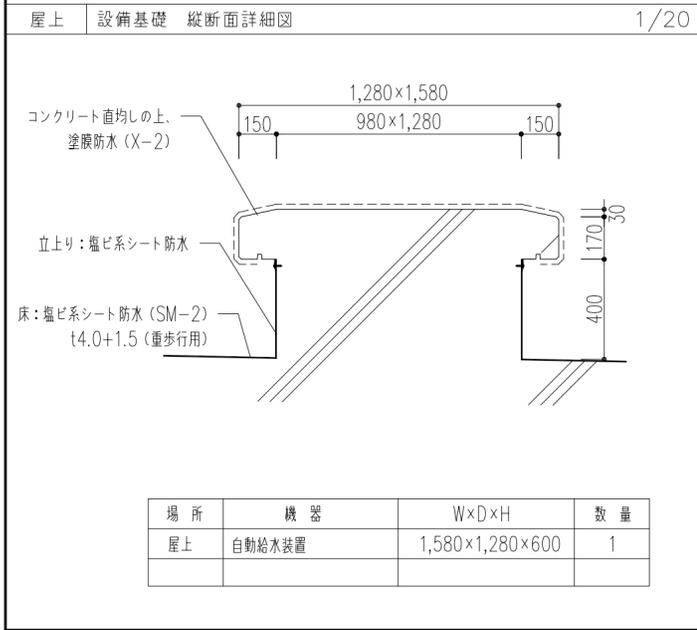
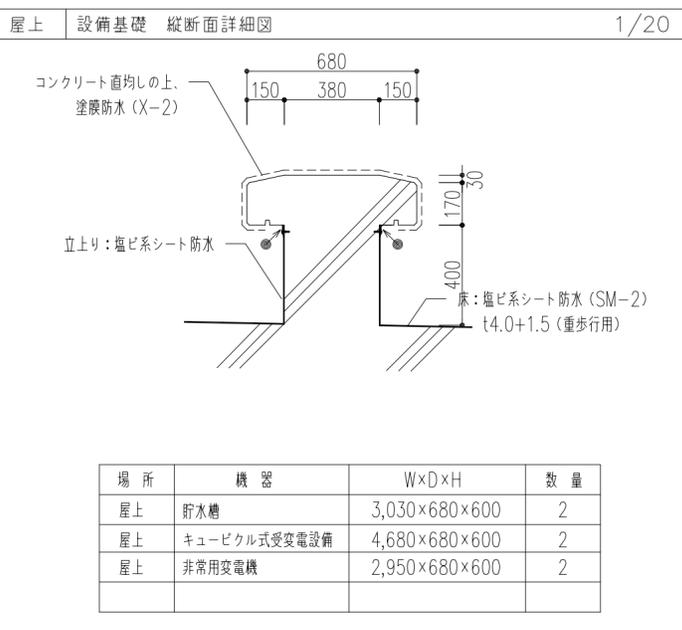
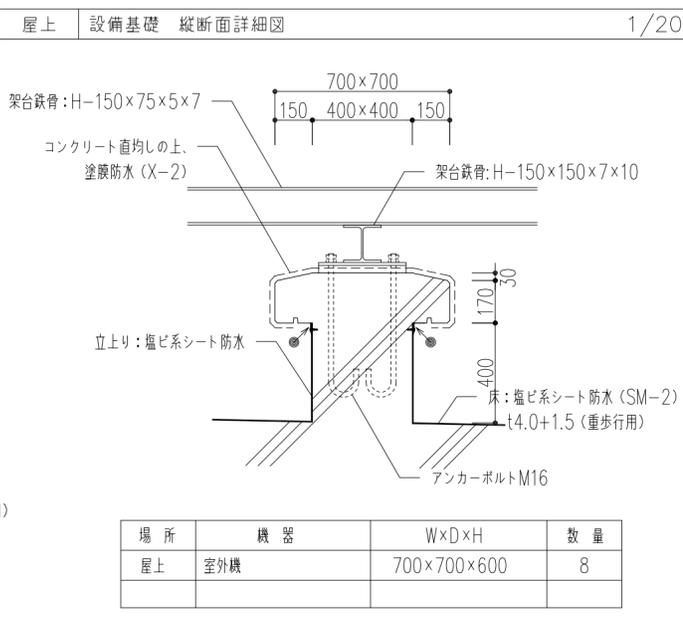
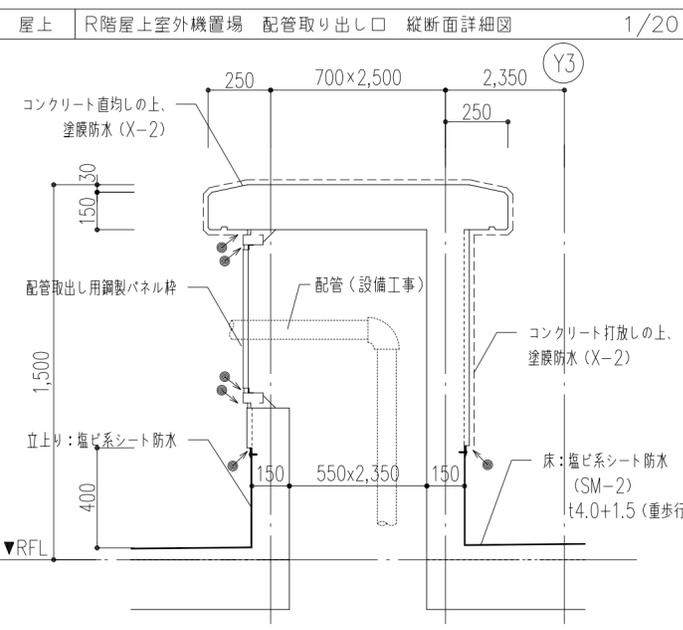
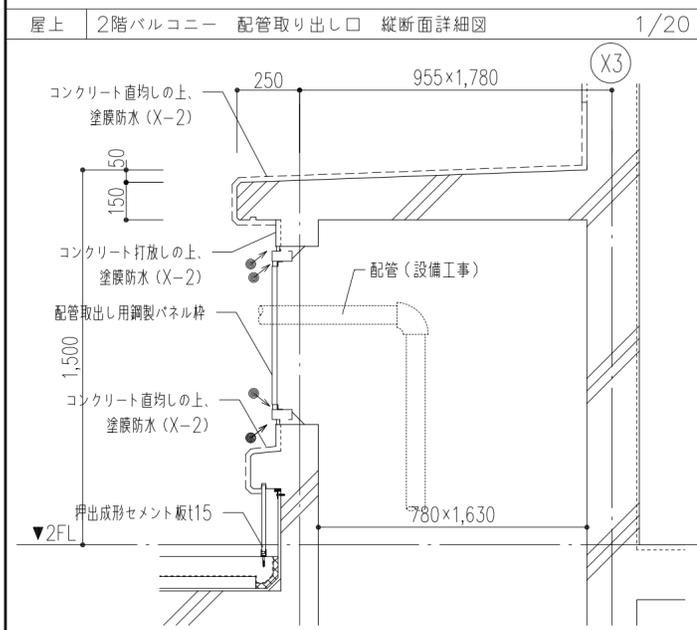
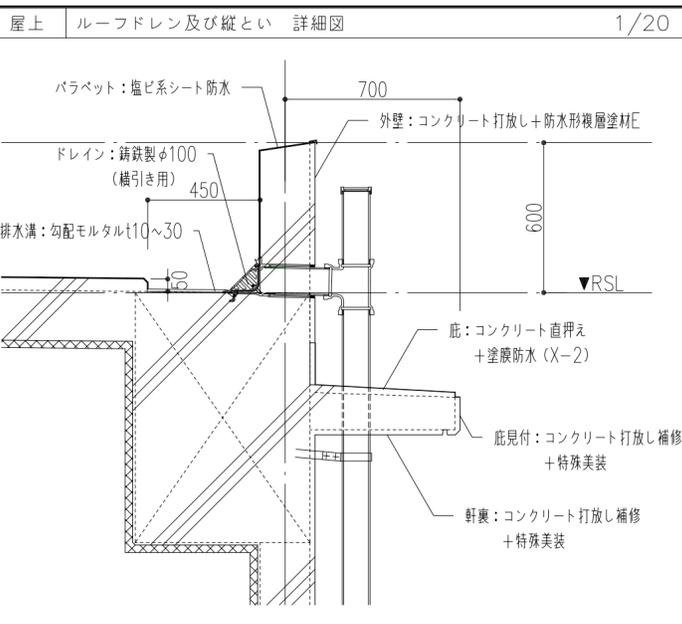
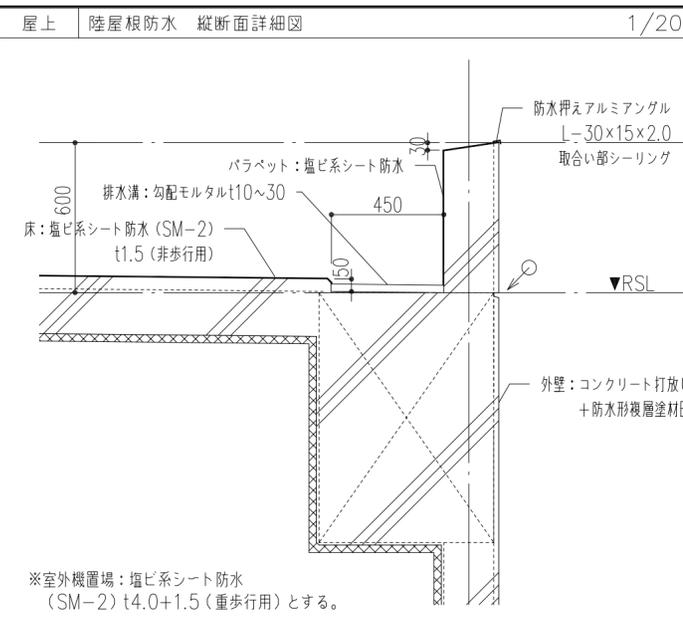
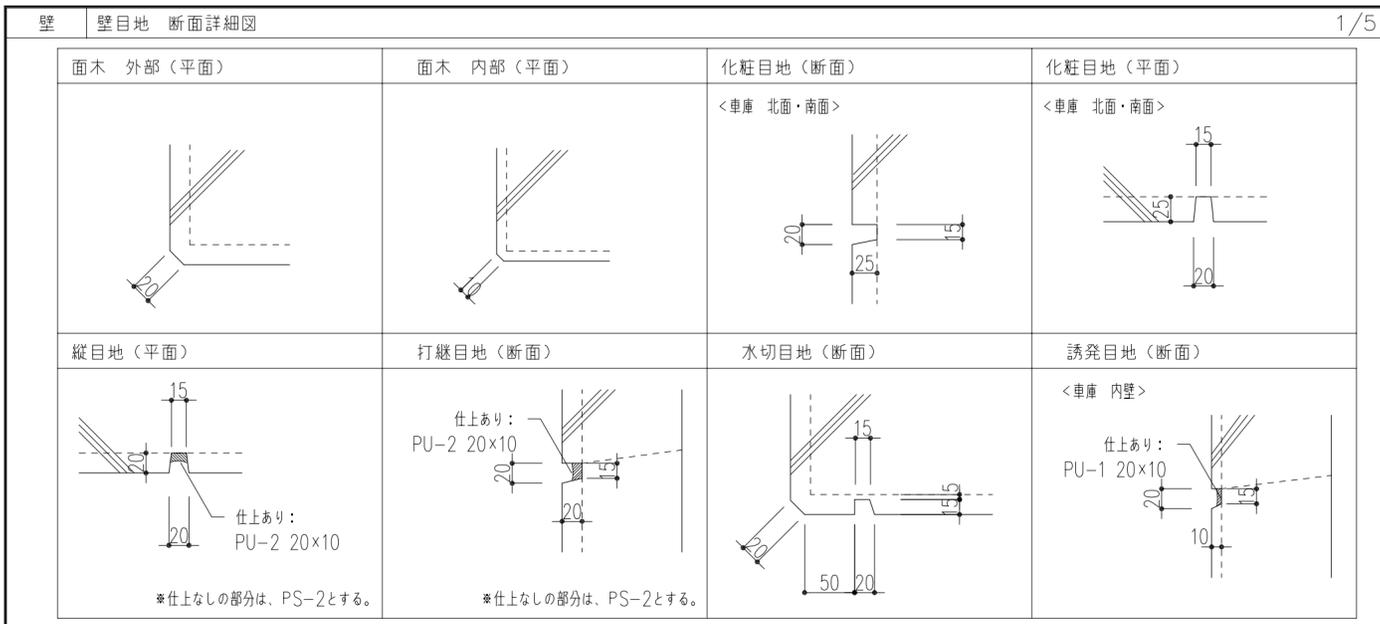
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	A / 43	工事種別	建築	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号 校閲 担当 製図	設計No. — 設計年月日 2017.9
	図面名称	建具キープラン	縮尺	A3 (1/300) A2 (1/200)	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号			

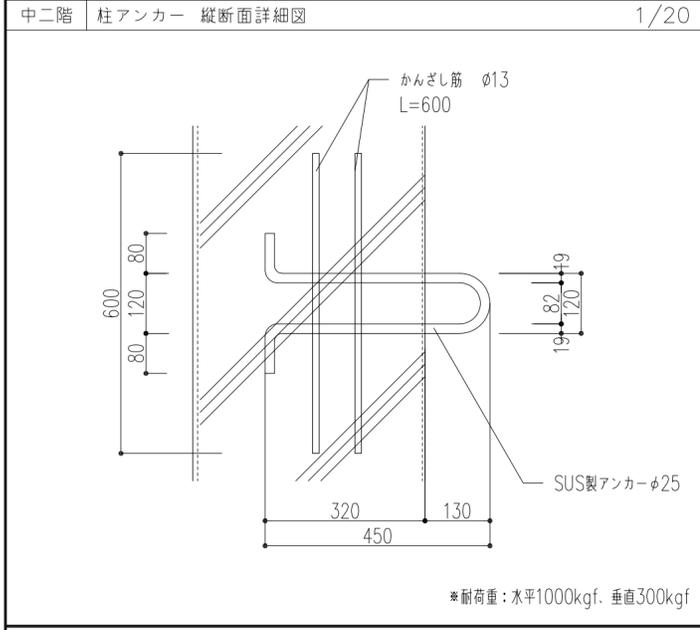
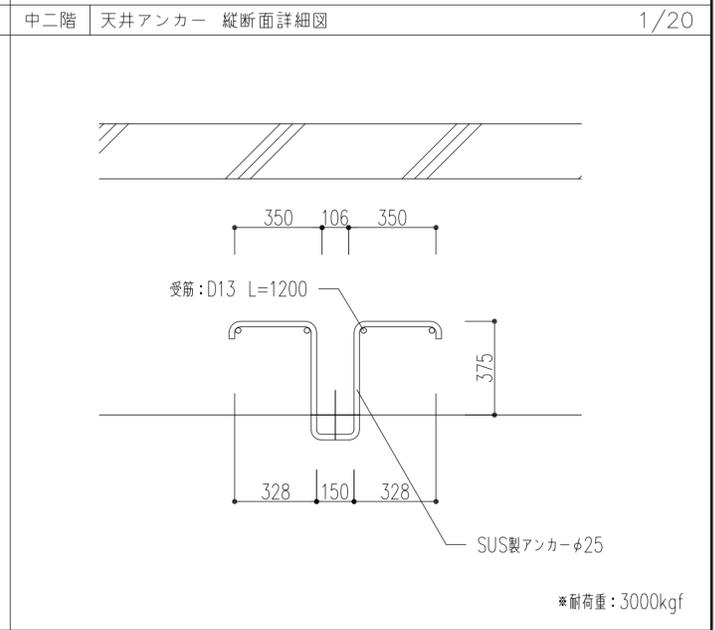
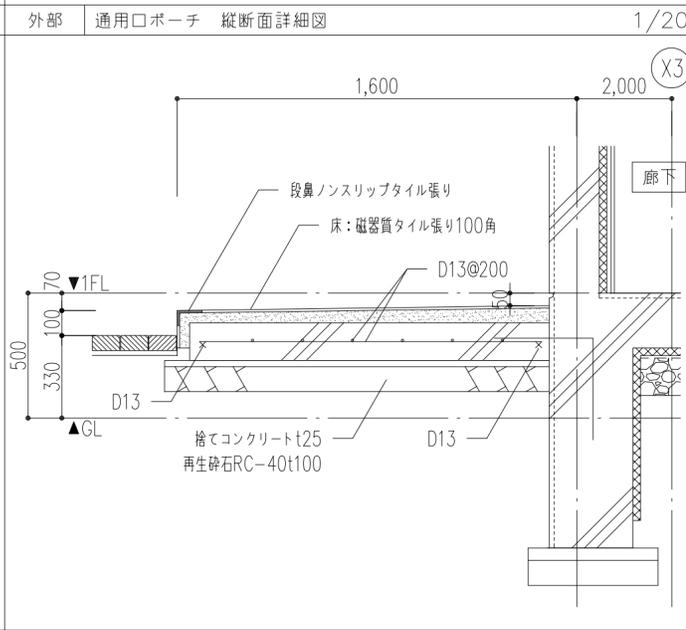
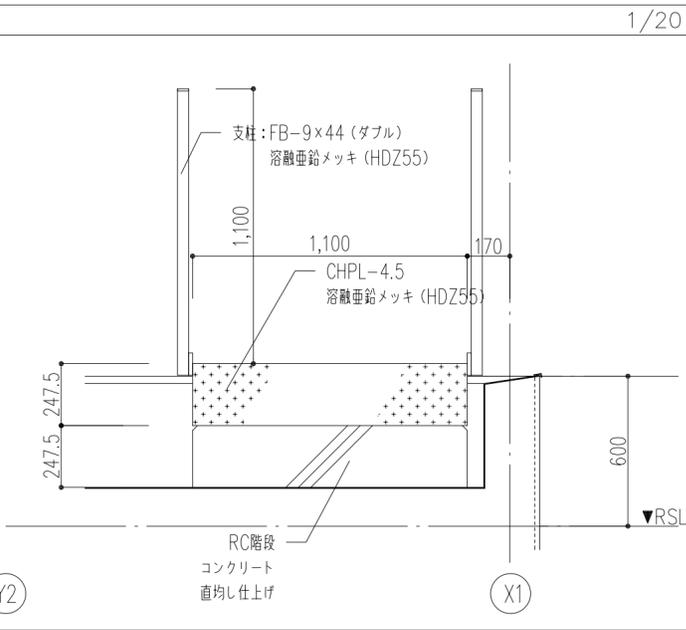
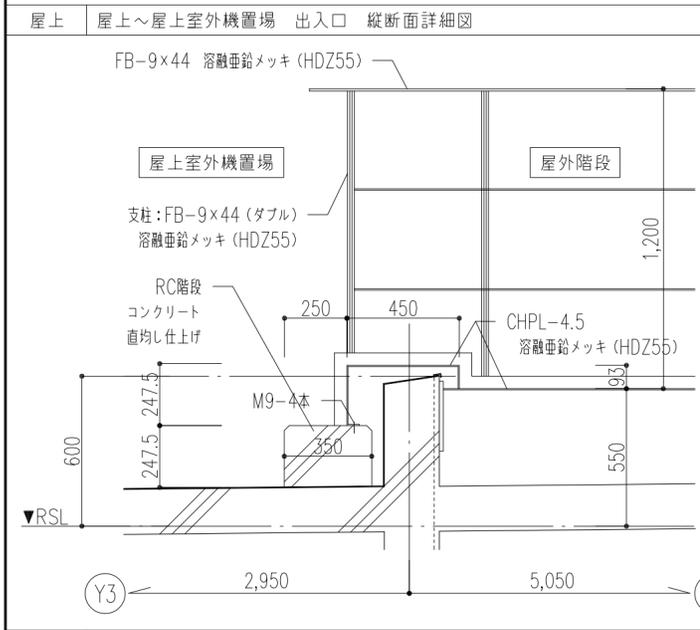
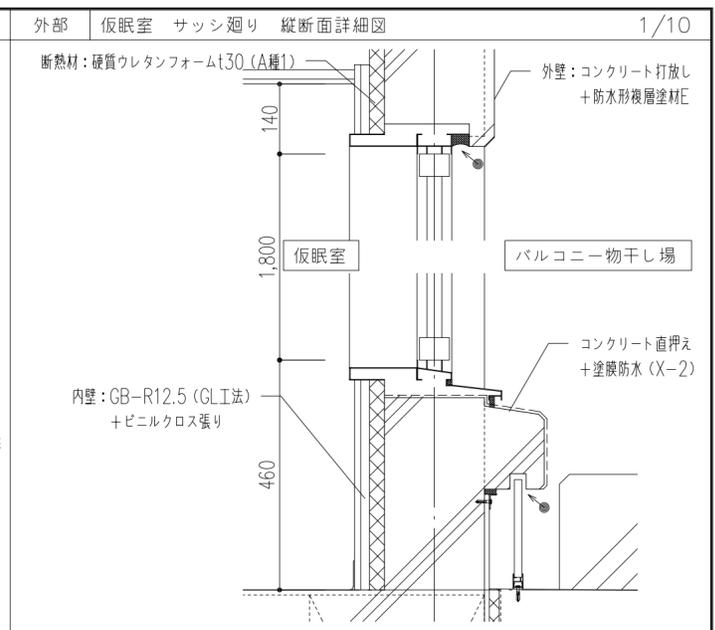
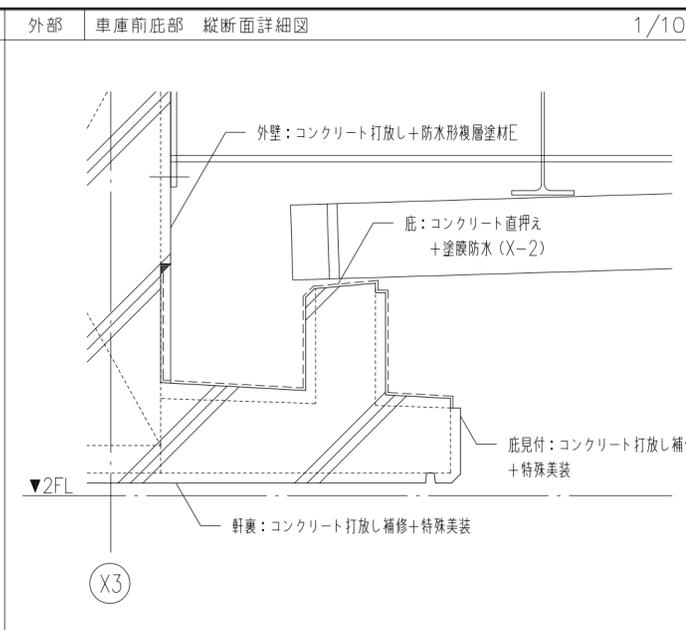
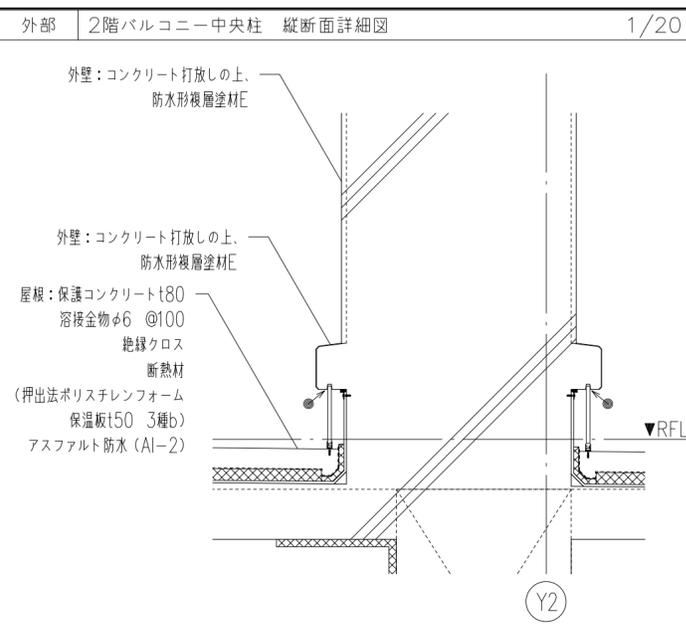
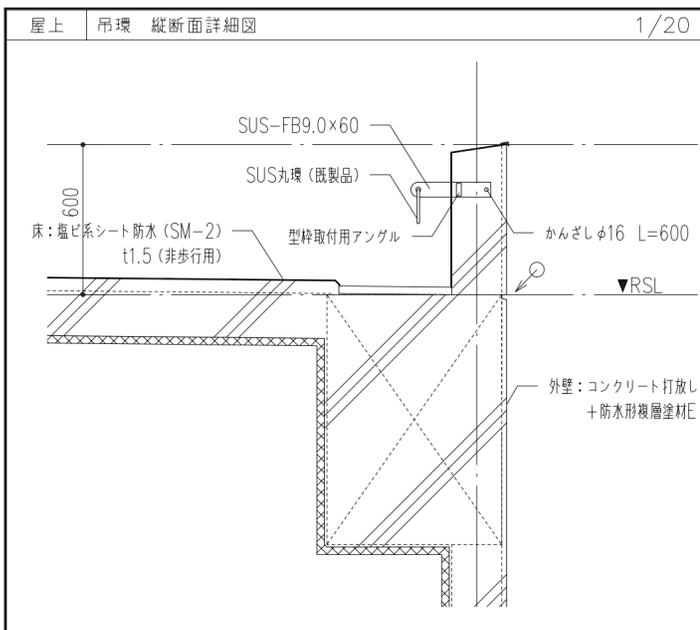
記号・型式	① AW アルミ製 3連引違い窓		② AW アルミ製 4連引違い窓		③ AW アルミ製 7連Fix付 引違い窓 (防火設備)		④ AW アルミ製 たてすべり出窓							
窓 図														
場所	1階 大会議室		1階 大会議室		1階 事務室、給湯室、受付室		1階 リラックスルーム							
数量	1		1		1		1							
材質	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー						
仕上														
見込	70	FL5+A6+FL5	70	FL5+A6+FL5	70	網入トーマイ6.8+A6+FL5	70	型板ガラス t4.0						
附属金物	クレセント、AP、アルミ水切、ステンレス網戸、附属金物一式		クレセント、AP、アルミ水切、ステンレス網戸、附属金物一式		クレセント、AP、アルミ水切、ステンレス網戸、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、セーフティストッパー、附属金物一式							
備考	アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁、アルミパネルt5		アルミ製額縁							
記号・型式	⑤ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑥ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑦ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑧ AW アルミ製 Fix窓		⑨ AW アルミ製 Fix窓引違い窓		⑩ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑪ AW アルミ製 たてすべり出窓	
窓 図														
場所	1階 男子・女子便所		1階 防火相談室、署長室		1階 書庫		1階 物産庫・多目的倉庫、救急器具用倉庫、救急器具用倉庫、救急器具用倉庫		1階 受付室		2階 倉庫		2階 トレーニング室	
数量	2		3		1		3		1		1		2	
材質	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー
仕上														
見込	70	型板ガラス t4.0	70	型板ガラス t4.0	70	型板ガラス t4.0	70	型板ガラス t4.0	70	FL t5.0	70	型板ガラス t4.0	70	FL5+A6+FL5
附属金物	カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		アルミ水切、AP、付属金物一式		クレセント、AP、付属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式	
備考	アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁	
記号・型式	⑫ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑬ AW アルミ製 たてすべり出窓		⑭ AW アルミ製 たてすべり出窓		① AD アルミ製 Fix窓付自動ドア		② AD アルミ製 Fix窓付自動ドア		③ AD アルミ製 引違い窓			
窓 図														
場所	2階 休憩室・待機室		2階 食堂		2階 厨房		1階 風除室		1階 風除室		2階 仮眠室			
数量	2		2		1		1		1		9			
材質	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー	アルミニウム	ステンカラー		
仕上														
見込	70	FL5+A6+FL5	70	FL5+A6+FL5	70	FL5+A6+FL5	100	強化ガラストーマイt5.0	70	FL5+A6+FL5	70	FL5+A6+FL5		
附属金物	カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		カムラッチハンドル、AP、アルミ水切、収納網戸 (※リフト機構)、セーフティカ、附属金物一式		本締錠、自動開閉装置 (エンジン内蔵)、付属金物一式		本締錠、自動開閉装置 (エンジン内蔵)、電気錠、附属金物一式		クレセント、AP、アルミ水切、ステンレス網戸、附属金物一式			
備考	アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製額縁		アルミ製枠、衝突防止シール		アルミ製枠、衝突防止シール		木製枠EP-C塗装、緩衝ゴム付仕様			
共通事項	OSM: サムターン、SD: シリンダー、DC: ドアチェック、AP: アンクルピース、AG: アルミガラリ、RH: ラバトリーヒンジを示す。 ○網戸はステンレス製とする。 ○アルミガラリの開口率は35%とし、外部に面する建具はステンレス防虫網付とする。 ○外部廻り建具は全て結露受設置のこと (排水パイプ又は排水孔)。				○外部アルミ水切両端部の小口塞ぎプレートは外壁防汚を考慮し、立上高を15mm以上とすること。 ○扉の額、小口部分は扉と同材又は同色とする。 ○出入口と腰窓の方立下につく水切端部には樹脂製コーナーガードを取り付けること。 ○枠・額縁等のチリは原則として10mmとする。 ○扉枠にはクッション用戸当りゴム3ヶ所取り付ける。				○サッシのトロ詰めモルタルは無塵砂を使用すること。 ○内部建具のガラス押え縁廻りのシール材はポリサルファイド2成分型とし、外部建具のガラス押え縁廻りのシール材はMS-2とする。 ○建具金物は、原則としてステンレス製とし、標準附属金物一式を取り付けること。 ○引き違い戸には指詰め防止ゴムを取り付ける。					

記号・型式	④ AD アルミ製 引違い窓	⑤ AD アルミ製 片開き戸 (防火設備)	① SD ①a SD 鋼製 親子開き戸	② SD 鋼製 親子開き戸 (特定防火設備)	③ SD 鋼製 両開き戸	④ SD 鋼製 親子開き戸 (特定防火設備)
図						
場所	2階 倉庫・リネン庫	2階 洗濯室	1階 通用口・ポンプ室	1階 危険物保管庫	1階 救助器具用倉庫・放水器具用倉庫・救急用倉庫	1階 車庫
数量	1	1	2	1	1	1
材質	アルミニウム	アルミニウム	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6
仕上	ステンカラー	ステンカラー	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装
見込	硝子 70	70	40	40	40	40
硝子	型板ガラスt4.0	網入型板ガラス t6.8	型板ガラス t4.0	型板ガラス t4.0	型板ガラス t4.0	型板ガラス t4.0
附属金物	クレセント、AP、アルミ水切、ステンレス網戸、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC 附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、電気錠、T番、戸当り、DC、フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、電気錠、T番、戸当り、DC、フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式
備考	木製枠EP-G塗装	アルミ製枠	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装 スチールガラリ (FD付)	鋼製枠SOP塗装、ガラリ	鋼製枠SOP塗装
記号・型式	④a SD 鋼製 親子開き戸	⑤ SD 鋼製 両開き戸 (特定防火設備)	⑦ SD 鋼製 2枚引きハンガードア	⑧ SD 鋼製 片開き戸	⑨ SD 鋼製 2連両開き戸	⑩ SD 鋼製 両開き戸 (特定防火設備)
図						
場所	1階 救急備品庫	1階 出動準備室	1階 救急除染室、防火衣等洗浄洗濯室	1階 救助器具用倉庫・放水器具用倉庫・救急用倉庫	1階 リラックスルーム	2階 資機材置場
数量	1	2	2	1	1	1
材質	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6	スチールt1.6
仕上	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装
見込	40	40	40	40	40	40
硝子	型板ガラス t4.0	耐熱ガラス t8	型板ガラス t4.0	型板ガラス t4.0	FL t5.0	型板ガラス t4.0
附属金物	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	パニックバー、T番、戸当り、DC、フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	補助光電スイッチ、表示錠、フットスイッチ 附属金物一式	大型SUS引手、引き戸錠、底車、ステンレス杏摺t2.0、自閉式ハンガー装置、AP・付属金物一式	レバーハンドル、T番、戸当り、DC ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	ケースハンドル、T番、フランス落し、附属金物一式
備考	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装 パニックドア	鋼製枠SOP塗装 パニックドア	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装
記号・型式	⑪ SD 鋼製 Fix窓付片開き戸	⑫ SD 鋼製 2連両開き戸	① LSD 軽量鋼製 Fix窓付親子開き戸	② LSD 軽量鋼製 両開き戸	③ LSD 軽量鋼製 親子開き戸	⑤ LSD 軽量鋼製 片開き戸
図						
場所	2階 屋外階段	2階 EPS	1階 大会議室	1階 会議室倉庫	1階 事務室	1階 受付室
数量	1	1	2	1	1	1
材質	スチールt1.6	スチールt1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6
仕上	SOP塗装	SOP塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装
見込	40	40	40	40	40	40
硝子	型板ガラス t4.0	型板ガラス t4.0	FL t5.0	FL t5.0	FL t5.0	FL t5.0
附属金物	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	ケースハンドル、T番、フランス落し、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス杏摺t2.0、附属金物一式
備考	鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装	鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ	鋼製枠SOP塗装、衝突防止シール	鋼製枠SOP塗装
共通事項	OSM：サムターン、SD：シリンダー、DC：ドアチェック、AP：アングルピース、 AG：アルミガラリ、RH：ラバトリーヒンジを示す。 ○網戸はステンレス製とする。 ○アルミガラリの開口率は35%とし、外部に面する建具はステンレス防虫網付とする。 ○外部廻り建具は全て結露受設置のこと（排水パイプ又は排水孔）。		○外部アルミ水切両端部の小口歪みプレートは外壁防汚を考慮し、立上高を15mm以上とすること。 ○扉の鎖、小口部分は扉と同材又は同色とする。 ○出入口と腰窓の方立下につく水切端部には樹脂製コーナーガードを取り付けること。 ○枠・鎖等のチリは原則として10mmとする。 ○扉枠にはクッション用戸当りゴム3ヶ所取り付ける。		○サッシのトロ詰めモルタルは無塵砂を使用すること。 ○内部建具のガラス押え縁廻りのシール材はポリサルファイド2成分型とし、 外部建具のガラス押え縁廻りのシール材はMS-2とする。 ○建具金物は、原則としてステンレス製とし、標準附属金物一式を取り付けること。 ○引違い戸には指詰め防止ゴムを取り付ける。	

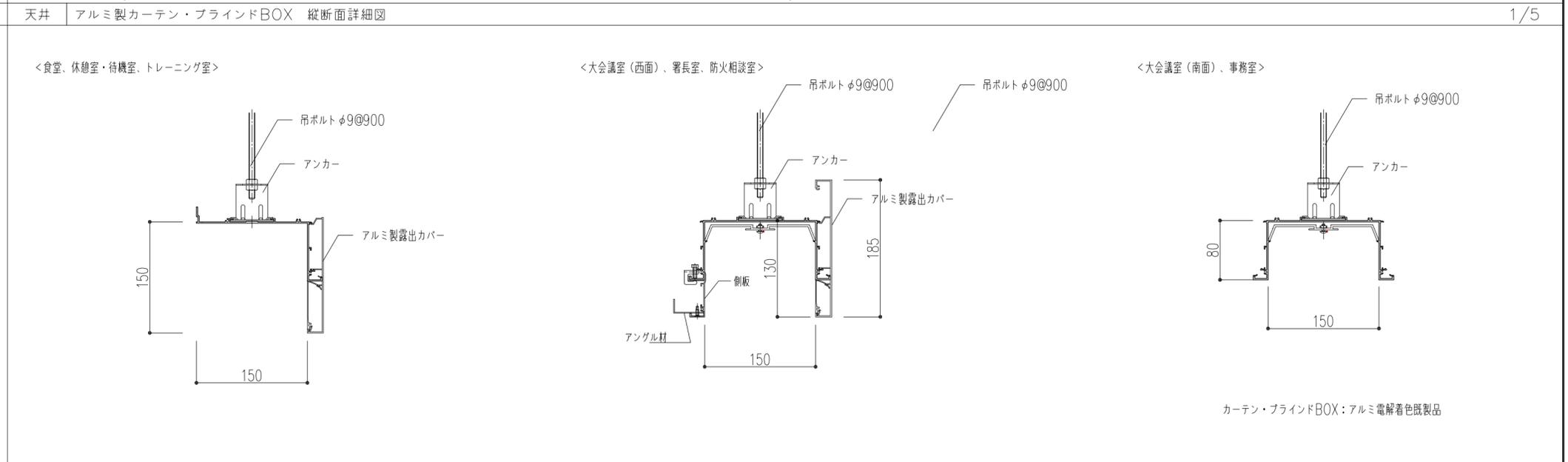
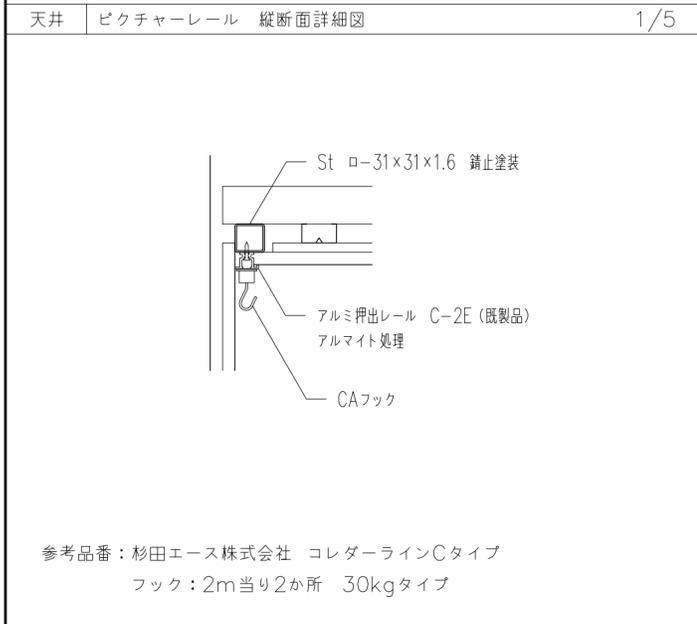
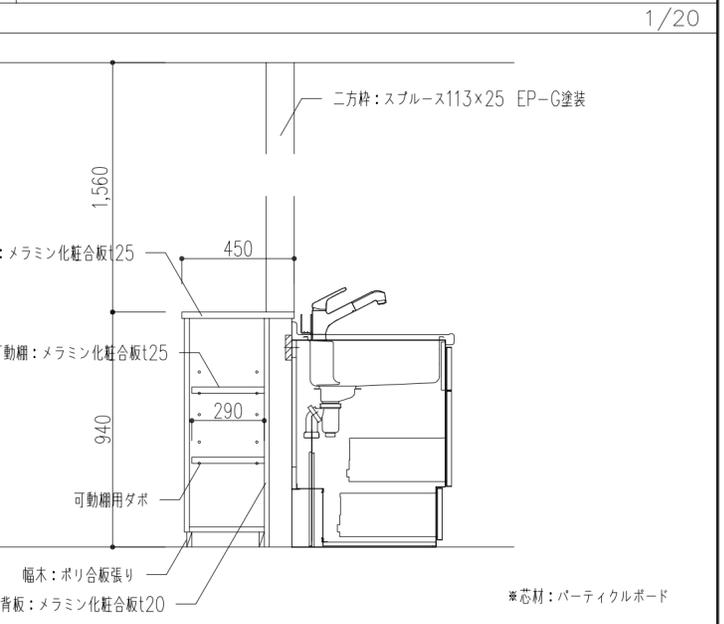
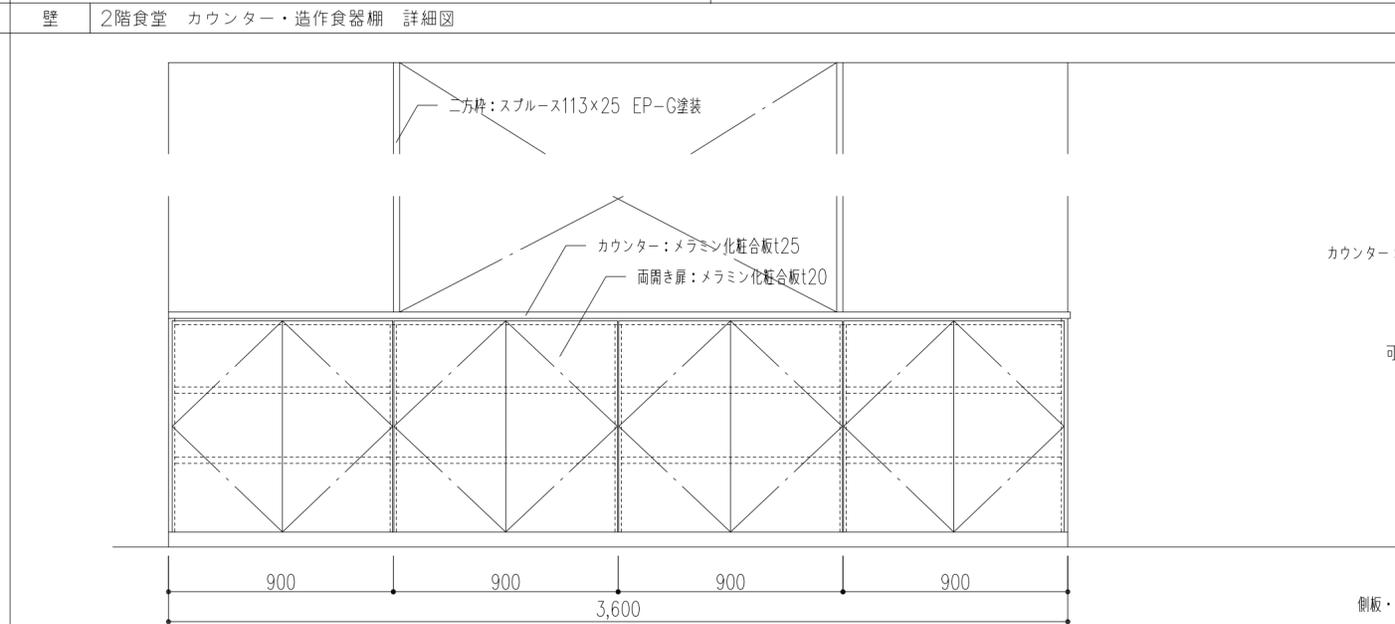
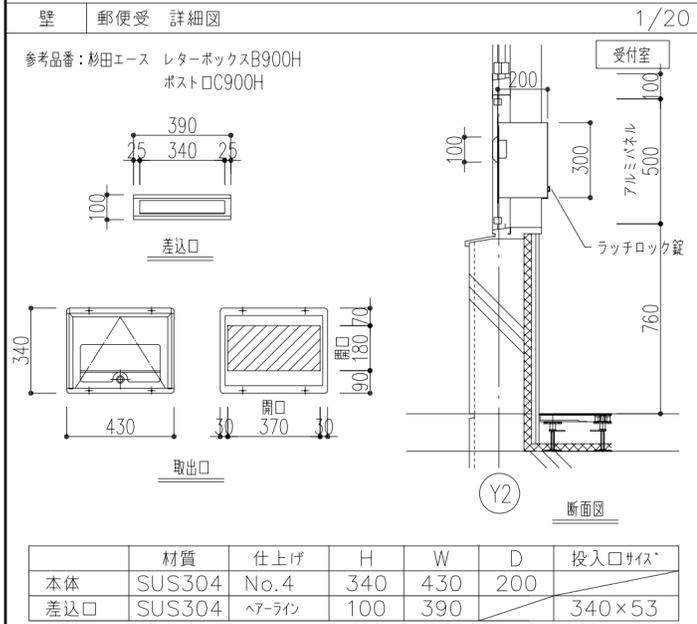
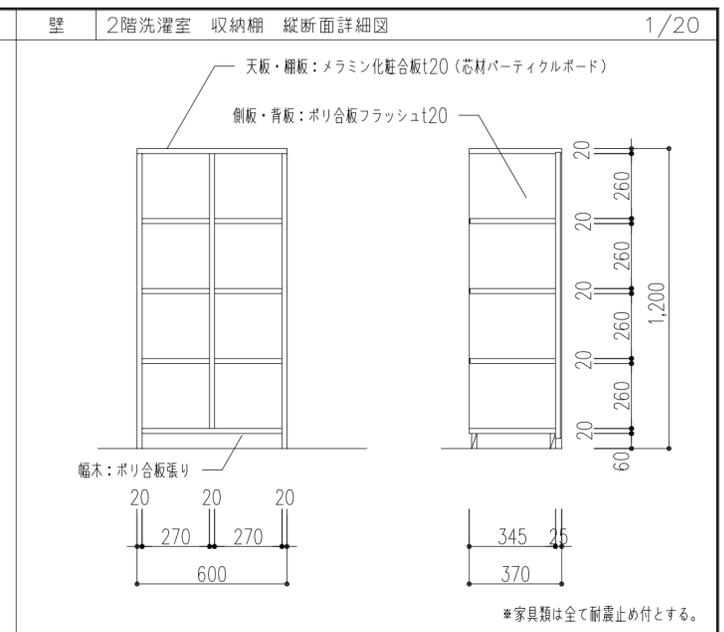
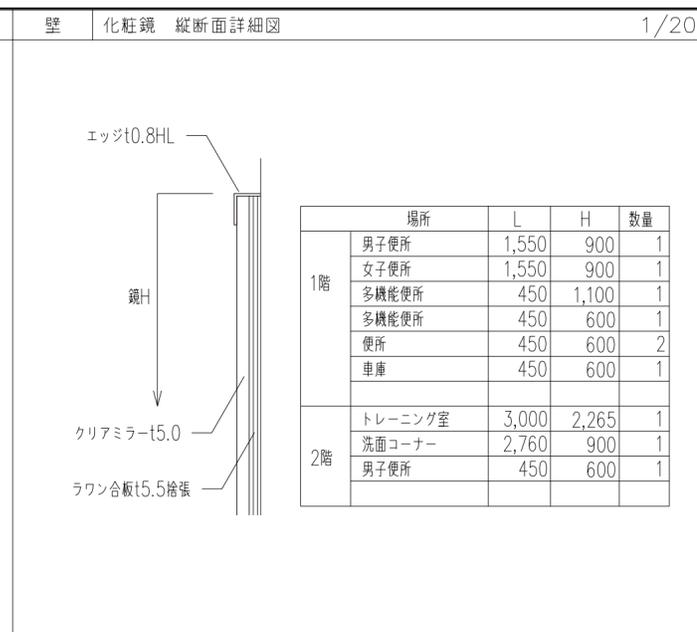
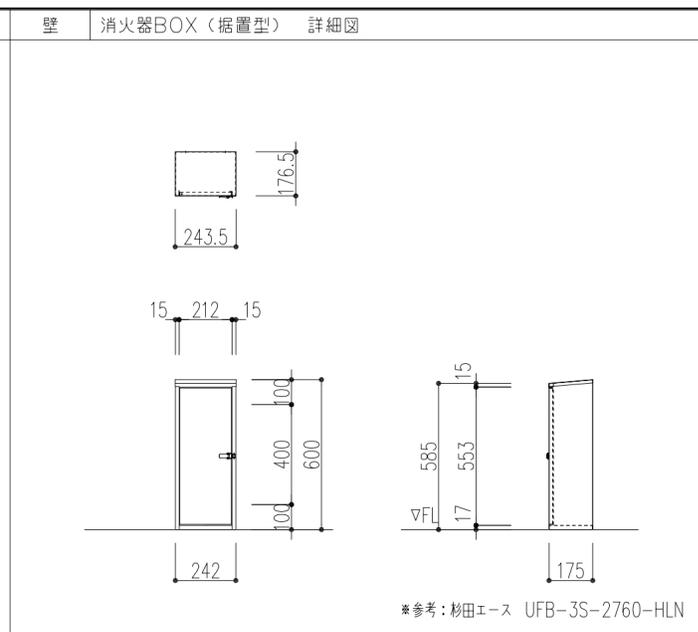
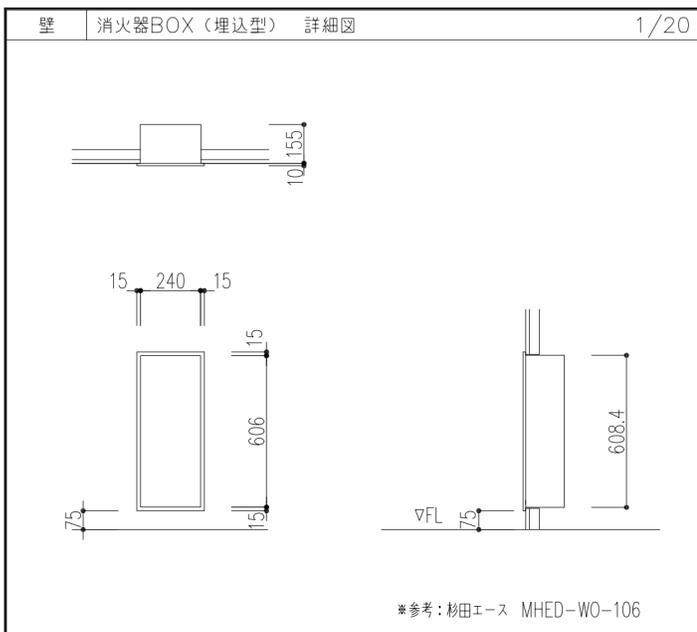
記号・型式	⑥ LSD 軽量鋼製 親子開き戸		⑦ LSD 軽量鋼製 片開き戸		⑧ LSD 軽量鋼製 片開き戸		⑨ LSD 軽量鋼製 2連動扉内蔵片引き込みハンガード		⑩ LSD 軽量鋼製 両開き戸		⑪ LSD 軽量鋼製 両開き戸		⑫ LSD 軽量鋼製 片引き込みハンガード		
図															
場所	数量	1階 通信機室 1		1階 防火相談室、署長室、事務室 3		1階 男子便所・女子便所 2		1階 多目的便所 1		1階 SK 1		1階 収納 1		1階 書庫 1	
材質	仕上	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装
見込	硝子	40		40		40		40		40		40		40	
附属金物	レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル、T番、戸当り、DC ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		大型SUS引手、自閉式ハンガー装置、戸当り、SD、SM、表示錠、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		ケースハンドル、T番、附属金物一式		ケースハンドル、T番、附属金物一式		大型SUS引手、自閉式ハンガー装置、戸当り、SD、SM、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		
備考	鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		
記号・型式	⑬ LSD 軽量鋼製 片引き戸		⑭ LSD 軽量鋼製 2枚引き戸		⑮ LSD 軽量鋼製 片引きハンガード		⑯ LSD 軽量鋼製 親子開き戸		⑰ LSD 軽量鋼製 片開き戸		⑱ LSD 軽量鋼製 親子開き戸		⑲ LSD 軽量鋼製 片開き戸		
図															
場所	数量	1階 便所 1		1階 出勤準備室 2		1階 乾燥室 1		1階 物品庫・多目的倉庫 1		2階 倉庫 1		2階 トレーニング室 1		2階 男子便所 1	
材質	仕上	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装
見込	硝子	40		40		40		40		40		40		40	
附属金物	大型SUS引手、戸当り、SD、SM、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		大型SUS引手、引き戸錠、底車、SD、SM、AP、SUS沓摺レールt1.5、付属金物一式		大型SUS引手、自閉式ハンガー装置、戸当り、SD、SM、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC フランス落し、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		
備考	鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		
記号・型式	⑳ LSD 軽量鋼製 片引き込みハンガード		㉑ LSD 軽量鋼製 片開き戸		㉒ LSD 軽量鋼製 両開き戸		㉓ LSD 軽量鋼製 片開き戸		㉔ LSD 軽量鋼製 引き違い戸		㉕ LSD 軽量鋼製 片開き戸		㉖ LSD 軽量鋼製 片引き戸		
図															
場所	数量	2階 仮眠室 9		2階 倉庫・リネン庫 1		2階 収納 1		2階 洗濯室 1		2階 備蓄庫 1		2階 用具庫 1		2階 食堂・厨房 1	
材質	仕上	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装	電気亜鉛メッキ鋼板t1.6	電気亜鉛メッキ鋼板t0.6焼付塗装
見込	硝子	40		40		40		40		40		40		40	
附属金物	大型SUS引手、戸当り、SD、SM、ステンレス沓摺t2.0、自閉式ハンガー装置、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		ケースハンドル、T番、附属金物一式		レバーハンドル錠(SM・SD付)、T番、戸当り、DC ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		SUS引手、戸当り、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		ケースハンドル、T番、附属金物一式		大型SUS引手、自閉式ハンガー装置、戸当り、SD、SM、ストッパー付、ステンレス沓摺t2.0、附属金物一式		
備考	鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装、アルミガラリ		鋼製枠SOP塗装		鋼製枠SOP塗装		
共通事項	OSM：サムターン、SD：シリンダー、DC：ドアチェック、AP：アングルピース、AG：アルミガラリ、RH：ラバトリーヒンジを示す。 ○網戸はステンレス製とする。 ○アルミガラリの開口率は35%とし、外部に面する建具はステンレス防虫網付とする。 ○外部廻り建具は全て結露受設置のこと（排水パイプ又は排水孔）。					○外部アルミ水切両端部の小口塞ぎプレートは外壁防汚を考慮し、立上高を15mm以上とすること。 ○扉の額、小口部分は扉と同材又は同色とする。 ○出入口と腰窓の方立下につく水切端部には樹脂製コーナーガードを取り付けること。 ○枠・額縁等のチリは原則として10mmとする。 ○扉枠にはクッション用戸当りゴム3ヶ所取り付ける。					○サッシのトロ詰めモルタルは無塵砂を使用すること。 ○内部建具のガラス押え縁廻りのシール材はポリサルファイド2成分型とし、外部建具のガラス押え縁廻りのシール材はMS-2とする。 ○建具金物は、原則としてステンレス製とし、標準附属金物一式を取り付けること。 ○引き違い戸には指詰め防止ゴムを取り付ける。				

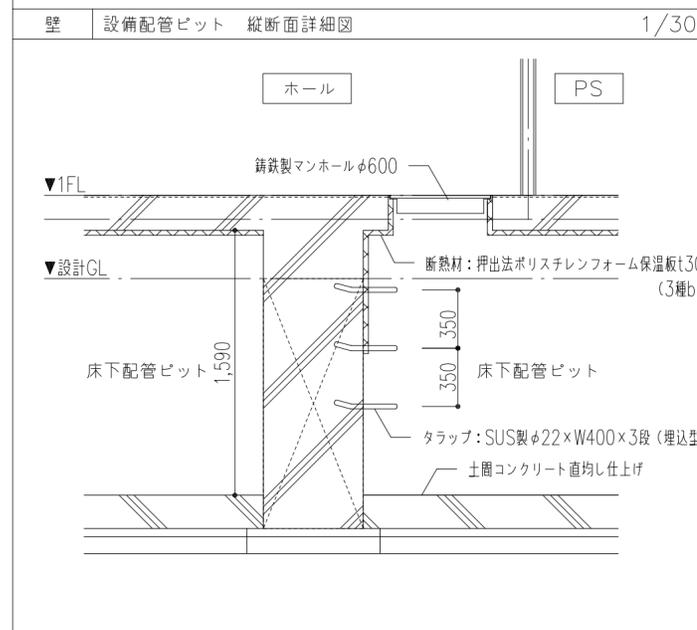
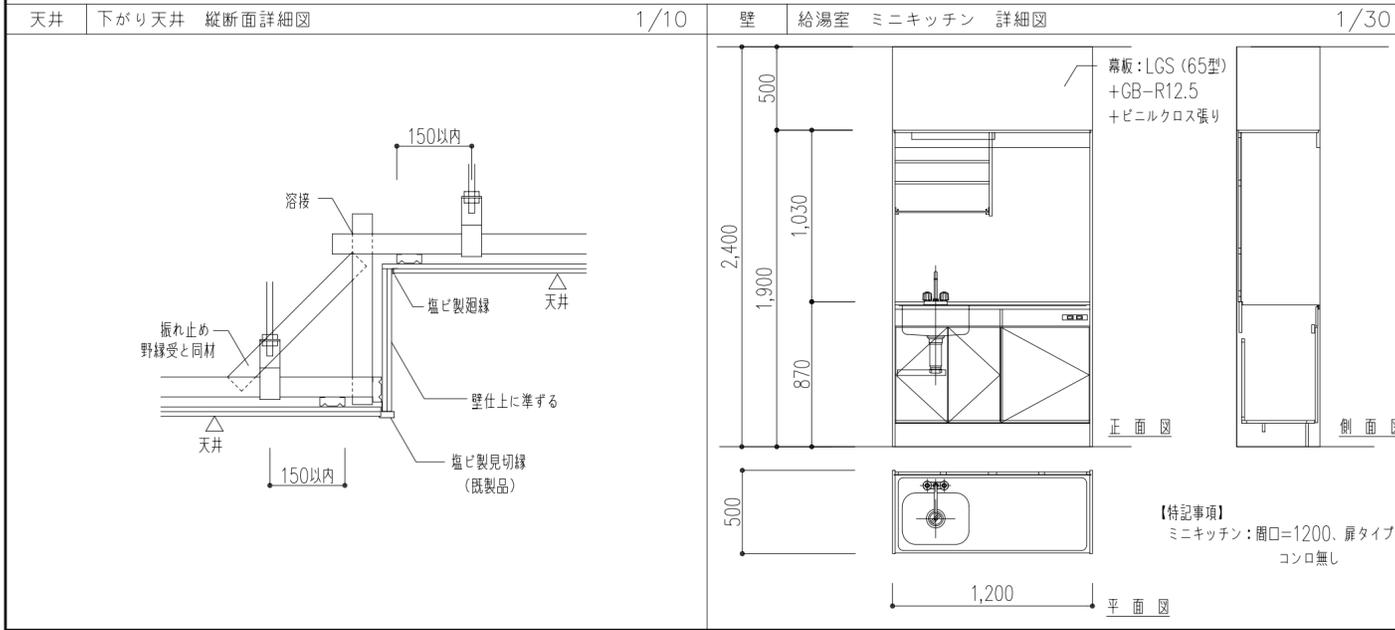
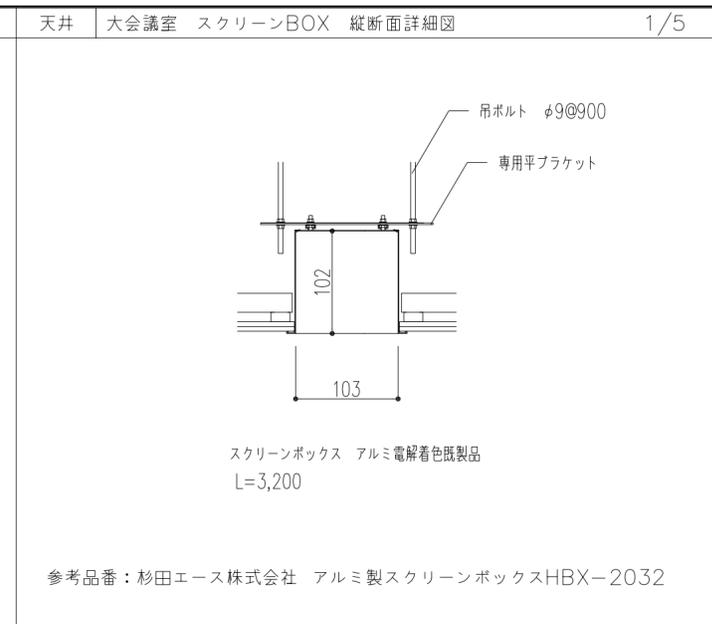
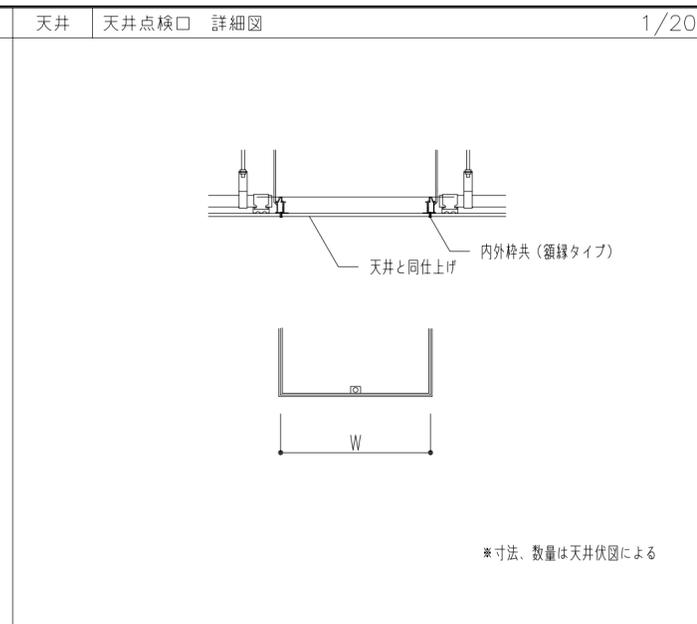
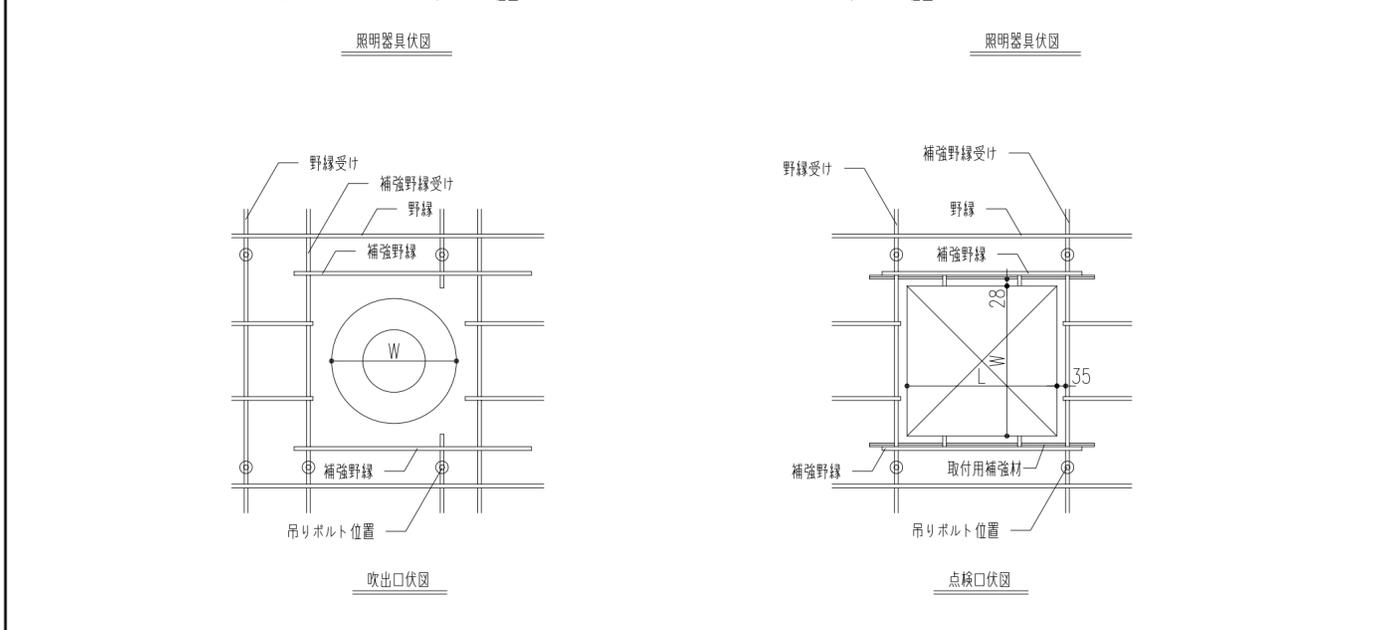
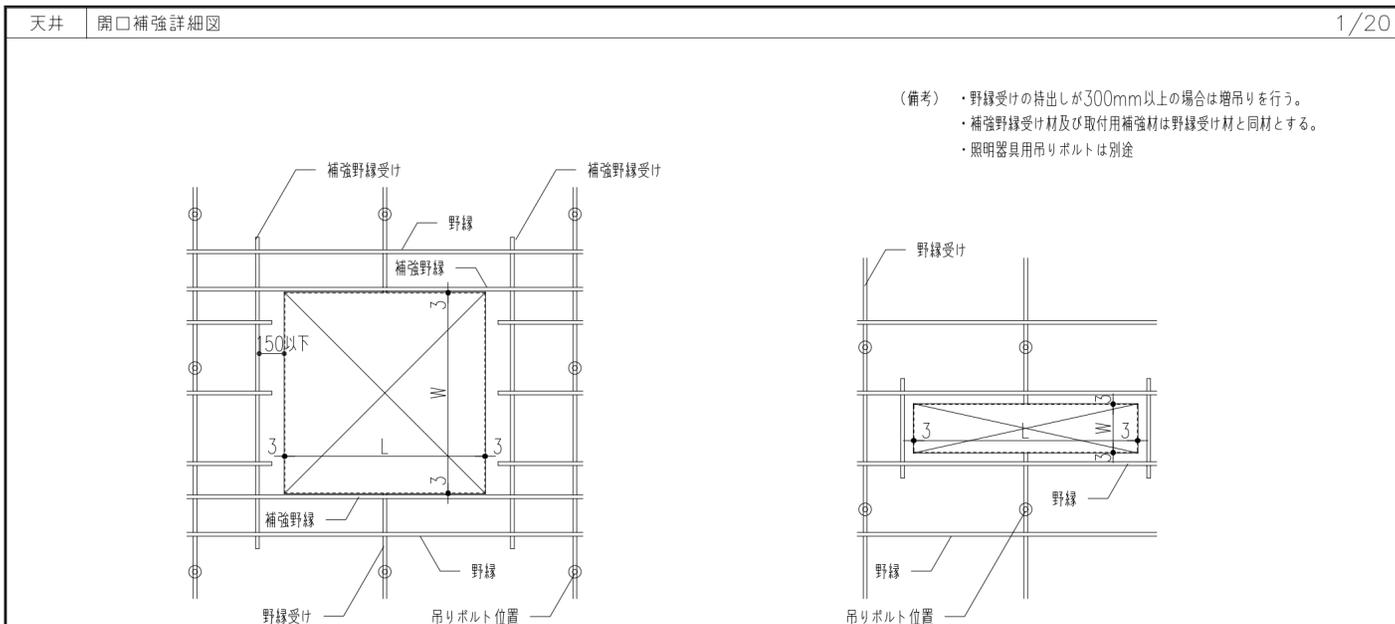
記号・型式	①WD 木製 4枚引きフラッシュ戸		②WD 木製 引違い戸		③WD 木製 両開き戸		④WD 木製 片開き戸		①SP 鋼製 パネル枠		①SF 鋼製 三方枠		②SF 鋼製 三方枠		
図															
場所	数量	2階 休憩室・待機室 1		2階 押入 2		2階 収納(仮眠室) 9		2階 脱衣室 3		2階バルコニー・屋上室外機置場 ほと小屋 3		1階 給湯室 1		2階 洗面コーナー 1	
材質	仕上	木製+シナ合板	ビニルクロス貼	木製+シナ合板	ビニルクロス貼	ペーパーコア	メラミン化粧合板	ペーパーコア	メラミン化粧合板	PL-1.6	焼付塗装(枠:DP)	FB-6	SOP塗装	FB-6	SOP塗装
見込	硝子	36		36		36		36		80		110		266	
附属金物	彫込引手、敷居スベリ		アルミフラッターレール、木製引手、戸車、アルミ製鴨居レール		レバーハンドル錠、丁番、戸当り、附属金物一式		レバーハンドル錠、丁番、戸当り、ステンレス巻指2.0、表示錠、附属金物一式		スチールパネル1.6(補強アングル=20×20×1.6) 附属金物一式						
備考	木製枠110×25 CL塗装		木製枠110×25 CL塗装		木製枠110×25 EP-G塗装		木製枠122×25 EP-G塗装 木製ガラリ		補強アングルは設籍と調整のうえ、補強位置を決定のこと。						
記号・型式	①WF 木製 三方枠		②WF 木製 三方枠		①TB トイレブース		②TB トイレブース		③TB トイレブース		④TB トイレブース				
図															
場所	数量	2階 SW 1		2階 UB 2		1階 女子便所 1		1階 男子便所 1		1階 便所 1		2階 男子便所 1			
材質	仕上	桧	EP-G塗装	桧	EP-G塗装	パーティクルボードt9裏打ち 扉:ラワン合板t5.5裏打ち ペーパーコア	高圧メラミン樹脂化粧板	パーティクルボードt9裏打ち 扉:ラワン合板t5.5裏打ち ペーパーコア	高圧メラミン樹脂化粧板	パーティクルボードt9裏打ち 扉:ラワン合板t5.5裏打ち ペーパーコア	高圧メラミン樹脂化粧板	パーティクルボードt9裏打ち 扉:ラワン合板t5.5裏打ち ペーパーコア	高圧メラミン樹脂化粧板		
見込	硝子	122		122		40		40		40		40			
附属金物					表示錠、取手、戸当り(帽子掛タイプ) アルミ笠木、ステンレス幅木、附属金物一式		表示錠、取手、戸当り(帽子掛タイプ) アルミ笠木、ステンレス幅木、附属金物一式		表示錠、取手、戸当り(帽子掛タイプ) アルミ笠木、ステンレス幅木、附属金物一式		表示錠、取手、戸当り(帽子掛タイプ) アルミ笠木、ステンレス幅木、附属金物一式		表示錠、取手、戸当り(帽子掛タイプ) アルミ笠木、ステンレス幅木、附属金物一式		
備考					エッジ:アルミ押出型材、扉中心吊り、非常時外開きドア 小松ウォール工業株式会社 TB-TP同等品		エッジ:アルミ押出型材、扉中心吊り、非常時外開きドア 小松ウォール工業株式会社 TB-TP同等品		エッジ:アルミ押出型材、扉中心吊り、非常時外開きドア 小松ウォール工業株式会社 TB-TP同等品		エッジ:アルミ押出型材、扉中心吊り、非常時外開きドア 小松ウォール工業株式会社 TB-TP同等品		エッジ:アルミ押出型材、扉中心吊り、非常時外開きドア 小松ウォール工業株式会社 TB-TP同等品		
記号・型式	①SS 鋼製 重量シャッター		②SS 鋼製 電動オーバースライダー		③SS 鋼製 電動オーバースライダー										
図															
場所	数量	1階 車庫 1		1階 車庫 2		1階 車庫 1									
材質	仕上	スチールt1.2	焼付塗装	塗装溶融垂鉛メッキ鋼板 t0.8	熱硬化性ポリエステル樹脂 2コート2ペーク	塗装溶融垂鉛メッキ鋼板 t0.8	熱硬化性ポリエステル樹脂 2コート2ペーク								
見込	硝子	60		45		45									
附属金物	電動巻上げ装置、シャッターBOX、電気錠 障害物感知装置センサー、セルフブレーキ、附属金物一式		障害物感知装置、電気錠、附属金物一式		障害物感知装置、電気錠、附属金物一式										
備考			取付ブラケット、リモコン、耐風圧強度 有		取付ブラケット、リモコン、耐風圧強度 有										
共通事項	OSM:サムターン、SD:シリンダー、DC:ドアチェック、AP:アングルピース、 AG:アルミガラリ、RH:ラバトリーヒンジを示す。 ○網戸はステンレス製とする。 ○アルミガラリの開口率は35%とし、外部に面する建具はステンレス防虫網付とする。 ○外部廻り建具は全て結露受設置のこと(排水パイプ又は排水孔)。				○外部アルミ水切両端部の小口塞ぎプレートは外壁防汚を考慮し、立上高を15mm以上とすること。 ○扉の鎖、小口部分は扉と同材又は同色とする。 ○出入口と腰窓の方立下につく水切端部には樹脂製コーナーガードを取り付けること。 ○枠・鎖等のチリは原則として10mmとする。 ○扉枠にはクッション用戸当りゴム3ヶ所取り付ける。				○サッシのトリコ詰めモタルは無塵砂を使用すること。 ○内部建具のガラス押え縁廻りのシール材はポリサルファイド2成分型とし、 外部建具のガラス押え縁廻りのシール材はMS-2とする。 ○建具金物は、原則としてステンレス製とし、標準附属金物一式を取り付けること。 ○引違い戸には指詰め防止ゴムを取り付ける。						



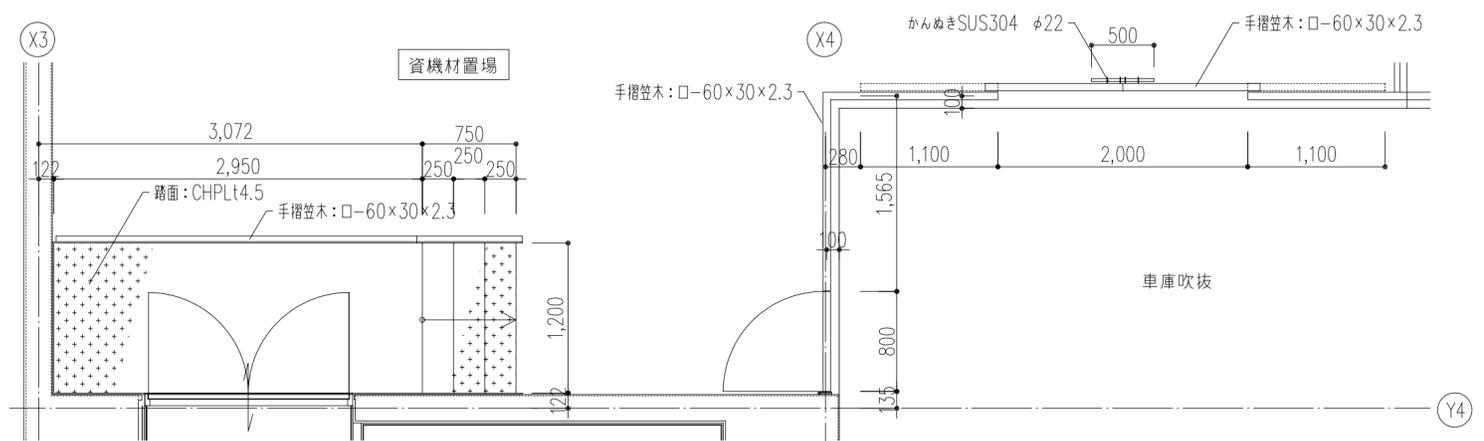


<p>特記事項 ←●:シーリング MS-2 (変成シリコン系)とし、特記無き場合は20×10とする。 参考品番は全て同等品以上とする。</p>	<p>工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事</p> <p>図面名称 部分詳細図-2</p>	<p>図面No. D / 02</p> <p>縮尺 A3 (1/30) A2 (1/20)</p>	<p>工事種別 建築</p> <p>株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</p>	<p>管理建築士 一級建築士 程野 祐介 大臣登録 第338983号</p> <p>校閲 担当 製図</p>	<p>設計No. —</p> <p>設計年月日 2017.9</p>
---	--	---	--	--	--

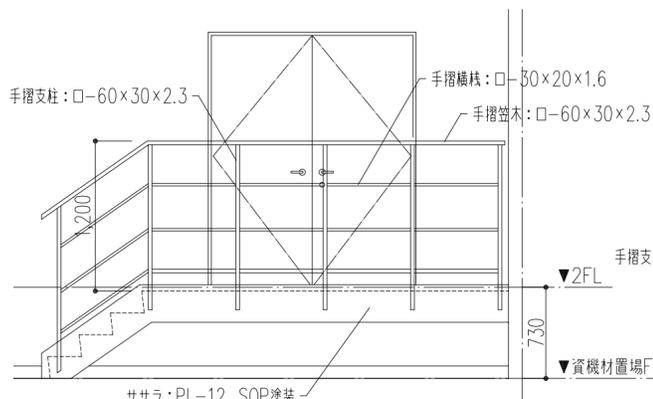
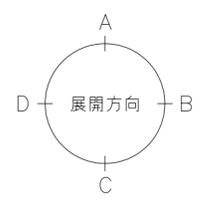




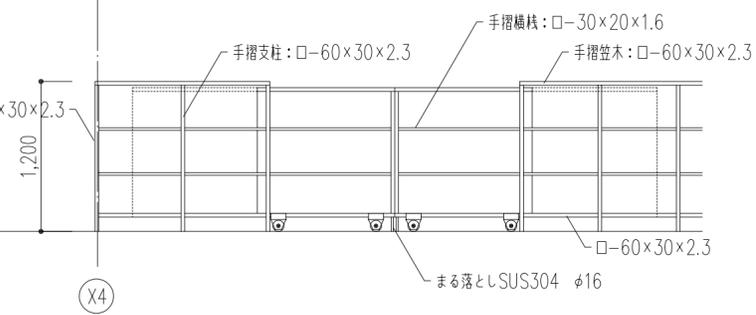
<p>特記事項</p> <p>←●: シーリング MS-2 (変成シリコン系) とし、特記無き場合は20×10とする。 参考品番は全て同等品以上とする。</p>	<p>工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事</p> <p>図面名称 部分詳細図-6</p>	<p>図面No. D / 06</p> <p>縮尺 A3 (1/30) A2 (1/20)</p>	<p>工事種別 建築</p> <p>株式会社 阿波設計事務所 四国支店</p> <p>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</p>	<p>管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号</p> <p>校閲 担当 製図</p>	<p>設計No. -</p> <p>設計年月日 2017.9</p>
---	--	---	---	--	--



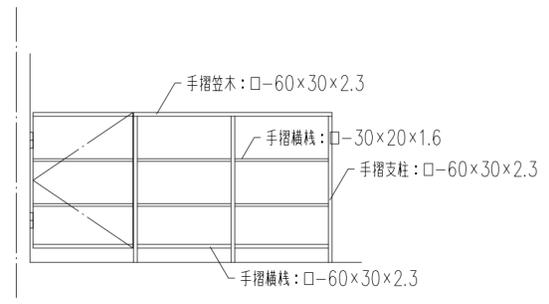
平面図 1/40



C展開図 1/40

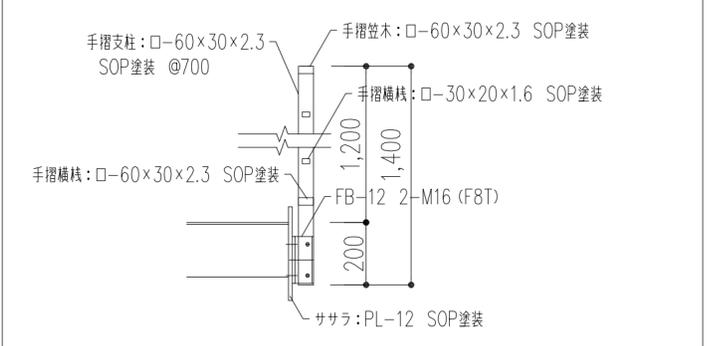


A展開図 1/40

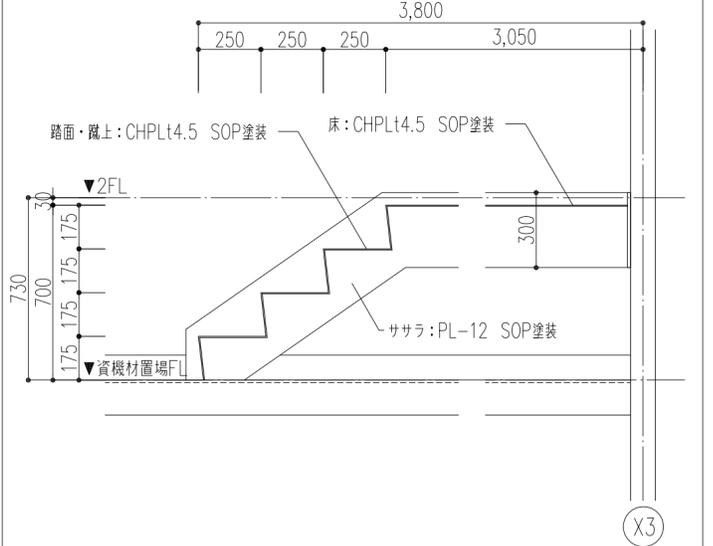


D展開図 1/40

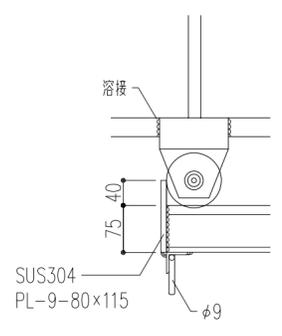
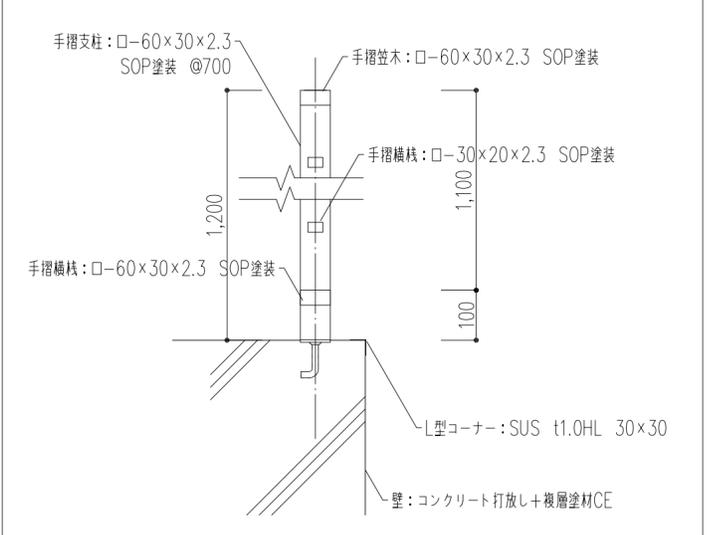
資機材置場 階段手摺詳細図 (側面取付) 1/20



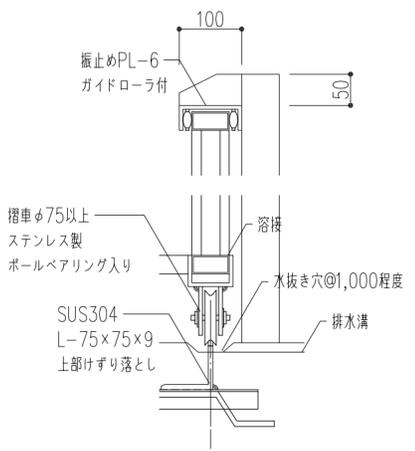
資機材置場 出入口階段 縦断面詳細図 1/20



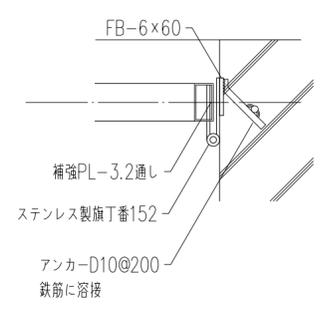
手摺 (床面取付) 縦断面詳細図 1/10



ストッパー詳細図 1/10



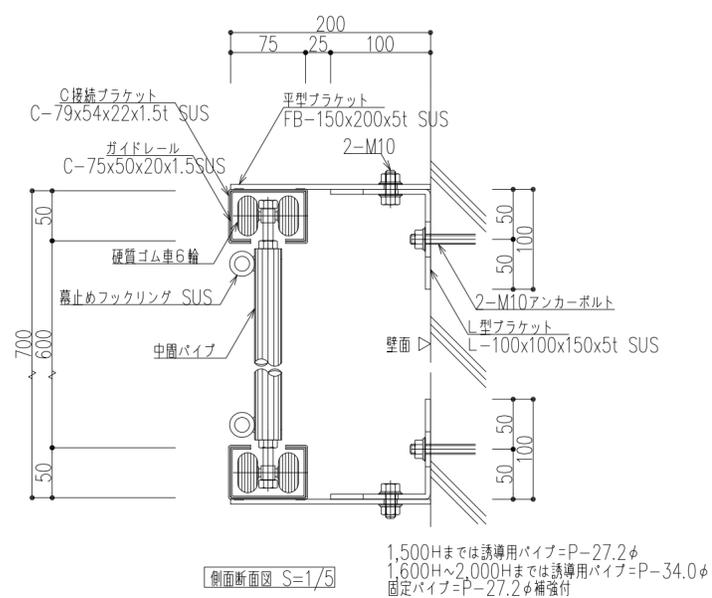
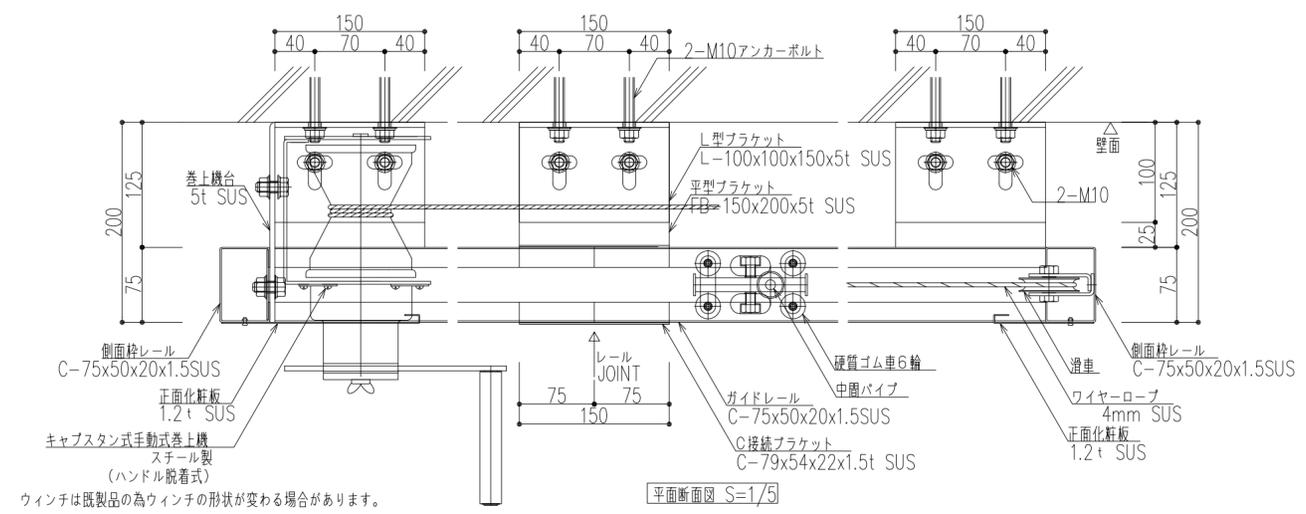
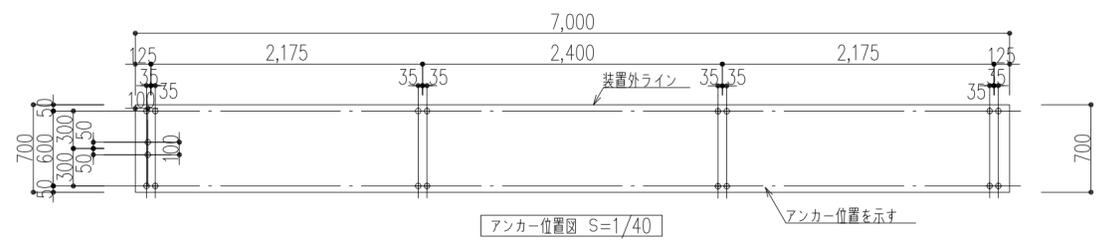
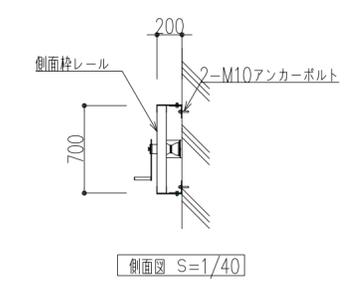
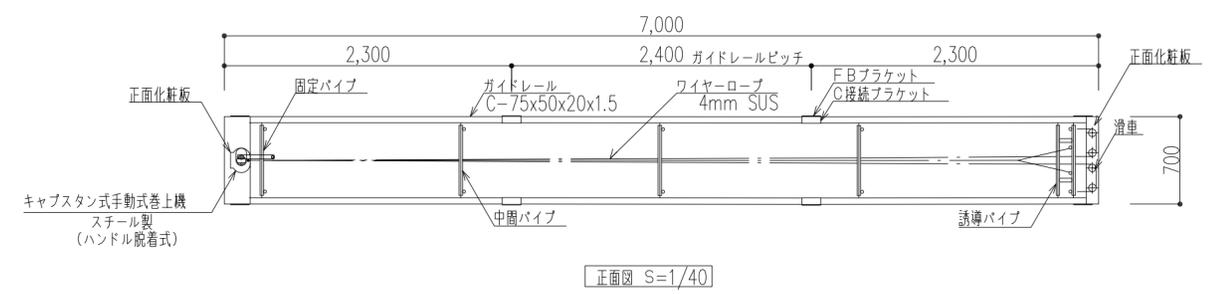
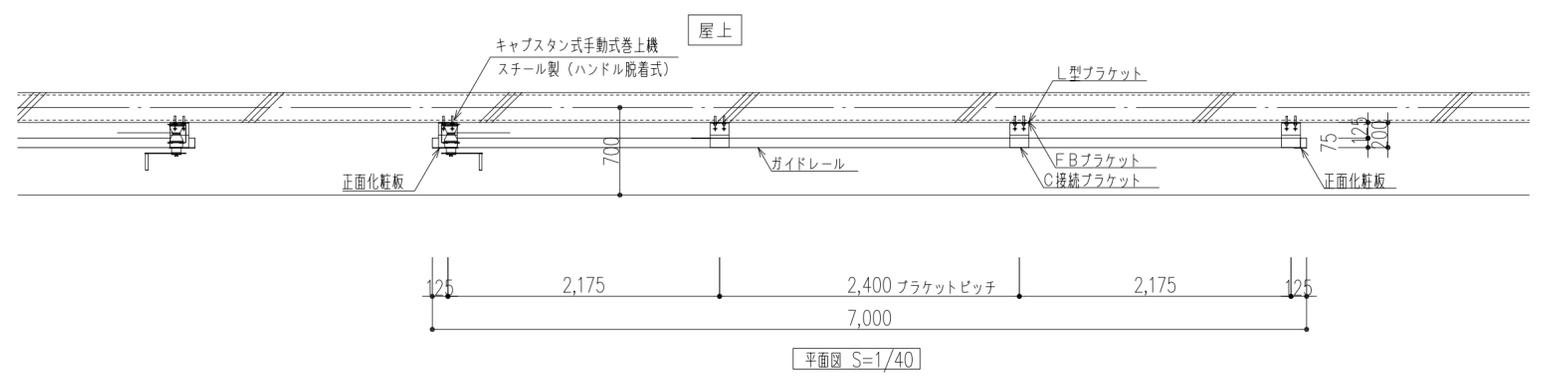
引き戸断面詳細図 1/10



開き戸丁番取合い詳細図 1/10

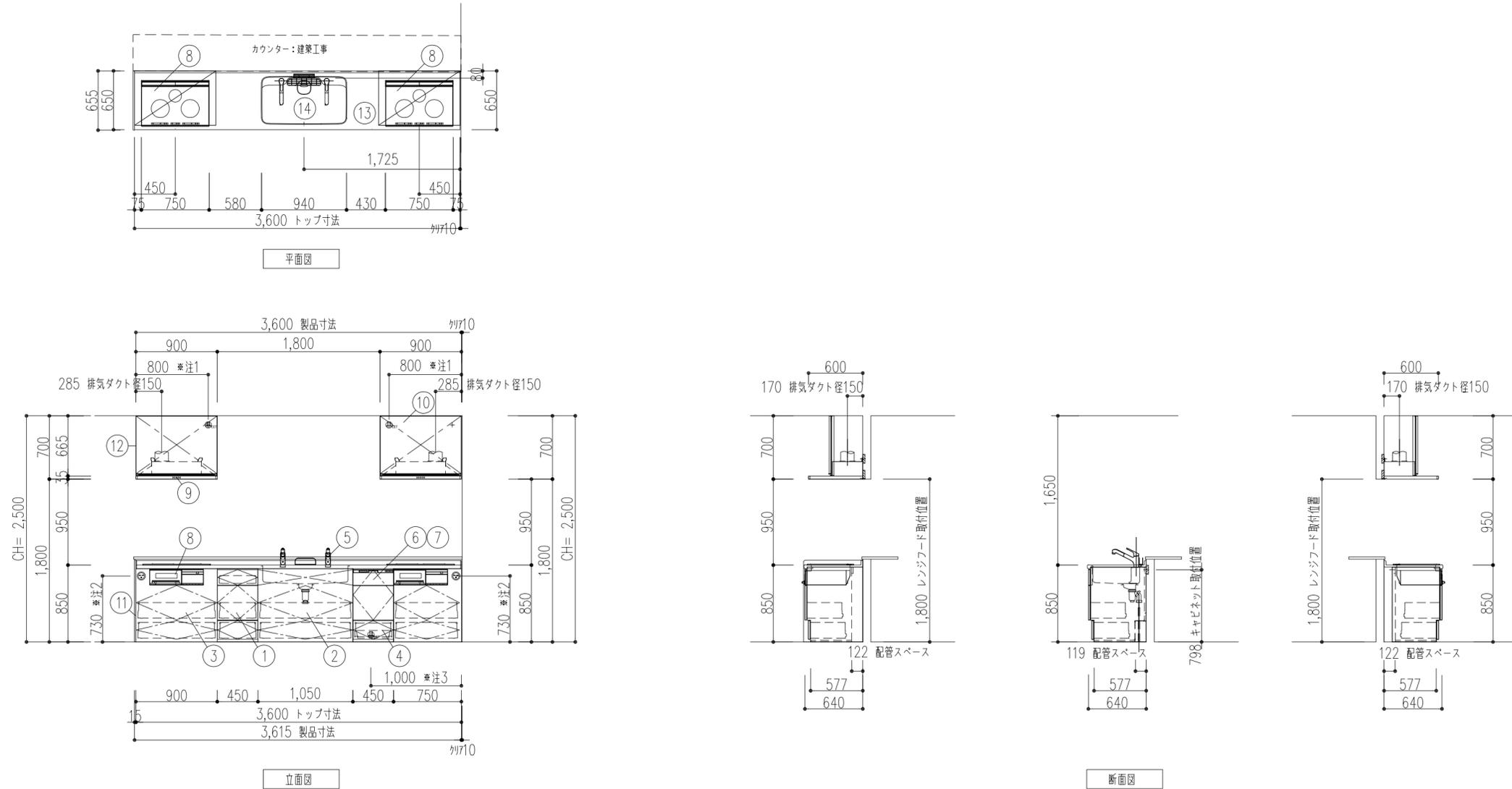
*見えがかり鉄面はSOP塗とする。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	D / 08	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	資機材置場 詳細図	縮尺	A3 (1/60) A2 (1/40)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	

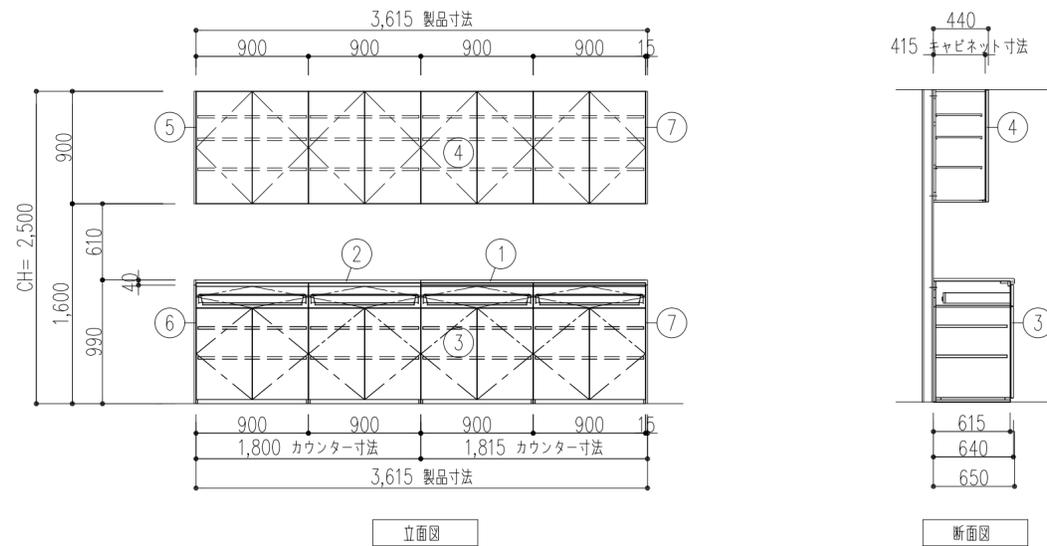


ウィンチは既製品の為ウィンチの形状が変わる場合があります。

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. D / 09	工事種別 建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 一級建築士 程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. -
	図面名称 横断幕装置 詳細図	縮尺 A3 (1/60・45) A2 (1/40・30)		校閲 担当 製図		設計年月日 2017.9

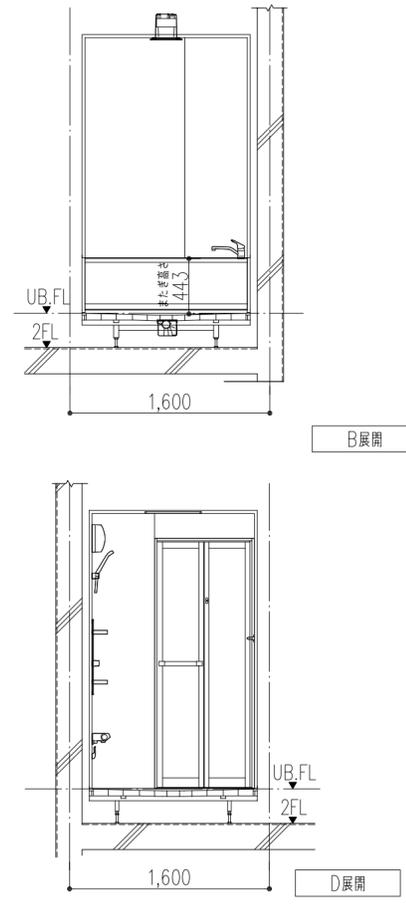
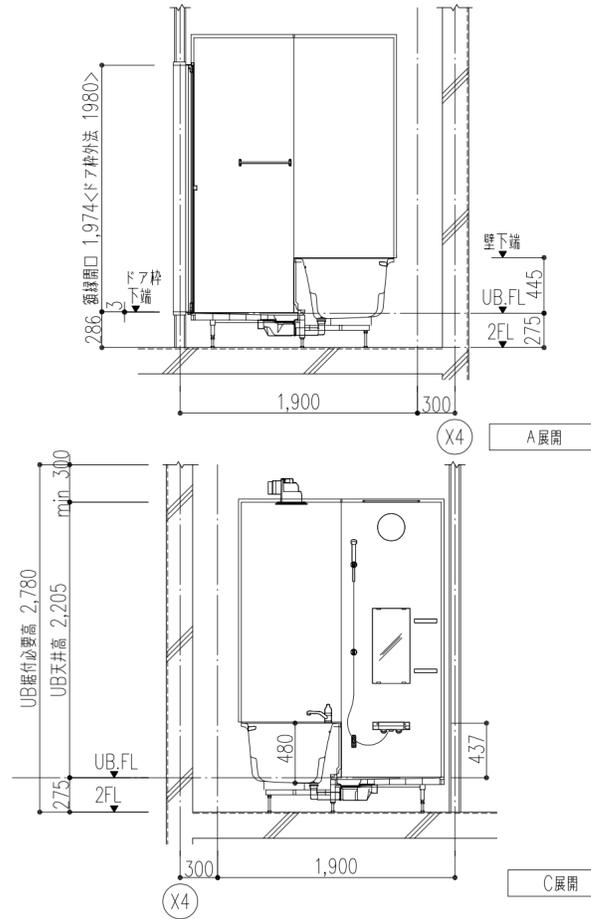
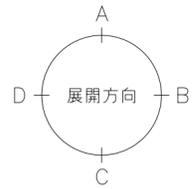
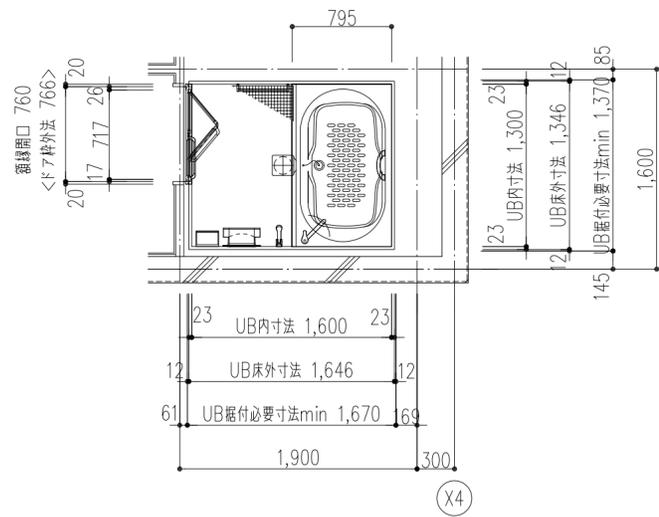


品名	
①	調理台用キャビ (引出しV)
②	シンク用キャビ (引出しV)
③	コンロ用キャビ (引出しV)
④	食洗用キャビ (引出しT)
⑤	ハンドシャワー水柱
⑥	食器洗い乾燥機・深型
⑦	食器洗い乾燥機化粧パネル
⑧	3口IH・トリプルIH
⑨	ASRシロッコファン
⑩	レンジフード化粧パネル
⑪	エンドパネル・キッチン用
⑫	レンジフード用横幕板
⑬	1型ワークトップ・D650
⑭	大型シンク
・電気・ガス・給排水・換気等設備工事別途	
・水道工事は排水配管工事	
・浄水器別途	
注1) 125V・15A 2極接地極付アースターミナル付コンセント	
注2) 250V・30A 2極接地極付コンセント (側取付)	
注3) 125V・15A 2極接地極付アースターミナル付 (埋込) コンセント	
*純LIXIL アレスタ17 同等品以上	



品名	
①	被せ式カウンター・幅木
②	被せ式カウンター
③	戸棚 (両開き扉)
④	吊戸棚 (両開き扉)
⑤	壁側設置フィルター
⑥	ヒモ材・キャビネット木口色
⑦	エンドパネル
*純LIXIL エアリオホワイト 同等品以上	

ユニットバス (1316) 詳細図

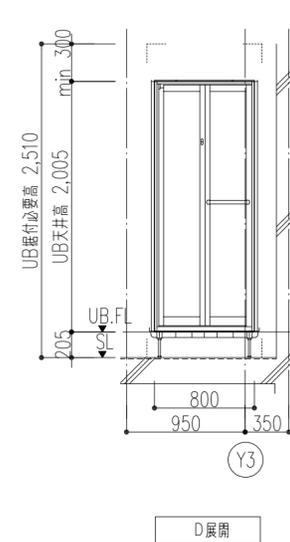
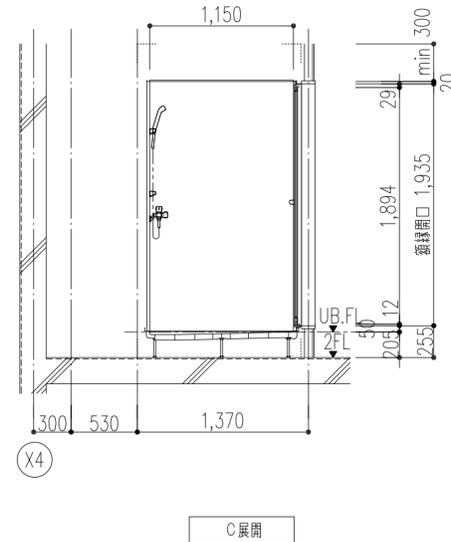
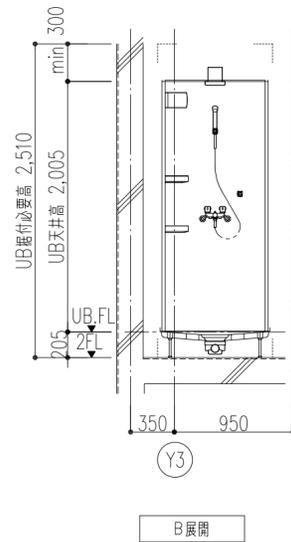
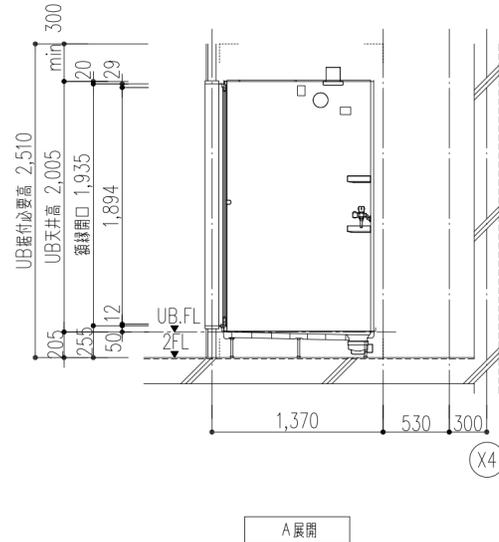
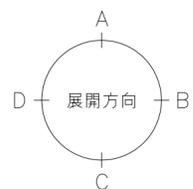
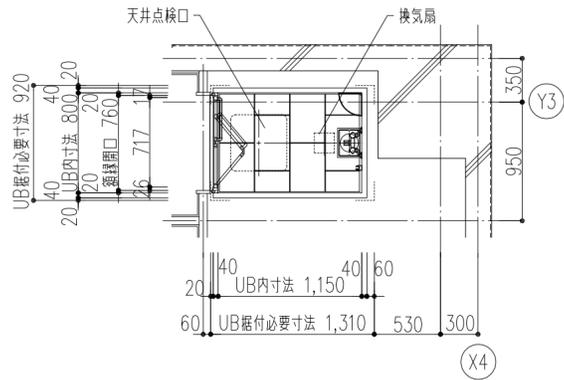


*UB据付高調整範囲 260~290mm (据付面~UB.FL)

名称	仕様・寸法
天井パネル	化粧鋼板複合パネル
壁パネル	Lパネル
正面アクセントパネル	Lパネル
床パネル	FRP 単色
ドアパネル	折戸:アルミアルマイト処理 面材:型板調樹脂板
浴槽	FRPラウンドライン浴槽、ゴム排水栓 風呂蓋(巻蓋付)、浴槽内履りパー付 エプロン
水栓金具	浴槽側:シングルレバーデッキ水栓 洗い場側:クランクレス水栓 シャワー:エコフルシャワー
シャワーフック	樹脂製 2個
シャワーホースフック	シャワーホースフック
照明	ネオサークル照明(防湿型)LEDランプ1灯
タオル掛	アルミパイプL400 ブラケット:樹脂製
鏡	防湿型化粧鏡 W300×H600
収納	収納棚2段 樹脂製
換気扇	天井換気扇:UF-27A アルミダクトホース付
給水管	PJ1/2 おねじ止
給湯管	PJ1/2 おねじ止
雑排水管	塩ビ管 VU50

* (株) LIXIL 「BMDS-1316LBC」同等品以上

シャワーユニット (0812) 詳細図



*UB据付高さ調整範囲 187~227mm

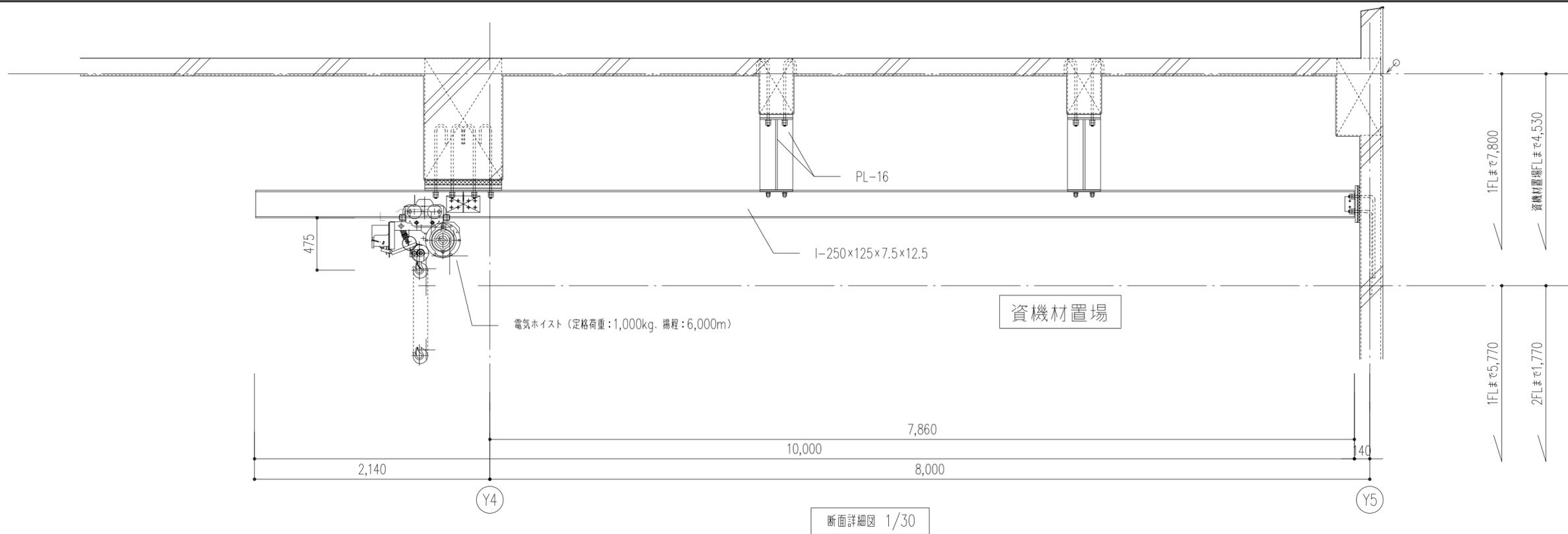
名称	仕様・寸法
天井パネル	化粧鋼板複合パネル
壁パネル	Lパネル(マット)
床パネル	FRP
ドア	アルミアルマイト処理
ドアパネル	折戸:アルミアルマイト処理 面材:型板調樹脂板
水栓金具	ツェーハンドル一時止水型付水栓 シャワー:スプレーシャワー
照明	スリム照明(防湿型) 電球形蛍光灯ランプ60W形D形 1灯
収納	コーナー棚2段 樹脂製
換気扇	天井換気扇 UF-24B
トラップ	ABS樹脂製 封水55mm
給水管	Rc1/2 アダプター止
給湯管	Rc1/2 アダプター止
雑排水管	塩ビ管 VP50

* (株) LIXIL 「SPB-0812SBEL」同等品以上

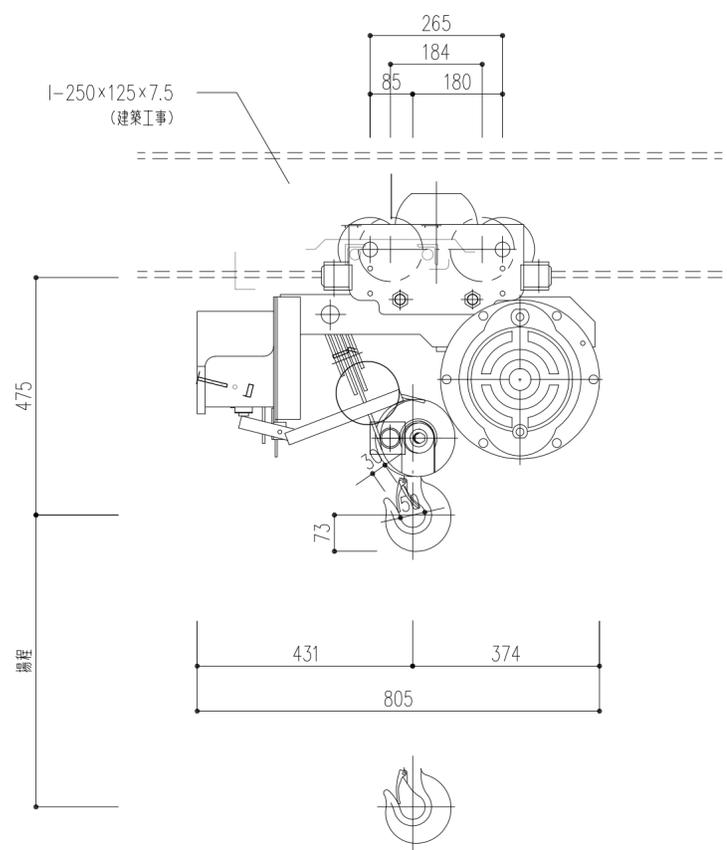
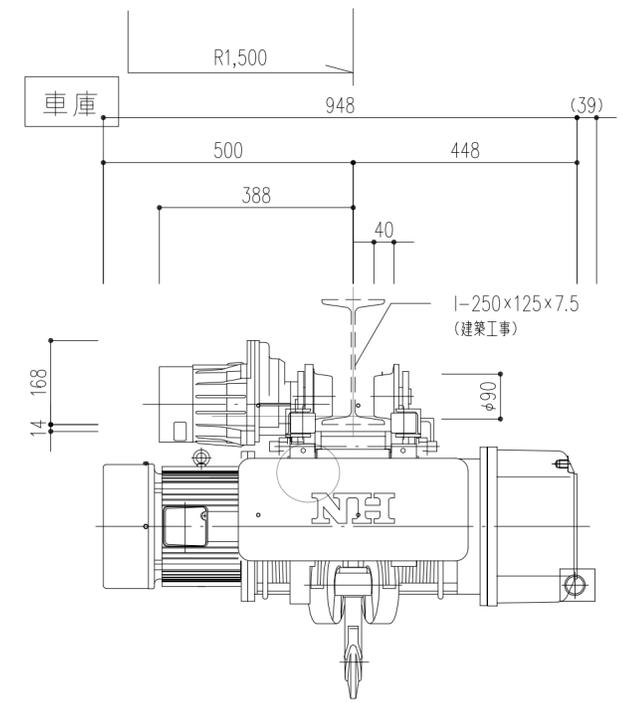
特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. D / 13	工事種別 建築
	図面名称 ユニットバス・シャワーユニット 詳細図	縮尺 A3 (1/60) A2 (1/40)	

株式会社 阿波設計事務所 四国支店	管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. —
一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	校閲	担当	製図

設計年月日 2017.9



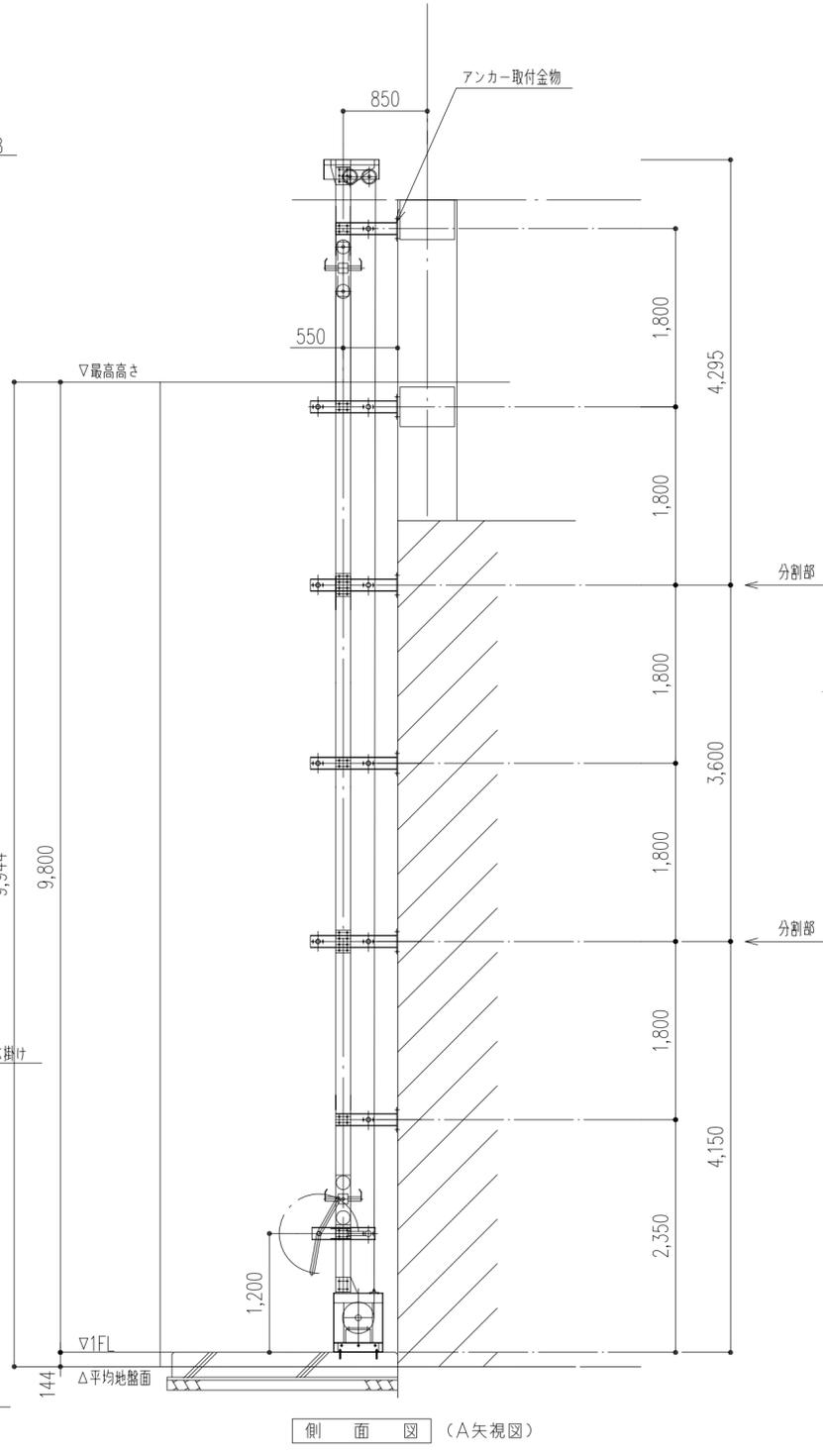
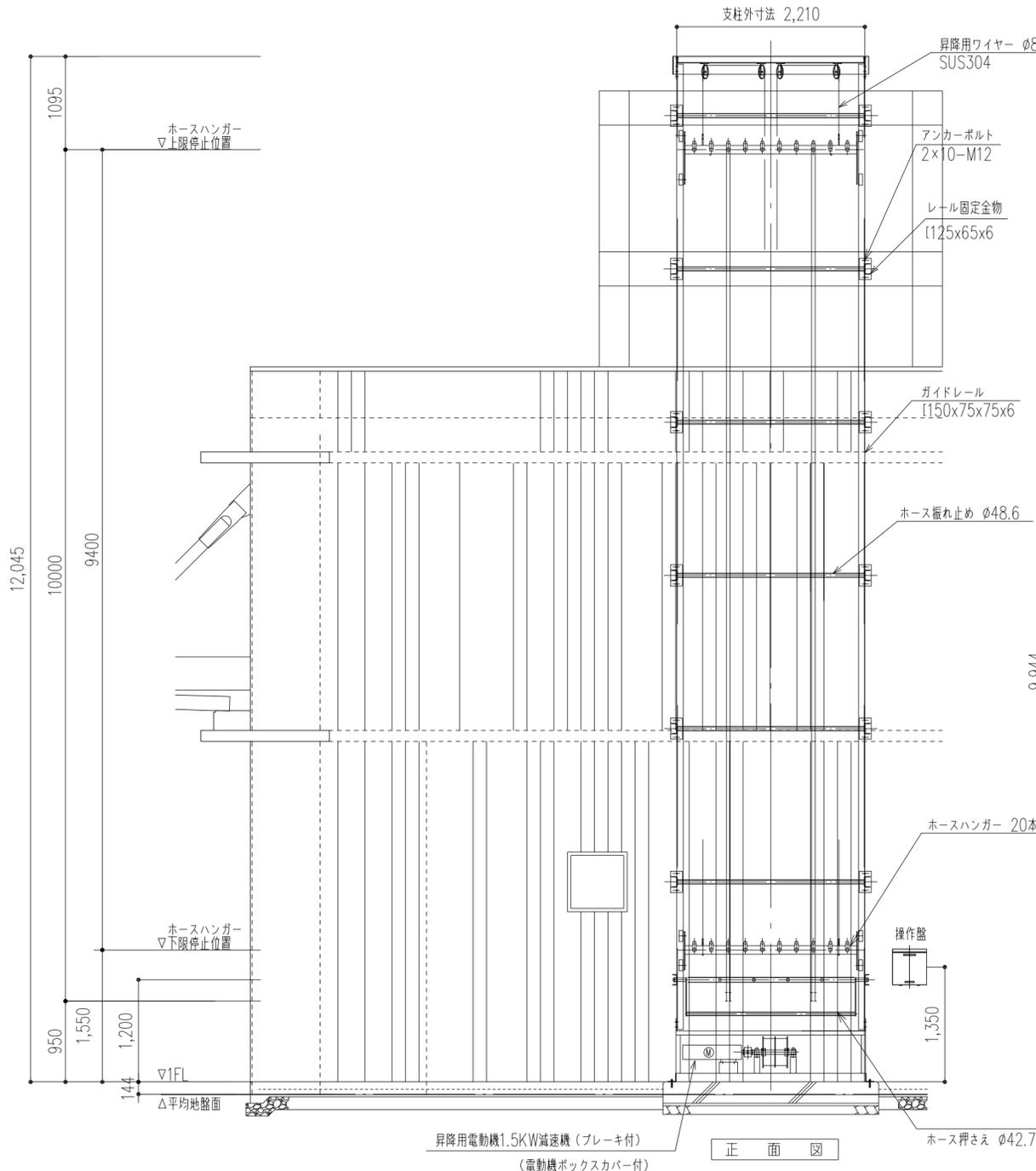
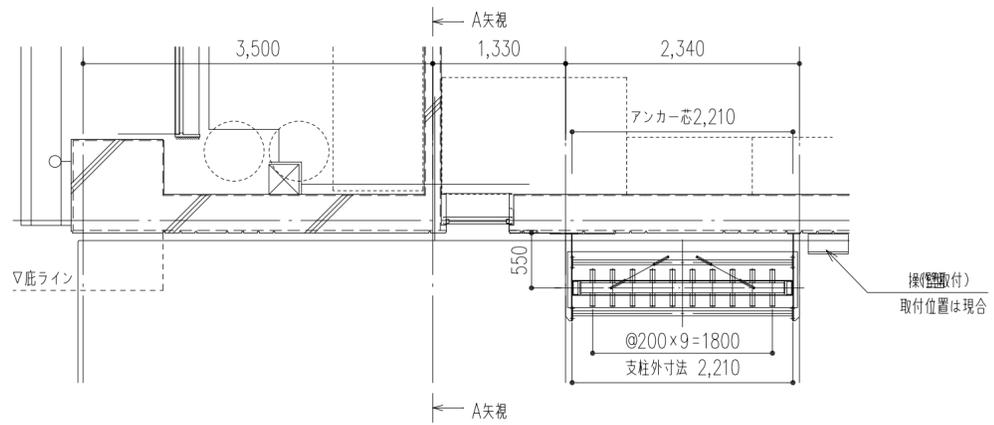
断面詳細図 1/30



仕様	
定格荷重	1,000 kg
揚程	6 m
ワイヤロープ	6×37 A種 6mm 4本掛
巻上速度	60Hz 0.122 m/s
	7.3 m/min
巻上電動機	60Hz 2.0kw 4p
	* 定格 40%ED 240回/h
横行速度	60Hz 0.350 m/s
	21 m/min
横行電動機	60Hz 0.4kw 4p
	定格 25%ED 150回/h
つり上げ等級	D
フックブロック質量	10 kg
電源	3相200V 60Hz
概略質量	230kg
適用レール	—
備考	1.*は負荷率63%における値を示す。(JISC9620)
	2.最小屈曲半径: R1,500 Lカーブ
	3.ウエイト付
ドラム・シーブ径	D1: 226mm, D2: 126mm, D3: 126mm

*日本ホイス(株) NHEL1.0T-M 同等品以上

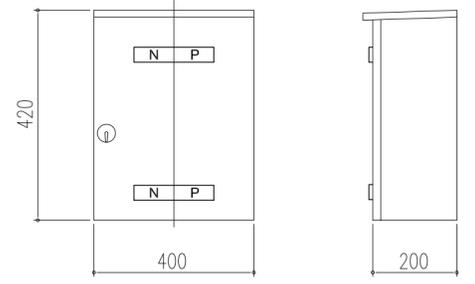
*鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。



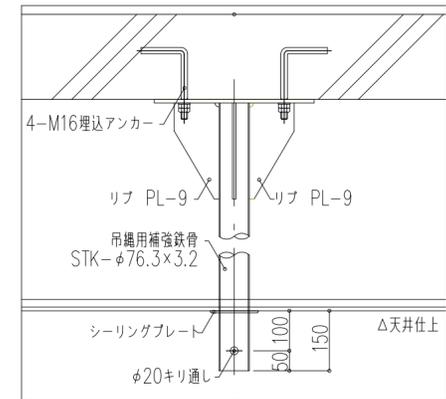
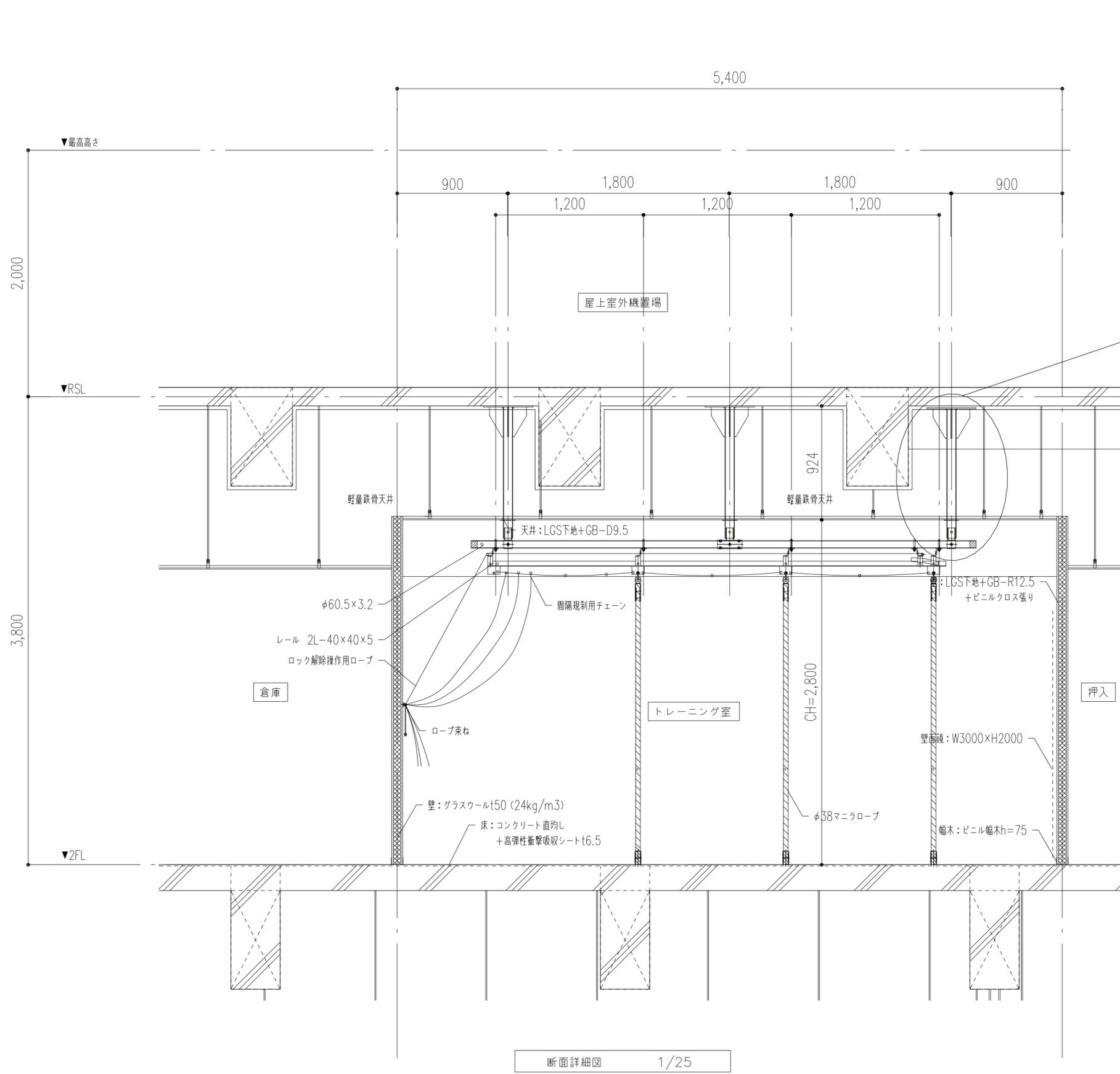
電動式ホースハンガー 仕様概略	
項目	仕様
外形寸法	2,210W × 12,045H
ホース収容本数	20本 (前後列 各10本)
巻上能力	400Kg (20Kg×20本)
昇降速度	8.3m/min 60Hz
電動機	サイクロ減速機 1.5KW (ブレーキ付)
電源	200V (220V) ・3相 60Hz
各部材質及び防錆処理	
ガイドレール	SS 400 溶融亜鉛メッキ
レールブラケット	SS 400 溶融亜鉛メッキ
ホース振れ止め及び押え材	STK 溶融亜鉛メッキ
吊りワイヤー	φ8 ステンレスワイヤー
シーブ・ピン	ステンレス (SUS 304)
ワイヤー巻取りドラム・軸	ステンレス (SUS 304)
ガイドローラー	MCナイロン・軸 SUS304
操作盤	SUS 304
ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛めっき、外板SUS
同上内部機器	生地のまま
ボルト・ナット	オールアンカー共全てSUS 304

*制御回路: DC24V
*溶融亜鉛メッキ JIS H8641・2種

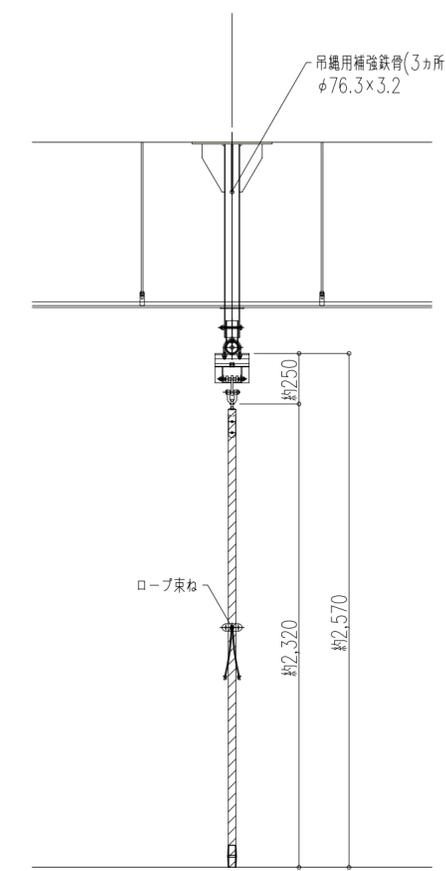
記事
・基礎工事及び電気工事 (1次電気工事) は、現地打合せとします。
・2次側電気工事は、露出配管 (防水ブリカ) とします。



操作盤 (S=1:10)
操作盤: SUS製 (キー付扉)
押し釘付スイッチによるリモコン操作 (対応キー付リモコンケーブル 5m付)



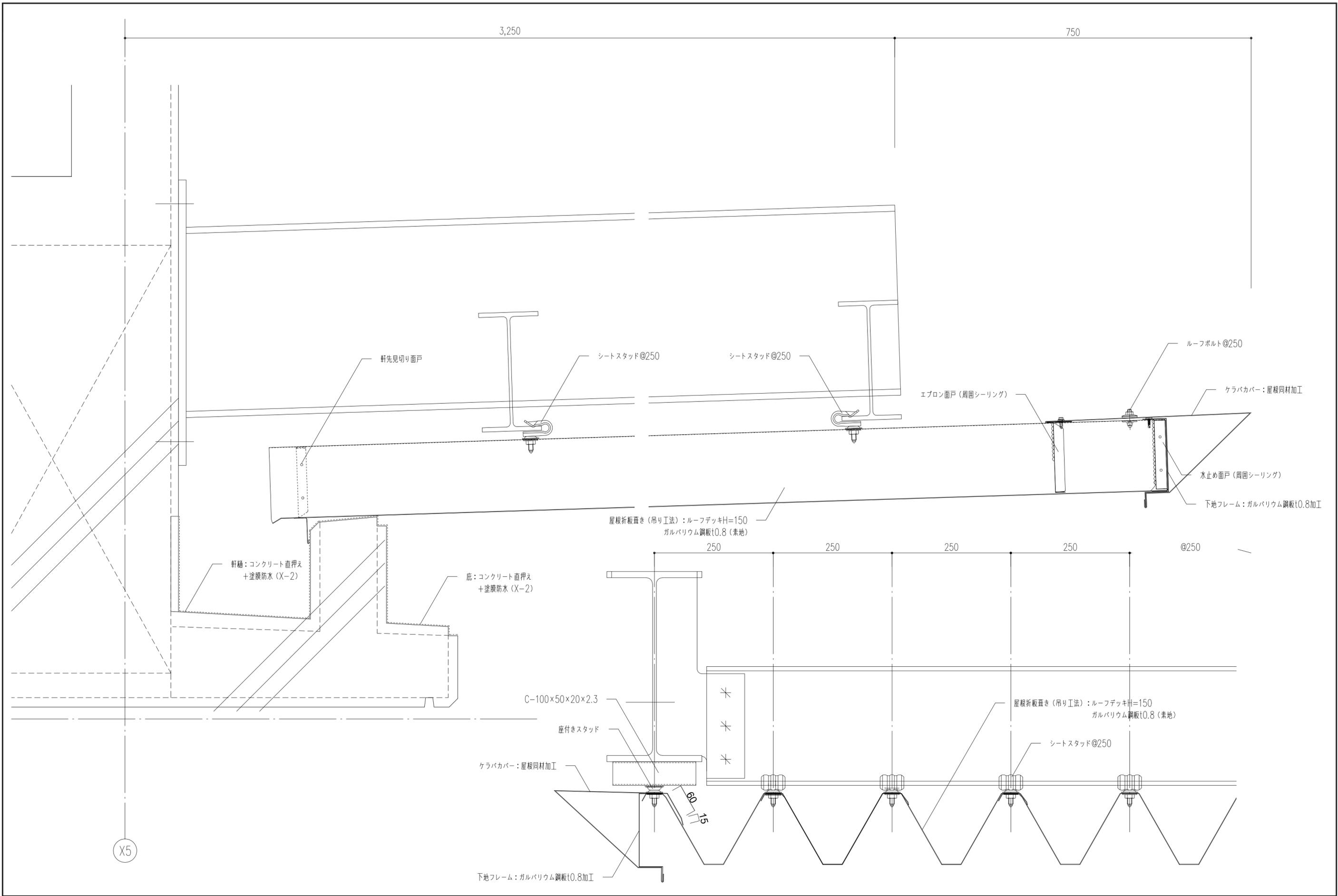
補強パイプ図
3ヶ所S=1/10



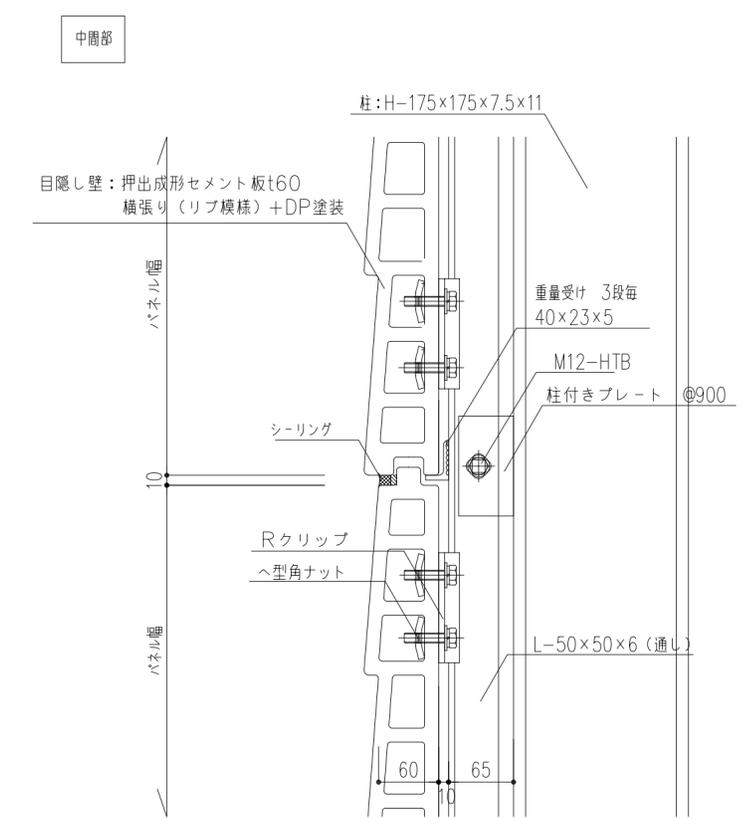
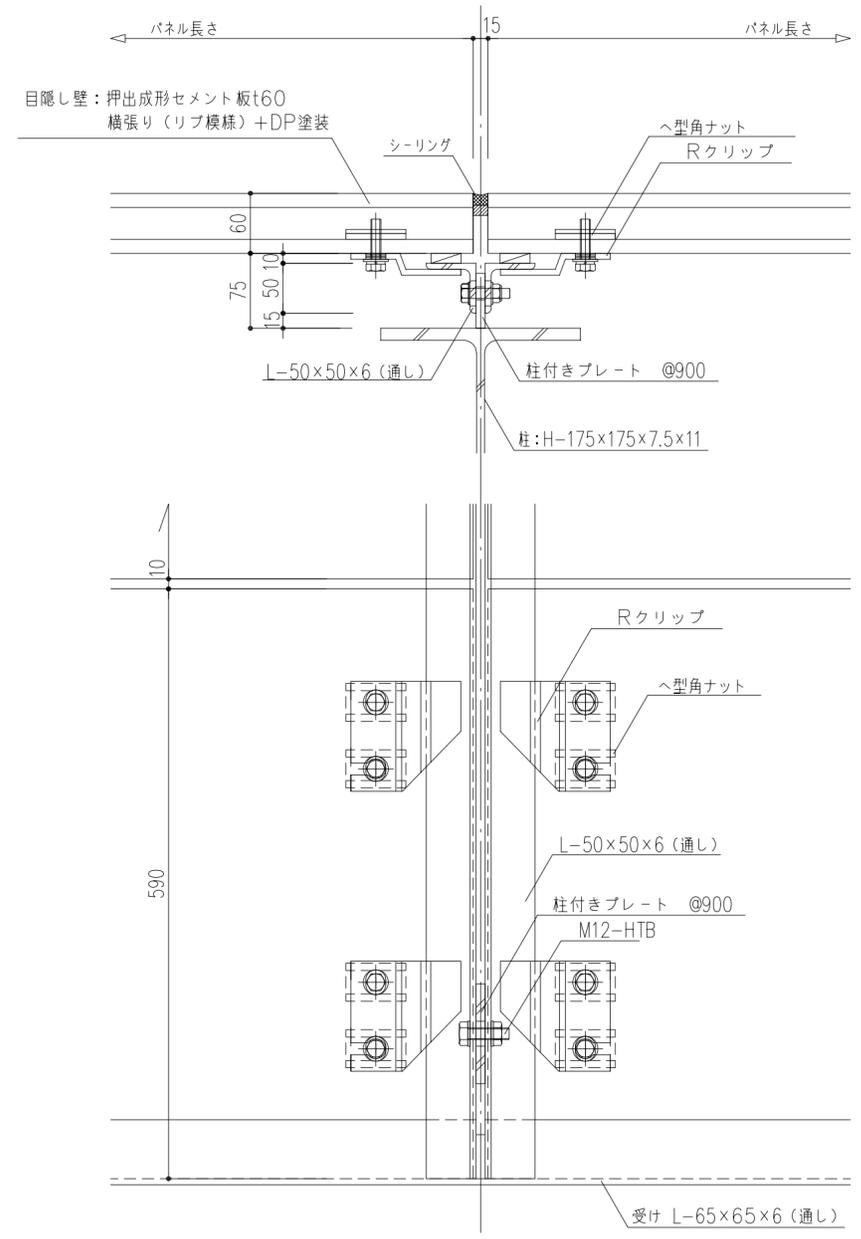
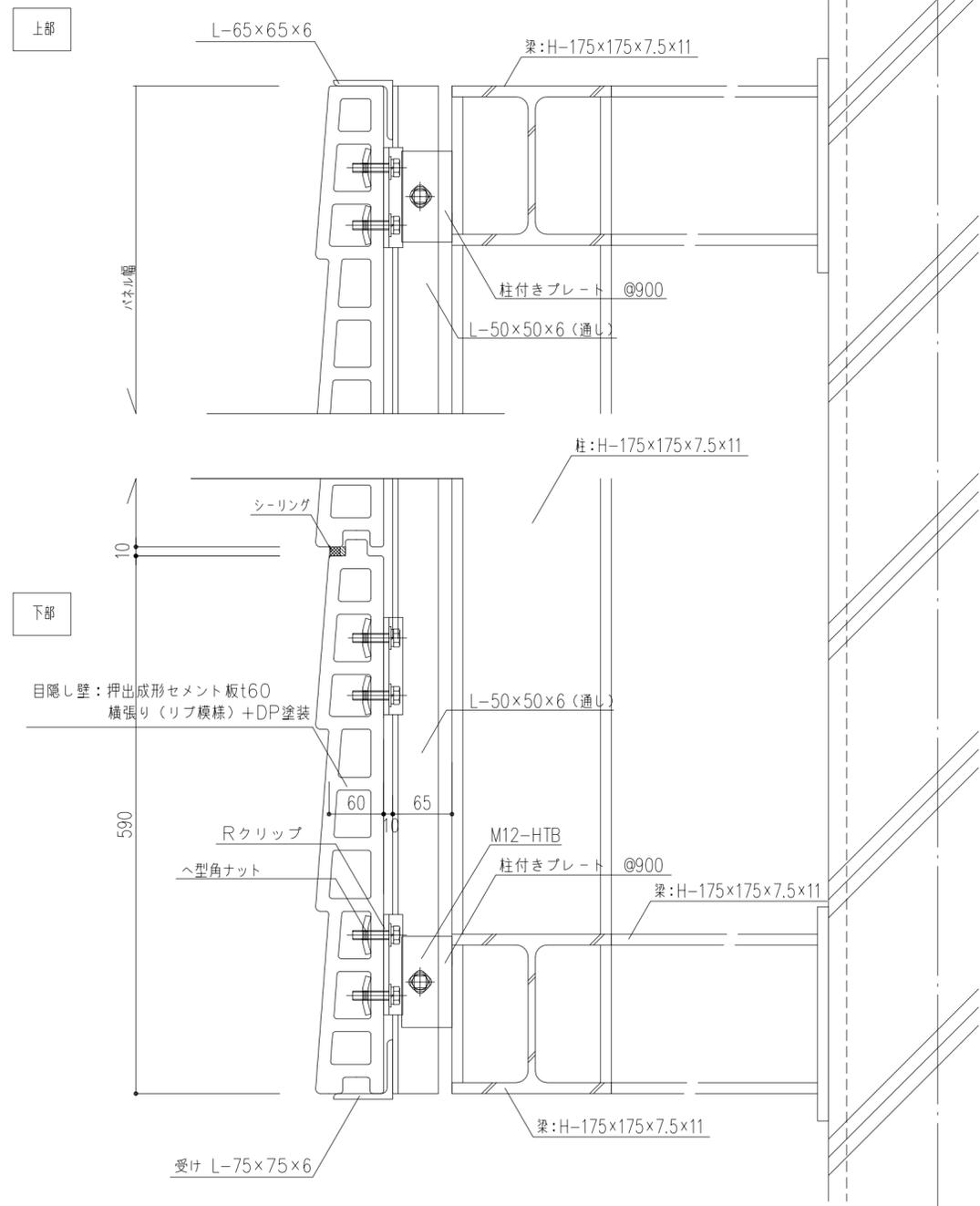
SS111 吊繩 レール収納式 3本吊
S=1/25

断面詳細図 1/25

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	D / 16	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	トレーニング室 吊網詳細図	縮尺	A3 (1/37.5) A2 (1/25)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



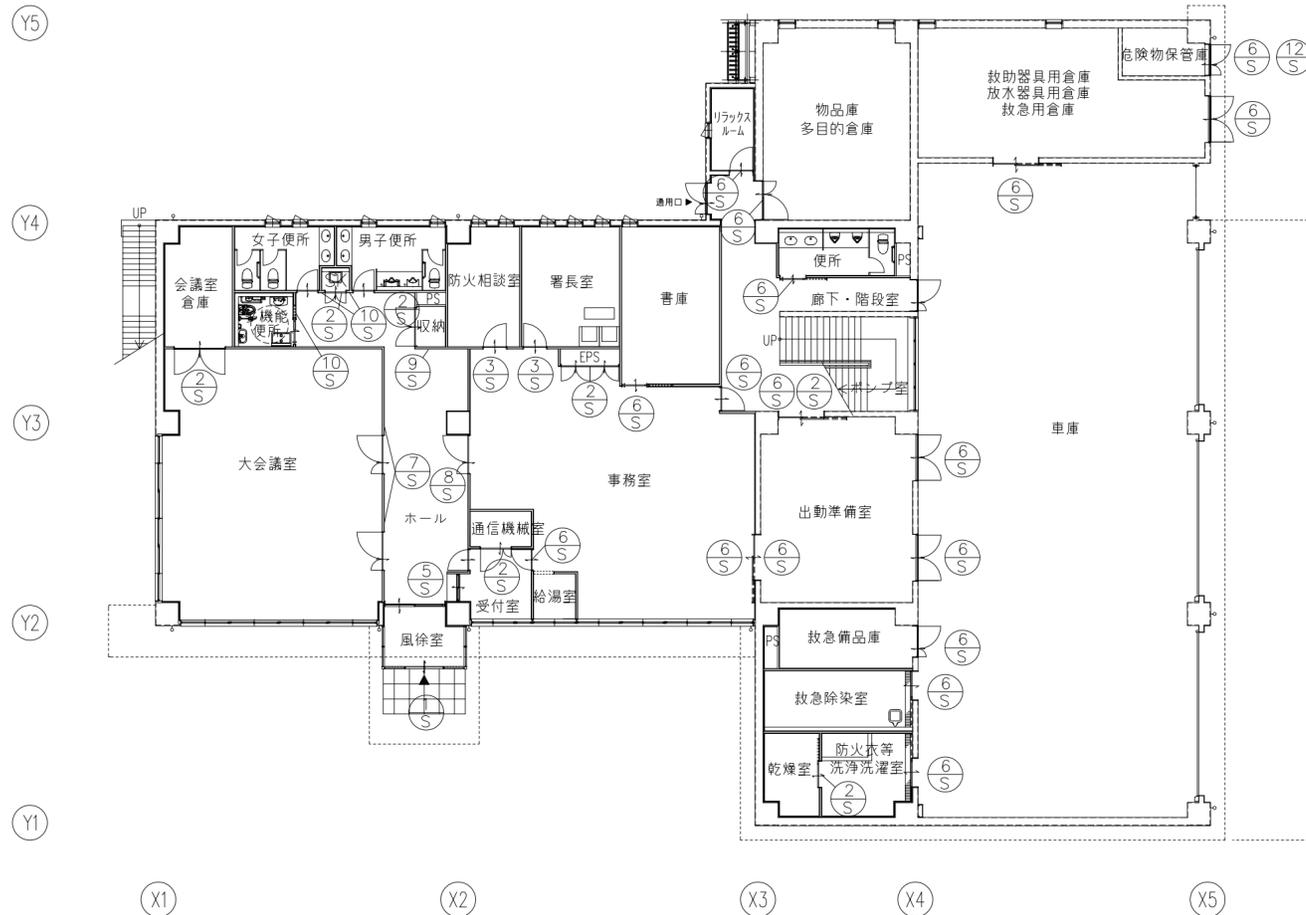
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	D / 17	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	車庫前庇 詳細図	縮尺	A3(1/7.5) A2(1/5)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



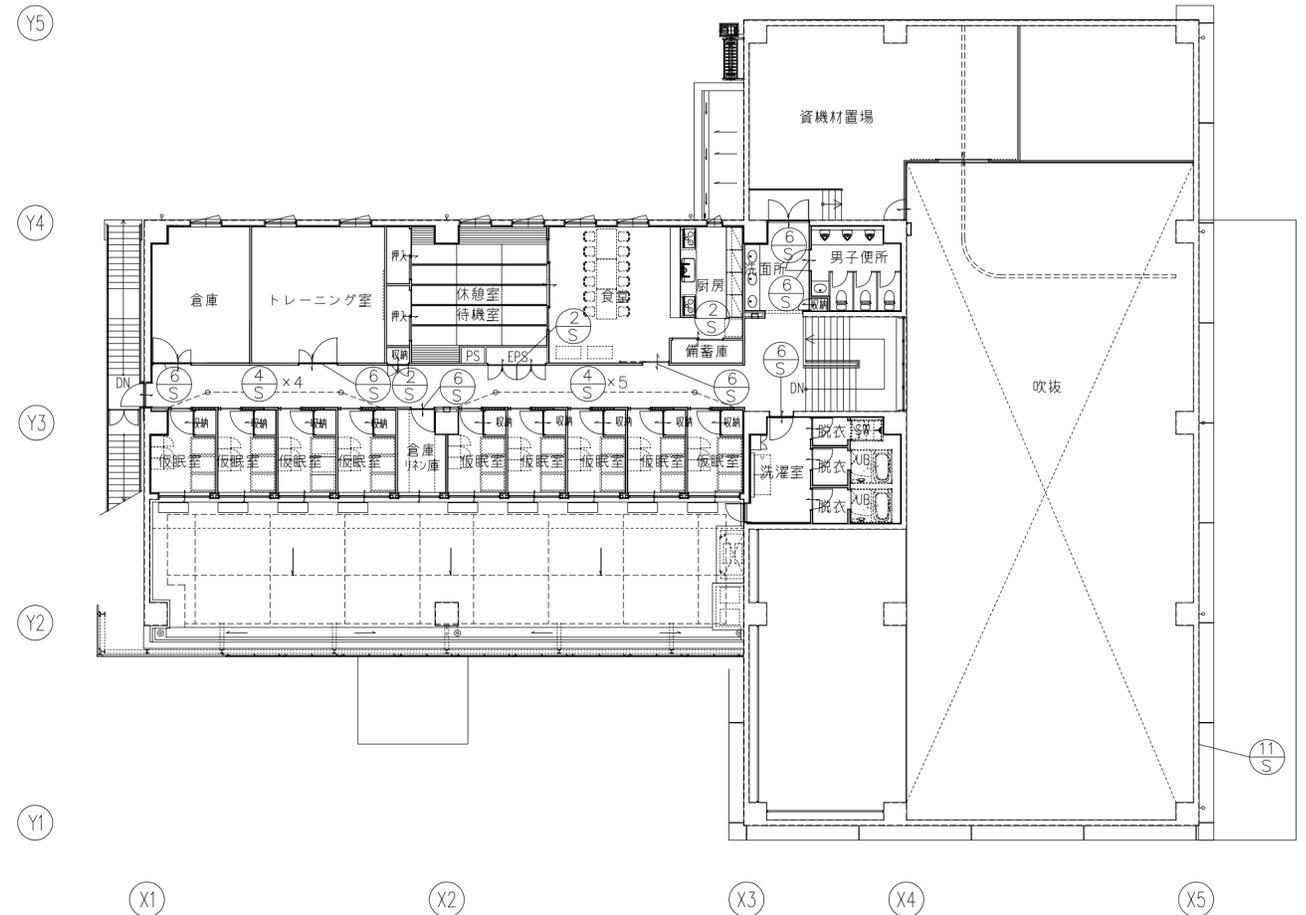
*Rクリップは、アスロックパネルの中空 2個目・3個目に留め付けとする。
 *見え掛かり鉄部は全て溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZ55) とする。

(X1)

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	D / 18	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	押出成形セメント板 詳細図	縮尺	A3(1/7.5) A2(1/5)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



1階 サインキープラン 1/200



2階 サインキープラン 1/200

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	S1 / 1	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 <small>一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号</small>	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	1・2階 サインキープラン	縮尺	A3 (1/300) A2 (1/200)	校閲	担当		製図	設計年月日		2017.9

S-1 館名表示サイン 1/20

*風除室 自動扉エンジン無目取付

消防 章/陶器製 金メッキ仕上げ
 本体/t15 SUS箱文字・HL仕上げ 12文字程度
 取付方法/スタッドボルトにて固定(エポキシ系樹脂接着剤充填)
 書体:ゴシック(漢字)

消防 章断面詳細図 1/5

S-2 室名・バックヤードサイン 1/3

EPS

■表示内容カッティングシート切文字貼

階	表示内容	設置場所	数量
1階	倉庫	大会議室	1
	通信機械室	受付室	1
	収納	ホール	1
	SK	ホール	1
	EPS	事務室	1
	乾燥室	防火衣等洗浄洗濯室	1
2階	ポンプ室	階段下	1
	備蓄庫	厨房	1
	収納	廊下	1
	EPS	廊下	1

S-3 室名サイン(平付型・在不在表示付) 1/5

署長室

■基盤:アクリル板t3+3+3加工
 ■表面:インクジェットシート巻込張り
 ■裏面:ミラーマット

階	表示内容	設置場所	数量
1階	署長室	事務室	1
	防火相談室	事務室	1

S-4 名札ケース(平付) 1/5

コピー用紙等はさみ込
 透明アクリル板t2.0
 アクリル板t3.0加工

階	場所	数量
2階	仮眠室	9

S-5 室名サイン(カッティングシート貼)

S-6 室名サイン(平付型)

受付
 INFORMATION

事務室

■表示内容ガラス面にカッティングシート切文字貼

S-6 室名サイン(平付型) 1/5

事務室

階	表示内容	設置場所	数量	階	表示内容	設置場所	数量
1階	受付室	事務室	1	1階	出勤準備室	廊下	1
	書庫	事務室	1		救助器具用倉庫	外部	1
	出勤準備室	事務室・車庫	3		放水器具用倉庫	外部	1
	事務室	出勤準備室・廊下	2	救急用倉庫	外部	1	
	救急備品庫	車庫	1	危険物保管庫	外部	1	
	救急除染室	車庫	1	倉庫	廊下	1	
	防火衣等洗浄洗濯室	車庫	1	トレーニング室	廊下	1	
	救助器具用倉庫	車庫	1	食堂・厨房・休憩室・待機室	廊下	1	
	放水器具用倉庫	車庫	1	洗濯室	廊下	1	
	救急用倉庫	車庫	1	男子便所	洗面コーナー	1	
リラクスルーム	廊下	1	資機材置場	洗面コーナー	1		
物品庫・多目的倉庫	廊下	1	倉庫・リネン庫	廊下	1		
便所	廊下	1					

■基盤:アクリル板t3+3+3加工
 ■表面:インクジェットシート巻込張り
 ■裏面:ミラーマット

S-7 室名サイン 1/20

*大会議室 2ヶ所

大会議室
 MEETING ROOM

阿波和紙の上、アクリル板t3.0(透明)
 表面:塩ビシート切文字貼り

■丸節リビス・スペーサー@900

S-8 室名サイン 1/20

事務室
 OFFICE ROOM

阿波和紙の上、アクリル板t3.0(透明)
 表面:塩ビシート切文字貼り

■丸節リビス・スペーサー@900

S-9 室名サイン(トイレ案内) 1/20

阿波和紙の上、アクリル板t3.0(透明)
 表面:塩ビシート切文字貼り

男子トイレ
 MEN'S TOILET

女子トイレ
 WOMEN'S TOILET

多機能トイレ
 MULTIPURPOSE TOILET

■丸節リビス・スペーサー@900

S-10 室名サイン(トイレ) 1/20

男子トイレ
 MEN'S TOILET

女子トイレ
 WOMEN'S TOILET

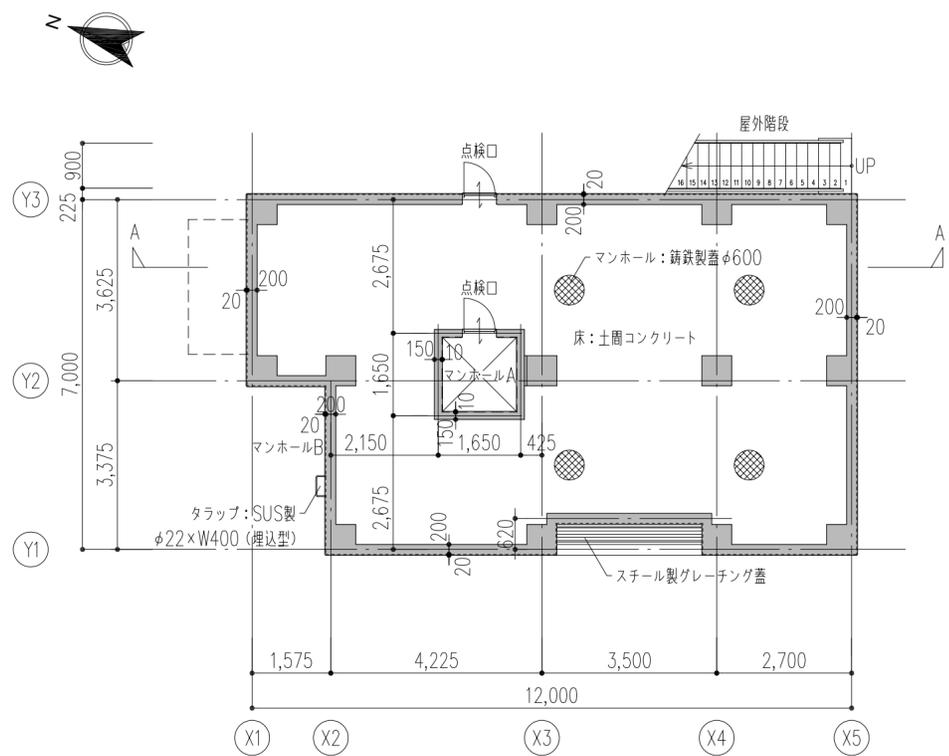
多機能トイレ
 MULTIPURPOSE TOILET

阿波和紙の上、アクリル板t3.0(透明)
 表面:塩ビシート切文字貼り

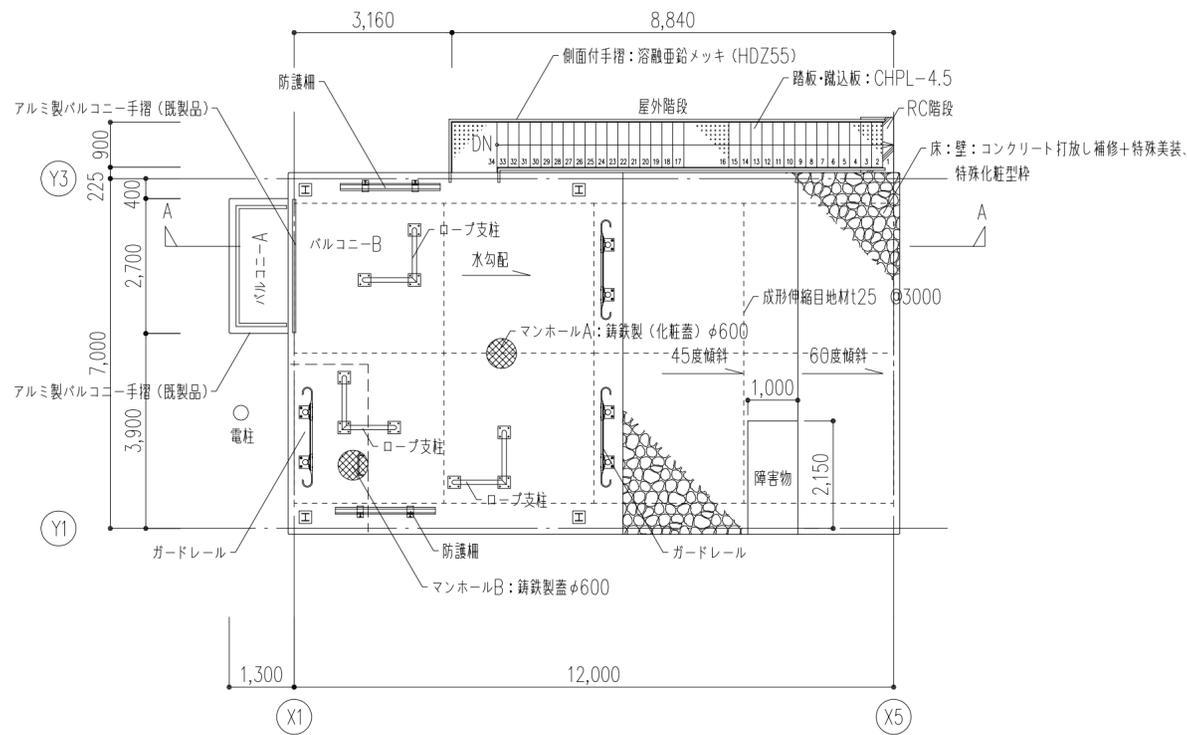
■丸節リビス・スペーサー@900

S-11 外壁ロゴサイン 1/50	S-12 外部 危険物保管庫 標識 1/10	1/50
<p style="text-align: center;">8,500</p> <p style="text-align: center;">600</p> <p style="text-align: center;">徳島中央広域連合 西消防署</p> <p>本体/t150 SUS箱文字、サンドブラスト処理仕上げ 12文字程度 取付方法/外壁アンカーにて固定 書体:ゴシック(漢字)</p>	<p style="text-align: right;">*各1枚とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>300</p> <p>600</p> <p>危険物 屋内貯蔵所</p> <p>スチール製4-φ3.5穴 (t0.4鋼板+明治山曲げ加工品) 白地に黒文字</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>火気厳禁</p> <p>スチール製4-φ3.5穴 (t0.4鋼板+明治山曲げ加工品) 赤地に白文字</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>危険物の種別 危険物の品名 貯蔵最大数量 指定数量の倍数 危険物保安監督者</p> <p>第 類 倍</p> <p>スチール製4-φ3.5穴 (t0.4鋼板+明治山曲げ加工品) 白地に黒文字</p> </div> </div>	

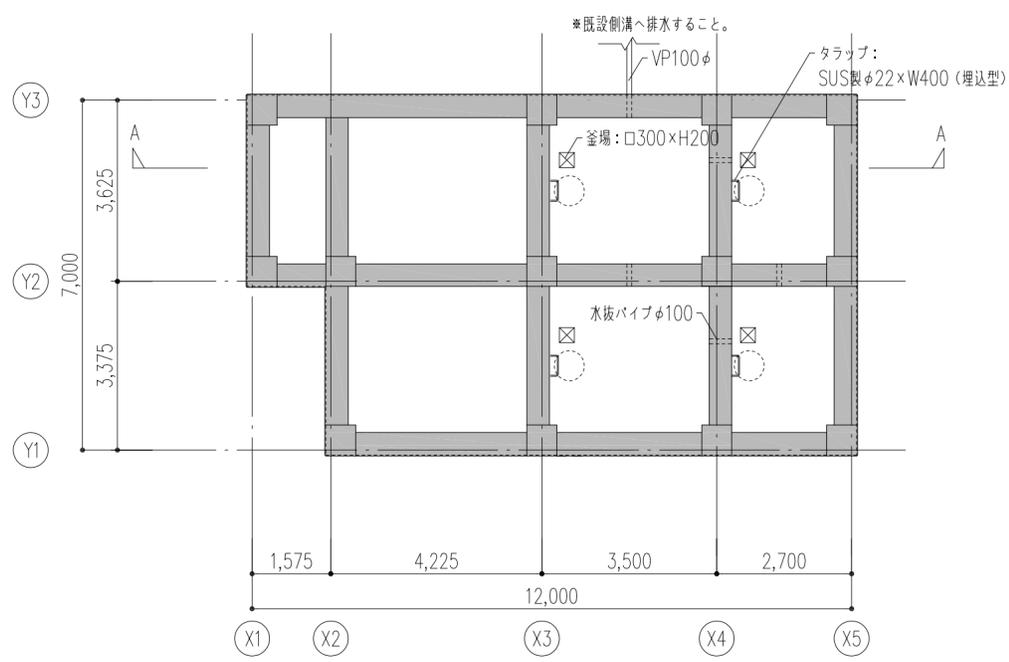
特記事項 ※サインの内容、表記については消防担当者、工事監理者と協議の上決定すること。 ※サイン取付位置については消防担当者、工事監理者と協議の上決定すること。	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. S1 / 03	工事種別 建築	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号	設計No. -
	図面名称 サイン詳細図-2	縮尺 A3 (1/30) A2 (1/20)	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	校閲 担当 製図	設計年月日 2017.9



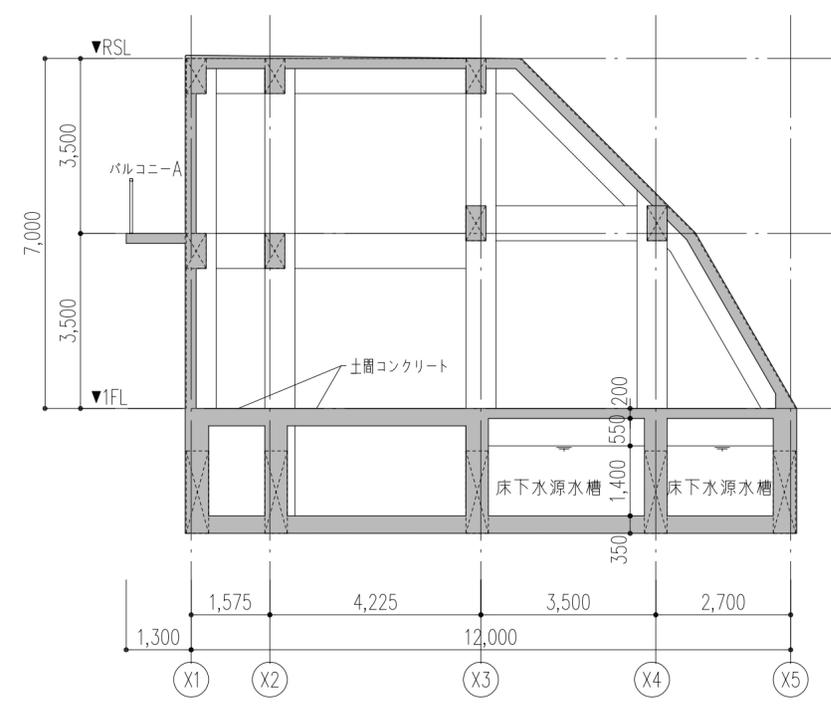
1階平面詳細図 1/100



R階平面詳細図 1/100



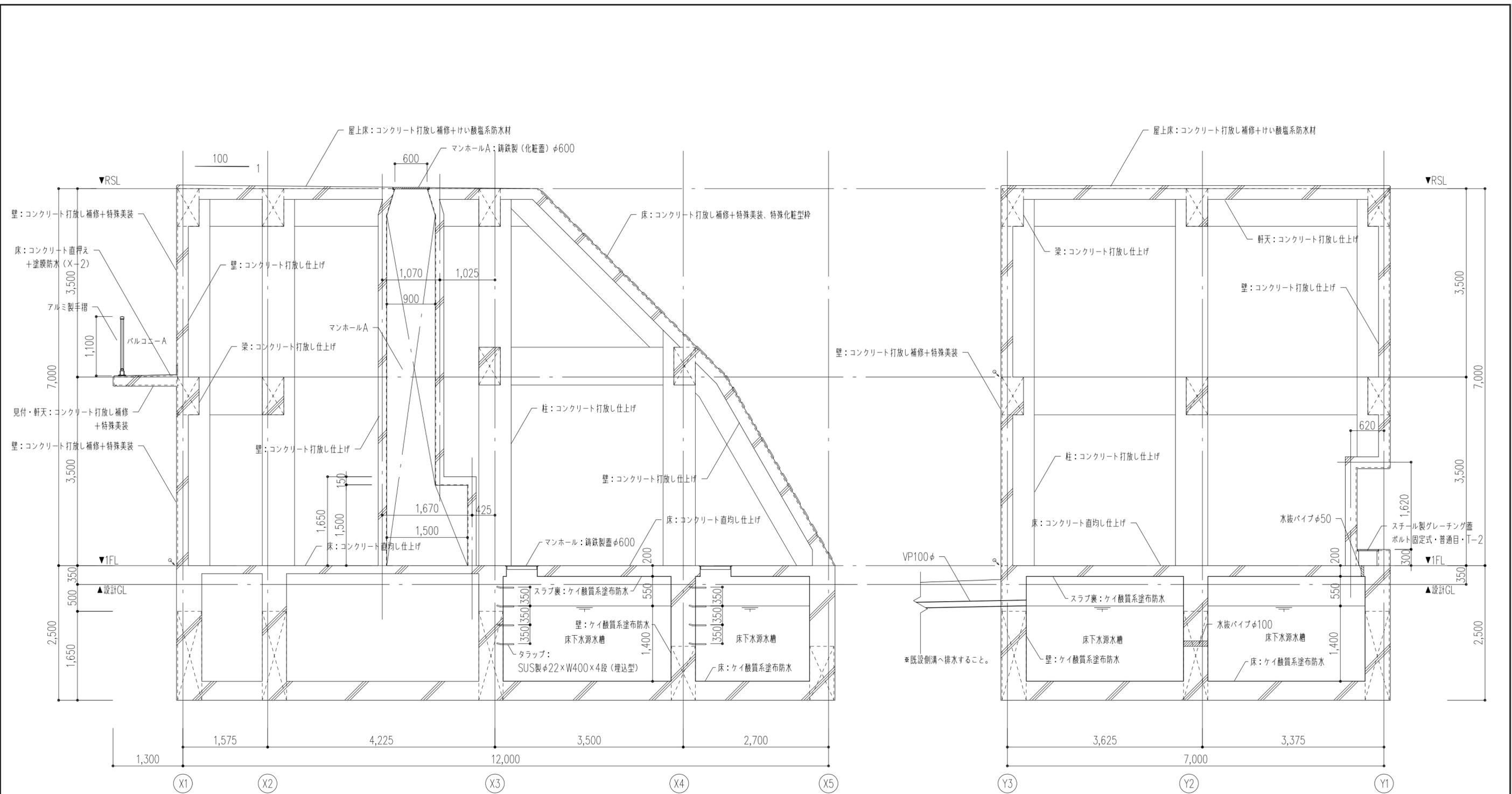
ピット平面詳細図 1/100



A-A断面図 1/100

*訓練用部材の配置は現場にて打合せし、決定すること。
 *屋内的用途が無いため、建築物には該当しない。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 01	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	都市型訓練施設 平面図・立面図・断面図	縮尺	A3 (1/150) A2 (1/100)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	

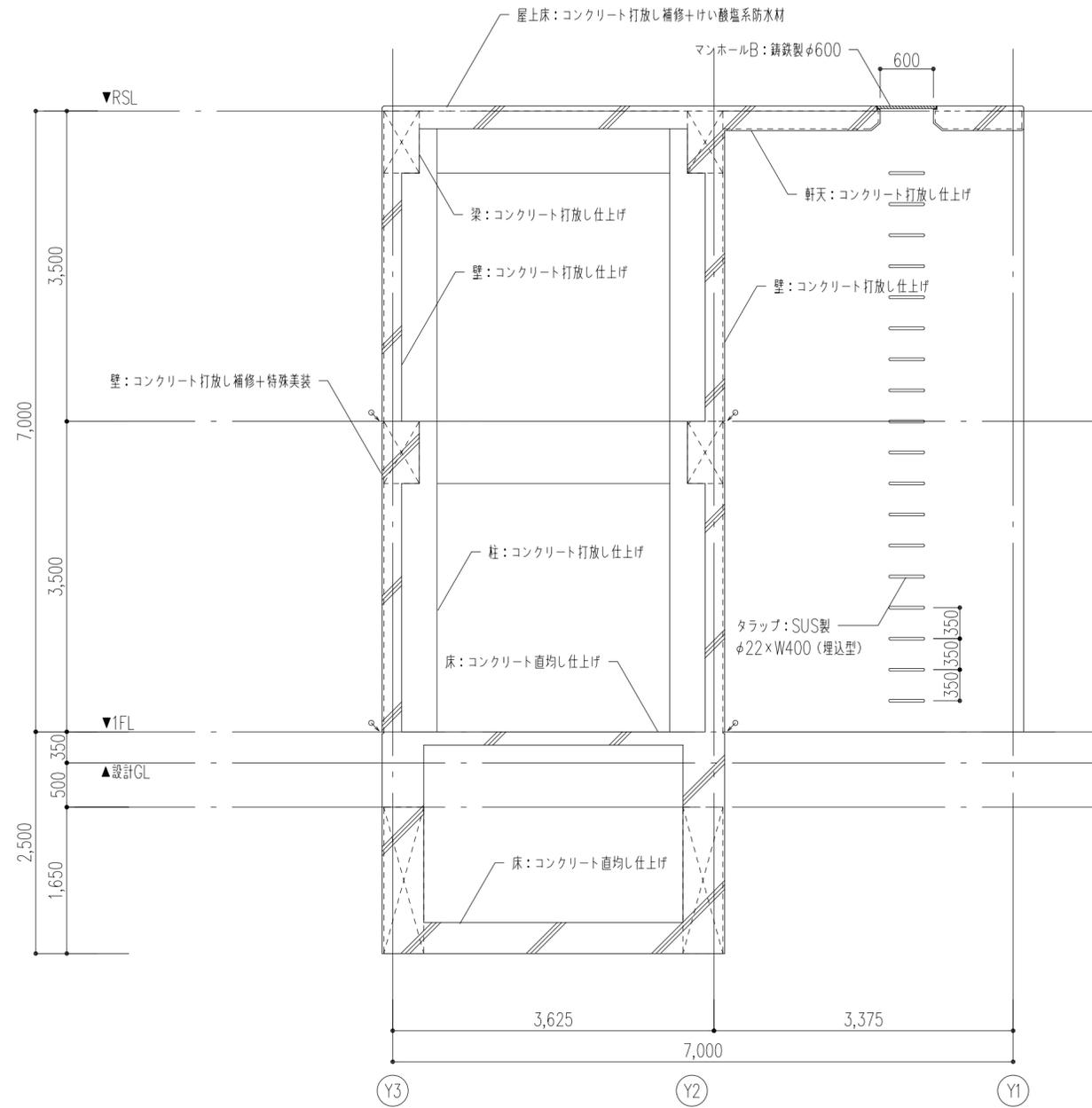


断面詳細図-1 1/50

断面詳細図-2 1/50

←○：水平打継ぎ目地を示す。

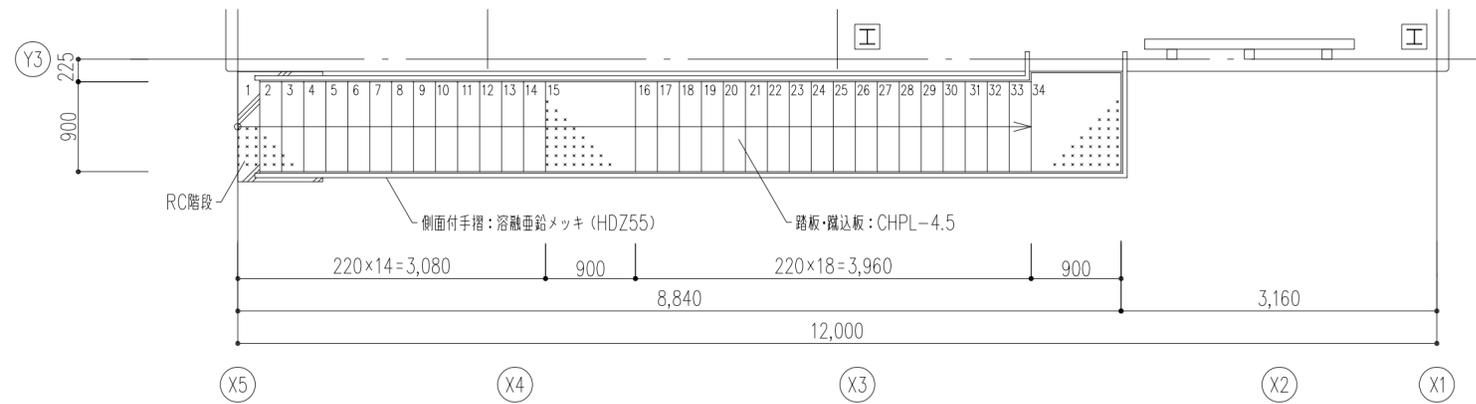
特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 03	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	都市型訓練施設 断面詳細図-1	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



断面詳細図-3 1/50

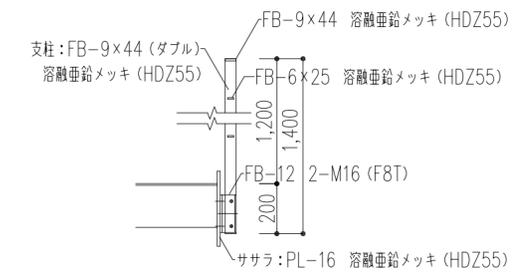
←○: 水平打継ぎ目地を示す。

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 04	工事種別	建築	 株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	都市型訓練施設 断面詳細図-2	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



平面詳細図 1/50

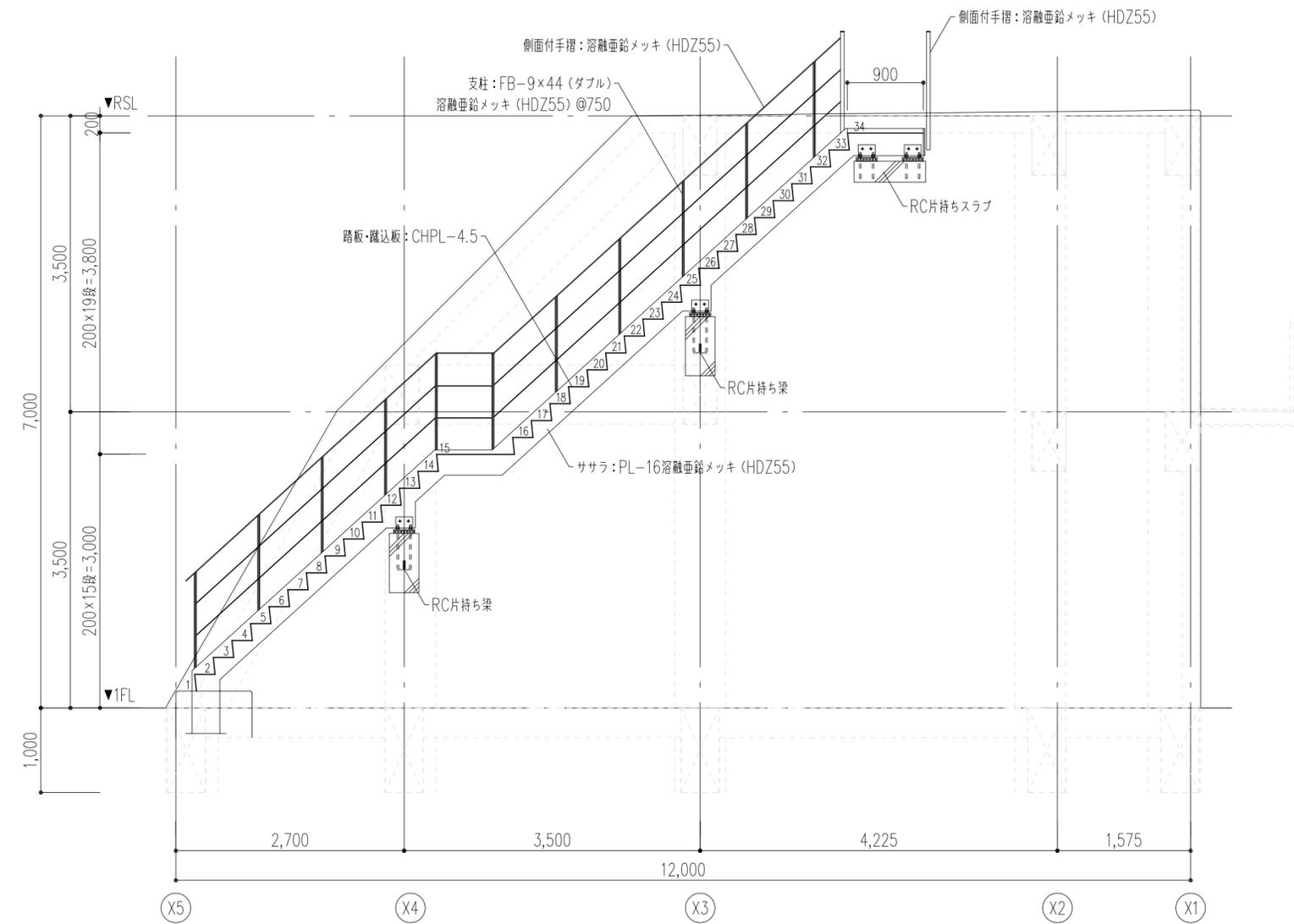
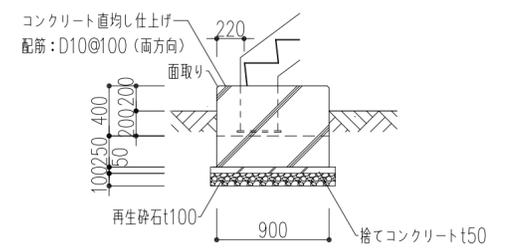
階段手摺詳細図 (側面取付) 1/20



段部分詳細図 1/20



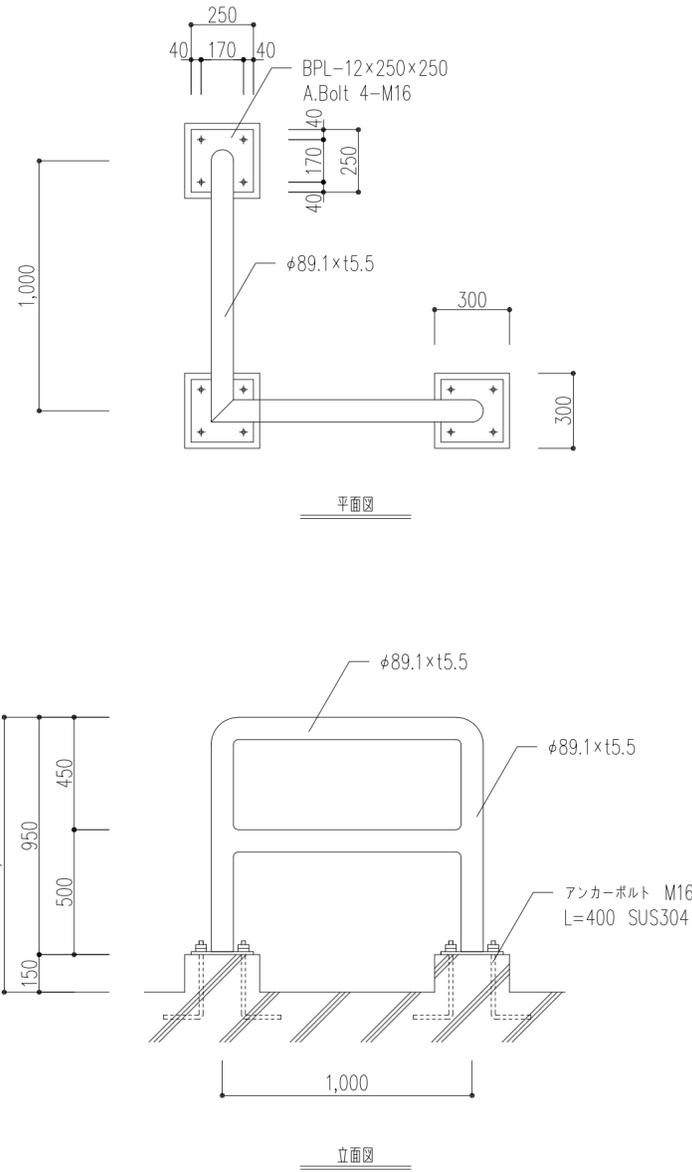
階段基礎部分詳細図 1/40



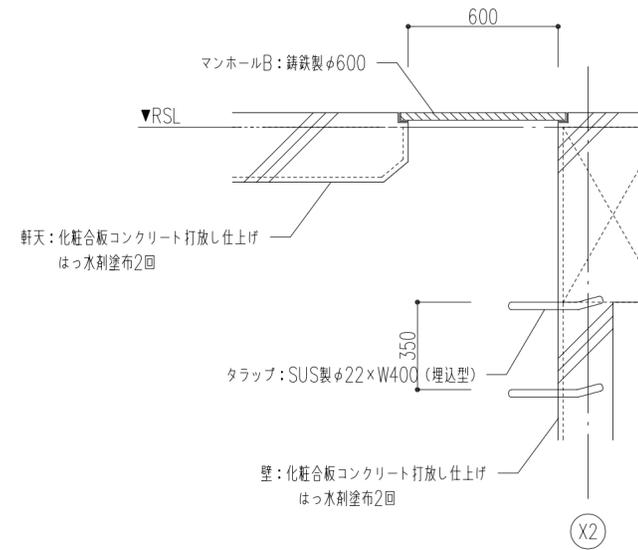
断面詳細図 1/50

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 05	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	都市型訓練施設 階段詳細図	縮尺	A3 (1/75) A2 (1/50)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	

<3か所>



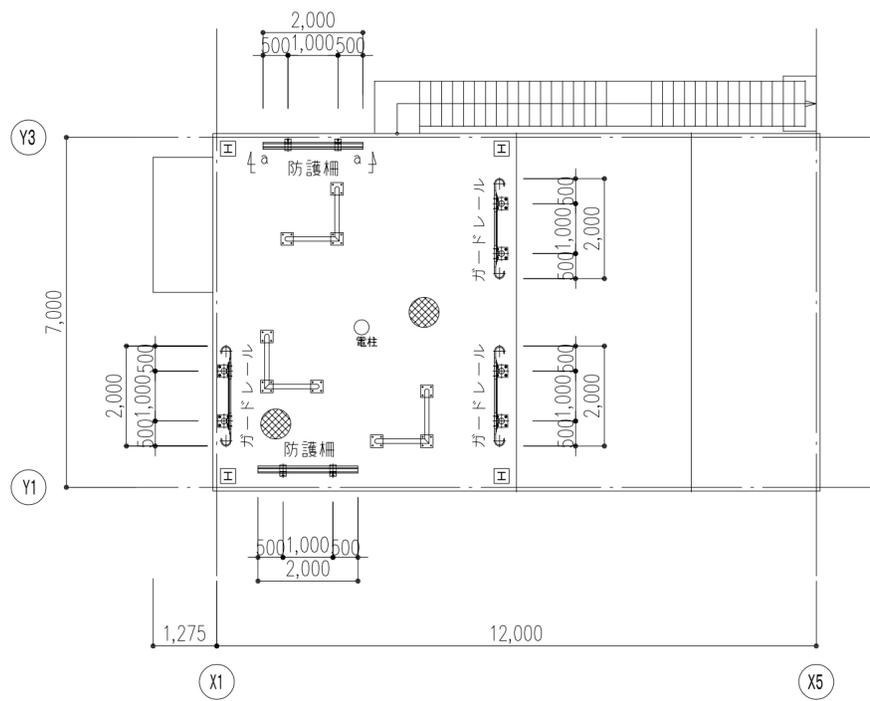
*鉄部は、溶融亜鉛メッキとする。



記号・型式		鋼製 片開き 点検口扉	
姿 図			
場 所	数 量	北面・内部マンホール	2
材 質	仕 上	スチールt1.6	SOP塗装
見 込	硝 子	40	
附属金物	レバーハンドル錠 (SM・SD付)、丁番、戸当り、DC ステンレス番指t2.0、附属金物一式		
備 考	鋼製枠SOP塗装		

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. T / 06	工事種別 建築
	図面名称 都市型訓練施設 部分詳細図	縮尺 A3 (1/30) A2 (1/20)	

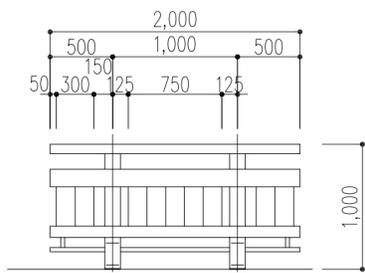
株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号 校閲 担当 製図	設計No. — 設計年月日 2017.9
--	--	-------------------------------



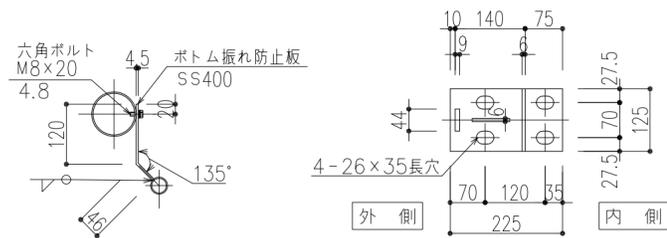
平面配置図 1/100

寸法は基準ライン上の実長を示す
レベル製作とする

防護柵詳細図

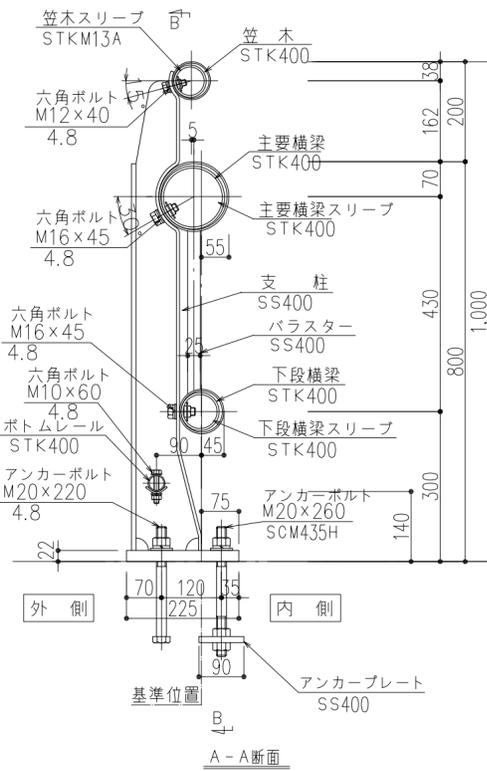


側面図 1/40



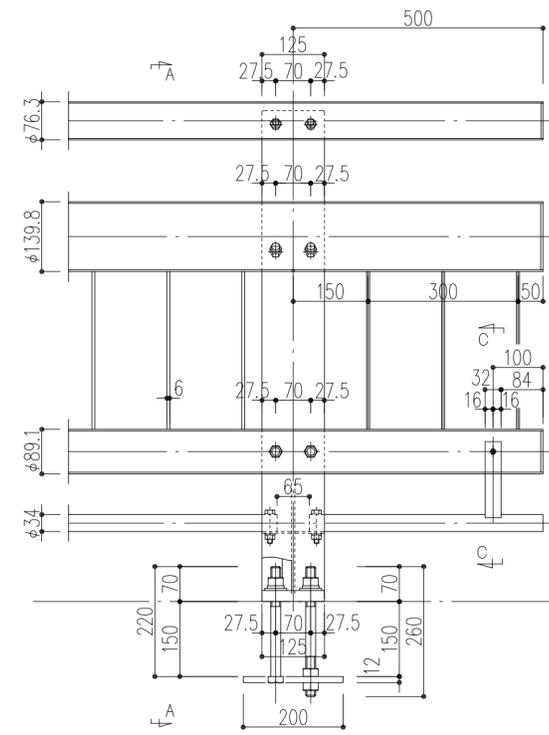
C-C断面図 1/10

ベースプレート詳細図 1/10



A-A断面

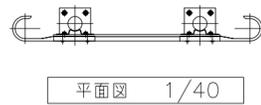
防護柵取付詳細図 1/10



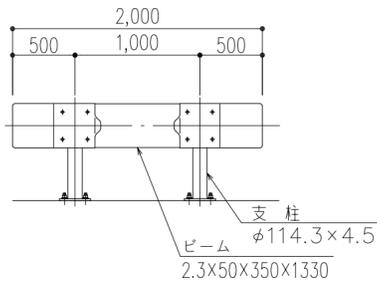
B-B断面

表面処理			
部材	表面仕上	仕上色	備考(SR-17101)
防護柵一式	未定	未定	メッキor塗装 未定です
ボルト類	HDZ35	-	

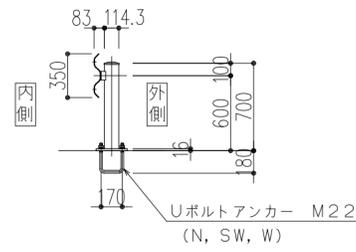
ガードレール詳細図



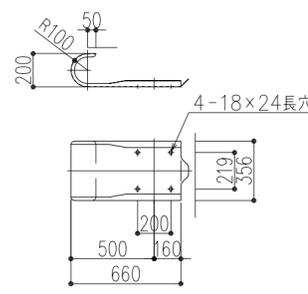
平面図 1/40



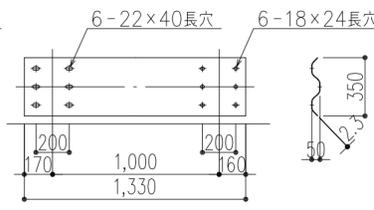
姿図 1/40



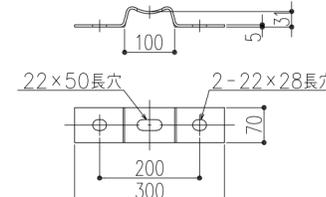
断面図 1/40



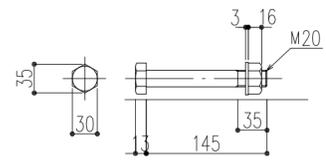
袖ビーム 1/30



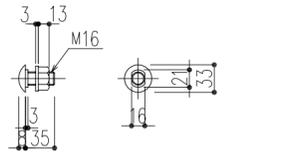
ビーム 1/30



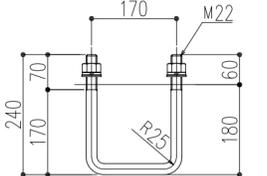
ブラケット 1/10



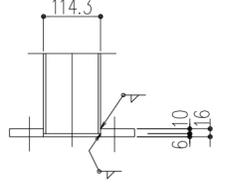
ブラケット取付用B.N.W. (4.6) 1/6



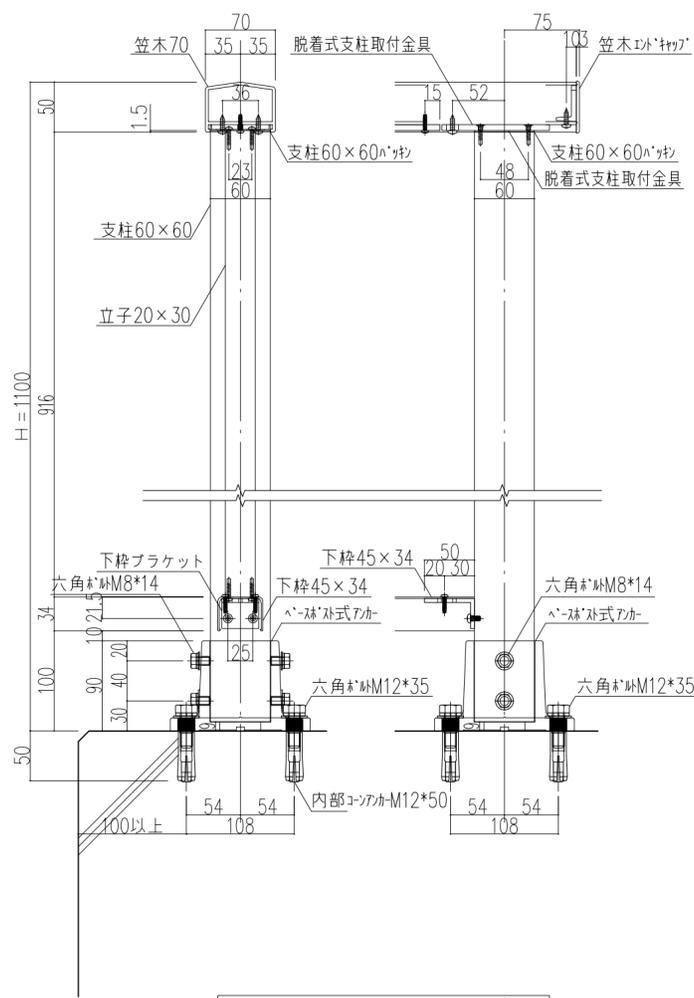
ビーム取付用B.N.W. (6.8) 1/6



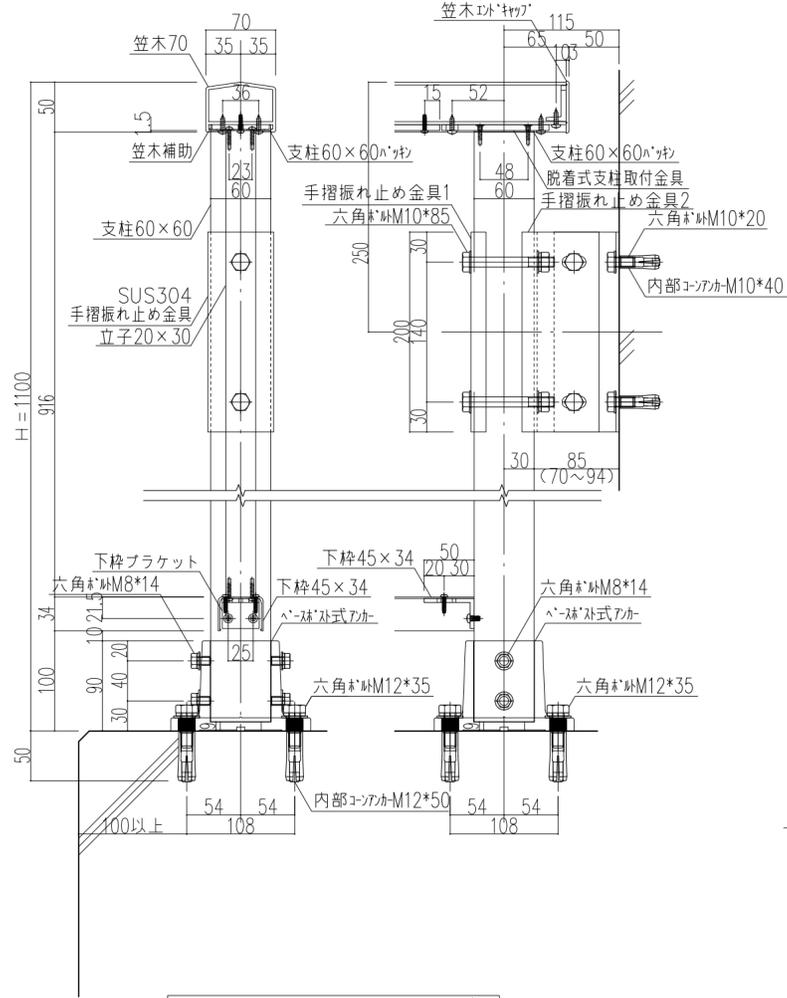
Uボルトアンカー (4.6) 1/10



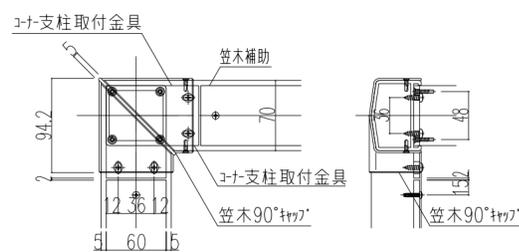
ベースプレート 1/10



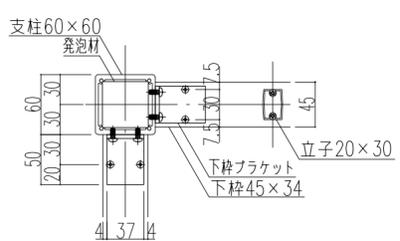
断面詳細図（標準納まり） 1/5



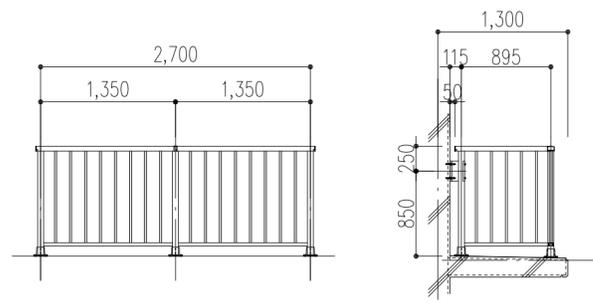
断面詳細図（振止め納まり） 1/5



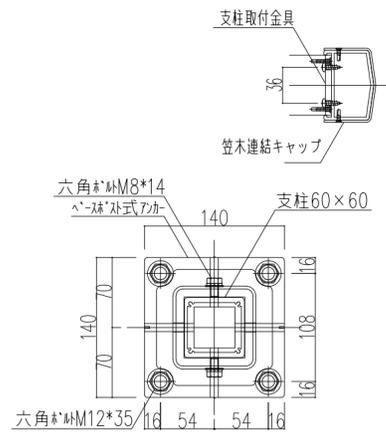
笠木コーナー部詳細図 1/5



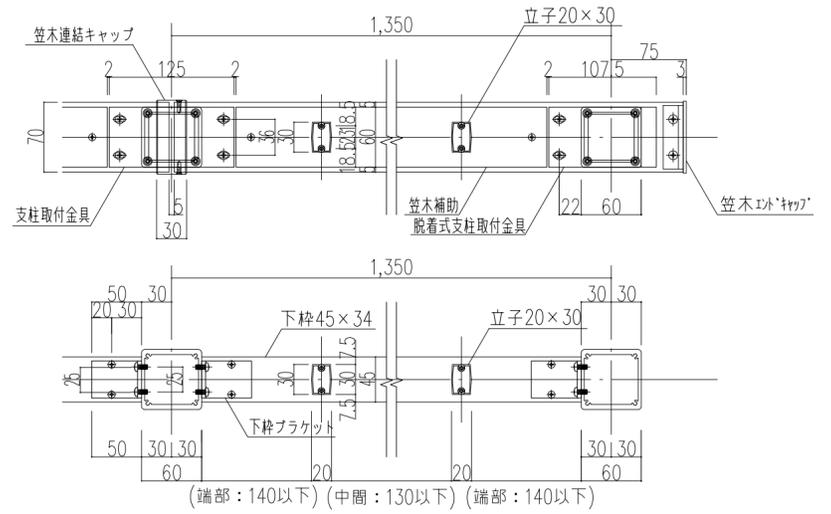
下枠コーナー部詳細図 1/5



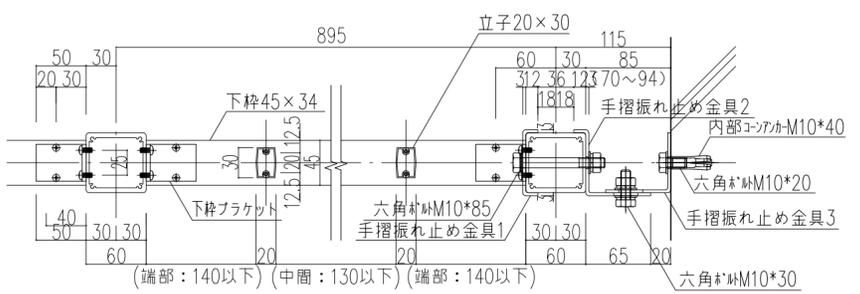
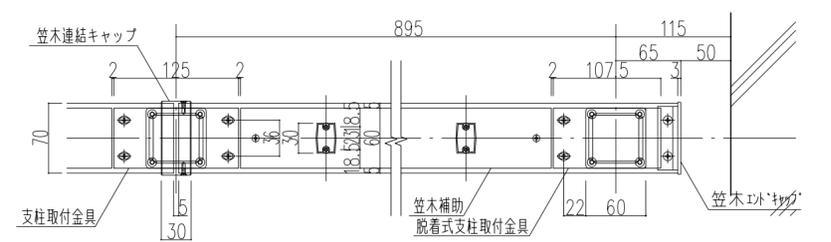
姿図 1/50



柱脚部 1/5

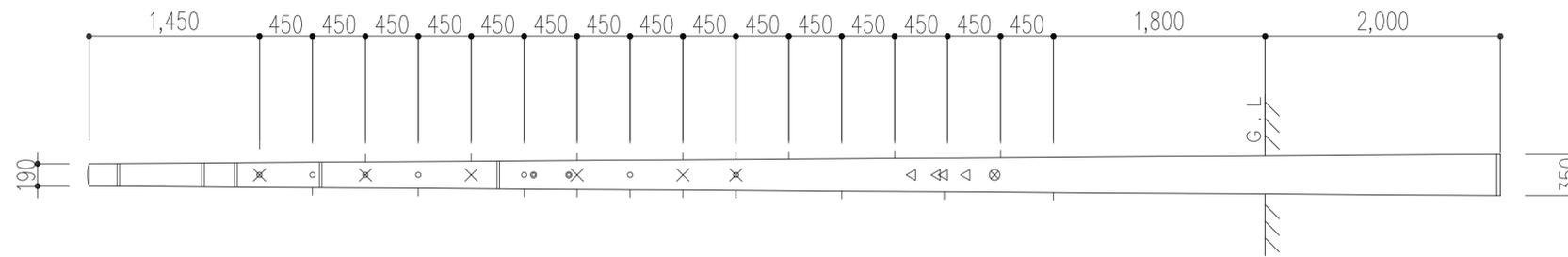
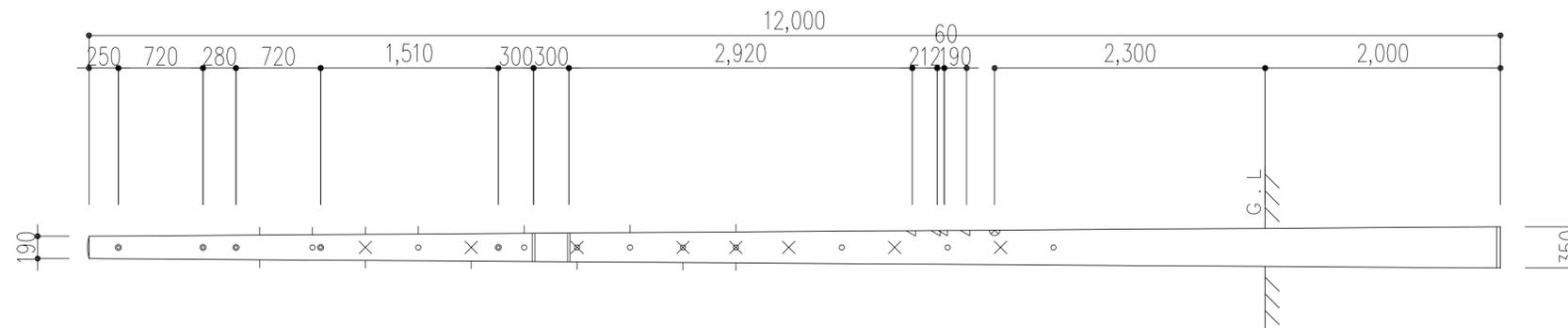


横断面詳細図（標準部） 1/5



横断面詳細図（振止め部） 1/5

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 08	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	都市型訓練施設 バルコニー手摺詳細図	縮尺	A3 (1/30) A2 (1/20)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	



※設置場所は打合せによる。

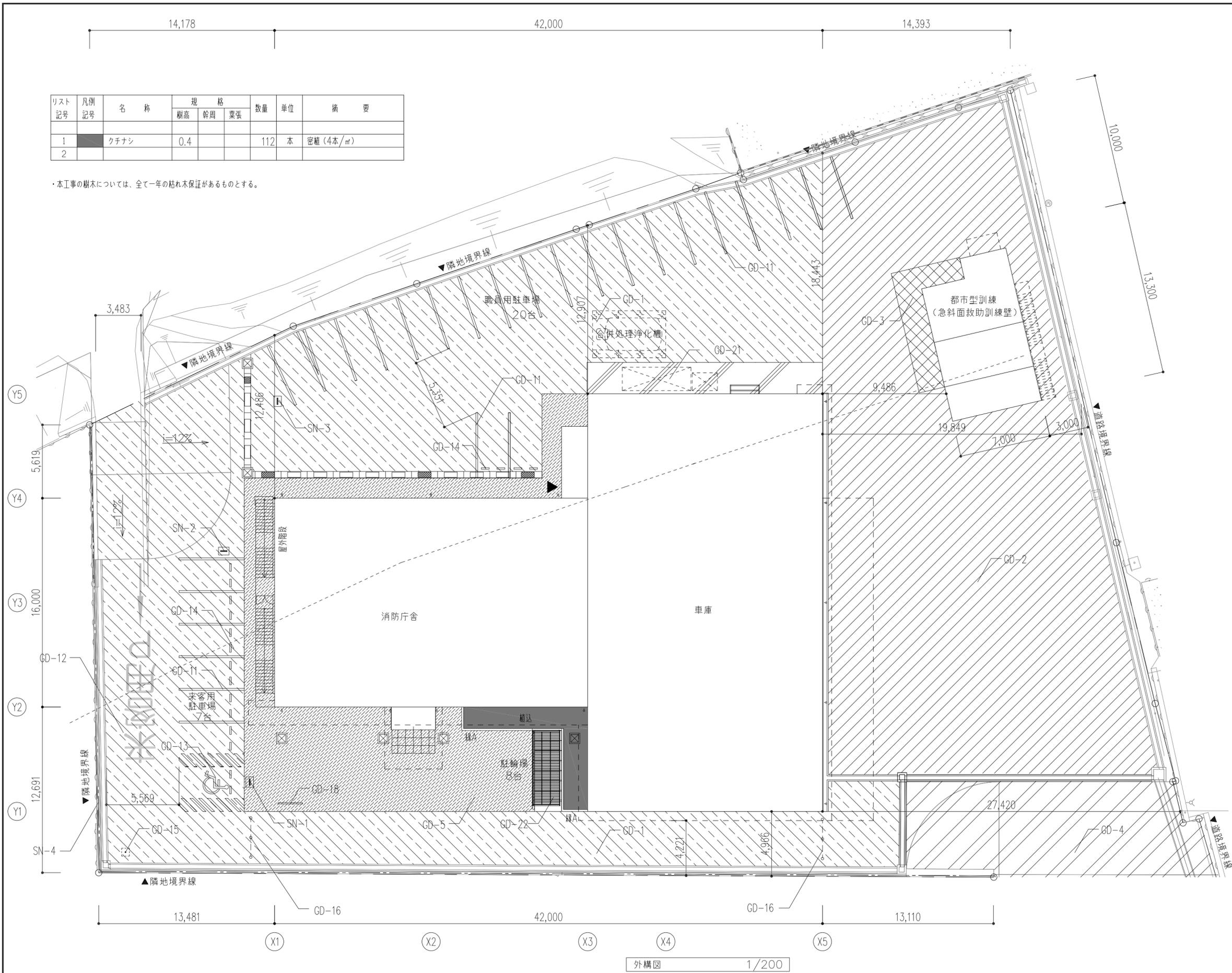
凡例

◎ 又は ≡	貫通孔
┌ 又は ┐	足場ボルト受口(側面)
○	足場ボルト受口(表面)
×	足場ボルト受口(裏面)
×	足場ボルト受口(両面)
△ 又は 4	番号札取付ビス受口
— 又は —	地際位置線
⊗ 又は ⊙	柱種表示銘板

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	T / 09	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	—
	図面名称	都市型訓練施設 コンクリート柱 詳細図	縮尺	A3 (1/60) A2 (1/40)	校閲	担当		製図	設計年月日	2017.9	

リスト記号	凡例記号	名称	規格			数量	単位	摘要
			樹高	幹周	葉張			
1		クチナシ	0.4			112	本	密植(4本/m ²)
2								

・本工事の樹木については、全て一年の枯れ木保証があるものとする。

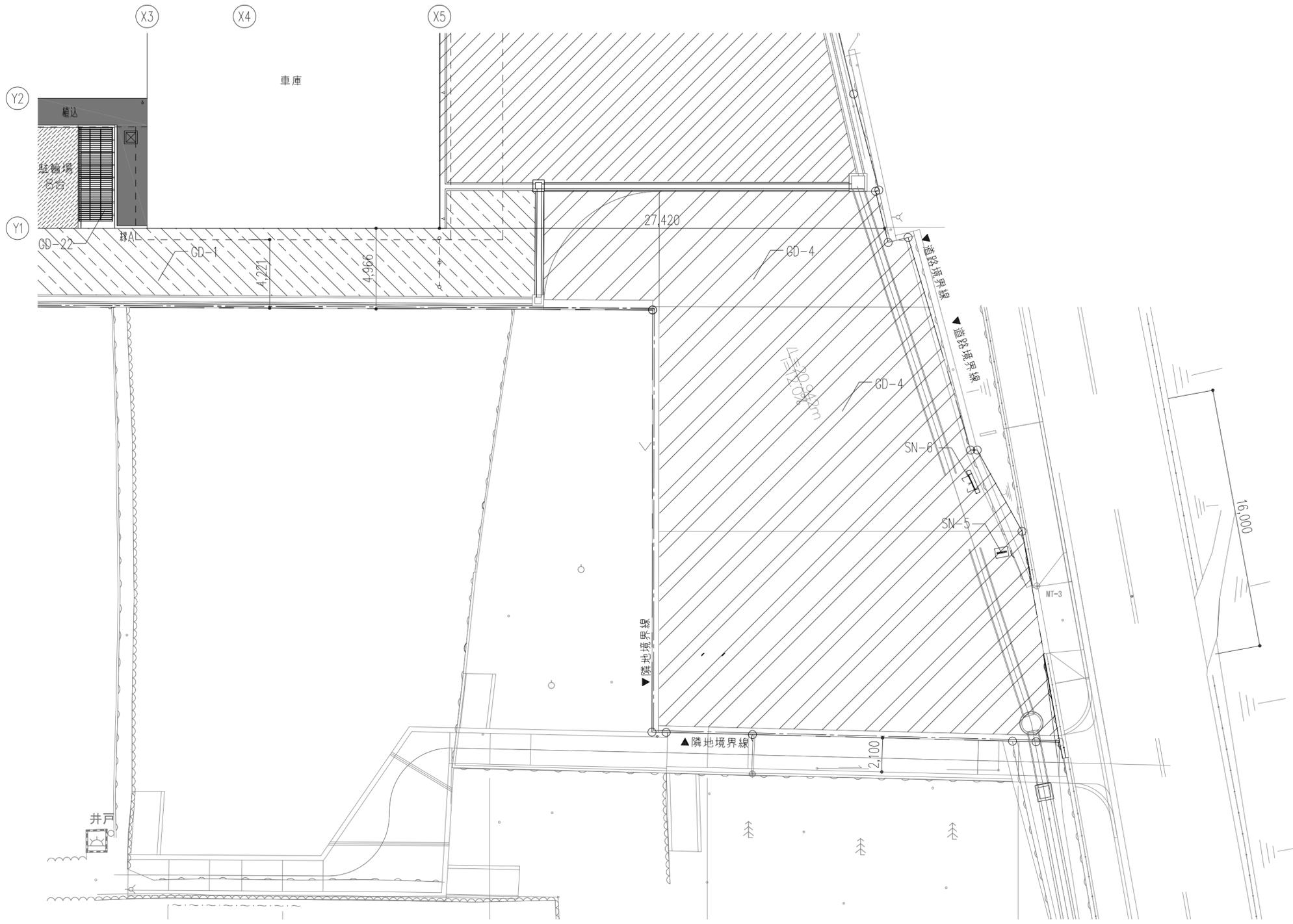


凡例記号	凡例	説明
GD-1	[Pattern]	アスファルト舗装【車道部】
GD-2	[Pattern]	アスファルト舗装【車庫前】
GD-3	[Pattern]	透水性アスファルト舗装【都市型訓練前】
GD-4	[Pattern]	コンクリート舗装【車道部】
GD-5	[Pattern]	アスファルト舗装【歩道部】
GD-6		
GD-7	HA	緑石(A)
GD-8		
GD-9		掘削計画図に表記
GD-10		
GD-11		駐車場ライン引き
GD-12		道路標示ペイント
GD-13		身障者用駐車場表示マーク
GD-14		車止めブロック
GD-15		フラッグポール(アルミ製)H=8000
GD-16		チェーンバリカー 計6か所
GD-17		
GD-18		アルミ製屋外掲示板
GD-19		
GD-20		
GD-21		既存物置基礎
GD-22		駐輪場
SN-1		身障者専用駐車場サイン
SN-2		来客者専用駐車場サイン
SN-3		職員専用駐車場サイン
SN-4		出入口サイン(フェンスに取付)計1か所
SN-5		入口自立サイン
SN-6		LED表示板

【特記事項】
 ・駐車区画ラインは、溶融式 白色 トライツヘッド JIS K 5665 1種 幅150mmとする。
 ・駐車区画ライン(セブラ)は、溶融式 白色 トライツヘッド JIS K 5665 1種 幅150mm、間隔150mmとする。

外構図 1/200

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	G / 01	工事種別	建築	管理建築士 程野 祐介 一級建築士 大臣登録 第338983号 校閲 担当 製図	設計No.	-
	図面名称	外構図-1	縮尺	A3(1/300) A2(1/200)	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	校閲		担当	製図



外構図 1/200

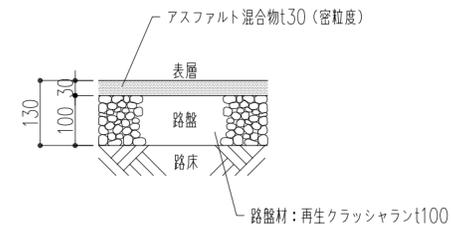
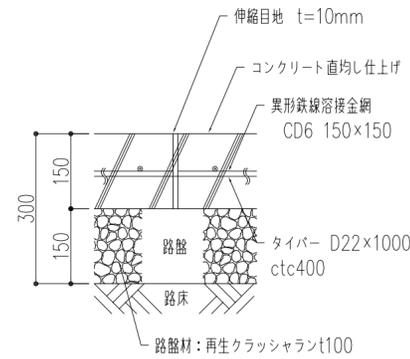
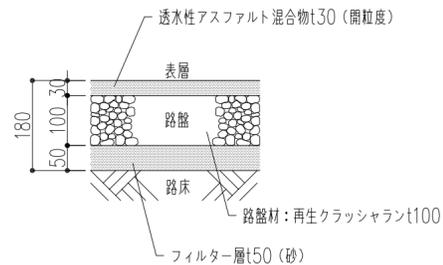
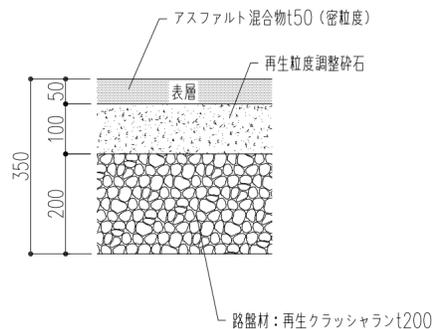
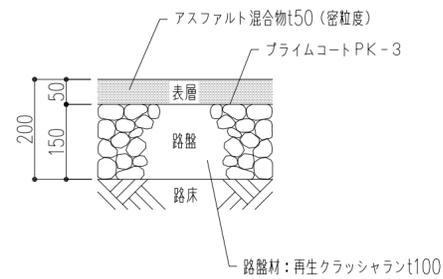
記号	凡例	説明
GD-1		アスファルト舗装【車道部】
GD-2		アスファルト舗装【車庫前】
GD-3		透水性アスファルト舗装【都市型訓練前】
GD-4		コンクリート舗装【車道部】
GD-5		アスファルト舗装【歩道部】
GD-6		
GD-7	HA	緑石(A)
GD-8		
GD-9		掘削計画図に表記
GD-10		
GD-11		駐車場ライン引き
GD-12		道路標示ペイント
GD-13		身障者用駐車場表示マーク
GD-14		車止めブロック
GD-15		フラッグポール(アルミ製)H=8000
GD-16		チェーンバリアー 計6か所
GD-17		
GD-18		アルミ製屋外掲示板
GD-19		
GD-20		
GD-21		既存物置基礎
GD-22		駐輪場
SN-1		身障者専用駐車場サイン
SN-2		来客者専用駐車場サイン
SN-3		職員専用駐車場サイン
SN-4		出口案内サイン(フェンスに取付)計1か所
SN-5		入口自立サイン
SN-6		LED表示板

【特記事項】

- ・駐車区画ラインは、溶融式 白色 トライツクハイト JIS K 5665 1種 幅150mmとする。
- ・駐車区画ライン(セブラ)は、溶融式 白色 トライツクハイト JIS K 5665 1種 幅150mm、間隔150mmとする。

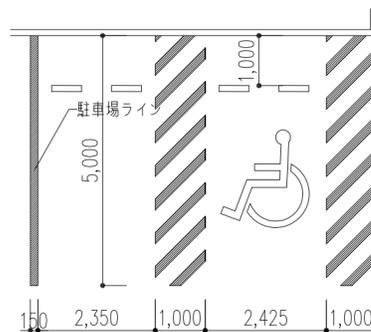
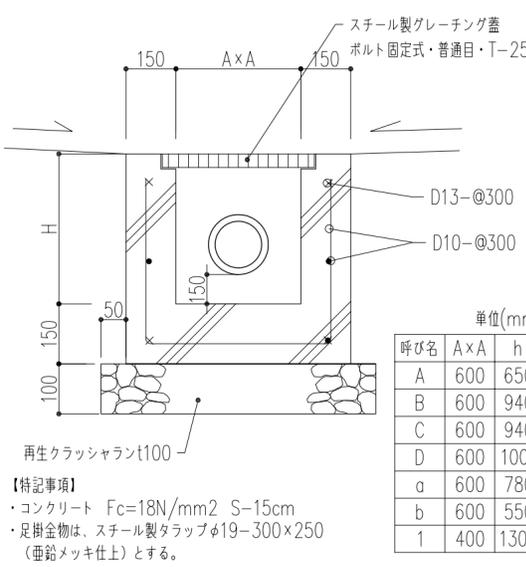
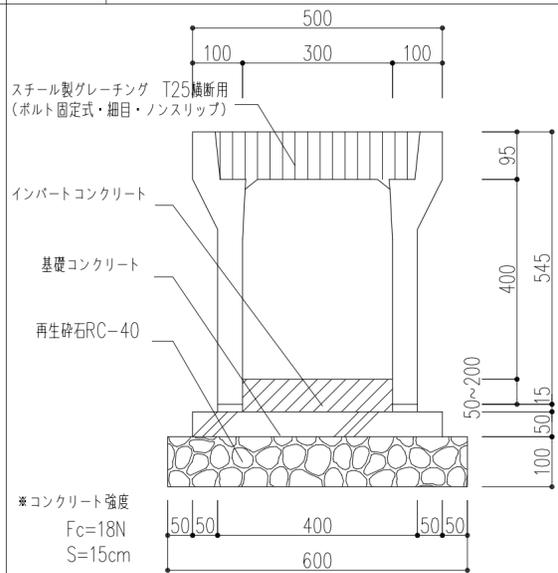
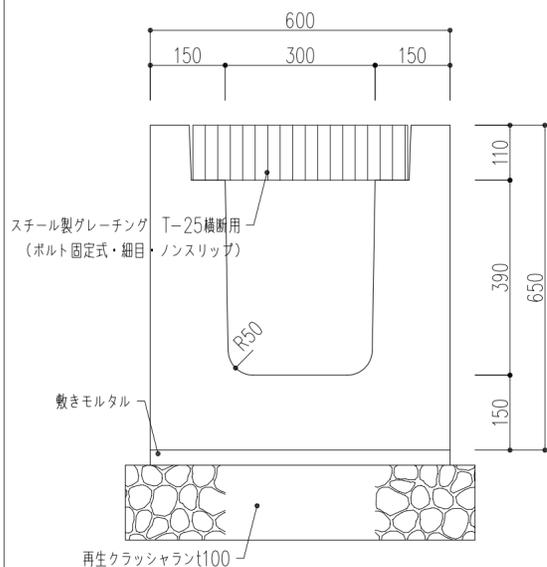
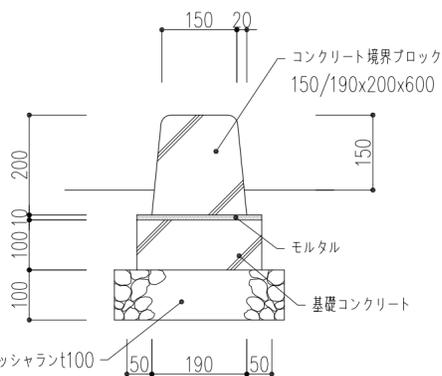


GD-01	アスファルト舗装【車道部】 詳細図	1:10	GD-02	アスファルト舗装【車道前】 詳細図	1:10	GD-03	透水性アスファルト舗装【都市型訓練前】 詳細図	1:10	GD-04	コンクリート舗装【車道部】 詳細図	1:10	GD-05	アスファルト舗装【歩道部】 詳細図	1:10
-------	-------------------	------	-------	-------------------	------	-------	-------------------------	------	-------	-------------------	------	-------	-------------------	------



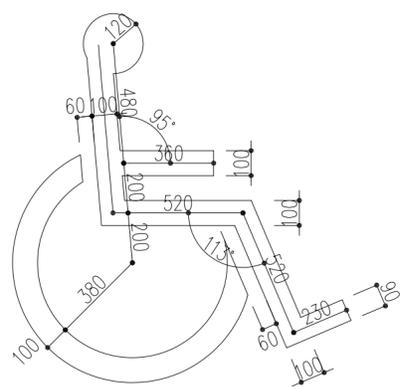
【特記事項】
 ・コンクリート Fc=24N/mm² S=8cm
 ・コンクリート舗装には、標仕22.5.4により目地（アスファルト系加熱注入材）を設ける。

GD-07	縁石 (A) 詳細図	1:10	GD-08	PU435プレキャスト側溝 詳細図	1:10	GD-09	北側 VS側溝 (自由勾配側溝) 詳細図	1:10	GD-10	現場打集水軒 詳細図	1:20	GD-11	駐車場ライン 詳細図	1:100
-------	------------	------	-------	-------------------	------	-------	----------------------	------	-------	------------	------	-------	------------	-------

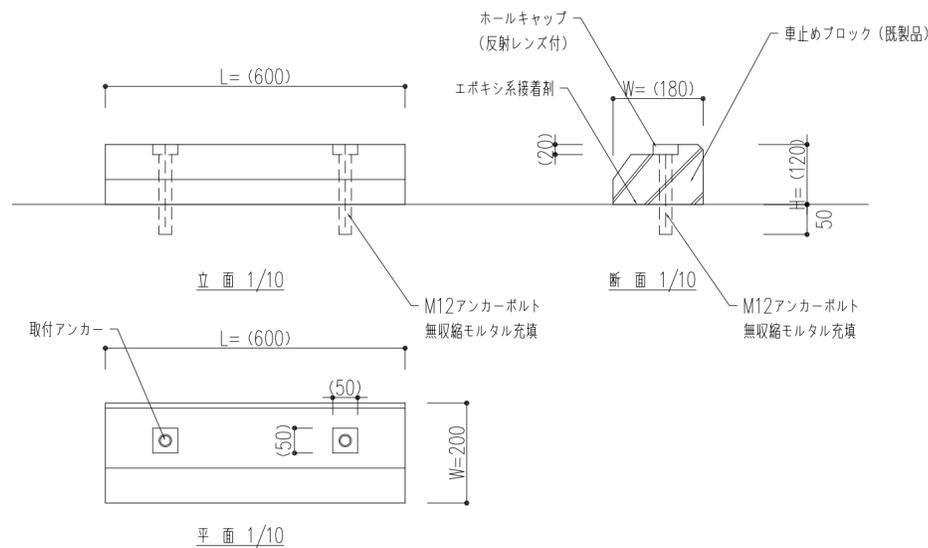


*駐車場ライン：溶融式 白色トラフィックペイント JIS K 5665 1種 厚1.5
 駐車場舗装面に書き込み（位置は監督員の指示による）

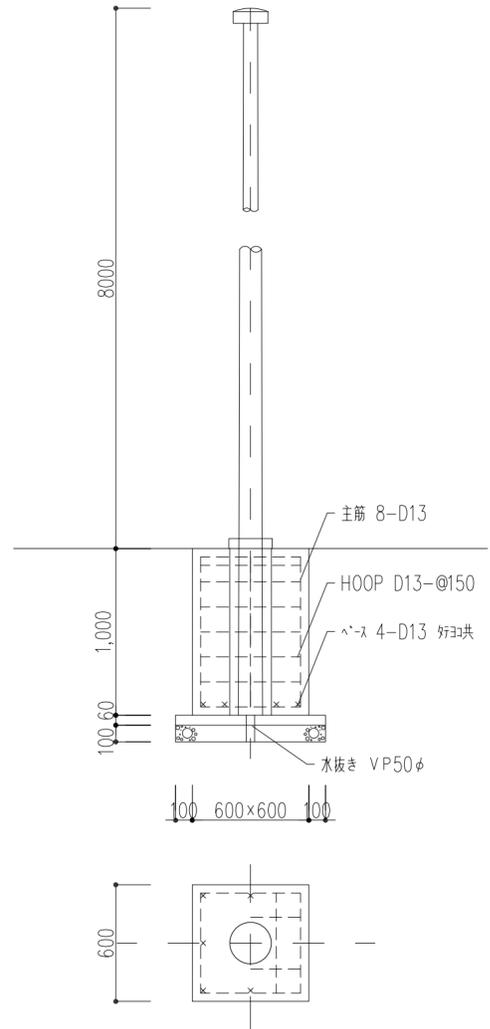
GD-13	身障者用駐車場表示マーク 詳細図	1:20	GD-14	車止めブロック 詳細図	1:10
-------	------------------	------	-------	-------------	------



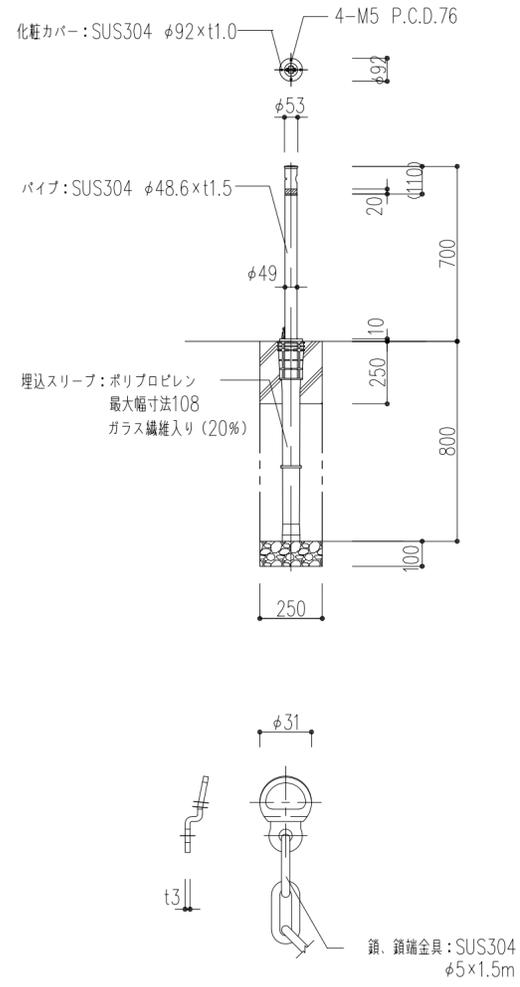
溶融式 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 1種 厚1.5
 幅：マーク100
 駐車場舗装面に書き込み（位置は監督員の指示による）



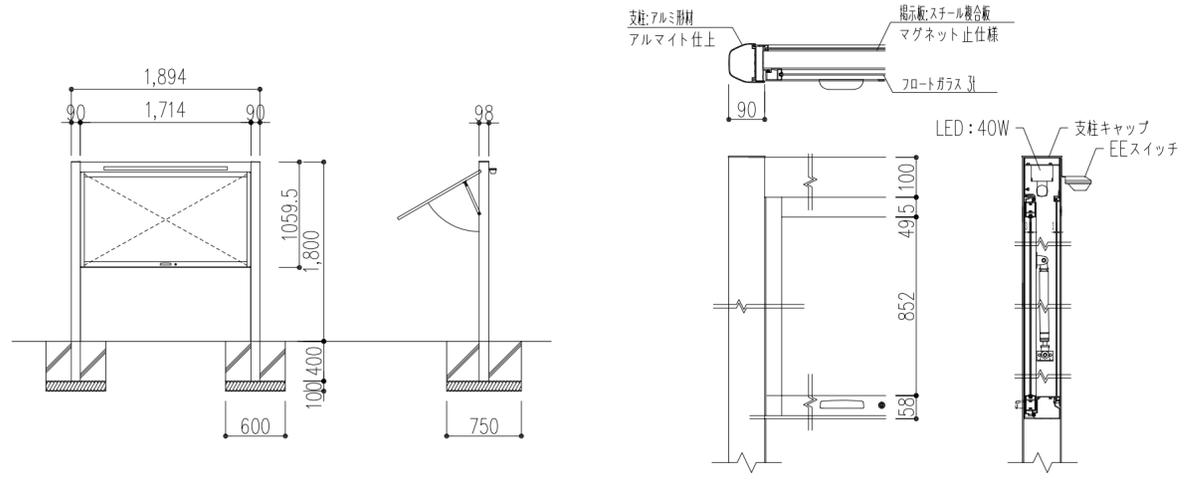
特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No. G / 04	工事種別 建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店	管理建築士 程野 祐介	設計No. —
	図面名称 外構詳細図-1	縮尺 A3 (1/15) A2 (1/10)		一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	一級建築士 大臣登録 第338983号	設計年月日 2017.9
				校閲	担当 製図	



【特記事項】
 ・アルミ製 ハンドル型テーパーポール手動式
 ・H=8m (サンポールFHH-8U同等) 基礎共

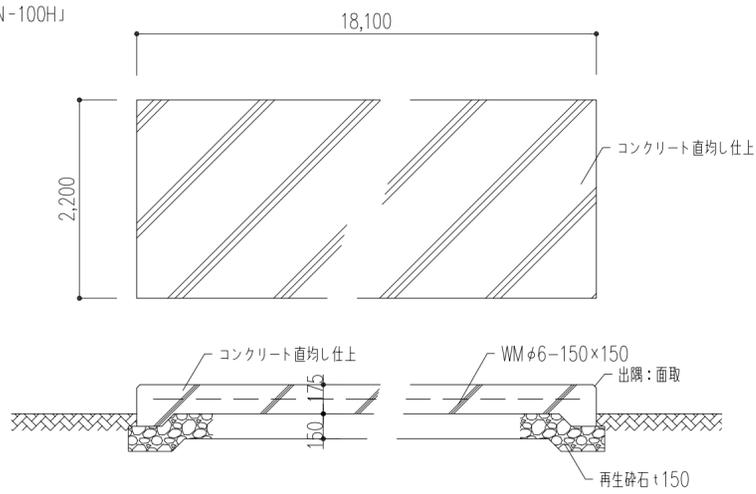


鎖端金具詳細図 1:3

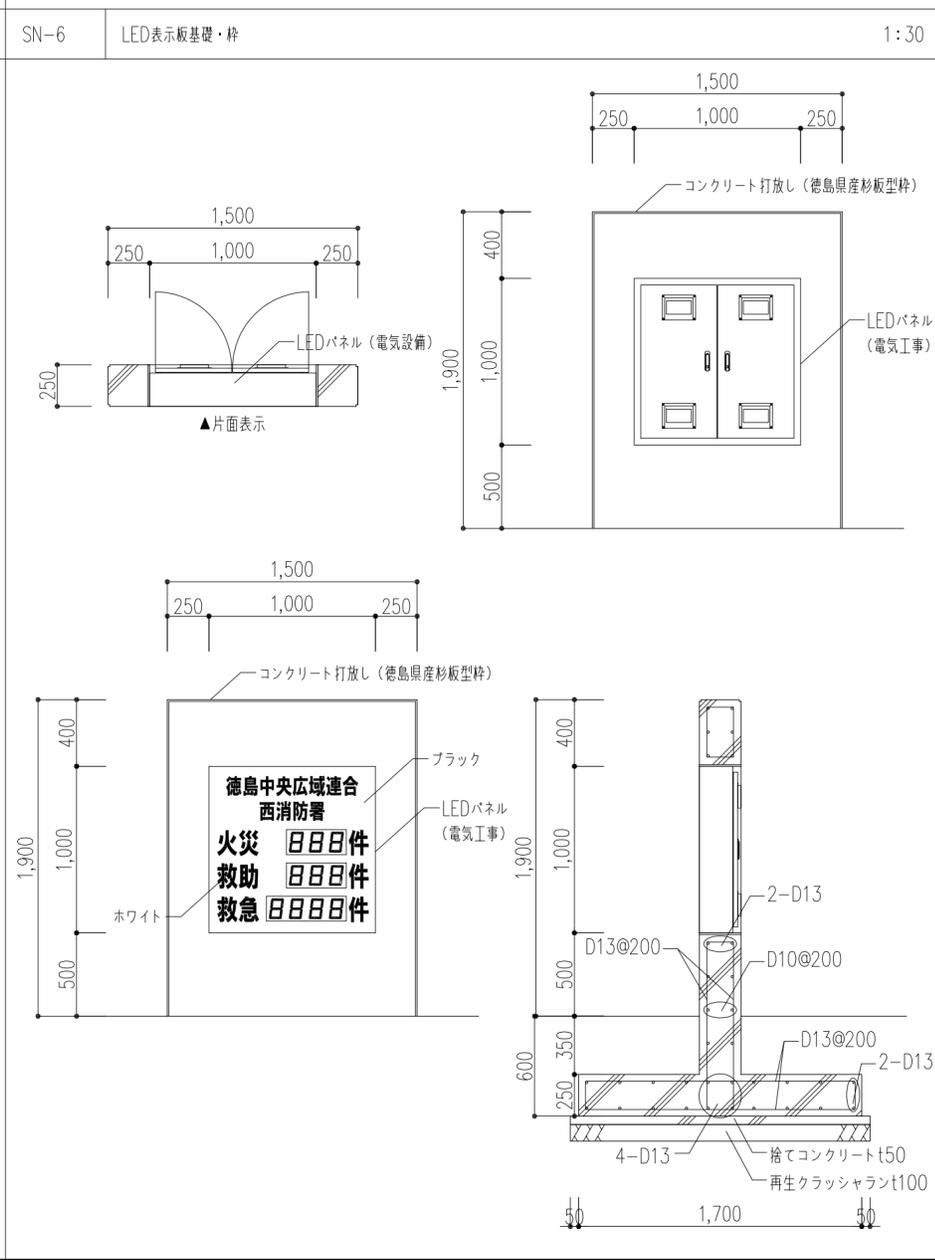
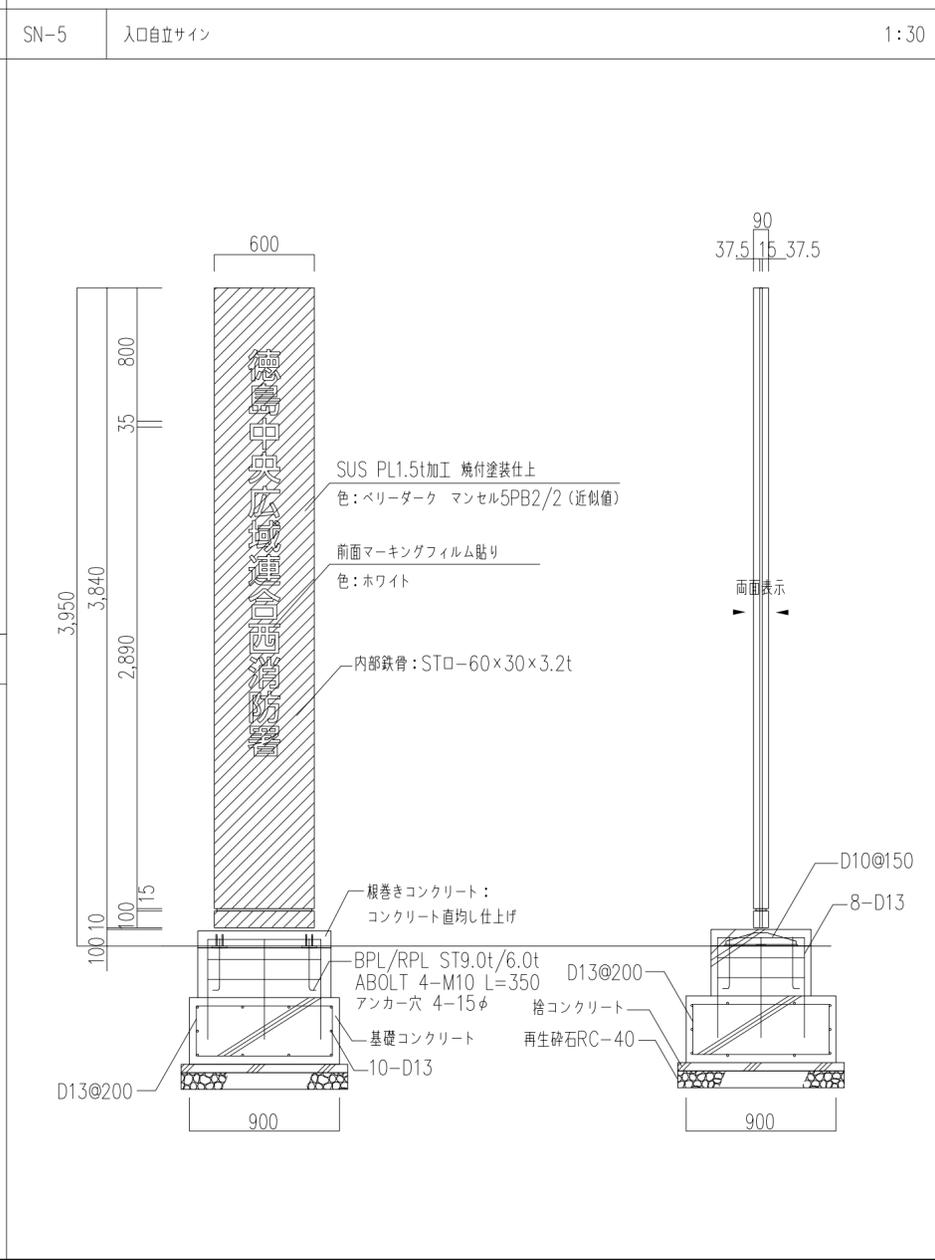
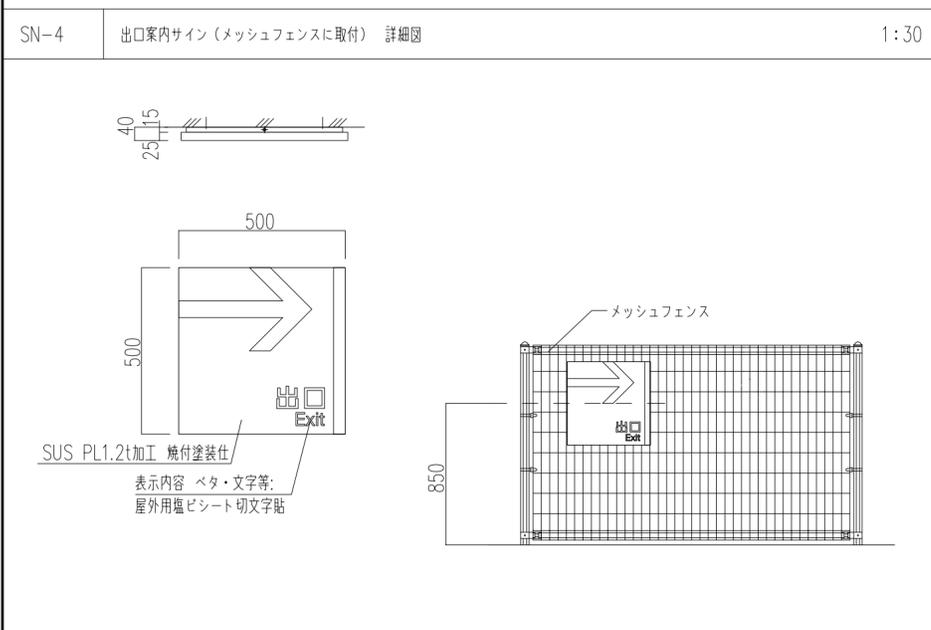
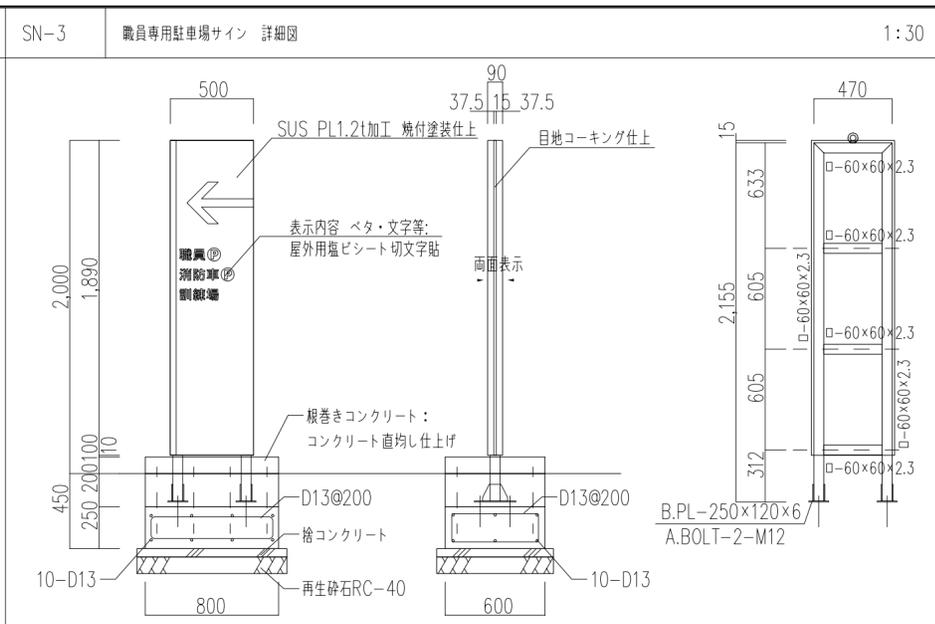
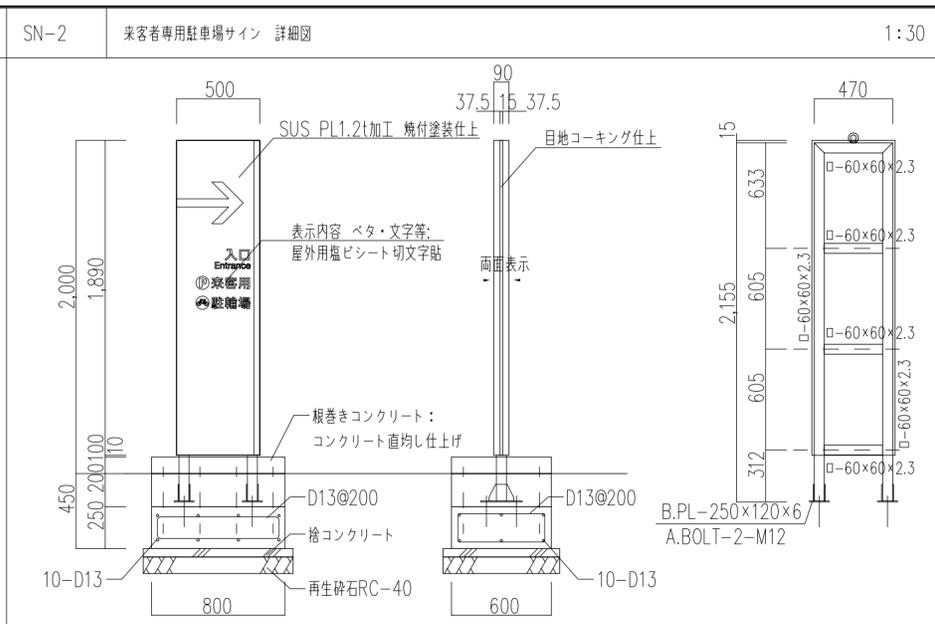
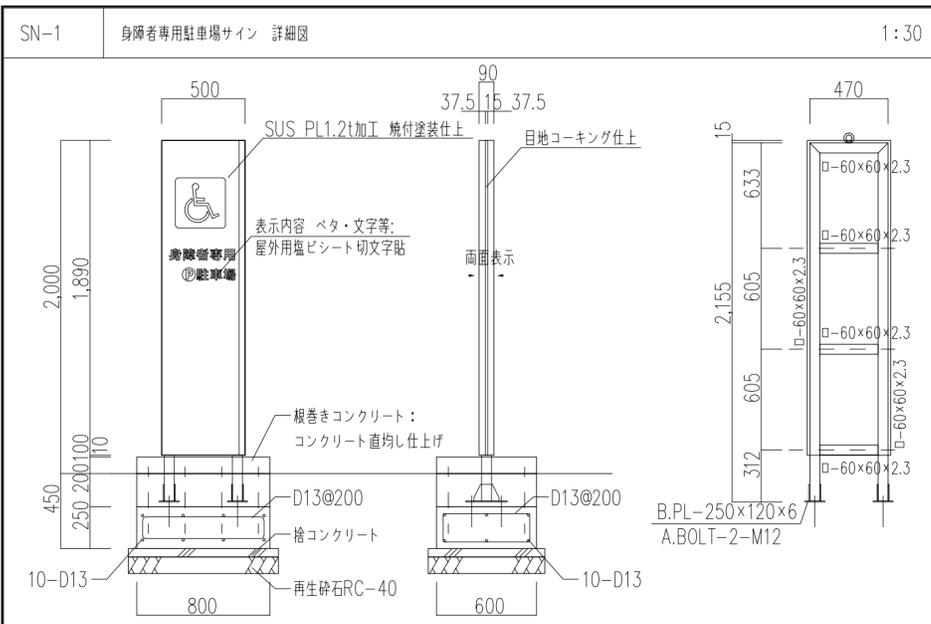


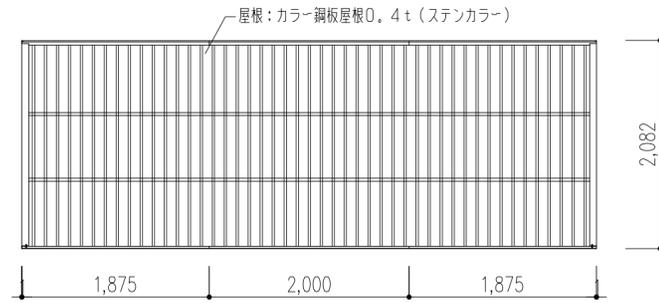
【特記事項】
 ・(備BISO AGS-1810同等品)
 ・掲示板仕様: アルミ樹脂スチール複合板 マグネット止仕様

※既存の物置「ヨドコク LMD-1811」、「イナバ MBN-100H」を本敷地内に移設する。

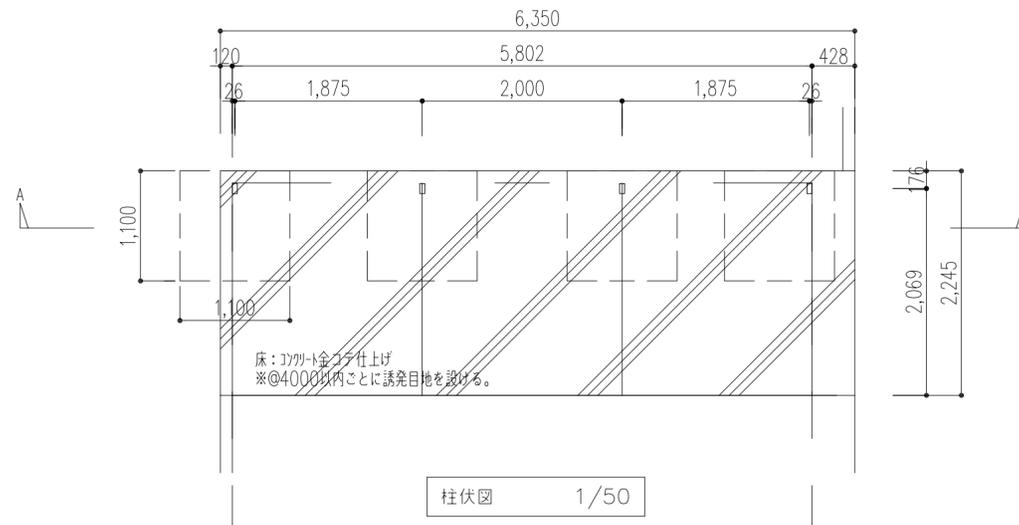


基礎伏図 1:30

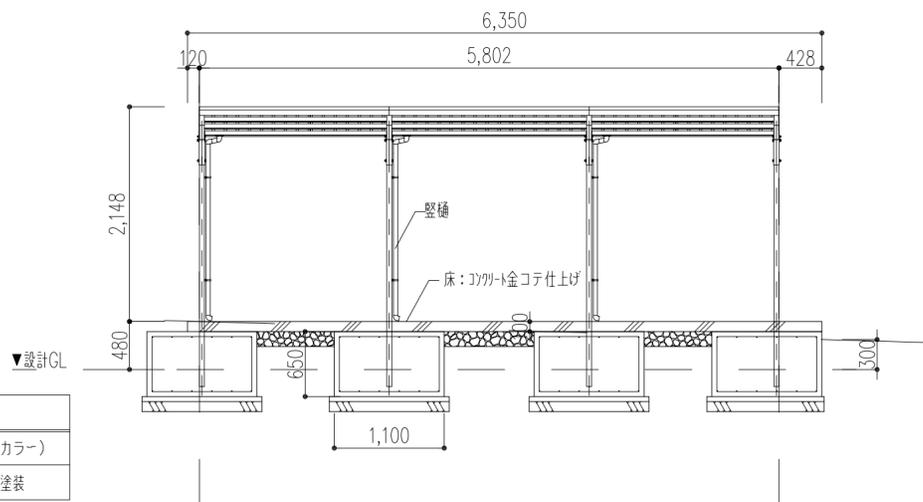




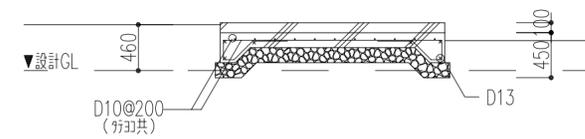
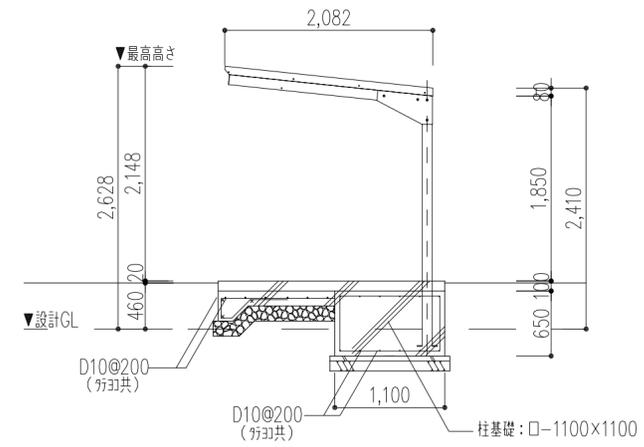
屋根伏図 1/50



柱伏図 1/50



A-A断面詳細図 1/50



断面図 1/50

面積表	
建築面積	5.802 x 2.082 = 12.08 m ²
延床面積	5.802 x 2.082 = 12.08 m ²

【特記事項】

主要部材	仕様(材質・塗装)
1. 屋根	カラー鋼板屋根0.4t (ステンカラー)
2. 柱等	亜鉛処理鋼板、ポリエステル粉体塗装

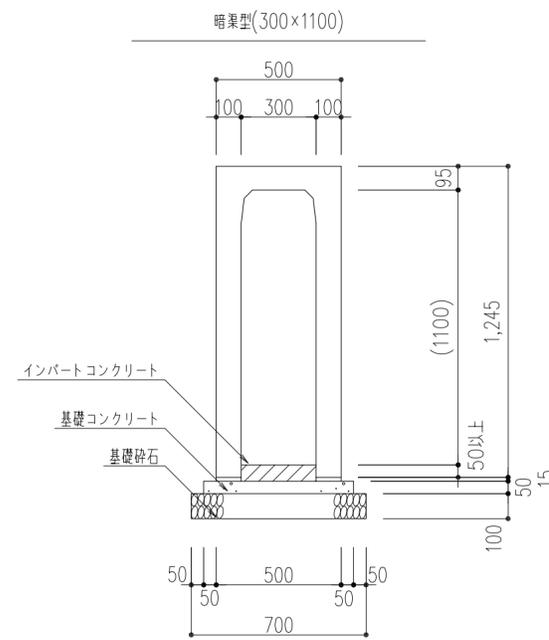
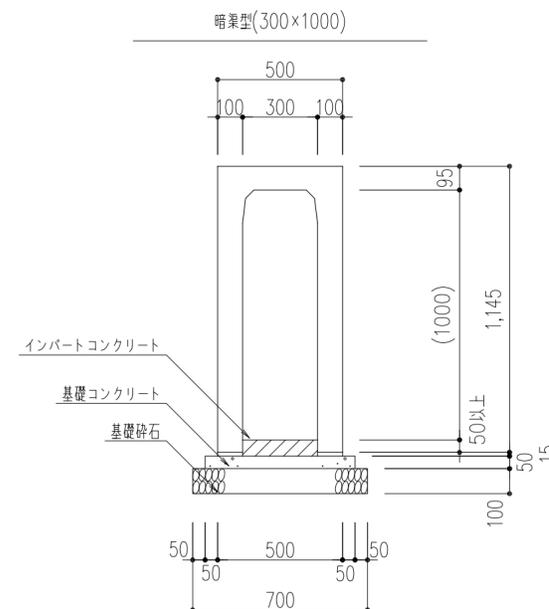
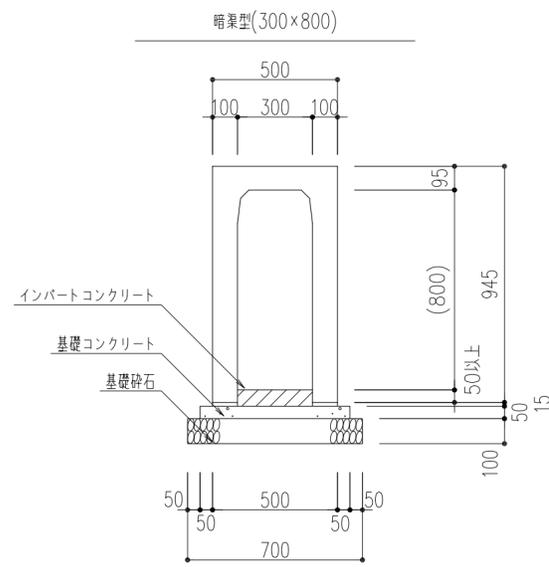
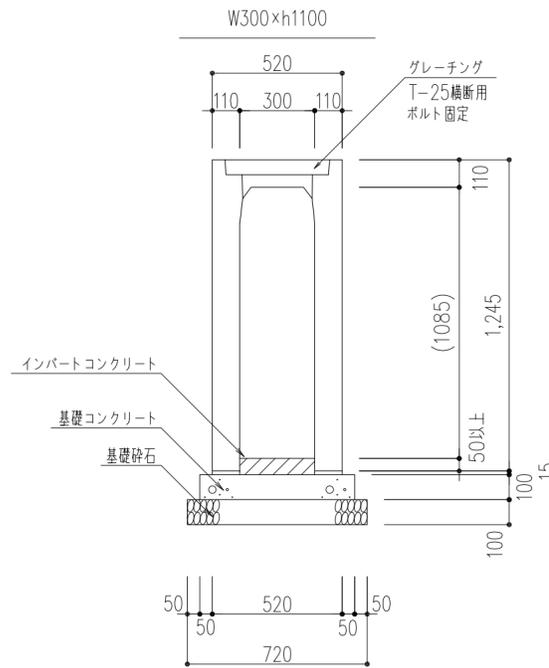
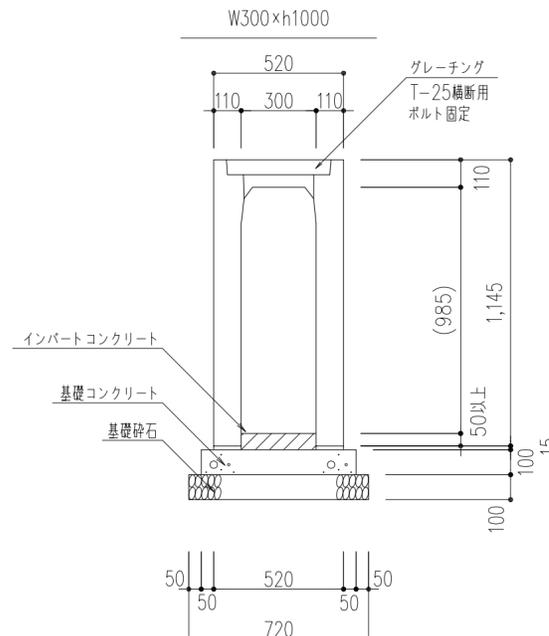
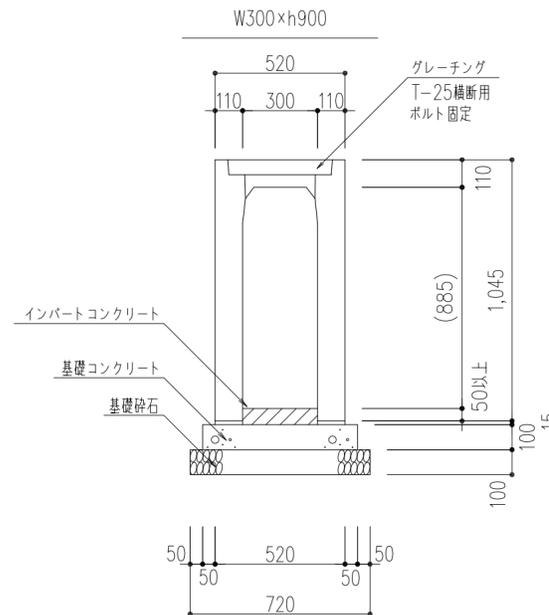
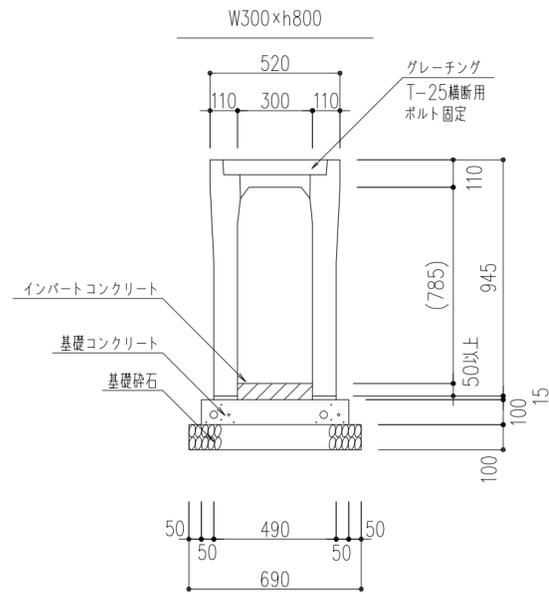
- ※サイクルポートCFLRタイプ 「CFLR-2024 連続セット」 同等品以上
- ・コンクリート Fc=18N/mm² S-15cm
- ・長期地耐力 50KN/m²
- ・耐風圧強度 Vo=36m/s

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 駐輪場詳細図

図面No. G / 07	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/75) A2 (1/50)	

株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士 校関	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. —
校関	担当 製図	設計年月日 2017.9



自由勾配側溝（横断用）W300×h800 1.0m当り

名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.059
同上型枠	均し型枠	m ²	0.20
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	0.69
基面整正	土砂	m ²	0.69

自由勾配側溝（横断用）W300×h900・h1000・h1100 1.0m当り

名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.062
同上型枠	均し型枠	m ²	0.20
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	0.72
基面整正	土砂	m ²	0.72

自由勾配側溝（横断用）W300×h800・h1000・h1100 暗渠型 1.0m当り

名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.060
同上型枠	均し型枠	m ²	0.20
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	0.70
基面整正	土砂	m ²	0.70

名称	タイプ	規格（幅×深）	加工	製品長	数量	単位
自由勾配側溝	標準用	300 × 300	-	2000		2 個
		300 × 300	短尺	1000		1 個
		300 × 300	短尺	1928		1 個
		300 × 400	-	2000		24 個
		300 × 400	短尺	1085		1 個
		300 × 400	片斜切	1000	985 / 1015	1 個
		300 × 400	片斜切	1722	1706 / 1737	1 個
		300 × 500	-	2000		17 個
		300 × 500	短尺	1307		1 個
		300 × 500	片斜切	1542	1526 / 1559	1 個
		300 × 500	片斜切	1573	1554 / 1589	1 個
		300 × 500	片斜切	1860	1840 / 1881	1 個
		300 × 500	片斜切	1860	1839 / 1878	1 個
		300 × 600	-	2000		19 個
		300 × 600	短尺	1000		1 個
		300 × 600	短尺	1749		1 個
		300 × 600	片斜切	1000	977 / 1023	1 個
		300 × 700	-	2000		16 個
		300 × 700	短尺	1107		1 個
		300 × 700	片斜切	1115	1056 / 1174	1 個
		300 × 800	-	2000		6 個
		300 × 900	-	2000		5 個
		300 × 1000	-	2000		2 個
300 × 1000	短尺	1000		1 個		

名称	タイプ	規格（幅×深）	加工	製品長	数量	単位
自由勾配側溝	横断用	300 × 800	-	2000		2 個
		300 × 800	短尺	1783	*暗渠型	1 個
		300 × 900	-	2000		2 個
		300 × 1000	-	2000		4 個
		300 × 1000	短尺	1000	*暗渠型	1 個
		300 × 1100	-	2000		2 個
		300 × 1100	短尺	1000	*暗渠型	1 個
300 × 1100	短尺	1367	*暗渠型	1 個		

特記事項	工事名称 徳島中央広域連合西消防署新築工事
	図面名称 東側 自由勾配側溝（横断用）詳細図

図面No. G / 08	工事種別 建築
縮尺 A3 (1/30) A2 (1/20)	

株式会社 阿波設計事務所 四国支店
 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号

管理建築士 一級建築士	程野 祐介 大臣登録 第338983号	設計No. -
校閲	担当	設計年月日 2017.9

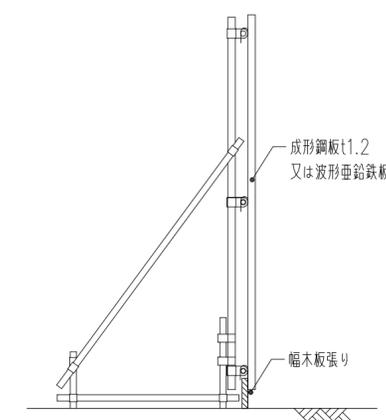
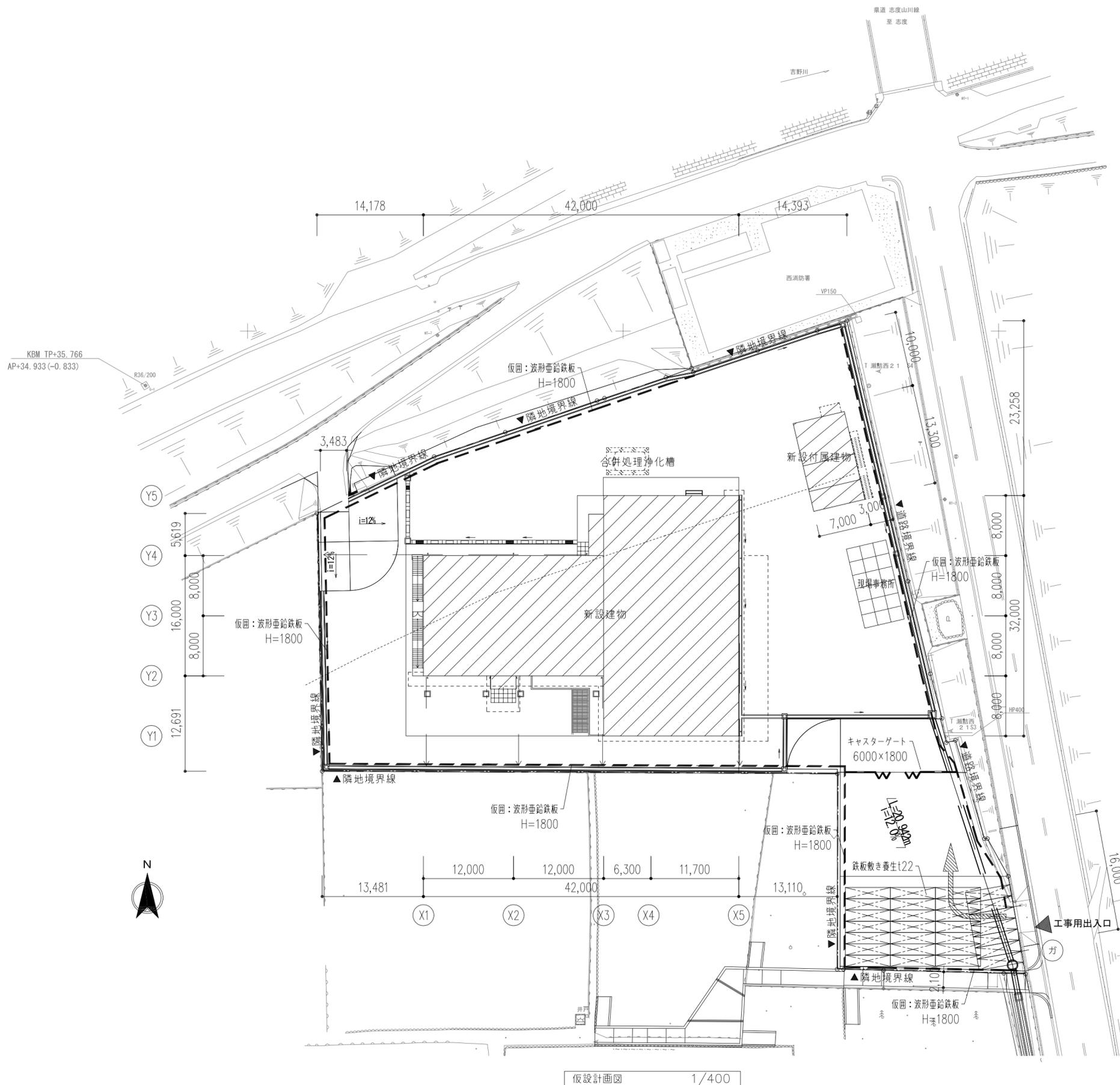
凡例	説明	数量	期間	仕様
	工事車両動線を示す。			
	仮囲いを示す。	293m	11ヶ月	波形垂鉛鉄板H=1.8m
	ゲートを示す。	1カ所	11ヶ月	キャストゲート6000×1800m
	交通誘導員を示す。	1人常駐	275日	25/月
	敷き鉄板養生を示す。	28枚	11ヶ月	t22×1500×6000

【特記事項】

< 土工事における地下水及び雨水の排水処理 >	
排水工法（釜場工法）	
・使用器具	
ノッチタンク 2m（1基）	
水中ポンプ（4台）	
排水釜場（4か所）	
設置期間 60日	
※状況により排水用パイプにて排水を行う。	

【共通事項】

- ・湧水は、直接排水溝に排水してはならない。
- また、各種法規及び条例等に基づき排水基準を満足することを確認する。
- ・ノッチタンク以降の排水は、既存側溝への排水とする。
- ・事前に検討書を作成し、監督官の承認後に施工開始とする。



仮囲い 詳細図

仮設計画図 1/400

特記事項	工事名称	徳島中央広域連合西消防署新築工事	図面No.	G / 09	工事種別	建築	株式会社 阿波設計事務所 四国支店 一級建築士事務所 徳島県知事登録 第41036号	管理建築士	程野 祐介	設計No.	-
	図面名称	仮設計画図	縮尺	A3 (1/600) A2 (1/400)	一級建築士	大谷 登録		第338983号	校閲	担当	製図